令和3年度

学 生 便 覧

 $2021 \sim 2022$

大阪大学大学院文学研究科大阪大学、学文学、部

令和3年度 文学部・文学研究科 学年暦(行事予定)

	1日~2022年				主	な	行	事	予		
月	日 (曜	日)	Ė	ř	部		大	学	院
20	21 年 4	月	1 日	(木)				春季休業			
^			8 日	(木)				L T-FI-M			
	4		1 日	(木)			春~夏学期	•诵年科目 🏿	愛修登録期間		
	~ 4	月	22 日	(木)				~	212 223777111		
季	4	月	2 日	(金)	学音	^{『別履修指導}	(新入生)				
	4	月	5 日	(月)	午後:	学部(在学生)	ガイダンス	午		.学オリエンテ- : 大学院ガイ:	ーション(新入生) ダンス
	4	月	6 日	(火)				入学式			
,	4	月	9 日	(金)			君	\$学期授業開	始		
` 	4	月	16 日	(金)					「研究指導	算計画確認書	」提出期限
	4	月	29 日	(木)			l	いちょう祭準値	带		
	4	月	30 日	(金)			いち	ょう祭(授業(木譜)		
	~ 5	月	1 日	(土)				, s , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	11-H 13 7		
	5	月	2 日	(日)			LN	ちょ う 祭 後片	付け		
	5	月	26 日	(水)						博士予備論文	
	~ 6		1 日	(火)						理期間(6月	朝)
	6	月	7 日	(月)						程博士学位論	
	~ 6			(金)						受理期間(6月期	明)
学	6			(木)				\$学期授業終	了		
	6	-	11 日	(金)			3	夏学期授業開	始		
	8	月	10 日	(火)			春~	~夏学期授業	終了		
	8		17 日				集中記	講義期間① [4	4日間]		
	~ 8	月	20 日	(金)			>K 1 H				
胡	8	月	23 日	(月)			集中	講義期間② [5日間		
	~ 8		27 日	(金)			>K 1 H				
	8	月	11 日	(水)				夏期休業			
	~ 9		30 日	(木)							
	9		下旬				卒業	式·学位記授	95式		
	9		24 日				秋~冬学	期科目 履修	受録期間		
	~ 10		14 日					1. 24 Ho les als co	11.		
	10			(金)			-	火学期授業開 			
沙	10		25 日			業論文題目摄 月5日(金) 1				論文題目提出 5日(金) 17:	
	~ 11	Я	5 日	(金)	(11)	/)OH(<u>w</u> /		 祭準備(授業		<u> </u>	
	11	月	4 日	(木)		佐土・ノバ・・コ/		余华偏(按耒	11个)第		
	11	_		<i>(</i>		修ガイダンス(1年次)				
s			5 日				大	学祭(授業休	講)		
` 	~ 11		7日					大学祭後片付	1+		
	12		8日2日	<u>(</u>				、子宗该万的 火学期授業終			_
	12			(金)				X 学期授業開			
-	11			(水)				- 一切以未用		オーマルシュ	
<u> </u>	~ 11		30 日							博士予備論文 理期間(12月	
-	12		6日							程博士学位論	
	~ 12		10 日							理期間(12月	
	12			(火)							
ž ~ 20				(月)				冬季休業			
	1			(水)		—————— 卒業論文提出				 士論文提出其	
	~ 1		6 日			午来酬又提正 6日(木)17:00				日(木)17:00ま	
	1			(金)		大学》	、学共通テスト	準備のための	D臨時休業(料		
·n					l			~冬学期授業			
胡	2)	月	10 日	(木)						要報告書(副).	 」提出期限
	2	月	25 日	(金)		文学部入学者			.21, 20, 100	н (н)/-	
-	3	В	下旬					 :式·学位記授	3 5 5 5 5 7		
<u> </u>				市体につ	L いては、掲示により	`Z for ++	十本	~~	. 526		

- 注1. 上記行事予定の詳細及びその他行事等については、掲示により通知します。
- 注2. 行事予定等は都合により変更する場合がありますので、掲示に注意してください。
- 注3. 全学共通教育及び他学部・他研究科等については、上記の学年暦とは一致しないことがありますので、注意してください。
- 注4. 学部(在学生)及び大学院のガイダンスは各専修・専門分野ごとに行われます。 詳細は掲示により通知しますので、掲示に注意してください。

令和3年度 文学部・文学研究科 学年暦

月/曜	日	月	火	水	木	金	土
令和3年						学部別履修指導	
		ガイダンス	入学式		1	2 11	3
	4	5	6	7	8	9	10
		11	11	11	11	22	47
4月	11	12 ②②	22	22	15 ②②	16 33	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	33	33	33	いちょう祭準備	いちょう祭	
	25	26	27	28	29	30	
							いちょう祭 1
	いちょう祭片付け				33	44	1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	44 10	44 11	44 12	44 13	\$ <u>\$</u>	15
5月		55	55	55	55	66	13
	16	17	18	19	20	21	22
	23	66 24	66 25	66 26	66 27	⑦ ⑦ 28	29
		77					
	30	31			(2) (2)		
			⑦ ⑦ 1	⑦ ⑦ 2	⑦ ⑦ 3	8試84	5
		8試8	8試8	8試8	8試8	19	
	6	7	19	9	10	210	12
6月	13	14	15	16	17	18	19
		200	20	210	210	311	
	20	21 3 <u>11</u>	22 3 <u>11</u>	23 3 <u>11</u>	24	25	26
	27	28	29	30			
					311	40	2
		412	412	412	412	2 ⑤ 13	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	⑤ <u>③</u> 12	⑤ <u>③</u> 13	⑤ <u>③</u> 14	⑤ <u>⑬</u> 15	6 <u>4</u> 16	17
7月	11	64	64	64	海の日	スポーツの日	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	⑦ ⑤ 26	⑦ <u>\$</u> 27	⑦ <u>\$</u> 28	6 <u>4</u> 29	⑦ (15)	31
		20	2,	20	23	30	31
		(A)	(A)	(A)	(7) (A)	(A)	
	1	8 武武 2	8 武武 3	8) 武武 4	⑦ ધ 5	⑧試試6	7
			⑧試試		[季一斉休美		
	8	9	10 ←	集中講義	12	13 →	14
8月	15	16	17	乗中 両 事	19	20	21
	22	←		集中講義		→ 27	20
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	8月10日	は木曜日	の振替試験	更実施日
				1	2	3	4
	I			1		3	4
					_	10	11
	5	6	7	8	9	10	11
9月							
9月	12	13	14	15	16	17	18
9月							
9月	12	13	14	15	16	17	18

						1	2
	3	① <u>1</u> 4	① ① 5	① ① 6	① <u>1</u> 7	2 <u>2</u> 8	9
	3	(2)(2)	22	22	22	33	9
	10	11	12	13	14	15	16
10月	4-	33	33	33	33	44	22
	17	18 44	19 44	20 44	21 44	22 ⑤⑤	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31	55	55	文化の日	まちかね祭準備	まちかね祭	まちかね祭
		1	2	3	※ 4	5	6
	まちかね祭		66	55	55	66	4.0
	7	66	9 ⑦⑦	10 66	11 66	12 ⑦⑦	13
11月	14	15	16	17	18	19	20
11/3		77	勤労感謝の日	77	77	8試8	
	21	22 ⑧ 試 ⑧	23 ⑧試®	24	25 ※11/4 (26 学部1年)	27
	28	29	30			イダンス	
				8試8	8試8	19	
				1	2	3	4
	_	19	19	19	19	200	44
_	5	6 2 <u>10</u>	210	210	9 ② ①	3(1)	11
12月	12	13	14	15	16	17	18
		311	311	311	311	412	0.5
	19	20 4 <u>1</u> 2	21	22	23	24	25
	26	27	28	20	20	21	
	20	21	20	29	30	31	
令和4年	20	27	20	29	30	21	1
令和4年	20	21	40	40	<u>4</u> 2	513	1
令和4年	20	3	42 4	412 5	412 6	(5)(<u>1</u>) 7	1 8
令和4年	2	3	4 (5)(3)	405\$0	40 6 50	\$ 1 3	8
			42 4	412 5	412 6	(5)(<u>1</u>) 7	
令和4年 1月	2	3 10 \$\frac{1}{2} 17	(4)(12) 4 (5)(13) 111 (6)(4) 18	(4)(12) 5 (5)(3) 12 (6)(4) 19	4 ¹ 2 6 5 ¹ 3 13 6 ¹ 4 20	\$\frac{1}{3}} 7 44 6\frac{1}{4} 21	8
	2 9 16	3 10 (\$13 17 (6)4	4 (1) 4 (5) (1) 11 (6) (4) 18 (7) (5)	(4)(12) 5 (S)(13) 12 (6)(4) 19 (7)(15)	4 ¹ 2 6 5 ¹ 3 13 6 ¹ 4 20 7 ¹ 5	\$\frac{1}{3}\\ 7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8 15 22
	2	3 10 \$\frac{1}{2} 17	(4)(12) 4 (5)(13) 111 (6)(4) 18	(4)(12) 5 (5)(3) 12 (6)(4) 19	4 ¹ 2 6 5 ¹ 3 13 6 ¹ 4 20	\$\frac{1}{3}} 7 44 6\frac{1}{4} 21	8 15
	2 9 16	3 10 (\$)(3) 17 (6)(4) 24	4 (1) 4 (5) (1) 11 (6) (4) 18 (7) (5)	(4)(12) 5 (S)(13) 12 (6)(4) 19 (7)(15)	402 6 \$13 13 64 20	\$\frac{1}{3}\\ 7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8 15 22
	2 9 16 23	3 10 (\$)(3) 17 (6)(4) 24 (?)(5)	4 (2) 4 (5) (3) 11 (6) (4) 18 (7) (5) 25	(4)(12) 5 (S)(13) 12 (6)(4) 19 (7)(15)	402 6 \$13 13 64 20	(\$)(3) 7 14 (\$)(4) 21 (?)(5) 28	8 15 22 29
	2 9 16 23	3 10 \$\int 17 6\text{ 4} 24 \text{ 7\text{ 15}}	(4)(2) 4 (5)(3) 11 (6)(4) 18 (7)(5) 25	(4)(12) 5 (S)(13) 12 (6)(4) 19 (7)(15)	(4)(2) 6 (\$)(3) 13 (6)(4) 20 (7)(5) 27	\$\frac{1}{3}\\ 7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8 15 22 29
	2 9 16 23	3 10 \$13 17 64 24 75 31	(4) (2) 4 (5) (3) 11 (6) (4) 18 (7) (5) 25	(4)(2) 5 (5)(3) 12 (6)(4) 19 (7)(5) 26	(4)(2) 6 (5)(3) 13 (6)(4) 20 (7)(5) 27	(\$)(3) 7 14 (\$)(4) 21 (?)(5) 28	8 15 22 29
	2 9 16 23 30	3 10 ⑤(3) 17 ⑥(4) 24 ⑦(5) 31	4 (5) (3) 11 (6) (4) 18 (7) (5) 18 (7) 18 (8	(4)(2) 5 (5)(3) 12 (6)(4) 19 (7)(5) 26	(4)(2) 6 (5)(3) 13 (6)(4) 20 (7)(5) 27	\$\frac{1}{3}\\ 7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8 15 22 29 5 12
1月	2 9 16 23 30 6 13	3 10 ⑤13 17 ⑥14 24 ②15 31	(4)(2) 4 (5)(3) 11 (6)(4) 18 (7)(5) 25 1 (8)(4)(8) 8	(4位) 5 (5位) 12 (6位) 19 (7位) 26 (8)試試 9	(4)位 6 (5)(3) 13 (6)(4) 20 (7)(5) 27 3 (8)試試 10	\$\frac{1}{3}\\ 7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8 15 22 29 5 12
1月	2 9 16 23 30	3 10 ⑤(3) 17 ⑥(4) 24 ⑦(5) 31	4 (5) (3) 11 (6) (4) 18 (7) (5) 18 (7) 18 (8	(4)(2) 5 (5)(3) 12 (6)(4) 19 (7)(5) 26	(4)(2) 6 (5)(3) 13 (6)(4) 20 (7)(5) 27	\$\frac{1}{3}\\ 7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8 15 22 29 5 12
1月	2 9 16 23 30 6 13	3 10 ⑤13 17 ⑥14 24 ②15 31	(4)(2) 4 (5)(3) 11 (6)(4) 18 (7)(5) 25 1 (8)(4)(8) 8	(4位) 5 (5位) 12 (6位) 19 (7位) 26 (8)試試 9	(4)位 6 (5)(3) 13 (6)(4) 20 (7)(5) 27 3 (8)試試 10	\$\frac{1}{3}\\ 7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8 15 22 29 5 12
1月	2 9 16 23 30 6 13 20	3 10 ⑤ 13 17 ⑥ 14 24 ② 15 31 ⑧ 試試 7 14	4 ① 4 ⑤ ③ 1 1 1 ⑥ 例 18 ⑦ ⑤ 5 25	4位 5 ⑤13 12 ⑥19 19 ②15 26	④⑫ 6 ⑤⑬ 13 ⑥⑭ 20 ⑦⑮ 27	(\$)(3) 7 14 (\$)(4) 21 (?)(5) 28 (8)(1)(1) 4 11 18 25	8 15 22 29 5 12 19 26
1月	2 9 16 23 30 6 13 20	3 10 ⑤ 13 17 ⑥ 14 24 ② 15 31 ⑧ 試試 7 14	(4)(2) 4 (5)(3) 11 (6)(4) 18 (7)(5) 25 1 (8)(4)(8) 8	(4位) 5 (5位) 12 (6位) 19 (7位) 26 (8)試試 9	(4)位 6 (5)(3) 13 (6)(4) 20 (7)(5) 27 3 (8)試試 10	\$\frac{1}{3}\\ 7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	8 15 22 29 5 12
1月	2 9 16 23 30 6 13 20	3 10 ⑤ 13 17 ⑥ 14 24 ② 15 31 ⑧ 試試 7 14	4 ① 4 ⑤ ③ 1 1 1 ⑥ 例 18 ⑦ ⑤ 5 25	4位 5 ⑤13 12 ⑥19 19 ②15 26	④⑫ 6 ⑤⑬ 13 ⑥⑭ 20 ⑦⑮ 27	(\$)(3) 7 14 (\$)(4) 21 (?)(5) 28 (8)(1)(1) 4 11 18 25	8 15 22 29 5 12 19 26
1月	2 9 16 23 30 6 13 20 27	3 10 513 17 64 24 753 31 8 xxx 7	4 ⑤13 11 ⑥14 18 ⑦15 25	(4)(2) 5 (5)(3) 12 (6)(9) 19 (7)(5) 26	(4位) 6 (5位) 13 (6位) 20 (7位) 27 (7位) 3 (8) 11 10 17 24	(S) (3) 7 7 14 (6) (4) 21 7 (5) 28 (8) X X 4 11 18 25	8 15 22 29 5 12 19 26
2月	2 9 16 23 30 6 13 20 27	3 10 ⑤13 17 ⑥14 24 ⑦15 31 ⑧試試 7 14 21 28	4 1 1 1 8 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(4)(2) 5 (5)(3) 12 (6)(9) 19 (7)(5) 26 (8)(11)(12) 9 16 23	(4)(2) 6 (5)(3) 13 (6)(4) 20 (7)(5) 27 3 (8)(1)(1) 10 17 24	(S) (3) 7 7 14 (6) (4) 21 7 (5) 28 (8) EXT 4 11 18 25 4 11	8 15 22 29 5 12 19 26 5
2月	2 9 16 23 30 6 13 20 27	3 10 ⑤13 17 ⑥14 24 ⑦15 31 ⑧試試 7 14 21 28	(4位) 4 (5位) 11 (6位) 18 (7位) 25 (8) 1 (8) 15 (22 (1 (8) (1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(4位) 5 (5位) 12 (6位) 19 (7位) 26 (8)試試 9 16 23	(4位) 6 (5位) 13 (6位) 20 (7位) 27 (8) 3 (8) 10 (17 (24 (17 (17 (17 (17 (17 (17 (17 (17 (17 (17	(\$)(3) 7 14 (6)(4) 21 (7)(5) 28 (8)(1)(1) 4 11 18 25	8 15 22 29 5 12 19 26 5 12

土・日・祝日及び休業日又は授業未実施期間を示す(緑字は祝日)。

 春学期授業開講期間
 4月 9日~ 6月10日

 夏学期授業開講期間
 6月11日~ 8月10日

秋学期授業開講期間 10月 1日~12月 2日 冬学期授業開講期間 12月 3日~ 2月10日

O数字ターム科目授業日試ターム科目試験

集中講義期間

O数字セメスター科目の授業日試セメスター科目の試験日

大学行事又は入試準備のための臨時の授業未実施日(予定)を示す。

4月29日(木) いちょう祭準備 4月30日(金)~5月1日(土) いちょう祭 5月 2日(日) いちょう祭片付け

11月 4日(木) 大学祭準備

11月 5日(金)~7日(日) 大学祭

11月 8日(月) 大学祭片付け

1月14日(金) 大学入試共通テスト準備

目 次

令和3(2021)年度学年曆(行事予定)	
令和 3 (2021) 年度学年暦	
学生心得等	
学生心得	1
1. 学生証について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 通学定期乗車券発行控(通学証明書)について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3. 学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4. 証明書の発行について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
5. 学務情報システム (KOAN) について · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4
6. 学生への連絡・住所および連絡先の変更について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
7. 休学・退学等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
8. 除籍・復籍について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
9. 海外留学について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
10. 授業に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
11. 文学部(文学研究科)の教員のオフィスアワーについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
12. 美術館・博物館等のキャンパスメンバーズについて	11
13. 授業料の納入について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
1 = 2(1,000 t) to to to	12
授業料(入学料)の免除等制度について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
・日本学生支援機構奨学金(外国人留学生を除く)について<貸与・給付>	15
・地方公共団体及び民間奨学団体奨学金(外国人留学生を除く)について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
y	18
on but a solid	19
• 教育支援室の案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
就職支援事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	22
	23
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	24
教育職員免許状の取得について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
** *n **	
学部学生に関する事項	0.5
1. 大学での学習について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2. 文学部賞について····································	
3. 専修について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	31
	31
6. 卒業要件単位一覧 ・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート [平成31(2019)年度以降の入学者適用]・・	2.2
・卒業要件単位一覧(平成31(2019)年度以降の入学者適用)の補足説明 ···············・ ・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート [平成26年度~平成30年度の入学者適用]	
・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート [平成26年度~平成30年度の入学者適用]・・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート [平成25年度以前の入学者適用]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート「中成25年度以前の八字有適用」・・・・・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート「令和3年度以降の学士入学者適用」・・・・	
・卒業要件単位一覧・卒業要件単位テェックシート [令和3年度以降の学士入学者適用]・・・・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート [令和2年度以前の学士入学者適用]・・・・	
・ 十未女 十年世 - 見・ 十未女 十世 / ユック ノート 17 和 2 十段 以削 2 子上八子 4 週 用] ・・・・	43
大学院学生に関する事項	
1. 文学研究科修了要件単位について	
1 - 1. 【平成 31(2019)年度以降の入学者適用】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45

1‐2.修了要件単位一覧(平成 31(2019)年度以降の入学者適用)の補足説明・・・	
1‐3.【平成 30 年度以前の入学者適用】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2. 研究指導について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
3. 文学研究科賞について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4. 修士学位論文について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
5. 博士予備論文の提出について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
6. 博士学位論文の提出について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
7. 長期履修学生制度について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8. 横断型教育について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	56
令和3(2021)年度文学部開講科目一覧	
文学部共通概説····································	
・人文学概説【高度教養教育科目】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
卒業論文····································	
・インターンシップを含む科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62
・外国語による発信力を育成するための科目	62
・専修の科目及び専修が別に定める科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	63
・全学共通教育科目のうち、文学部の専門教育科目となるもの	83
動態論科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	84
外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	85
日本語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	86
学芸員資格認定科目 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	87
・教育職員免許状の取得に関係する科目・教職に関する科目(各教科の指導法)	88
・マルチリンガル・エキスパート養成プログラム「グローバル・アジア・スタディー	ズ」科目・89
・マルチリンガル・エキスパート養成プログラム「グローバル・ユーロ・スタディー	ズ」科目・90
令和3(2021)年度文学研究科(博士前期課程)開講科目一覧	
文学研究科共通科目 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	91
・インターンシップを含む科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	91
・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91
・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92
・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92
・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93
・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
 ・外国語科目・・・ ・外国語による発信力を育成するための科目・・・ ・エラスムス・ムンドゥス英語授業・・・ ・専門分野が開講する科目・・・ ・日本語科目・・・ ・大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目・・・ 	91 92 92 93 116 117
 ・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117
 ・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118
 ・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118
 ・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118
 ・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 119
 ・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 119
 ・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 119 120
 ・外国語科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 119 120 121
・外国語科目 ・外国語による発信力を育成するための科目 ・エラスムス・ムンドゥス英語授業 ・専門分野が開講する科目 ・日本語科目 ・大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目 ・大学院等高度副プログラム「グローバルヒストリー」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 119 120 121 121
・外国語科目 ・外国語による発信力を育成するための科目 ・エラスムス・ムンドゥス英語授業 ・専門分野が開講する科目 ・日本語科目 ・日本語科目 ・大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目 ・大学院等高度副プログラム「グローバルヒストリー」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 119 120 121 121 122
・外国語科目 ・外国語による発信力を育成するための科目 ・エラスムス・ムンドゥス英語授業 ・専門分野が開講する科目 ・日本語科目 ・日本語科目 ・大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバルヒストリー」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 119 120 121 121 121 122 122
・外国語科目 ・外国語による発信力を育成するための科目 ・エラスムス・ムンドゥス英語授業 ・専門分野が開講する科目 ・日本語科目 ・大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目 ・大学院等高度副プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 119 120 121 121 122 122 123
・外国語科目 ・外国語による発信力を育成するための科目 ・エラスムス・ムンドゥス英語授業 ・専門分野が開講する科目 ・日本語科目 ・日本語科目 ・大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバルヒストリー」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91 92 92 93 116 117 118 118 120 121 121 121 122 122 122 123 124

令和3(2021)年度文学研究科(博士後期課程)開講科目一覧	
文学研究科共通科目···································	131
・インターンシップを含む科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	131
外国語科目····································	131
外国語による発信力を育成するための科目 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	132
・エラスムス・ムンドゥス英語授業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	132
・専門分野が開講する科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	133
大阪大学・大阪大学大学院関係規程等	
大阪大学学部学則··································	157
大阪大学大学院学則·································	
大阪大学学位規程···································	
大阪大学憲章····································	
学部学生に関する規程等	
・大阪大学文学部規程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	187
・大阪大学文学部履修規程 [平成 31 (2019) 年度以降の入学者適用] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
・大阪大学文学部履修規程[平成 36 年度~平成 30 年度の入学者適用] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・大阪大学文学部履修規程 [平成 25 年度以前の入学者適用] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
・大阪大学文学部復じ発生し一版 25 年度以前の大学有過用。・大阪大学文学部における卒業論文の評価基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
八成八子又子印における十末冊又の計画左手	201
大学院学生に関する規程等	
大阪大学大学院文学研究科規程····································	203
・文学研究科履修規程[平成 31(2019)年度以降の入学者適用] ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	217
・大阪大学大学院文学研究科における修士論文の評価基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	218
・大阪大学大学院文学研究科における博士学位申請論文の審査基準	219
教員等名簿	
• 名誉教授等名簿····································	221
教員名簿(文学部) ····································	
教員名簿(文学研究科) ····································	
キャンパスマップ・講義室配置図等	
・豊中キャンパスマップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・吹田キャンパスマップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・箕面キャンパスマップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
• 講義棟配置図	230
• 教室等配置図	
・文法経本館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	231
文学部日本学棟····································	233
	234
全学教育推進機構:総合棟Ⅱ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
文法経講義棟 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
法経講義棟····································	237
・法経研究棟(旧・法経大学院総合研究棟) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・豊中総合学館(旧・文系総合研究棟) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	239

学生心得等

- •学生心得
- ・学生教育研究災害傷害保険について
- ・授業料(入学料)免除等制度について
- ・日本学生支援機構第一種・第二種奨学金(外国人留学を除く)について<貸与型>
- ・地方公共団体及び民間奨学団体奨学金(外国人留学生を除く)について
- ・ハラスメント防止への取り組み
- ・研究推進室の案内
- ・教育支援室の案内
- ・就職支援事業について
- ・学習・生活相談デスクについて
- 国際連携室の案内
- ・学芸員の資格認定について
- ・教育職員免許状の取得について

学 生 心 得

1. 学生証について

学生証は、本学の学生であることを証明するものであるだけでなく、証明書自動発行機利用時 や図書館の入館等にも使用しますので、所定のケースに収納し、常時携帯してください。

△学生証に関する注意事項

- ●学生証の有効期限は修業年限です。 中途退学等により学生証の有効期間が切れる前に学籍を離れた時は、直ちに文学部・文学研究 科教務係(以下 教務係)に返却してください。
- ●汚損・紛失しないよう大切に取り扱ってください。 なお、汚損・紛失した場合は、直ちに学生センターで再発行の手続きを行ってください。
- ●他人に貸与したり、譲渡してはいけません。
- ●定期試験の際や諸証明の申し込み、通学定期乗車券又は学生割引乗車券によって乗車船する際 に係員の請求があったとき、その他本学職員に請求されたときは、必ず提示してください。
- ●改姓など記載事項に変更があった場合は、直ちに教務係に届け出てください。

2. 通学定期乗車券発行控(通学証明書) について

通学定期乗車券発行控(以下「通学証明書」)は主に、通学のために使用する交通機関での通学 定期券購入時に求められるものです。

通学証明書の利用にあたって

通学証明書は、電車等を利用して通学する学生に対して教務係窓口で配付しますので、裏面に記載されています注意事項に留意の上、住所(※)・通学区間(1区間かつ1経路)等を記入し、教務係員の確認を受けてから使用してください。また、記載内容に変更(記入ミスによる修正含む)があった場合も、必ず教務係で確認を受けてください。※KOAN登録の住所と同一でなければ認めません。



注意事項 ・通学定期乗車券発行控は、電車等を利用して、所属する学部(研究科)に通学する学生に対して交付する。 ・通学区間は、居住地最高駅と在学する学部(研究科)の最寄り駅の最短区間・同一経路でなければならない。したかって、自宅最高駅以外の駅を申請することや、学校最高駅以外の駅を降車駅として申請することはできない。ただ。他の公共交通機関を利用するなど、通学に合理的であると鉄道事業者が認める場合には、自己最高駅以外の駅等を申請することができる。 ・通学定期券は、①クラブ活動・サークル活動等の課外活動を目的として通学する場合、②学校帰りにアルバイルデ、通動する場合、③資格取得等のために指定学な以外の予備は、第学学校、通学する経合、②学校開発には、通学と開奏車券者が通常に合理的であると認かた場合を解除。)には購入することはできない。 ・通学定期券を開入する際には、通学定開乗車券発行控を販売窓口に提出するとともに、学生証を提示しなければならない。 ・住所変更等により、通学定開乗車券発行控の配載事項に変更が生した場合や、通学定開乗車券発行控を優別といる場合は、速やかに所属の学部の研究科)の教務担当係に適け出なければならない。 ・通学定期乗車券発行控を使用する必要がなくなった場合は、速やかに所属の学部(研究科)の教務担当係に適け出なければならない。 ・通学定期乗車券発行控を使用する必要がなくなった場合は、速やかに所属の学部(研究科)の教務担当係に適け出なければならない。 ・通学定期乗車券発行控を使用する必要がなくなった場合は、速やかに所属の学部(研究科)の教務担当係に適け出なければならない。 ・通学定期乗車券発行控を使用する必要がなくなった場合は、速やかに所属の学部(研究科)の教授担当係に適けなりませんない。 ・通学定期乗車券発行控え、他人に貸与又は譲渡することはできない。

△通学証明書に関する注意事項

通学証明書を不正に使用し、通学定期券を購入した場合、本人が規定の数倍の追 徴金等の罰を受けるだけでなく、本学に在籍する学生が通学定期券を購入できなく なることもありますので、くれぐれも不正利用がないようにしてください。

不明な点等があれば、教務係もしくは教育・学生支援部教育企画課学務係まで問い合わせてください。

3. 学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証) について

JR各社の片道の営業キロが100kmを超える場合、学校学生生徒旅客運賃割引証(以下「学割証」という)を使用することにより割引普通乗車券を購入できます。学割証は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されている制度です。

したがって、学生個人の自由な権利としてあるわけではなく、使用目的、使用枚数には制限が あります。

学割証の利用にあたって

学割証は証明書自動発行機より1日3枚まで取得可能です。使用枚数は、一人あたり年間10枚となっており、有効期限は発行日から3ヶ月となっていますので、計画的に利用してください。なお、上限を超える枚数が必要な場合は、教務係に相談してください。

△学割証に関する注意事項

学割証の使用目的は①正課教育、②課外活動、③就職・受験、④帰省、⑤見学、⑥傷病治療、⑦保護者旅行随伴等に限られます。

なお、学割証の使用は記載名義人のみに有効です。他人等に貸与し使用させる等、不正に使用した場合は、懲戒の対象となるだけでなく、大学で学割証を発行できなくなるなど、多くの学生に迷惑をかけることになりますので、不正使用をしないようにしてください。 また、発行された学割証に加筆修正することはできません。

4. 証明書の発行について

証明書が必要となった場合は、学内に設置されている証明書自動発行機や教務係で発行することができます。

証明書自動発行機や教務係で発行する証明書は、下の表のとおりです。

なお、教務係窓口での証明書の発行は、教務係備え付けの申請用紙で申請してください。

また、教務係窓口での証明書発行は、原則として3日[資格関係の証明書や特別な証明書については7日]要しますので、余裕をもって申請してください。

*発行に要する日には、土・日・祝日を含んでいませんので注意してください。

証明書自動発行機で発行するもの

- ●在学証明書
- ●成績証明書
- ●卒業見込証明書(学部)【最終学年次のみ】
- ●修了見込証明書(博士前期(修士)課程)

【最終学年次のみ】

- ●学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)
- ●健康診断書
- *健康診断証明書は個人によって証明書自動発行機から出力されない場合があります。その場合、詳しくは各キャンパスのキャンパスライフ健康支援センターに問い合わせください。
- ●卒業証明書·修了証明書 *
- *卒業証明書・修了証明書は、卒業・修了日の 翌日から月末まで証明書自動発行機で発行 することができます。それ以降は教務係で発 行しますので、手続きを行ってください。

教務係で発行するもの

- ●卒業証明書・修了証明書(卒業・修了月の翌月以降)
- ●退学証明書
- 博士後期課程の単位修得退学証明書
- ●博士後期課程の修了見込証明書
- ●通学証明書(通学定期乗車券発行控)
- ●教職課程単位修得証明書(学力に関する証明書)
- ●教育職員免許状取得見込証明書
- ●学芸員単位修得証明書
- ●研究生・科目等履修生・特別聴講学生 特別研究学生に関する証明書 (在学証明書・成績証明書・終了証明書等)
- ●その他(上記以外の証明書)
- *上記以外の証明書の発行については、教務係に相談してください。

※英文証明書も発行できます。ただし、学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)など一部の証明書を除きます。

証明書自動発行機の利用に関して

- ●本学の学部から博士前期(修士)課程に、また博士前期(修士)課程から博士後期課程に進学した学生は、学部や博士前期(修士)課程の証明書も発行できます。
- ●証明書の記載(氏名等)に誤り、疑義がある場合は、教務係に申し出てください。
- ●厳封する必要がある場合は、教務係に申し出てください。
- ●証明書自動発行機での証明書発行は、紙づまり防止のため1回につき10枚までとしてください。

【設置場所等】※詳しい場所等は本学ホームページ等で確認してください。

キャンハ。ス	設置場所(台数)	利用時間
# +	豊中学生センター2階ホール (2台)	8:30~17:00
豊中	全学教育推進機構 管理・講義A棟2階教務係前(1台)	8:30~17:00
	工学部管理棟U1M1階 教務係窓口横(2台)	9:00~17:00
吹田	吹田学生センター1階 ホール (1台)	8:30~17:00
	医学部医学科 共通棟1階 玄関(1台)	8:30~17:00
箕面	外国学研究講義棟 2階就職情報コーナー横	8:30~20:00

5. 学務情報システム (KOAN) について

大阪大学では授業の履修登録、住所登録、シラバス検索、掲示確認、休講・補講確認、アンケート回答等をKOANから行うことになっています。以下の要領で入学後配付される大阪大学個人IDを入力しログインしてください。

本学の学部から博士前期(修士)課程に、また博士前期(修士)課程から博士後期課程に進学 した学生は、進学前の大阪大学個人IDを引き続き使用できます。

KOANログイン方法

- ① マイハンダイ (URL: https://my.osaka-u.ac.jp/) にアクセスします。
- ② 認証画面が表示されますので、自分の大阪大学個人 I D とパスワードを入力して「ログイン」 ボタンをクリックしてください。
- ③ ログインするとマイハンダイの画面が表示されます。ショートカットの「KOAN」アイコン をクリックするとKOANのページに移ります。
- ④ ログイン直後にKOANの「個人ポータル」と呼ばれる画面が表示されます。この画面では、 各種情報の集約が表示されています。
 - ※KOANでは休講・補講・掲示情報をメールでお知らせすることがあります。KOANからのメールは、大阪大学から全学生に配付されているメールアドレスに送信されます。 掲示板のメール通知は、掲示板作成者が必要と判断した場合にのみ送信されます。
 - ※メールは、転送設定が可能で携帯電話や自宅のパソコンで確認することもできます。転送の 設定方法など詳細については、下記リンク先に掲載していますので、確認のうえ設定を行い、 確実に受信できるようにしてください。

(URL: https://koan.osaka-u.ac.jp/portal/manual/student/mail/html/tensou.html)

※その他、KOANの詳しい操作方法については、Webマニュアル(下記リンク先)を参照してください。

(URL: https://koan.osaka-u.ac.jp/portal/manual/student/man/j/g-kidou.htm)

6. 学生への連絡・住所および連絡先の変更について

大学からの連絡は、原則として掲示板(KOANや下記の文学部・文学研究科等の掲示板)により行われますので、必ず確認するようにしてください。

一度掲示した事項は周知されたものとして取り扱いますので、<u>見落としたために生じる不都</u> **合・不利益は学生自身の責任となります。**

授業料免除や奨学金の申請など、受付期間等が決められている場合は、<u>期間終了後の受付は一</u> <u>切認められません</u>ので、特に注意が必要です。

なお、文学部・文学研究科の掲示板の設置場所は、下記の設置場所一覧のとおりです。

また、緊急連絡や書類の送付などの必要が生じた場合には、届けられている住所・電話番号等 に連絡をすることがあります。

そのため、在学中に自身の住所・電話番号、保護者や緊急連絡先の住所・電話番号が変更になった場合には、KOANで速やかに変更を行ってください。

また、在学中に改姓や転籍が生じた場合については、教務係まで速やかに届け出てください。

【文学部・文学研究科教務係窓口開室時間】

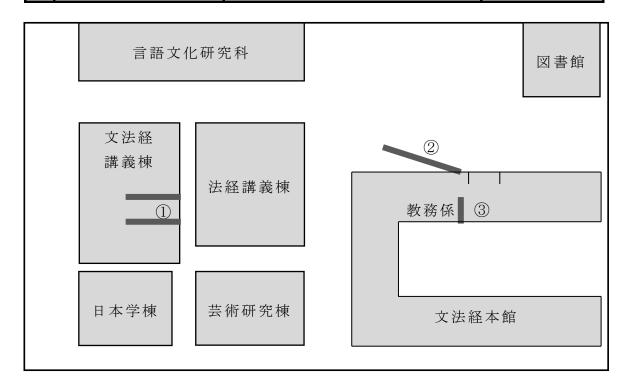
9:00~11:30及び12:30~17:00 (土日祝日を除く) ※大学行事等により事前に予告の上、閉室することがあります。

⚠注意!!

大学の職員の名をかたって皆さんの現住所を問合せるようなことが多発していますので、 そのような問合せがあった場合には、住所等を教えずに、職員の所属・氏名と連絡先を確認 した上、学生センター (06-6879-7162) まで連絡してください。

【文学部·文学研究科 揭示板設置場所一覧】

	設置場所	掲示内容	管理部署
1	文法経講義棟1階 入口ホール	 1) 教室関係 2) 時間割関係 3) 授業関係 4) レポート・試験関係 	教務係
		 1) 奨学援助関係 2) 資格関係 	教務係
2	文法経本館前	3) 就職関係4) 教育支援室からのお知らせ	教育支援室
		5) 留学関係 6) 国際連携室からのお知らせ	国際連携室
		7) 研究推進室からのお知らせ	研究推進室
3	文学部(文学研究科) 教務係前	 事修決定等の発表 その他 	教務係



7. 休学・退学等について

在学中にやむを得ない事由により修学が困難になり修学を休止(休学)する場合、進路変更等により退学することになった場合は、文学部長・文学研究科長に許可を得て休学、退学をすることができます。

休学などの学籍の異動手続きは、願い出の内容を審議するなど、時間を要しますので、そのような事由が生じた場合には、原則として、異動日の2ヶ月前から1ヵ月前の期間内に教務係で手続きを行なってください。

また、休学や退学等についての相談は、教務係や教育支援室で行っていますので、気軽に相談してください。

8. 除籍・復籍について

大阪大学では、授業料を5月と11月の2期に分けて納入することになっており、所定の授業料の納入を怠り、督促をうけてもなお授業料を納入しない学生については、大学は除籍することができると規定しています。(学部学則第32条、大学院学則第33条を参照してください。)

このことから、本学では年度末において授業料を納入していない学生について、当該年度末を もって除籍をしています。除籍は、本学に在籍できなくなるという極めて重い処分でありますの で、授業料はすみやかに納入してください。

なお、授業料未納により除籍となった学生の救済措置として、除籍措置を受けた後の適当な期間を定め、その期間内において未納の授業料を納入することを条件として、復籍できることとしています。

また、授業料の納入については、p. 11「13.授業料の納入について」で確認してください。

9. 海外留学について

大阪大学では、交換留学(派遣)を含む学部生・大学院生の留学を推進しており、多くの海外の大学と交流協定を締結しています。大阪大学が交流協定を締結し、授業料不徴収の取り決めを結んでいる海外の大学へ交換留学した場合、大阪大学に在籍した形での留学となり、大阪大学に授業料を払うことから、留学先大学での授業料を支払う必要はありません。

交換留学できる大学の概要については、協定校の留学情報などをとおして調べることができます。なお、文学部・文学研究科では留学を推進するために国際連携室を設置し留学のサポートを行っています。

留学先で取得した単位の認定を希望する場合は、留学前に指導教員と相談の上、教務係に「留学計画書」を提出し、留学後に単位認定申請を行ってください。

留学に必要な語学力やスケジュールなどを詳しくまとめた留学に関するパンフレットを作成し、 教務係窓口等で配布しています。詳しくは、国際連携室の案内(p. 23)を確認してください。

【海外渡航届システム】 URL: http://osku.jp/m0783

公私にかかわらず、海外に出かける場合は、上記URLより必ず渡航情報を登録してください。

10. 授業に関すること

(1) 授業時間帯について

2021年春・夏学期は時間帯が通常と違いますので留意してください。

時限	授業時間帯(2021 年春・夏学期)	授業時間帯 (通常時間割)
1	8:50 ~ 10:20	8:50 ~ 10:20
2	$10:30 \sim 12:00$	10:30 ~ 12:00
3	$13:30 \sim 15:00$	13:00 ~ 14:30
4	$15:10 \sim 16:40$	14:40 ~ 16:10
5	$16:50 \sim 18:20$	16:20 ~ 17:50
6	$18:30 \sim 20:00$	18:00 ~ 19:30

(2)授業に関する連絡方法について

授業に関する連絡方法については、「6.学生への連絡・住所および連絡先の変更について」のとおり、原則として掲示板(KOANや文学部・文学研究科の掲示板)により行われます。

(3) 気象警報の発表時等における授業の取扱いについて

1. 気象警報発表時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市のいずれか又はこれらの市を含む地域」に「暴風警報」、又は「特別警報*」が発表された場合、授業を休講とします。

なお、当該発表が授業開始後の場合は、次の時限の授業から休講とします。

*「特別警報」については内容を限定せず、すべての「特別警報」を対象とします。

2. 公共交通機関の運休時の取扱い

災害により、通学路線のうち以下の公共交通機関のいずれかが運行の休止又は運転の見合せ (以下、「運休」という。)となった場合(一部区間の運休を含む)、当該キャンパスで開講す る授業を休講とします。

- ①豊中キャンパス 阪急電車(宝塚線:梅田-宝塚間)又は 大阪モノレール(全線)
- ②吹田キャンパス 阪急電車(千里線:梅田/天神橋筋六丁目-北千里間)又は 大阪モノレール (全線)
- ③箕面キャンパス 大阪メトロ (御堂筋線 (北大阪急行路線含む):梅田-千里中央間) 大阪モノレール (全線)

ただし、事故等による一時的な運転見合せについては、休講とはしません。

3. 気象警報又は公共交通機関運休の解除時の取扱い

気象警報又は公共交通機関の運休が解除された場合の取扱いは次のとおりとします。

警 報 解 除 時 刻	授業の取扱い
午前6時以前に解除された場合	全日授業実施
午前9時以前に解除された場合	午後授業実施
午前9時を経過しても解除されない場合(※)	全日授業休講

- 注1 連合小児発達学研究科については、別途当該研究科からメールにより取扱いを連絡します。
- 注2 解除の確認は、テレビ・ラジオ・インターネット等の報道によるものとします。

4. 地震発生時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市」のいずれかで震度5強以上の地震が発生した場合、その日の授業を休講とします。ただし、地震の発生が午後5時15分以降の場合は、翌日の授業も休講とします。

また、地震が当該地域以外で発生した場合又は震度5強未満の場合は、公共交通機関の 運行状況に応じて対応することとし、上記2の取扱いに従うこととします。

5. 災害に伴う避難勧告又は避難指示発令時の取扱い

大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市」のいずれかの市から、災害に伴う避難勧告 又は避難指示(以下「避難勧告等」という。)が発令された地域(以下「避難地域」という。) に所在する部局においては、授業を休講とする場合があるので、部局からの連絡に従って ください。

6. その他

- (1) この取扱いに該当しないため授業を実施する場合であっても、学生の皆さんの居住地域 又は通学経路にある地域で、上記1と同様の気象警報が発表された場合、上記4と同様の地 震が発生した場合、上記2以外の公共交通機関が運休した場合等やむを得ない事情により授 業を欠席した場合は、履修上不利益とならないよう配慮しますので、授業開講部局又は所属 部局の教務担当係に申し出てください。
- (2) 気象警報の発表、公共交通機関の運休又は避難勧告等の発令が事前に予想される場合、 又は緊急に休講措置の必要が生じた場合は、大学ホームページ又は KOAN において通知しま す。

(4) 授業および試験の欠席について

疾病、負傷、または忌引き等下記の事由に該当するやむを得ない理由により、授業を欠席 してしまった場合には、後日できるだけ早く授業担当教員に申し出てください。

欠席事由	配慮される期間
学校感染症(学校保健安全法施行規則第18条に	学校保健安全法施行規則第19条
規定する感染症)を罹患したことにより出席停止	に規定する出席停止の期間
の措置を受けた場合	
親族(2親等以内)が死亡した場合	配偶者・1親等…死亡日から起算し
	て連続7日以内、2親等…死亡日か
	ら起算して連続3日以内
「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基	裁判所に出頭した日
づく裁判員の選任手続きのため及び裁判員の職務	
に従事するため裁判所に出頭した場合	
居住地及び通学経路に係る特別警報が発令された	特別警報が発令された日
場合	
教職課程の「教育(養護)実習」及び「介護等の	「教育(養護)実習」及び「介護等
体験」に参加する場合	の体験」の期間

(5) 履修登録について

KOANにより、下記の期間内に履修登録を行ってください。

※期間は予定ですので、変更する場合があります。詳細についてはKOAN掲示板にて周知しますので、必ず学期ごとに確認してください。

		春学期	夏学期	秋学期	冬学期
		4/1	6/11	9/24	12/3
文学部・	履修登録期間	\sim	\sim	\sim	\sim
文学研究科		4/22	6/17	10/14	1 2/9
開講科目		4/23	6/25	10/15	$1\ 2/1\ 7$
	履修取消期間	\sim	\sim	\sim	\sim
		4/29	7 / 1	10/21	12/23

		春学期	夏学期	秋学期	冬学期
		4/8	6/11	9/24	1 2/3
他部局	履修登録期間	\sim	\sim	\sim	~
開講科目		4/16	6/17	10/8	1 2/9
河岬行口		4/23	6/25	10/15	$1\ 2/1\ 7$
	履修取消期間	\sim	\sim	\sim	\sim
		4/29	7/1	10/21	1 2/2 3

【授業科目の分類及び名称】

- ・春、夏、秋、冬学期の区分ごとに開講する授業科目: ターム科目
- ・春~夏学期又は秋~冬学期の区分ごとに開講する授業科目: セメスター科目
- ・春学期~冬学期にわたり開講する授業科目: 通年科目

【履修登録上の注意】

- ●同一曜日・時限の科目を重複して登録することは原則としてできません。
- ●履修登録をせず受講した授業科目の成績は認定されません。
- ●全学共通教育科目の履修方法等については、全学教育推進機構の指示に従ってください。
- ●集中講義についても、開講される学期の履修登録期間内に登録してください。
- ●その他、不明な点があれば教務係まで問い合わせてください。

(6) 履修取消について

学期ごとに定められた履修取消期間に、当該授業科目に係る履修登録を取り消すことができます。履修登録を取り消した授業科目については、学期GPA及び通算GPAの算出から除外します。GPAに関する詳細は、p. 27「(3) グレード・ポイント・アベレージ制について」を参照してください。

なお、GPA制度の適用は、平成26年度以降入学の学部学生に限ります(学士入学者を除く)。

(7) 成績について

各学期に履修した成績は所定の期日からKOANにより確認できますので、必ず確認をしてください。なお、期日等については掲示等により通知します。

(8) 成績疑義申し立てについて

成績評価について疑義がある場合は、所定の期間に限り、確認の申立てを行うことができます。

なお、申請期間以外での申立は認められません。

申請期間・手続き等、詳細については学期末にKOAN掲示板にて通知いたします。

(9) レポートの提出について

文学部・文学研究科の科目に係るレポートについては、CLE (授業支援システム)または文学研究科教務係窓口(文法経本館1階)設置のレポートボックスへの提出となります。レポートボックスに提出する場合は必ず「レポート票」(教務係窓口にて配布。KOANの掲示板でも入手可)を添付してください。「レポート票」の添付がないレポート及び提出期間後のレポートについては、原則として受理しません。

また、レポートの提出期限等は担当教員または掲示で確認してください。

(10) 国内協定大学での単位修得について

神戸大学(文学部・人文学研究科)、大学コンソーシアム大阪、放送大学との間で単位互換協定を結んでいます。このことにより、神戸大学(文学部・人文学研究科)、大学コンソーシアム大阪に加入する大学等、放送大学が提供する授業科目を履修できます。

この制度により修得した単位の中で、文学部・文学研究科で認められた単位については、卒 業(修了)の単位に認められます。

なお、履修方法等の詳細については、KOAN掲示板にてお知らせします。

11. 文学部(文学研究科)の教員のオフィスアワーについて

文学部(文学研究科)では、専任教員のオフィスアワーを設けています。各教員のオフィスアワーについては、文学研究科のホームページで公開していますので、確認の上、利用してください。 文学研究科ホームページ: http://www.let.osaka-u.ac.jp

12. 美術館・博物館等のキャンパスメンバーズについて

教育理念としての「教養」を重視している大阪大学は、文化や芸術、科学や歴史に広く自由 に接する機会を学生や教職員に提供しようとしています。文化的豊かさに恵まれた関西の各所 に、大阪大学のキャンパスの延長として無料入場が可能となる施設を広げています。

学生証の提示により無料で何度でも入場できますので、とくに学生のみなさんが一人でも多くこうした施設を訪れ、一生の経験となるような作品や歴史に出会うことを望みます。

なお、利用可能施設等の詳細については、本学ホームページを確認ください。

13. 授業料の納入について

授業料及び納入時期は下記のとおりです。

	年額 535,800円				
授業料	前期分	後期分			
	267,900円	267,900円			
口应长井口	5月27日(金融機関が休業日の場	11月27日(金融機関が休業日の			
口座振替日 合は翌営業日)		場合は翌営業日)			
銀行振込期限	5月末日まで	11月末日まで			

- ●授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ●口座振替の方には引落しのお知らせ(ハガキ)を、振込の方には振込依頼書(ハガキ)をそれぞれ、前期分は5月中旬頃、後期分は11月中旬頃に学生本人住所へ送付します。
- ●納入方法等について不明なことがありましたら、財務部資金管理課収入係(電話 06-6879-7055)、 または、教務係にお問い合わせください。
- ●休学時や退学時の授業料の取り扱いについては、教務係にお問い合わせください。

学生教育研究災害傷害保険について

「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」は、国内外における教育研究活動中に学生が被った「けが」に対して補償を提供するために設立された保険制度です。

大阪大学では、全ての学生にこの保険に加入を義務付けています。加入がまだの方は、 すぐに加入の手続きをとってください。

1. 対象

学部生、大学院生、研究生、聴講生及び科目等履修生(留学生を含む。)

(大学施設を単に利用するだけの研修生は対象となりません。ただし日本学術振興会特別研究員は対象となります。)

2. 保険金の内容

保険金が支払われる	死亡保険金	後遺障害保険金	医療保険金	入院加算金
事故の範囲				
正課中(授業、実験実習、演習	2,000 万円	程度に応じて	治療日数 1日以上 が対象	1 目につき
等)		120 万円	3,000 円~30 万円	4,000 円
学校行事中		~3,000万円		
通学中	1,000 万円	程度に応じて	治療日数 4 日以上 が対象	1 目につき
学校施設等相互間の移動中		60 万円	6,000 円~30 万円	4,000 円
大学施設内(課外活動を除く)		~1,500 万円		
公認団体が大学に届け出た学	1,000 万円	程度に応じて	治療日数 14 日以上が対象	1 目につき
内外の課外活動中		60 万円	3 万円~30 万円	4,000 円
		~1,500万円		

(平成30年4月以降)

3. 加入方法及び請求方法

《加入方法》

入学手続きの際に「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」とゆうちょ銀行の払込 取扱票を配布しますので、必ず**郵便局またはゆうちょ銀行の窓口で通学中等傷害危険担保 特約保険料を含む下記の金額**を払い込んでください。接触感染予防保険金支払特約には対 応していません。

※ 誤った金額を振り込まれた場合、加入手続きが取れず、この保険の対象となる「けが」であっても保険金の支払いができません。必ず、所属学部(研究科)及び学年に対応した金額を払い込んでください。

所属	文・人・外・法・経・理・医(保健)・薬(薬科・創成薬)・工・ 基礎工・言文・国際公共・情報・高等司法*・連合小児						
学年	学部	大学院 (前期・修士)	大学院 (後期・博士)				
1	3, 300	1, 750	2,600				
2	2,600	1,000	1,750				
3	1,750		1,000				
4	1,000						

所属	医(医	医(医・医科)・歯・薬(薬・医療薬)				
)\(\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	大学院		大学院		
学年	学部	(修士医のみ)	(後期・博士)	(博士)		
1	4, 700	1,750	3, 300	4,050		
2	4, 050	1,000	2,600	3, 300		
3	3, 300		1,750	2,600		
4	2,600		1,000	1,750		
5	1,750			1,000		
6	1,000					

^{*}高等司法は、別途法科賠保険料を上乗せする。

《事故の通知》

保険事故が発生したときは、ただちに事故の日時・場所・状況・傷害の程度を事故 通知ハガキにより保険会社へ通知する必要があります。事故の日から30日以内に通 知のない場合は、保険金が支払われないことがあります。

事故通知ハガキは、大学生協の保険窓口に取りに来てください。記入したハガキは、 大学生協の保険窓口から保険会社へ送付します。

《保険金の請求》

請求に必要な書類は大学生協の保険窓口で渡します。記入・作成のうえ、大学生協の保険窓口に提出してください。

※学生教育研究賠償責任保険(学研賠)について

正課・学校行事中やインターンシップ(大学が承認したものに限る)・介護体験活動・教育実習・保育実習及びその往復中に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりしたことによる法律上支払わなければならない損害賠償金を補償する保険です。

学研賠へは、「学研災」へ先に加入していなければ、加入することができません。加入希望者は必ず「学研災」に加入していることを確認のうえ、大学生協の保険窓口で必要書類を受け取り、郵便局で保険料を払い込んでください。

4. 窓口

豊中生協事務所 (豊中キャンパス豊中福利会館4階) 吹田工学部生協事務所 (吹田キャンパスセンテラス2階) 箕面生協事務所 (箕面キャンパス外国学研究講義棟3階シャンティショップ内)

5. 問い合わせ先

大阪大学 生活協同組合 総務部(豊中福利会館4階) 06-6841-3326

6. ホームページ

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/general/insurance.html

授業料(入学料)の免除等制度について

本学では、奨学支援の一環として、本人の申請に基づき選考等のうえ、予算の範囲で授業料(入学料)の免除が認められる制度や、納入期限が猶予される制度等があります。各制度で定める申請対象や申請条件等に該当する場合は、これらの制度を申請することにより、授業料等の全部または一部の納入額が免除される(納入期限が猶予される)可能性がありますので、経済的理由や家庭の事情等により納入が困難な状況にあるときは、本学のホームページに掲載するこれらの制度の案内や情報をよく確認のしてください。

なお、授業料(入学料)の免除等制度への申請を希望される場合には、所定の期限までに申請手続を行うようにしてください。

- (注1)授業料免除等の申請については、前期(4月から9月まで)分、後期(10月から翌年3月まで)分のそれぞれの期の授業料ごとに免除を決定します。
- (注2) 入学料免除等の申請については、入学時に限り申請可能です。

1. 申請対象・申請条件

(1) 学部学生の授業料(入学料)免除

高等教育修学支援制度(「大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第八号)」)の支援対象者の要件に該当し、日本学生支援機構給付奨学金に採用されている方(採用予定の方又は所定の期限までに申請を行う方を含む。)は、授業料等免除の申請を行うことができます。学部学生で授業料等免除の申請を希望される方は、高等教育修学支援制度の支援対象者の要件に該当するか否かを必ず確認してください。なお、高等教育修学支援制度とは別に、本学が申請対象として認める方については、大阪大学独自の支援制度として実施する授業料免除に申請できる可能性があります。詳細は大阪大学ホームページの情報を確認するようにしてください。

《高等教育修学支援制度授業料等減免に関する留意事項》

- 1) 高等教育修学支援制度は、原則として日本学生支援機構給付奨学金を申請し採用 され受給する者に対し、大阪大学が授業料の減免を認定する制度となりますので、 同制度による授業料免除の申請を行う場合には、授業料免除の申請とは別に、日本 学生支援機構給付奨学金の申請手続も別途行わなければなりません。
- 2) 高等教育修学支援制度の支援対象者の要件に該当し、支援を受ける権利があるに も関わらず、期限までに所定の申請手続を行っていない場合には、せっかくの支援 が受けられず自身の不利益となる可能性がありますので、現時点で支援対象者の要 件に該当しない場合であっても、同制度の支援対象者に該当するか否かについては、 在籍中の各期において必ず確認を行うようにしてください。

(2) 大学院学生の授業料(入学料) 免除

以下の要件に該当する方は、大阪大学独自の支援制度として実施する授業料免除に申請することができます。詳細は大阪大学ホームページの情報を確認するようにしてください。

- ①経済的理由によって納入が困難であり、学力基準を満たす方。
- ②授業料免除については、前後期各期の授業料の納入前 6 ヶ月以内(新入生に限り納入前 1 年以内)に、出願者の主たる学資負担者が死亡又は出願者本人もしくは出願者の主たる学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納入が困難であると認められる方。入学料免除については、入学前 1 年以内において、出願者の主たる学資負担者が死亡又は出願者本人もしくは出願者の主たる学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納入が著しく困難であると認められる方。

(3) 入学料収納猶予・授業料収納猶予・授業料分納

大阪大学独自の支援制度として実施します。詳細は大阪大学ホームページの情報を確認するようにしてください。

2. 申請方法等

高等教育修学支援制度、大阪大学独自の支援制度のいずれの制度も、申請方法、申請期間、提出書類等については、次のとおり、各年度各期に大阪大学ホームページに掲載する「申請要項」にその詳細を記載してお知らせしますので、申請を希望される場合は必ず確認のうえ申請を行ってください。

- ○前期(4月から9月まで)分授業料免除(4月入学者の入学料免除)申請 「申請要項」の掲載:前年度2月末頃(予定)
- ○後期(10月から翌年3月まで)分授業料免除(10月入学者の入学料免除)申請 「申請要項」の掲載:当年度8月末頃(予定)

3. 問い合わせ先

吹田学生センター (ICホール1階) 電話:06(6879)7088・7089

4. ホームページ

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/remission

日本学生支援機構奨学金(外国人留学生を除く)について〈貸与・給付〉

日本学生支援機構奨学金は、学業、人物ともに優れ、かつ、健康であって、経済的理由 により学資の支弁が困難と認められる方が受給できる制度です。貸与型奨学金は返済の義 務があり、必ず返済しなければなりません。給付型奨学金は原則返済の義務はありません。

1. 奨学金の種類と貸与月額

【貸与】 (2020年12月時点)

奨学金の種類			貸	与	月	額
大学「第一種」奨学金	自宅通学	20,000円、	30,000) 円、	45, 00	0円のいずれかを選択
(無利子)	自宅外通学	20,000円、	30,000	円、	40,00	0円、51,000円のいずれかを選択
大学「第二種」奨学金	20,000 円~120	0,000円(10	, 000 円	単位)から	希望する金額を選択
(有 利 子)						
大学院「第一種」奨学金	博士前期(修士	士) 課程	50,00	0円、	88, 0	00 円のいずれかを選択
(無利子)	博士後期(博士	上) 課程	80,00	0円、	122,	000 円のいずれかを選択
大学院「第二種」奨学金	50,000 円、80,	000円、100,	000円	, 130	, 000 F	円 150,000 円の中から希望する金
(有 利 子)	額を選択					

- (注1)下線付きの月額は、2018年度入学者から新たに選択できるようになった月額です。2017年度 以前入学者は選択できません。
- (注 2) 第二種奨学金に採用された方は、卒業・修了後、奨学金を返還する際、利子を附加した額 を返還することになります。なお、利率は年3%を上限とし、変動します。
- (注3)大学院において第一種奨学金の貸与を受けた方で、在学中に特に優れた業績を挙げた方と して認定された場合、奨学金の返還が免除される制度があります。

【給付】 (2020年12月現在)

奨学金の種類		貸 与 月 額
大学「給付」奨学金	自宅通学	第Ⅰ区分:29,200円(33,300円)、第Ⅱ区分:19,500円
R2 年度~		(22, 200円)、第Ⅲ区分:9, 800円(11, 100円)(注 2)
(世帯の所得金額に基づく区分)	自宅外通学	第Ⅰ区分:66,700円、第Ⅱ区分:44,500円、
		第Ⅲ区分:22,300円
大学「給付」奨学金	自宅通学	2万円(0円)(注3)
※H29~31 年度に採用された方	自宅外通学	3万円(2万円)(注3)

- (注1) 給付奨学金は、「学部生」のみが対象です。大学院生は申請できません。
- (注 2) 生活保護世帯(受けている扶助の種類を問いません。)で自宅から通学する人及び児 童養護施設等から通学する人等は、カッコ内の金額となります。
- (注3)授業料全額免除の場合はカッコ内の金額となります。

2. 奨学金の申請について

入学前に貸与型奨学金【予約採用】申請済みの方は、4月上旬に採用候補者決定通知書を大学に提出してください。入学後に貸与型奨学金【在学採用】申請を希望する方は、4月中旬までに手続きを行ってください。詳細は、大阪大学ホームページ(Google、Yahoo等で[大阪大学 奨学金]と検索、または下記URL参照、3月下旬更新)を確認してください。※給付型奨学金(学部生対象)は、入学前に高校等で申請する予約採用のみです。入学後の採用【在学採用】は行っていません。

【窓口】

豊中学生センター(豊中キャンパス)

【問い合わせ先】

豊中学生センター奨学金担当 (gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)

【大阪大学ホームページ】

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar 日本学生支援機構奨学金に関する情報を掲載しています。

地方公共団体及び民間奨学団体奨学金(外国人留学生を除く)について

地方公共団体及び民間奨学団体奨学会による奨学金(以下、「各種奨学金」という。)は、 学業、人物ともに優れ、かつ、健康であって、経済的理由により学資の支弁が困難と認め られる方に給与もしくは貸与される制度です。

学生センターで取り扱っている各種奨学金は、「候補者を選考し大学から推薦する奨学金」と「希望者が直接出願する奨学金」があります。

「候補者を選考し大学から推薦する奨学金」については、推薦人数に限りがあり、また それぞれの奨学会での推薦基準があるため、必ずしも申請者全員が推薦候補者になるとは 限りません。

また、民間奨学団体等奨学会の奨学生に採用されると、在学中のみならず卒業後も民間 奨学団体等との関係は続きます。大阪大学から推薦されたという自覚を持ち、向学心をさらに高め、交流会、面談、研修会への出席や、生活状況調書、成績表、奨学金受領書の提出など、奨学生としての義務を果たさなければなりません。これらの義務を怠った場合、辞退や採用取り消しとなる場合もありますので、十分に考慮の上、申請してください。

1. 対象者

奨学金の種類により異なります。

2. 申請方法

◆候補者を選考し大学から推薦する奨学金

大学からの奨学生候補者は、登録者から選考します。

登録要項をダウンロードのうえ、要項で指定している受付期間内に申請してください。 詳細は、当該期の「民間団体等奨学生推薦候補者登録要項」(以下、「登録要項」)を参照してください。

「登録要項」は、12月下旬から、大阪大学ホームページよりダウンロードできます。

推薦までの流れ 1 2月下旬~ 「登録要項」ホームページ掲載 2月下旬~ 登録受付期間 3 月 (登録要項にて指定された期間に申請してください。) ↓ 4月~6月 佐補者選考、推薦期間

◆希望者が直接出願する奨学金

大学に募集案内があった場合、その都度KOAN掲示板にてお知らせします。 地方公共団体奨学金については、本学に募集案内が来ない場合があるので、直接、出 身地等の教育委員会等へ照会してください。

(候補者にのみ、吹田学生センターから連絡します。)

3. 間い合わせ先

吹田学生センター (ICホール1階) 電話:06 (6879) 7084

4. ホームページ

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar/gov n private

ハラスメント防止への取り組み

大学キャンパスは学部生、大学院生、研究生、科目等履修生をはじめとする各種学生、非常勤講師を含む教員、非常勤職員を含む事務職員、さらに厚生施設で働く人々など大学で学び働くすべての人々を構成員とするコミュニティです。ここは、構成員全員が平等に能力を発揮し、対等にコミュニケーションのできる場所でなくてはなりません。

私たち大阪大学文学部・文学研究科では、このような認識に立って「ハラスメント問題委員会」を組織し、ハラスメントを防止するための啓発活動を行っています。また、委員会では委員長及び副委員長を除く委員全員が相談員としてセクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメントについての相談に応じています。相談に際しては、相談者のプライバシーを固く守り、相談者の意思に応じて、事実関係の確認・調査、調停、学部長・研究科長へ適切な措置・処分を要請することなど、迅速な対応をします。

学生生活の中で不幸にして上記のハラスメントの被害にあうなどの問題があった場合は、一人で悩まず、友人などにも相談するとともに、困難を解決するために相談員に相談してください。

どういうことがハラスメントに該当するか、どう対処すればよいのかなどの詳細については、リーフレット「やめよう・とめよう ハラスメント」をご覧ください。リーフレットはガイダンス時に配布するほか、教務係の窓口前にあります。

ハラスメント相談室

大阪大学では全学対象のハラスメント相談室を豊中、箕面および吹田のキャンパスに開設しています。文学部・文学研究科の委員会に相談しにくいと思ったときは、ここに相談することができます。この相談室では、専門相談員(カウンセラー)と全学相談員が電話や面談で相談を受け付けています。相談員は、相談者の名誉やプライバシーを固く守ります。ハラスメントの被害にあったり、みかけたりした場合は遠慮なく相談してください。詳しくは、ホームページをご覧ください(大阪大学ホームページ http://www.osaka-u.ac.jp/→大学案内→学生生活→ハラスメントの防止等→ハラスメント相談室、と進んでアクセス)。

研究推進室の案内

研究推進室は文学部・文学研究科の研究面でのサポートを担当しています。

具体的には、隣接する学生自習室、印刷・製本室の管理運営のほか、学術情報収集発信の場として、図書・雑誌にかかわる業務、『大阪大学大学院文学研究科紀要』・『待兼山論叢』の刊行にかかわる業務、教員研究員公募・研究助成関連の情報提供、科学研究費助成事業や日本学術振興会特別研究員への応募のサポート、若手研究者の学会発表等を奨励する補助事業、主に大学院生を対象とした外国語論文発表補助事業(校閲費補助)なども行っています。

場所:文法経本館1階北側(文学部側正面玄関を入って左側)

開室時間:月曜日~金曜日 9:45~17:00

HP: http://www.let.osaka-u.ac.jp

学生自習室

場所:研究推進室東側

開室時間:月曜日~金曜日 10:00~17:00

(土曜日、日曜日、祝日は閉室。夏季休業期間や年末年始、入学試験の前日等も、 臨時閉室とすることがあります。)

一般の辞書、事典、図鑑、専門分野に関連する参考図書、最新の寄贈雑誌や購入雑誌なども閲覧でき、落ち着いて学習できるスペースとなっています。資料の一時貸出もできます。貸出期間は、一般図書が1週間、参考図書と雑誌は当日の閉室時間までとなります。

また、自習室内での利用となりますが、貸出用ノートパソコンも備えつけています。 利用される場合は、カウンターへお申し出ください。

印刷・製本室

場所:文法経本館1階北側(学生自習室の向かい側廊下奥)

デジタルフィルムスキャナー、製本機、裁断機、印刷機、紙折機、穿孔機などさまざまな機器類を備えつけています。学生自習室のカウンターで記名の上、鍵の貸出しを受けて使用してください。開室時間は学生自習室に準じます。



学生自習室



印刷·製本室

教育支援室の案内

教育支援室は、文学部・文学研究科の学生の皆さんの学習・生活・就職に関わる情報を提供し、皆 さんの多様な活動をサポートするための部屋です。現在主に次のような活動を行っています。

- ・学習・生活相談の受付
- ・奨学金に関する情報提供
- TA (ティーチング・アシスタント) に関する情報提供
- ・インターンシップのサポート
- ・就職情報誌や求人情報などの就職に関する情報提供
- ・就職のための、面接対策講座、会社説明会などの開催
- ・コンピュータを設置して、学生の皆さんの就職活動などに役立ててもらうこと
- ・大学院進学&キャリアガイダンスの実施
- ・大学院入試問題の閲覧(期間限定)

教育支援室には、常駐の職員がいて、皆さんのお手伝いをし、相談に対応します。スタッフ一同、 学生の皆さんの役に立つ、居心地のよい空間を作り、できるだけきめ細かなサービスをしてゆきたい と考えています。学生の皆さんの利用をお待ちしています。

場所·開室時間

場 所:文法経本館1階(文学部側の正面入口を入って左側にあります。)

開室時間:月曜日、金曜日 9:30~17:00 火曜日、水曜日、木曜日 9:30~19:00

(祝日は閉室)

※夏季休暇など臨時閉室することや、午後5時 以降閉室することがあります。

設 備:学生用パソコン8台(Windows 6台・Mac 2台) /プリンター/ミーティングスペース/ 就職関係の雑誌・書籍/求人票・履歴書・就職ガイドブック/日本経済新聞 書籍の利用:貸し出し期間は1週間です。

HP http://www.let.osaka-u.ac.jp

リサーチ・コモンズ

文法経講義棟1階にリサーチ・コモンズがあり、学習やミーティングに利用することができます。 使用時間は、 $8:00\sim20:00$ です。

※学部生・大学院生が使用責任者となる場合に、利用の1週間前までに申請すれば、学習やミーティング、課外活動のために占有利用をすることができます(ただし、正課授業での利用を優先しますので、申請が認められないこともあります)。詳細については、教育支援室に問い合わせてください。



就職支援事業について

文学部・文学研究科では、教育支援室(文法経本館1階)のなかにキャリア支援部門を設け、学部 生・大学院生の就職活動をサポートするさまざまな事業をおこなっています。

【就活サポート講座】

夏休みをのぞく学期中に、就職情報会社の協力を得て、就職 活動準備のためのセミナーを開催します(基本的に木曜午後)。

- ・ 最新の企業採用状況、就職活動スケジュール設計方法、 OB・OGによる文学部・文学研究科の学生のキャリア 形成体験紹介
- 自己分析と業種・職種研究、前年度内定取得者の体験紹介
- ・ エントリーシート対策
- 面接対策およびグループディスカッション



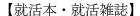
進路オリエンテーション講座

【業界セミナー】

これまで文学部からの採用実績がある企業などに多数参加いただき、各業界についての業務内容や業界の特徴等を説明していただきます。質問にもお答えいただけます。

【求人情報の提供】

文学部・文学研究科に届いた求人票や企業情報を閲覧していただけます。また、就職情報検索のためのコンピュータ端末を設置しています。



最新の会社四季報や業界研究マニュアル、Web 試験・面接対策、 公務員試験・教員採用試験対策に関する書籍・問題集などを貸し 出しています。また、日経新聞も常置しています。



グループディスカッション

随時、教職セミナーや単独の企業セミナーを開催します。イベントは、ポスター等の掲示物で案内するほか、KOAN、就職支援システム、文学研究科ホームページ(http://www.let.osaka-u.ac.jp)に情報をアップします。また同ホームページには、過去の就職実績データも掲載しています。その他、不明な点は教育支援室でお尋ねください。



就活スタートアップ講座

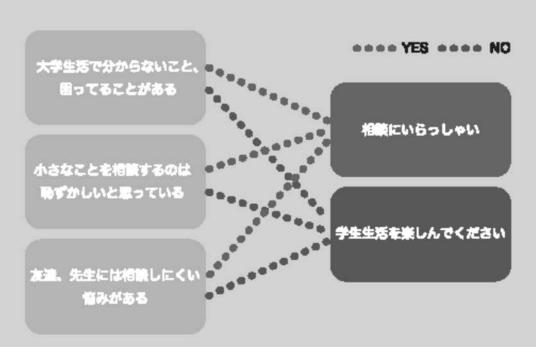


実践!模擬面接

学習・生活相談デスクについて

文学部・文学研究科では、教育支援室(文法経本館1階)のなかに学習・生活相談デスクを設けています。

倒っていることないですか?



学習・生活相談デスクは

あなたの問題解決をお手伝いします どんな小さな相談も受け付け、プライバシーを聞く守ります

バソコンから

文学研究科のホームページ (http://www.ist.osnka-u.ac.jp/js/ campus/ack/on) からアクセス、相 順内容をメール、もしくはフォームから 送着してください。



来室して-

相談用紙に記入し、係に直接手渡すこともできます。





※ * * 学習・生活相談デスク

院全場所: 文学部本館 1 階教育支援室 院会日時: 月~金曜日 9:30~16:00

国際連携室の案内

国際連携室は、学生の国際交流に関わる業務を担当しています。

海外からの学生受入れについては、留学生の日本での学生生活をサポートしています。また、留学生だけでなく、文学部・文学研究科の学生が参加できる行事も実施しています。

学生の海外派遣については、以下の交換留学や語学研修などをご案内しています。パンフレットも お渡しできますのでご活用ください。

●交換留学制度

大阪大学または文学部・文学研究科が学生交流協定を締結している大学への交換留学です。

○大学間協定校

大阪大学と学生交流協定を締結した大学一覧(約134件)は以下のページでご確認いただけます。 http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/action/exchange

○部局間協定校

文学部・文学研究科と学生交流協定を締結した大学

イギリス	マンチェスター大学 人文学部
イギッス	イーストアングリア大学
イタリア	ウーディネ大学 法学部
オランダ	グローニンゲン大学 人文学部
スウェーデン	ウプサラ大学 神学部 *博士前期・修士のみ
ドイツ	ハイデルベルク大学 日本学研究所
11.41.2	ゲッティンゲン大学 社会科学部
フランス	パリ大学
チェコ	パラツキー大学 文学部
タイ	チュラロンコン大学 アジア研究所 *大学院生のみ
台湾	国立台湾師範大学 文学院・国際与社会科学学院
韓国	建国大学 *大学院生のみ
平年 [上]	韓国芸術綜合学校演劇院
中国	上海戯劇学院 *大学院生のみ
T 凹	西北大学 文化遺産学院

●短期語学研修

海外の大学で数週間の語学研修を受けるプログラムです。

詳しくは以下の HP の「短期語学研修」をご確認ください。

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/ex students.html

場所・連絡先・開室時間

場所 文法経本館 1 階 連絡先 inter@let.osaka-u.ac.jp

開室時間 【授業期間】月~金 10:00~17:00

*授業期間以外は開室時間を変更する場合がありますのでご注意ください

学芸員の資格認定について 【令和3(2021)年度】

学芸員とは、博物館法に基づく博物館の専門的職員です。学芸員は、博物館の資料の収集、保 管、展示および調査研究その他これと関係する事業について専門的事項を担当します。

学芸員の資格を取得するためには、学士の称号を有し、大学において文部科学省令(博物館法施行規則)で定める博物館に関する科目の単位を修得しなければなりません。

また、学芸員の資格取得は、文学部が指定する学芸員資格認定科目の単位修得証明によって証明されます。単位修得証明書が必要な場合は、学士の称号を授与された後、教務係に申請してください。

1. 必要修得科目について

次頁の【科目一覧】の表に基づき科目を修得してください。

2. 実習について

(1) 博物館学(学内実習)の履修登録とガイダンスについて

博物館学(学内実習)は、本学の総合学術博物館等での実習および学外の博物館施設等の見学を行う科目です。原則として、博物館学(館園実習)を履修する前年度に履修してください。履修できるのは、学部3年次生以上です。

博物館学(学内実習)を履修する学生を対象として、<u>4月14日(水)【12:10~12:50</u> 場所:文法経講義棟4階 文41講義室】にガイダンスを行います(オンラインガイダンスに変 更される可能性もありますので、KOAN などの確認をお願いします)。ガイダンスに出席しない 学生は履修を認めない場合があります。

なお、KOANによる履修登録は、ガイダンス2日前の4月12日(月)までに行ってください。

(2) 博物館学(館園実習)の履修登録とガイダンスについて

博物館学(館園実習)は、学外の博物館等に実習の受け入れを依頼し、学外の博物館等で 実習を行う科目です。原則として、館園実習を行う年度中に学芸員資格取得に必要な全ての 単位を修得見込みである学部4年次生または大学院生に限って履修登録を認めています。

令和3(2021)年度「博物館学(館園実習)」は、 $7\sim9$ 月に1週間程度実施されます。実習先によりそれぞれ期間が異なり、詳細は6月後半頃に決まります。

博物館学(館園実習)を履修する学生を対象に、<u>4月15日(木)【12:10~12:50</u> 場所:文法経講義棟4階 文41講義室】と6月下旬にガイダンスを行います(オンラインガイ ダンスに変更される可能性もありますので、KOAN などの確認をお願いします)。このガイダン スは、博物館学(館園実習)の一環として行うものですので、必ず出席してください。無断 で欠席した学生には、実習への参加を認めない場合があります。

学外の博物館等に実習の受け入れを依頼した後に辞退することは、受け入れ機関に多大な 迷惑をかけることになるため、博物館学(館園実習)の履修登録は、確実に実習に参加する 意思のある学生のみとしてください。履修登録者には、4月15日のガイダンスにおいて誓 約書を提出していただきます。 なお、博物館学(館園実習)の履修者からは、6月下旬のガイダンスにおいて、実習が行われる博物館施設等に納める<u>実習費(5,000円程度)を徴収</u>します。

また、KOANによる履修登録は、ガイダンス2日前の4月13日(火)までに行ってください。

【科目一覧】

文学部が指定する学	文学部に おける		
科目(単位)	立) 担当教員等		文部科学省令で定める博物館 に関する科目(単位)
博物館学(生涯学習)(2)	吉田講師(非常勤講師)	2	生涯学習概論(2)
博物館学(概論)(2)	豆谷講師 (非常勤講師)	2	博物館概論(2)
博物館学(経営論)(2)*	仙海講師(非常勤講師)	2	博物館経営論(2)
博物館学(資料論)(2)※	中川講師(非常勤講師)	2	博物館資料論(2)
博物館学(資料保存論)(2)*	不開講 (2022 年度開講予定)	2	博物館資料保存論(2)
博物館学(展示論)(2)**	不開講 (2022 年度開講予定)	2	博物館展示論(2)
博物館学(情報・メディア論) (2) **	不開講 (2022 年度開講予定)	2	博物館情報・メディア論(2)
博物館学(教育論)(2)**	井上講師(非常勤講師)	2	博物館教育論(2)
博物館学(学内実習)(2)	市教授·高橋教授·橋爪教授· 門脇准教授·伊藤特任講師· 横田助教	2	博物館実習(3)
博物館学(館園実習)(1)	市教授・高橋教授・門脇准教 授	1	

注意:末尾に※を付した科目は隔年開講です。

教育職員免許状の取得について

教育職員免許状(以下「免許状」という)を取得するためには、学部及び大学院で、志望する学校の 種類(中学校、高等学校、中等教育学校)や免許教科により教育職員免許法等の法令が定める授業科目 を修得し、同法令が定める免許状交付申請手続きをとる必要があります。

1. 文学部・文学研究科で取得できる免許状の種類

免許状の種類	高等学校教諭一種免許状	中学校教諭一種免許状
文学部	国語・地理歴史・公民・	国語・社会・英語・ドイツ語・
文子司	英語・ドイツ語・フランス語	フランス語
免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状
文学研究科	国語・地理歴史・公民・	国語・社会・英語・ドイツ語・
义子\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	英語・ドイツ語・フランス語	フランス語

免許状は学校種別に分かれており、免許状は教科別に授与されます。(中等教育学校の教員については、中学校および高等学校の免許状を有していなければなりません)

大学において教育職員免許法令に定める単位を修得した者には、教育委員会に対して所定の申請手 続きをすることにより、それぞれ相当の免許状が授与されます。

本学では卒業(修了)予定者を対象に教員免許状申請者を取りまとめ、大阪府教育委員会に一括申請を行います。(申込期間・方法については、KOANの掲示板にて周知されますので注意してください。)

2. 教職課程の履修方法

免許状取得のために要する基礎資格、修得単位数、教科に関する専門的事項に関する科目および教職に関する科目等の詳細については、「教職課程ブックレット」(大阪大学教育実習等専門部会発行)を参照の上、履修してください。

なお、教科に関する専門的事項に関する科目について、どの授業科目を履修すればよいかについては、文学部・文学研究科作成の教科に関する専門的事項の科目表(4月初旬に、KOANの掲示板に掲載します。)で確認してください。

3. 注意事項

免許状取得の要件には、所要の授業科目の修得に加え、事前の手続きが必要な「教育実習」や「介護等の体験(中学校免許状のみ)」、「教職実践演習」がありますので注意してください。

スケジュール等必要な情報発信は教育・学生支援部教育企画課学務係から KOAN の掲示板で周知されますので、常に掲示に注意してください。

学部学生に関する事項

- 1. 大学での学習について
- 2. 文学部賞について
- 3. 専修について
- 4. 卒業論文について
- 5. 担任・指導教員制度について
- 6. 卒業要件单位一覧
 - ・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート [平成31(2019)年度以降の入学者適用]
 - ・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート 「平成26年度~平成30年度の入学者適用〕
 - ・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート [平成25年度以前の入学者適用]
 - ・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート 「令和3年度以降の学士入学者適用」
 - ・卒業要件単位一覧・卒業要件単位チェックシート 「令和2年度以前の学士入学者適用」

~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~* 以下については、文学部HPに掲載していますのでご覧ください。

- ◎ 文学部 教育目標
- ◎ 文学部 ディプロマポリシー
- ◎ 文学部 カリキュラムポリシー

学部学生に関する事項

1. 大学での学習について

(1) 卒業に必要な単位

学部の課程を卒業するためには、4年以上在学し、130単位を修得する必要があります。教員免許資格取得には、上記の卒業に必要な単位とは別に、単位を修得する必要があります。

(2) 単位と成績

大学での学習は、「単位」と「成績」で結果が示されます。 単位は次のように規定されています。

- ・ 単位の付与は1単位あたり 45 時間の学習を必要となります。この 45 時間 は、大学で行う授業と自宅学習との和です。
- ・セメスター科目は 15 回 (週) 授業で講義演習科目は2単位、外国語科目 及び実習科目は1単位となっていますが、授業時間は1時限分(授業時間 90 分を2時間とみなす)を1学期間学習しても 30 時間しかないので、講 義演習科目は、授業 30 時間に加えて自宅学習 60 時間が必要であり、外国 語科目は、授業 30 時間に加えて自宅学習 15 時間が必要です。つまり1回 の授業につき、講義演習科目では4時間、外国語科目及び実習科目では1 時間の自宅学習が前提になるということです。

成績は、各授業科目において実施される試験等によって決まります。100点を満点として、S (90点以上)、A (80点以上 90点未満)、B (70点以上 80点未満)、C (60点以上 70点未満)、F (60点未満)の各評価が与えられます。S・A・B・Cは合格で単位が与えられますが、F は不合格であり単位は与えられません。

(3) グレード・ポイント・アベレージ制について

大阪大学では、学修の状況及び成果を示す指標としてのGPAを算出することにより、学生の学習意欲の向上及び適切な修学指導に資するとともに、教育の国際化を促進することを目的としています。

文学部では平成26年度の入学者(学士入学を除く)から適用となります。

• 制度概要

グレード・ポイント・アベレージ(GPA)制度とは、欧米の大学で一般的な成績評価方法で、学生一人ひとりの履修科目の成績評価をグレード・ポイント(GP)に置きかえた平均を数値により表すものです。

成績の評価及び各評価に与えられるGPは、以下のとおり定めています。

成績の	S	A	В	С	F
評価	(90 点以上)	(80 点以上	(70 点以上	(60 点以上	(60 点未満)
HT IMI		90 点未満)	80 点未満)	70 点未満)	
G P	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

· 活用方法

クラス担任・指導教員等による修学指導に利用します。また、学生自身の履 修計画の作成に活用されることを大いに期待しています。

・GPA計算対象外科目について

文学部において、「文学部共通概説」(2単位)と「卒業論文」(10単位) は、GPAの計算対象外科目とします。

(4) 単位修得の進め方

【注意】

「卒業要件単位一覧」は、入学した年度によって異なります。 必ず入学した年度に適用される「卒業要件単位一覧」を確認してください。

卒業に必要な 130 単位には、卒業論文 10 単位が含まれています。したがって開講されている授業科目で修得する必要があるのは、120 単位となります。卒業論文作成(10 単位・450 時間の学習)のことを考え、3年次終了時までに、少なくとも 100 単位程度の修得を目指して、1年次より計画的に履修してください。目安として、一年間で 30~40 単位を修得する必要があります。

全学共通教育科目(※)は、できる限り3年次終了時までに履修を終えるようにしてください。なお、文学部で開講する専門教育科目は、専修に分属後の2年次から履修することができます。

※全学共通教育科目の履修方法・時間割等については、「全学共通教育科目 履修の手引き」の冊子、及び以下 URL から文学部の頁に入り、

「全学共通教育科目 履修の手引<文学部>」により確認してください。

全学教育推進機構 HP: http://www.celas.osaka-u.ac.jp/fresher/letters/

2. 文学部賞について

文学部の学生を対象とし、文学部の専門教育において優秀な学業成績を修めた学生を卒業時に表彰するために文学部賞を設けています。文学部賞受賞者には、文学部長より賞状及び副賞が授与されます。

3. 専修について

(1) 専修ガイダンスについて

1年次生は、1セメスターに開講される文学部専門教育科目「文学部共通概説」を受講したうえで、11月に行われる専修ガイダンスに必ず出席し、所定の期間内に専修希望を提出しなければなりません。

令和3年度専修ガイダンス実施予定日: 2021年11月4日(木)

(実施時間及び実施場所については、おって連絡しますので、掲示に注意して ください。また、上記日程についても変更する場合があります。)

(2) 専修決定について

専修の分属は、3セメスターの始めから実施します。

専修希望を提出していない学生は、3 セメスターから開講される専門教育科目(「文学部共通概説」を除く。) を履修することはできません。

専修の決定は専修希望に基づき行われます。

各専修の学生基準数は、以下のとおりです。各専修の希望者数が学生基準数 を超えた場合は、専修決定試験を実施して専修を決定します。

専 修	基準数	専 修	基準数
哲学 学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	2 0 1 0 4 名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名	中英ドフラ学の学の学の学生を対象を対して、アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 0 2 0 4 名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名

(3) 専修変更について

① 専修変更の出願手続き

専修変更希望者から「専修変更願」により願い出たものを協議し決定します。 新専修を卒業するためには、専修変更時のセメスターを含めずに4セメスター以上在学しなければならないため、専修変更の願い出は、原則として3セメスター開始時から4セメスター終了時までに行ってください。

専修変更を出願できるのは、各セメスターに一度とします。

また、転部及び学士入学の出願から合否判定までの期間(概ね1月中旬~3 月中旬)には、専修変更の出願を一時的に停止することがあります。

② 出願対象

専修変更の出願対象とできるのは、当該学生が専修希望を提出した年度、もしくはそれ以降の年度の専修とします。ただし、各年度の専修のうち、出願時において基準数を充足しているものは専修変更の出願対象とすることはできません。なお、基準数を一度充足した専修に空きが生じた場合には、出願対象として掲示にてお知らせします。

(4) 専修取消について

専修に分属している学生が、前記②に定める専修変更の出願対象とはならない専修に分属を希望する場合、専修取消を出願し、これを学部教授会が協議し決定すれば、現在の専修分属を取り消し、改めて専修希望を提出することができます。

専修取消を出願できるのは各年度に1回とし、出願時期は秋~冬学期に限ります。専修取消を出願した年度に修得できる専門教育科目の単位数は20単位までとなります。新専修への分属は、新年度の始めからとし、分属後の本学部における修業年限は3年とします。

4. 卒業論文について

(1)卒業論文の提出について

本学部4年次に在学している学生は、秋~冬学期の所定の期間に卒業論文を 提出することができます。

(2) 卒業論文の提出について

卒業予定者は、あらかじめ当該専修指導教員の承認を得て卒業論文題目を定めておき、下記の期間内に卒業論文題目、卒業論文を教務係に提出しなければなりません。提出方法については別途掲示します。

卒業論文題目の提出期間:

2021年10月25日(月)~11月5日(金)17時

卒業論文の提出期間:

2022年1月5日(水)~6日(木)17時

※ 期限までに提出できない論文題目及び論文は受理しません。 上記日程は変更する場合があるので、掲示に注意してください。

卒業論文の体裁及び枚数等については、必ず各専修の指導教員から指示を受けてください。

論文を提出できない者は、論文提出期間内に「論文提出延期願」を提出してください。また、提出した論文を取り下げる場合には、提出締め切り日から 10日以内に「卒業論文取り下げ願」を提出してください。

(3) 卒業論文の評価基準について

文学部における卒業論文の評価基準が別に定められています。p.201「大阪大学文学部における卒業論文の評価基準」を参照してください。

5. 担任・指導教員制度について

学習・生活上の相談窓口として、各専修における担任(2・3年次)及び指導教員(4年次)がその任にあたります。担任教員・指導教員の変更は、学生の希望により申し出ることができますので、所属専修または教育支援室にご相談ください。

|在学中に、他の大学(専門職大学を含む)若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は、24単位まで専門教育系科目の選択科 |目として認められることがあります。なお、必ず認められるわけではありませんので注意してください。

(平成31(2019)年度以降の入学者適用) 卒業要件単位チェックシート

	- NA			科目区分		卒業に必要な単位	前年度までの終われ	今年度春~夏学期までの修復選供	今年度秋~冬学期まるの後組出位	× 小	
		\downarrow				※		おいのでは中心	_		T
	整	:	₹	学問への扉		2					
	\$	4 戦		人文科学系科目	<u> </u>						
	撇	本 数		社会科学系科目	<u> </u>	u					
	## ##	世後		自然科学系科目	<u> </u>	>					
	<i></i>	I 敷育		総合型科目							
	KIEL			情報数音科目		6					
	米		2	1 2		1					
	献		健康・スポ	スポーツ教育科目	Ш 	2					
全意	Ш	- 1	アドヴァンス	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	I					
半馬	<u>[H</u>	Þ			1						
教育		ź	i 1		黎 印米語	c					
₩ □	ź ż	#	第1外国部			×					
Ι	角層	, Ľ		無	実践英語						
	<u>(i</u>	Y									
	憲	℀	<i>Φπ</i> /	第2外国語		4					
	数	ź									
	KIEL	教	ri K	選択外国語	_	4					
	米	乍									
	献	楺	<u> </u>	ローバツ曲像	類	α					
	Ш	ш			L	•					
	Ш	$ \ $	个	###		36					
L	数 4										
	月系科学	恒	度 教 養	梭盾	皿	2					
	¥ = ==	,									
	教 信国 際	- VI									
þ	· ※ 注 注	画	度国際性涵	養教	育科目	4					
(学能	科目涵養	1==									
や 色			大 小 部	州	南莞	2					
計量:	中										
学で	Ш										
熊 離	-	<u></u> ₩±	専修の 講義・演習			28					
する	教			外国	外国語科目	2					
神目	Ąπ					20					
	米	<i>^</i> ∺	選	⊄	ш	38					
	葆										
	П										
	П	13	本	纒	¥	9					
	Ш	$\rfloor $	小	111111		84					T
		扭	搬田	长	杂	10					
				111111111111111111111111111111111111111		10					
			√ □	111111111111111111111111111111111111111		130					
			1								1

卒業要件単位一覧(平成31(2019)年度以降の入学者適用)の補足説明

<注意してください>

「卒業要件単位一覧」は、みなさんが入学した年度によって内容が異なります。 必ず入学した年度に適用される「卒業要件単位一覧」を確認してください。

【1. カリキュラムについて】

平成31(2019)年度からのカリキュラムは、「教養教育」、「専門教育」、「国際性涵養教育」 の3つの柱からなります。

学生のみなさんは、p. 33の卒業要件単位一覧と以下の補足説明を確認の上で、卒業に必要な130単位を修得してください。

卒業要件単位一覧では、以下のとおり色分けしています。

- ○教養教育系科目···黄
- ○専門教育系科目・・・青
- ○国際性涵養教育系科目···緑

【2.授業の開講について】

授業は大きく分けて、①全学教育推進機構(共通教育)で開講する科目と、②文学部や他学 部等で開講する科目があります。

【3. 全学教育推進機構(共通教育)で開講する科目について】

入学した年度の「全学共通教育科目 履修の手引」を参照してください。

【4. 文学部や他学部等で開講する科目について】

以下のとおり単位を修得してください。

- 1) 高度教養教育科目(2単位)
 - ○2年次秋学期以降に履修してください。2年次夏学期以前には履修できません。
 - ○文学部で開講する「人文学概説」、または他学部等で開講する高度教養教育科目のいず れかから、単位を修得してください。
 - ○2単位を超えて修得した場合は、自由選択枠に充当されます(自由選択枠については後述)。

- 2) 高度国際性涵養教育科目(4単位)
 - ○2年次秋学期以降に履修してください。2年次夏学期以前には履修できません。
 - ○文学部で開講する講義科目*(①)、または他学部等で開講する高度国際性涵養教育科目 (②)のいずれかから、単位を修得してください。
 - ○4単位を超えて修得した場合、①は専門教育系科目の選択科目に、②は自由選択枠にそれぞれ充当されます。

例1:①で8単位修得 → 4単位を専門教育系科目の選択科目とできる。

例2:②で6単位修得 → 2単位を自由選択枠に充当できる。

*・・・ここで指す講義科目とは、科目名の末尾に"講義"と記載されている科目です (例:○○学講義)。対象となる科目については、開講科目一覧表で確認してく ださい。

3) 専門教育科目

○必修科目として、「専修の講義・演習」を、28単位修得してください。28単位を超 えて修得した場合は、選択科目に充当されます。

例:専修の講義・演習を30単位修得した → 2単位は選択科目とできる。

(転部者への補足)

転部者は『文学部共通概説』を修得する必要はありませんが必修科目が30単位必要です。

- ○選択科目として、『文学部共通概説』を除く文学部授業科目の中から38単位以上修得してください。他専修の講義・演習の単位を修得しても構いません。38単位を超えて修得した場合は、自由選択枠に充当されます(自由選択枠については後述)。
- ○『文学部共通概説』および『卒業論文』については、学生便覧に記載のとおり履修して ください。
- ○演習科目を20単位以上修得してください。

4) 自由選択枠(10単位)

- ○「自由選択枠」として開講している科目はありません。
- 〇卒業要件単位一覧に記載されている(1)~(7)の科目から、合計10単位を修得してください。
- ○成績証明書には、「自由選択枠」という表示はでませんので、KOAN の履修成績や成績 証明書により、各自で自由選択枠に充当できる科目を確認してください。

例:

- (1) 基盤教養教育科目から2単位
- (5) 高度教養教育科目から4単位
- (6)専門教育系科目から4単位

合計10単位

単位修得方法に関する補足説明

●高度教養教育科目



高度教養教育科目となるのは、主に左図の開講科目です。

これらの科目を、2年次 秋学期以降に履修することで、要件を満たすことができ

該当科目は、「高度教養教育科目一覧」で確認してください。 (シラバスの検索機能、各開講部署のホームページ等でも確認できます。)

要件単位よりも多く修得した場合、自由選択枠の単位となります。

●高度国際性涵養教育科目



高度国際性涵養教育科目となるのは、主に左図の開講科目です。

これらの科目を、2年次 秋学期以降に履修することで、要件を満たすことができます。

文学部では、所属する専修以外の講義科目(ここで指す講義科目とは、科目の末尾に "講義"と記載されている科目)を、高度国際性涵養教育科目としています(左図①)。既 に要件単位を修得している状態で新たに①の科目を修得した場合は、専門教育科目(選 択科目)に充当されます。

他に、「高度国際性涵養教育科目一覧」に掲載の他学部等の科目(左図②)でも要件を

満たすことができます。 該当科目は、「高度国際性涵養教育科目一覧」で確認してください。 (シラバスの検索機能、各開講部署のホームページ等でも確認できます。)

既に要件単位を修得している状態で新たに②の科目を修得した場合は、自由選択枠の 単位となります。

なお、①と②を同じ学期に修得した場合、②を優先して高度国際性涵養教育科目の単位 に充当します。

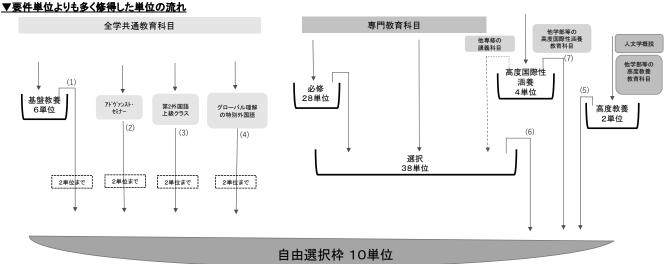
自由選択枠としての単位

各科目区分で必要な単位数(要件単位)を満たしたうえで、全体で130単位を満たすまでの単位数」を指します。(=10単位)

- 「付日にカーにからなる手に致くなける」に記載の(1)~(7)の単位で満たす必要があります。

 →「卒業要件単位一覧」に記載の(1)~(7)の単位で満たす必要があります。

 (1)基盤教養教育科目の中で、6単位を超えて修得した単位(2単位まで) (5)高度教養教育科目で、2単位を超えて修得した単位
- (1)基盤教養教育科目の中で、6単位を超えて修得した単位(2単位まで)
- (2)アドヴァンスト・セミナー(2単位まで) (3)マルチリンガル教育科目の第2外国語の上級クラスで修得した単位(2単位まで)
- (4)グローバル理解の「特別外国語」(2単位まで)
- (6)専門教育科目の選択科目の中で、38単位を超えて修得した単位 (7)他学部等の高度国際性涵養教育科目で、4単位を超えて修得した単位



---▶ 文学部の高度国際性涵養教育科目(他専修の講義科目)について、高度国際性涵養教育科目の要件単位(4単位)を既に充足している場合は、専門教育科目(選択科目)の単位となります。 ※上図に記載のない科目(「学問への扉」「情報教育科目」「健康・スポーツ科目」「第1外国語」など)の余剰単位を、自由選択枠の単位とすることはできません。

卒業要件単位一覧(平成26年度~平成30年度の入学者適用)

			科目区	分		卒業にな単位		履修方法	ř																																						
			基礎教	基礎教養1	0	2																																									
			養科目	基礎教養2	0	2																																									
_	共	教	現化	弋教養科目	0	2	•																																								
全		養教	先幼	端教養科目 	0	2		 先端教養科目又は国際教養科目の「国際教養1 から2単位修得。																																							
	通	育科		国際教養1	0	•	'	元元																																							
学	~=	目	国際教養科目	国際		8	,	第2外国語として履修する外国語と関連する科目を選択履修。																																							
	教			教養 2 特別 外国語 演習科目	0	l	-																																								
			***	大学英語	0			英語の授業科目の中から修得。 ただし、英語を母語とする外国人留学生及び特別な理由のある者については	「第1外国																																						
共	育	言 外 国	第 1 外国語	実践英語· 専門英語	0	8	,	語」として、英語のほか、「第2外国語」として開講されているドイツ語、 ロシア語及び中国語のうち1外国語を履修することができます。その場合、 の「国際教養2」から当該外国語と関連する科目を8単位修得。	フランス語、																																						
通	系	· 情報教育 語教育科目	第	2外国語	0	4		「第2外国語」として、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語及びイタリア語のうち1外国語を選択。ただし、外国人留学生は、1外国語を選択することができます。なお、第1外国語に替えた外国語は、第2外国することはできません。	として日本語																																						
	科	科	選	択外国語	0	4		「選択外国語」の授業科目の中から4単位修得又は「第2外国語」として開 ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語の中から(「第2外国語」とし る外国語を除く。)1外国語を選択し4単位修得。																																							
教			情報処:	理教育科目	0	2		「情報活用基礎」 (2単位) を必修。																																							
	目		基礎セ	ミナー	0	_	-																																								
育		健康	₹・スポー	ーツ教育科目		2		「スポーツ実習A」(1単位)を必修とし、さらに「スポーツ科学」(1単位 学実習A」(1単位)、「健康科学」(1単位)のいずれかを選択履修し計2																																							
科	専門教育系科目	明 女 『 専門基礎教育科目 (系				4		専門基礎教育科目の中で、本学部が指定した科目の中から4単位修得。 所定の卒業要件単位(4単位)を超えて修得した場合、その超えた単位のう 先的に選択で定める単位として充当されます。 また、その上で、文学部専任教員が担当した授業科目に限り、6単位まで文 科目の選択科目の単位として認められることがあります。																																							
目		選択				2		必修として指定された単位以外に科目区分の「○」印の授業科目から2単位 なお、専門基礎教育科目を4単位を超えて修得した場合、その超えた単位の 優先的に充当されます。																																							
			小	計		4:	2																																								
		文	学部	共 通 概 詞	兑	2																																									
専	必							所属する専修の講義及び演習並びに専修が別に定める他専修の講義及び演習																																							
	修																	から修得。																													
門教	科目	専修の 講義・演習 外国語科目			語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		外国語科目		2	英米文学・英語学、ドイツ文学又はフランス文学専修に所属する学生は、外 国語科目2単位を含まなければなりません。 なお、当該専修の外国語以外の外国語科目を履修するものとし、初級科目を 選択する場合は、共通教育系科目で履修した外国語以外の外国語科目を選択 し修得してください。	目を合わせて
育		選択科目		科目		科 目		科目		48	3	文学部共通概説を除く文学部授業科目の中から48単位以上修得。 なお、「専修の講義・演習」の卒業に必要な単位(28単位)を超えて修得 した単位についても選択科目の単位となります。 また、選択科目については下記の「選択科目についての補足」のとおり選択 科目として認められることがある科目があります。	20単位以上 修得。																																		
科						件日として認められることがある件日があります。 (注)必ず認められるわけではありません。																																									
目		卒	業	論 文		10)	卒業論文の提出については、p. 3 1 を参照してください。																																							
			小	計		88	3																																								
		合		計		13	0																																								

選択科目についての補足

下記のとおり選択科目として認められることがある科目があります。<u>なお、必ず認められるわけではありませんので注意してください。</u>
・専門基礎教育科目の卒業要件単位(4単位)及び全学共通教育科目についての選択科目(2単位以上)を、専門基礎教育科目で充足した上で、文学部専任教員が担当した専門基礎教育科目の授業科目に限り、6単位まで文学部専門教育科目の選択科目の単位として認められることがあります。
・在学中に、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目、グローバルコラボレーション科目及び他学部、他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は、24単位まで選択科目として認められることがあります。

卒業要件単位チェックシート(平成26年度~平成30年度の入学者適用)

			ź	科目区分	}		卒業	に必り 単位数	要な (前年度ま 修得単	での 位	今年度春~までの修	~夏学期 得単位	今年度秋~までの修	~冬学期 得単位	メモ
				基礎教	基礎教	数養 1		2								
				養科目	基礎教	数養 2		2								
	共	孝	汝	現化	弋教養科	ŀ 目		2								
全		主	复	先幼	喘教養科	ŀ目		2								
	通	建	汉道:		国際教	效養 1										
学	地	* 		国際教 養科目	国際			8								
	教					外国語 演習科目		_								
				第 1	大学	英語										
共	育	言語	クト	外国語	実践芽 専門	英語 • 英語		8								
通	系	·情報教育	国語教育科	第	52外国	語		4								
	科	育科目	目	選	択外国	語		4								
教				情報処	理教育和	4目		2								
	目			基礎セ	ミナー			_								
育		1	建康	・スポー	ーツ教育	科目		2								
	専															
科	門教育系科目	門 教 育 専門基礎教育科目 系 科						4								
目		選択						2								
			/]	\	計			42								
		文	:	≤ 部 ≠	失通	既説		2								
専	必															
7	修						, r				4					
門			専作	多の			28									
1 1	科	詩	義	• 演習	外国語	演 習	20	2								
教	目	Man Ma							20							
育		以上														
科	選択科目						4	8								
什																
目		卒		業	論	文		10								
			/]	\	計			88								
			合		計			130								

卒業要件単位一覧(平成25年度以前の入学者適用)

			科目区	分		卒業にな単位		履	修	方	法	<u> </u>	Ť																
			基礎教		0	2																							
	共	教養	養科目	宏 腱教養 2	<u> </u>	2																							
全		教育		教養科目	0	2																							
	通	科目	先 端 国際教	教養科目	0	2	.	先端教養科目又は国	国際教養科目の「	国際教養1」か	ら2単位修得。																		
224			養科目			8	}	第2外国語として原	夏修する外国語と	関連する科目を対	選択履修。																		
学	教			大学英語	0			英語の授業科目の5 ただし、英語を母詞		学生及び特別な	毎年のある考に ~	ルナけ	「第1 外国																
	育	言 外語 国	·	実践英語・ 専門英語	0	8	}	語」として、英語の ロシア語及び中国記の「国際教養2」だ	Dほか、「第2外 吾のうち1外国語	·国語」として開きを履修すること	講されているドイ ができます。その	ツ語、	フランス語、																
共	F 系	·情報教育科	第 2	外国語	0	4	ļ.	「第2外国語」とし 及びイタリア語の を選択することが することはできませ	うち1外国語を選 できます。なお、	択。ただし、外[国人留学生は、1	外国語	として日本語																
通	科	育科目		、外国語	0	4	,	「選択外国語」の持 ドイツ語、フランス る外国語を除く。)	ス語、ロシア語及	び中国語の中か																			
		帽	報 処 理	L 教育科目	0	2		「情報活用基礎」	(2単位) を必修	0																			
教	目	基	礎セ	ミナー	0	_	-																						
		健康	・スポー	ツ教育科目		2	2	「スポーツ実習A」 学実習A」(1単位																					
育科	中門教育系	専門	基礎。	教育科目	0	4	ļ	専門基礎教育科目の 所定の卒業要件単位 先的に選択で定める また、その上で、 科目の選択科目の単	立(4単位)を超 る単位として充当 文学部専任教員が	えて修得した場 されます。 担当した授業科	合、その超えた単 目に限り、6単位	位のう																	
目			選	択		2		必修として指定され なお、専門基礎教育 優先的に充当される	育科目を4単位を																				
			小	計		42	2																						
		文	学 部	共 通 概	説	2																							
専	必		学部共通概説																		: 地 飲 記			所属する専修の講 から修得。	遠及び演習並び に	専修が別に定め	る他専修の講義及	び演習	
門教	修 事 # 0					28	2	英米文学・英語学、 国語科目2単位を含なお、当該専修の外 選択する場合は、対 し修得してください	含まなければなり ト国語以外の外国 共通教育系科目で	ません。 語科目を履修す。	るものとし、初級	科目を	演習は必修科 目及び選択科 目を合わせて 20単位以上																
育科	選択科目					48	3	文学部共通概説を修なお、「専修の講講した単位についてでまた、選択科目についてでまた、選択科目について認められては、必ず認められては、必ず認められては、必ず認められては、必ず認められては、必ず認められては、	箋・演習」の卒業 5選択科目の単位 ○いては下記の「 ≀ることがある科	に必要な単位(となります。 選択科目につい ·目があります。	28単位)を超え		修得。																
目		卒	業	論 文		10)	卒業論文の提出に	oいては、p. 31	を参照してくだ	さい。		ı																
			小	計		88	3																						
		合	-			13																							
		Ц		P1			-																						

選択科目についての補足

- 下記のとおり選択科目として認められることがある科目があります。 <u>なお、必ず認められるわけではありませんので注意してください。</u>
 ・専門基礎教育科目の卒業要件単位(4単位)及び全学共通教育科目についての選択科目(2単位以上)を、専門基礎教育科目で充足した上で、文学部専任教員が担当した専門基礎教育科目の授業科目に限り、6単位まで文学部専門教育科目の選択科目の単位として認められることがあります。
- ・在学中に、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目、グローバルコラボレーション科目及び他学部、他の大学若しくは短期大学又は 外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は、24単位まで選択科目として認められることがあります。

卒業要件単位チェックシート (平成25年度以前の入学者適用)

			科目区	. 分		卒業に必 単位数	要な 【	前年度までの 修得単位	今年度春~夏学期 までの修得単位	今年度秋~冬学期 までの修得単位	メモ
			基礎教	基礎教	養 1	2					
	共	教	養科目	基礎教	養 2	2					
全		養教	現代	文 教 養 科	目	2					
	通	育科目	先 端 国際教	教養科国際教		2					
244			養科目	国際教	養 2	8					
学	教			大 学 英	語						
共	育	言語 - 料国語		実践英	語· 語	8					
	系	情報教育科	第	2 外 国	語	4					
通	科	育目科目	選	択 外 国	語	4					
		信	青報 処	理教育和	科 目	2					
教	目	基	礎セ	ミナ	_	_					
	Ħ	健康	・スポ	ーツ教育	科目	2					
育	専										
	門教										
	育	専「	明 基 碌	整 教 育 彩	目	4					
科	系科										
	目										
目			選	択		2					
			小			42					
					説	2					
専	必										
寸	修										
門		専	修の			28					
11	' '	講義	• 演習	外国語科目	演習	20 2					
教	目				科目	-	20				
教					20単位		20				
 -					以上						
育		選	択 ≉	斗 目		48					
1 11		~==	<i>√</i> \ 1⁻	. H		70					
科											
目		卒	業	論 文		10	_				
			小	計		88					
		合		計		130					
<u></u>		Ц		HI		100					

卒業要件単位一覧(令和3年度以降の学士入学者適用)

		乖	科目区分	`			こ必要 位数	履修方法等	
	高月	度教養	養教育科	目			2	以下の科目から2単位修得 ①「人文学概説」 ②「高度教養教育科目一覧表」に掲載されている高度教養教育科目 *2単位を超えて修得した場合は、自由選択枠に充当されます。	
i	高度	国際	性涵養	教育	科目		2	以下の科目から2単位修得 ①所属する専修以外の講義科目(該当する科目は、開講科目一覧表で確認してください ②「高度国際性涵養教育科目一覧表」に掲載されている高度国際性涵養教育科目 *2単位を超えて修得した場合は、①は専門教育系科目の選択科目の単位に、②は自由過れぞれ充当されます。	- '
専	必修	専	修の			20		所属する専修の講義及び演習から修得。	上文 修学 得部
門教	科 講義・演習 外国語科目 28				国語科目	20	2	英米文学・英語学、ドイツ文学又はフランス文学専修に所属する学生は、外国語科目 2単位を含まなければなりません。 なお、当該専修の外国語以外の外国語科目を修得してください。	開講の演
育系科	育系 選択科目 26					2	6	文学部共通概説・人文学概説を除く文学部授業科目の中から26単位以上修得。 なお、「専修の講義・演習」の卒業に必要な単位(28単位)を超えて修得した単位 についても選択科目の単位となります。 また、選択科目については下記の「選択科目についての補足」のとおり選択科目とし て認められることがあります。 (注)必ず認められるわけではありません。	習科目から20単位
目	F						0	卒業論文の提出については、p. 3 1 を参照してください。	単 位 以
	合 計 68								

専門教育系科目の選択科目についての補足

在学中に、他の大学(専門職大学を含む)若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は、24単位まで専門教育系科目の選 択科目として認められることがあります。なお、必ず認められるわけではありませんので注意してください。

卒業要件単位チェックシート(令和3年度以降の学士入学者適用)

		科	目区分			卒業にな単	こ必要 位数	i年度まで 修得単位	今年 ま	三度春~夏 での修得単	学期 单位	度秋~冬年 での修得単	メモ
	高度	賽教養	教育科	目		2	2						
i	高度	国際性	生涵養寿	教育和	目存	2	2						
専門教	必修科目	専講義	修の ・演習		国語科目	28	2						
育系	Nas 4m ≤N ⊟					2	6						
目						1	0						
	合 計					6	8						

卒業要件単位一覧(令和2年度以前の学士入学者適用)

		利	斗目区分	\			こ必要な 位数	履修方法等	
		文	学 部	共 ù	通 概 説		_		
専	必修							所属する専修の講義及び演習並びに専修が別に定める他専 修の講義及び演習から修得。	
判教	科目	専修の	の講義・	・演習	外国語科目	28	2	英米文学・英語学、ドイツ文学、フランス文学専修に所属する学生は、外国語科目2単位を含まなければなりません。 なお、当該専修の外国語以外の外国語科目を履修するものとします。	演習は必修 科目及び選 村料で20 単位以上修
育科目		選	択	科	目		30	文学部共通概説を除く文学部授業科目の中から30単位以上修得。 なお、「専修の講義・演習」の卒業に必要な単位(28単位)を超えて修得した単位についても選択科目の単位となります。 また、選択科目については下記の「選択科目についての補足」のとおり選択科目として認められることがある科目があります。 (注)必ず認められるわけではありません。	得しなけれ ばなりませ ん。
		卒	業	論	文		10	卒業論文の提出については、p. 3 1 を参照してください。	
		合		計			68		

選択科目についての補足

下記のとおり選択科目として認められることがある科目があります。<u>なお、必ず認められるわけではありませんので注意してくだ</u>

- ・専門基礎教育科目を学士入学後に修得した場合、文学部専任教員が担当する授業科目に限り、4単位まで文学部専門教育科目の 選択科目の単位として認められることがあります。 ・在学中に、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目、グローバルコラボレーション科目及び他学部、他の大学若しくは 短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は、24単位まで選択科目として認められることがあります。

卒業要件単位チェックシート(令和2年度以前の学士入学者適用)

	· —			- / /	<u> </u>				とかかいて				1		
科目区分			卒業に必要な 単位数		前年度まで 修得単位	ごの	今年度春~夏学期 までの修得単位		今年度秋~冬学期 までの修得単位		メモ				
専	必	文 学 部 共 通 概 説		_											
	修														
門	科	専講	修	の 演 習		28									
教	目	PF 4	P.	100 日	外国語科目		2								
-								20							
育															
科		選	択	科	目	30)								
目		卒	業	論	文		10								
		合		計			68								

大学院学生に関する事項

- 1. 文学研究科修了要件単位について
- 2. 研究指導について
- 3. 文学研究科賞について
- 4. 修士学位論文について
- 5. 博士予備論文の提出について
- 6. 博士学位論文の提出について
- 7. 長期履修学生制度について
- 8. 横断型教育について
 - (1) 大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムについて
 - (2) 学際融合教育科目について
 - (3) コミュニケーションデザイン科目及びCOデザイン科目について

~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~*~* 以下については、文学研究科HPに掲載していますのでご覧ください。

- ◎ 文学研究科 教育目標
- ◎ 文学研究科 ディプロマポリシー
- ◎ 文学研究科 カリキュラムポリシー

大学院学生に関する事項

1. 文学研究科修了要件単位について

1-1.【平成31(2019)年度以降の入学者適用】

※注意: 平成30年度以前入学者は、p.49をご覧ください。

博士前期課程 · 修士課程

科目区分	修了に必要 な単位数	履修方法等
高度教養教育科目	2	「高度教養教育科目一覧表」に掲載されている高度教養教育科目から、2単位修得 *2単位を超えて修得した場合は、自由選択枠に充当されます 【注意】 文学研究科では、高度教養教育科目は開講していません。 他研究科等で開講している高度教養教育科目を履修してください。
専 門 教 育 科 目	20	本研究科博士前期課程・修士課程の授業科目から修得また、欄外の「専門教育科目についての補足」のとおり認められることがあります。 (注)必ず認められるわけではありません。 *20単位を超えて修得した場合は、自由選択枠に充当されます。
高度国際性涵養教育科目	2	以下の科目から、2単位修得 ①文学研究科の講義科目(該当する科目は、開講科目一覧表で確認してください。) ②「高度国際性涵養教育科目一覧表」に掲載されている高度国際性涵養教育科目 *2単位を超えて修得した場合は、①は専門教育科目に、②は自由選択枠にそれぞれ充当 されます。
自由選択枠	6	「自由選択枠」として開講している科目は、ありません。 自由選択枠に算入できる以下の科目から、6単位を修得してください。 (1)高度教養教育科目の中で、2単位を超えて修得した単位 (2)専門教育科目の中で、20単位を超えて修得した単位 (3)高度国際性涵養教育科目の②で、2単位を超えて修得した単位
合 計	30	

専門教育科目についての補足

在学中に、他の大学院又は外国の大学院で修得した単位(15単位まで)は、専門教育科目として認められることがあることがあります。 なお、必ず認められるわけではありませんので注意してください。

博士後期課程

科目区分	修了に必要な 単位数	履修方法等
専 門 教 育 科 目	8	本研究科博士後期課程の授業科目より修得(博士論文作成演習4単位以上を含む)
合 計	8	

1-2. 修了要件単位一覧 (平成31(2019)年度以降の入学者適用)の補足説明

<注意してください>

「修了要件単位一覧」は、みなさんが入学した年度によって内容が異なります。 必ず入学した年度に適用される「修了要件単位一覧」を確認してください。

<博士前期課程・修士課程>

【1. カリキュラムについて】

平成31(2019)年度からのカリキュラムは、「教養教育」、「専門教育」、「国際性涵養教育」 の3つの柱からなります。

学生のみなさんは、p. 45の修了要件単位一覧と以下の補足説明を確認の上で、修了に必要な30単位を修得してください。

【2. 修了要件単位について】

- 1) 高度教養教育科目(2単位)
 - ○<u>文学研究科での開講はありません。</u>必ず他研究科等で開講される「高度教養教育科目」 を履修してください。対象となる科目は、「高度教養教育科目一覧」を参照して ください。
 - ○2単位を超えて修得した場合は、自由選択枠に充当されます(自由選択枠については後述)。

<重要:他研究科等科目の履修登録について>

- ●他研究科等で開講される科目の履修登録期間は、文学研究科科目の履修登録期間と 異なります。履修登録期間は KOAN 掲示板等で確認をしてください。
- ●他研究科等で開講される科目の履修登録は先着順です。定員に達した時点で履修登録ができなくなりますので注意してください。

(※できる限り履修登録開始日に履修登録を行ってください。)

2) 専門教育科目(20単位)

- ○科目一覧表に掲載されている科目から履修してください。
- ○博士前期課程の学生が修士課程の科目を、修士課程の学生が博士前期課程の科目を履 修することもできます。
- ○20単位を超えて修得した場合は、自由選択枠に充当されます。 (自由選択枠については後述)

- 3) 高度国際性涵養教育科目(2単位)
 - ○文学研究科で開講する講義科目*(①)、または他研究科等で開講する高度国際性涵養教育科目(②)のいずれかから、単位を修得してください。
 - ○2単位を超えて修得した場合、①は専門教育科目に、②は自由選択枠にそれぞれ充当 されます。

例1:①で8単位修得 → 6単位を専門教育系科目の選択科目に充当できる。

例2:②で4単位修得 → 2単位を自由選択枠に充当できる。

- ○同じ学期内に①と②を修得した場合、②が優先して高度国際性涵養教育科目に充当されます。なお、一度確定された単位(科目の区分)は、変更できません。
 - *・・・ここで指す講義科目とは、科目名の末尾に"講義"と記載されている科目です (例:○○学講義)。対象科目については、開講科目一覧表で確認してください。
- 4) 自由選択枠(6単位)
 - ○「自由選択枠」として開講している科目はありません。
 - 〇修了要件単位一覧に記載されている(1)~(3)の科目から、合計6単位を修得してください。
 - ○成績証明書には、「自由選択枠」という表示はされませんので、KOAN の履修成績や成績 証明書により、各自で自由選択枠に充当できる科目を確認してください。

例:

- (1) 高度教養教育科目から2単位
- (2)専門教育科目から4単位

合計6単位

<注意> 単位は分割できません!

例えば、4単位の科目を修得した場合、2単位を高度国際性涵養教育科目、2単位を 専門教育科目に分割して計上することはできませんので、注意してください。

<博士後期課程>

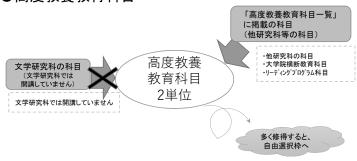
○入学年度に関わらず、科目一覧表に掲載されている科目(専門教育科目)から履修してく ださい。

※博士前期課程や修士課程のように、「高度教養教育科目」や「高度国際性涵養教育科目」の設定はありません。

- ○入学年度によって修了に必要な単位数が異なります。
 - ·平成30年度以前入学者 → <u>12単位</u>
 - · 平成 3 1 年度以降入学者 → 8 単位

単位修得方法に関する補足説明

●高度教養教育科目



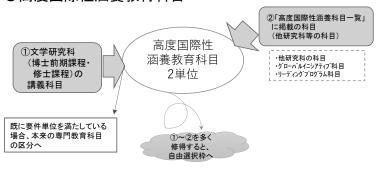
高度教養教育科目となるのは、主に左図の開講科目です。

文学研究科では、高度教養教育科目を開講していませんので、他研究科等で開 講している高度教養教育科目を2単位修得することが必要です。

該当科目は、「高度教養教育科目一覧」で確認してください。 (シラバスの検索機能、各開講部署のホームページ等でも確認できます。)

要件単位よりも多く修得した場合、自由選択枠の単位となります。

●高度国際性涵養教育科目



高度国際性涵養教育科目となるのは、主に左図の開講科目です。

文学研究科では、博士前期課程・修士課程の講義科目(ここで指す講義科目とは、科目の末尾に"講義"と記載されている科目)を、高度国際性涵養教育科目としています(左図①)。既に要件単位を修得している状態で新たに①の科目を修得した場合は、専門教育科目に充当されます。

他に、「高度国際性涵養教育科目一覧」に掲載の他研究科等の科目(左図②)でも要件を満たすことができます。

該当科目は、「高度国際性涵養教育科目一覧」で確認してください。 (シラバスの検索機能、各開講部署のホームページ等でも確認できます。)

既に要件単位を修得している状態で新たに②の科目を修得した場合は、自由選 択枠の単位となります。

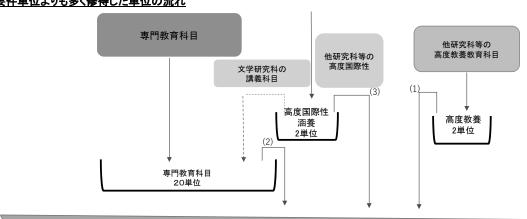
なお、①と②を同じ学期に修得した場合、②を優先して高度国際性涵養教育科目 の単位に充当します。

●自由選択枠の単位数について

「各科目区分で必要な単位数(要件単位)を満たしたうえで、全体で30単位を満たすまでの単位数」を指します。

- (1)高度教養教育科目の中で、2単位を超えて修得した単位
- (2)専門教育科目の中で、20単位を超えて修得した単位
- (3)他研究科等の高度国際性涵養教育科目ので、2単位を超えて修得した単位
- で満たす必要があります。

▼要件単位よりも多く修得した単位の流れ



自由選択枠 6単位

----▶ 文学研究科の高度国際性涵養教育科目について、高度国際性涵養教育科目の要件単位(2単位)を既に充足している場合は、専門教育科目となります。

1-3.【平成30年度以前の入学者適用】

※注意: 平成31年度以降入学者は、p.45をご覧ください。

課程	修了に必要な 単位数	備考
博士前期課程	3 0 単位	本研究科博士前期課程・修士課程の授業科目より修得 *大学院横断教育科目から4単位を上限として修了に必要な単位に充当することができる。 *博士課程教育リーディングプログラムの履修を許可さ
修士課程		れた博士前期課程の学生に限り、リーディングプログラム科目と大学院横断教育科目から、合わせて4単位を上限として修了に必要な単位に充当することができる。
博士後期課程	12単位	本研究科博士後期課程の授業科目より修得 (博士論文作成演習4単位以上を含む。)

2. 研究指導について

(1) 指導教員について

大学院新入生は、4月の指定する期日までに「指導教員届・研究指導計画確認書」を教務係に提出しなければなりません。また、在学中に指導教員を変更する場合には、所定の手続きを行う必要があります。

(2) 研究指導計画書の提出について

大学院学生は、毎学年の始めの指定された日(掲示により指示します)までに、以下のとおり作成してください。詳細については、KOAN掲示板でおしらせします。

- 1. 研究指導教員と相談の上で研究計画等をまとめた研究指導計画書を作成してください。 (様式は任意です。サンプル様式を参考に作成してください。)
- 2. 作成した研究指導計画書は、指導教員および学生がそれぞれ一部ずつ保管してください。
- 3. 教務係に「研究指導計画確認書」(所定様式)のみ提出してください。 (研究指導計画書を教務係へ提出する必要はありません。この「研究指導計画確認書」のみ を教務係へ提出してください。)

(3) 研究概要報告書の提出について

大学院学生は、毎学年の2月の指定された日(掲示により指示します)までに、当該年度の研究概要報告書を教務係で配布する表紙を添付のうえ研究指導教員に提出してください。ただし、下記の博士後期課程の学生は、研究概要報告書の提出を省略することができます。

- ①12月期に博士予備論文を提出した学生
- ② 博士論文を提出した学生

3. 文学研究科賞について

文学研究科博士前期課程及び修士課程の学生を対象とし、文学研究科の専門教育において優秀な学業成績を修めた学生を修了時に表彰するために文学研究科賞を設けています。文学研究科賞受賞者には、文学研究科長より、賞状及び副賞が授与されます。

4. 修士学位論文について

(1)修士論文の提出について

修士論文を提出しようとする学生は、あらかじめ当該研究指導教員の承認を得て修士論文題目を定めておき、下記の期間内に修士論文題目、修士論文を教務係に提出しなければなりません。提出方法については別途掲示します。

修士論文題目の提出期間:

2021年10月25日(月)~11月5日(金)17時

修士論文の提出期間:

2022年1月5日(水)~5日(木)17時

※ 期限までに提出できない論文題目及び論文は受理しません。 上記日程は変更する場合があるので、掲示に注意してください。

論文を提出できない場合には、論文提出期間内に「論文提出延期願」を提出 してください。

<u>論文の書式・分量・製本等については、かならず各専門分野/コースの指導</u> 教員から指示を受けてください。

提出した論文を取り下げる場合には、提出締め切り日から10日以内に「修士論文取り下げ願」を提出してください。

(2)修士論文の評価基準について

文学研究科における修士論文の評価基準が別に定められています。p.218 「大阪大学大学院文学研究科における修士論文の評価基準」を参照してください。

5. 博士予備論文の提出について

博士論文を提出しようとする学生は、博士予備論文を後期課程2年次12月(または、3年次以降の6月・12月)の所定の期日までに、指導教員の承認を得たうえで、教務係に提出してください。なお、指導教員が認める場合に限り、査読つき学術誌等に発表した論文をもって、博士予備論文に代替することができます。

博士予備論文は、400字詰め原稿用紙100枚程度とし、表紙に「論文題目」「所属・学年」「氏名」を明記し、製本を施すかファイル等で綴じたうえ、「博士予備論文題目届」とともに提出してください。(「博士予備論文題目届」には、指導教員の押印が必要です。)

博士学位を申請する学生は、学位申請の9ヶ月以上前に博士予備論文の審査に合格していなければなりません。

博士予備論文の審査は、指導教員及び副指導教員が行い、その報告に基づいて本研究科教授会(以下「教授会」という)が合否を判定し、9ヶ月後以降に学位を申請する資格の可否を決定します。

(博士予備論文受理期間)

6月期:2021年5月26日(水)~6月1日(火)

12月期:2021年11月24日(水)~11月30日(火)

6. 博士学位論文の提出について

文学研究科において授与する博士の学位は、博士(文学)とします。ただし、 専攻分野が学際領域等に係るもので、教授会が適当と認めるときは、博士(学術) の学位を申請することができます。

(1) 在学中の学位申請

在学中に博士論文を提出して課程博士の学位を申請しようとする学生は、以下の条件をすべて満たしていなければなりません。

- ① 博士後期課程に2年6ヶ月を超えて在学していること。
- ② 修了要件単位のうち、平成31年度以降入学者は6単位以上、平成30年度以前入学者は8単位以上(いずれも博士論文作成演習4単位以上を含む)を修得していること。研究指導を受け、博士論文の構想を届け出ていること。
- ③ 9ヶ月以上前に博士予備論文を提出してその審査に合格していること。 ただし、上記の規定にかかわらず、平成31年度以降入学者は6単位以上、 平成30年度以前入学者は8単位以上(いずれも博士論文作成演習2単位以上 を含む)を修得し、研究指導を受け、かつ、優れた研究業績を上げた学生で、 教授会が特に認めた場合には、博士論文の構想の届け出及び博士予備論文の提 出を行っていなくとも、後期課程に半年を超えて在学していれば、博士論文を 提出して学位を申請することができます。ただし、在学期間に関しては、修士

課程又は前期課程を2年未満の在学期間で修了した者については、後期課程と 通算して2年6ヶ月を超えて在学していなければなりません。

学位論文を申請する場合、学生は指導教員を通じて、申請手続き書類一式を 受領のうえ、所定の期間に教務係に提出してください。

(課程博士学位論文受理期間)

6月期:2021年6月7日(月)~6月11日(金)

12月期:2021年12月6日(月)~12月10日(金)

(2) 休学中の学位申請

休学中の学生は、博士論文・博士予備論文のいずれも提出できません。

ただし、休学の事由が留学等による場合には、博士予備論文に限り提出することができます。この場合、指導教員の説明書きを添付してください。

(3) 退学後の学位申請

単位修得退学とは、後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受け、かつ、博士論文の構想を届け出たうえ退学することをいいます。

単位修得退学者は、退学後2年間の所定の期間に限り、博士予備論文を提出することができます。

学位を申請する単位修得退学者は、学位申請の9ヶ月以上前に博士予備論 文の審査に合格していなければなりません。

博士予備論文の審査は、在学時の指導教員及び副指導教員等が行い、その報告に基づいて、教授会が合否を判定し、9ヶ月後以降に学位を申請する資格の可否を決定します。

単位修得退学者は、在学中もしくは退学後に博士予備論文を提出し、その審査に合格していれば、大阪大学大学院学則第13条の規定に基づき、退学後3年間の所定の期間に限り、博士論文を提出して課程博士の学位を申請することができます。

学位申請の際には、在学時の指導教員を通じて、申請に必要な書類等を入手 したうえで教務係に提出してください。(必要書類は、博士学位申請手続き必 要書類一覧を参照してください。)

その他学位申請に関する手続きについては、教務係に問い合わせてください。

(4) 博士論文の審査基準について

文学研究科における博士論文の審査基準が別に定められています。p.219 「大阪大学大学院文学研究科における博士学位申請論文の審査基準」を参照してください。 (参考) 博士後期課程研究指導関係書類・博士学位論文等提出スケジュール 審査手続きについては、掲示等にも注意してください。

4月 「研究指導計画書」の提出 学生→指導教 対象年次:1~3年次 員・教務係

所定の期日までに指導教員へ「研究指導計画書」を、教務係へ「研究指導計画確認書」を提出してください。

1年次:研究指導計画書に「研究目標を取りまとめたもの」を添付してください。 2年次:研究指導計画書に「博士論文の構想」を添付してください。

6月 「博士予備論文」の提出 学生→教務係 対象年次:3年次以降

前年度までに「博士予備論文」を提出していない者が対象となります。 博士予備論文題目届とともに提出してください。

6月 「博士学位論文」の提出 学生→教務係 対象年次:3年次以降

前年度 6 月までに博士予備論文を提出し、審査に合格した学生が対象となります。

学位申請様式を必要部数用意のうえ、指導教員とともに所定の期日までに教務係へ提出してください。教務係で学位申請論文の受理後、文学研究科研究推進室において、学位申請論文を3週間公開します。その後、審査委員会による審査を行います。

12月 「博士予備論文」の提出 学生→教務係 対象年次:2年次以降

前年度までに「博士予備論文」を提出していない学生が対象となります。博士予備論文題目届とともに提出してください。

12月 「博士学位論文」の提出 学生→教務係 対象年次:3年次以降

前年度 12 月までに博士予備論文を提出し、審査に合格した学生が対象となります。

学位申請様式を必要部数用意のうえ、指導教員とともに所定の期日までに教務係へ提出してください。教務係で学位申請論文の受理後、文学研究科研究推進室において、学位申請論文を3週間公開します。その後、審査委員会による審査を行います。

2月 「研究概要報告書(正・副)」の提出 | 学生→指導教員 | 対象年次:1~3年次

所定の期日までに指導教員へ「研究概要報告書」を提出してください。

12 月期に「博士予備論文」または「博士学位論文」を提出した学生は、提出不要です。

博士学位申請手続き必要書類一覧

大阪大学大学院文学研究科

		1**-1		±n akt	提出時期			
	必要書類等	様式	形式	部数	申請時	審査後	備考	
1	学位申請書	様式文1	紙	1	0		文学研究科長宛	
2	論文目録	様式 2	紙	1	0		数量は「1冊」としてください。 印刷公表(予定)年月日等が未定の場合は、以下すべての項目を「未定」と	
_		14.20.2	電子データ (Word)	1	0		してください。	
3	論文内容の要旨	様式3	紙	2	0		4000字程度を横書きで作成してください。 原則としてタイプ打ち(9ポイント MS明朝体)で作成し、A4版用紙2	
		13.124	電子データ (PDF)	1	0		枚以内で提出してください。 複数枚にわたる場合、左上ホッチキス止めしてください。	
4	履歴書	様式 4	紙	2	0		日付は、学位記及び証明書等で確認の上、正確に記入してください。 また、外国人申請者は、外国籍用を使用し、各年月日は、必ず西暦で記入し	
	版证音	水工(干	電子データ (Word)	1	0		てください。	
		任意様式					・著書、学術論文、口頭発表等の題目 ・単著、共著の別	
5	業績一覧	右記「備_	紙	1	0		・発行書、発表雑誌又は発表学会等の名称 ・発行、発表年月日 ・ページ数(単行本の場合は、総ページ数ないし担当ページ数を明記してく	
		考」欄の項 目を満たし て下さい。					ださい。審査対象となる提出論文は、含めないでください。)	
•	W		in		〇 単位修		文学研究科教務係にて発行申込手続を行ってください。	
6	単位修得退学証明書		紙	1	得退学 者のみ		(申し込みから発行までに約3日程度かかります。)	
			冊子	1	0		閲覧に耐えうるよう製本したものを用意して下さい。(簡易製本でかまいませんが、指導教員より指示がある場合はそれに従ってください。)	
7	主論文						400字詰め300枚程度を基準としてください。 縦A4版が望ましい。 表紙及び背表紙に論文題目及び学位申請者氏名を必ず記載してください。	
			電子データ (PDF)	1	0		審査用に必ず別途必要部数を用意してください。 審査用必要部数は、関係教員に確認してください。	
				中本日	〇 参考論		際本田に公正物料ナ田辛してノギナル	
8	参考論文			審査員 数分	文があ る場合 のみ		審査用に必要部数を用意してください。 審査用必要部数は、関係教員に確認してください。	
	は上込在の /) と と !		紙	1	0			
	博士論文のインターネット 公表(大学機関リポジトリ 掲載)確認書	様式10	電子ご た				指導教員と著作権等に関する内容を相談のうえ提出してください。	
			電子データ (Word)	1	0			
10	博士論文のインターネット 公表(大学機関リポジトリ 掲載)保留事由に係る報告	様式 1 1	紙	1			様式10において「全文の公表の保留希望」を選択した場合は「インター ネット公表(大学機関リボジトリ掲載)保留事由に係る報告書(様式1	
	書						1)」を提出してください。	
11	提出後の連絡先	様式 1 2	紙	1	0		論文提出以降の連絡先を記入し提出してください。	
		ا بحدوا	424				留学生の方は英文トランスクリプトに記載する氏名も記入してください。	

(注意事項)

- 1. 教務係に学位申請する際は、必ず関係教員を通じて行ってください。 申請の際は、必ず印鑑を持参してください。
- 2. 課程博士の学位申請期限は、単位修得退学後3年以内(12月又は6月の所定期間内に限ります。)となります。
- 3. 電子データはファイル形式を確認し、提出はUSBメモリに入れて提出してください。
- 4. 提出した電子データの内容に変更が生じた場合は教務係に再提出してください。

7. 長期履修学生制度について

文学研究科では、以下の申請資格を満たす大学院生が標準修学年数(修士・博士前期課程:2年、博士後期課程3年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することができるよう「長期履修学生制度」を設けています。

(1)申請資格

- ①職業を有する者
 - 正規雇用・非正規雇用にかかわらず、恒常的に勤務している者、または勤務する予定である者。ただし、外国人留学生を除きます。
- ②出産・育児・介護等を行う必要のある者 小学校就学前までの子を養育する必要のある者、または親族の介護等を 行う必要のある者。
- ③その他、特に長期に履修することが研究教育上必要と認められる者

(2) 申請手続き等について

長期履修制度は、入学時・進学時だけでなく、在学中の年度のはじめから適用することができます。申請手続にあたっては、指導教員と相談のうえ、教務係が指定する期日(前年度2月頃)までに所定の様式により願い出てください。ただし、長期履修制度申請時に標準修業年数の残りが1年未満である者は申請することができません。

長期履修期間は、在学年限(修士・博士前期課程:4年、博士後期課程:5 年)の範囲内で選択することができます。

(3)長期履修期間の変更等について

長期履修を認められた学生(以下「長期履修学生」という。)が事情により 履修期間の短縮を願い出る場合は、前年度の教務係が指定する期日までに願い 出なければなりません。ただし、特別な事情がある場合には、指定する期日以 外の時期においても履修期間の短縮を願い出ることができます。

(4)長期履修学生の授業料について

長期履修学生の授業料及び授業料の徴収方法については、大阪大学学生納付金規程の規定によります。

その他、長期履修制度に関する手続きについては、教務係にお問い合わせください。

8. 横断型教育について

(1) 大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムについて

大阪大学では、大学院教育における高度教養教育の更なる展開に向けて導入された「学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture、DWAA)」を推進しており、その一環として、大学院に入学した学生を中心に、学生が所属する主専攻の教育課程以外の教育プログラムを履修できる「大学院副専攻プログラム」、「大学院等高度副プログラム」を提供しています。

「大学院副専攻プログラム」、「大学院等高度副プログラム」は、学生が所属する主専攻の教育課程以外の内容を学んだり、あるいは主専攻の専門性を生かすための関連分野を学んだりするための教育プログラムです。主専攻の学修と並行して、用意されたプログラム科目を効果的に受講することで、学際的・俯瞰的な視点や複眼的視野を養うことを目的としています。

どちらのプログラムも、教育目標に沿った一定のまとまりのある授業科目で構成されており、 各プログラムが定める要件を満たすことで、当該プログラムの修了認定証が交付されます。

令和3年度は、以下に記載する「副専攻プログラム」18プログラム、「高度副プログラム」42プログラムが実施されます。

各プログラムの詳細については、大阪大学の Web サイトをご参照ください。なお、大学院の新入生にはプログラムのパンフレットを別途配布します。

(2) 学際融合教育科目について

本学における横断型教育(学部・研究科の枠を超えた学び)の、より一層の充実を目指して、 複眼的視野を涵養するための授業科目として「**学際融合教育科目**」を設置しています。

学際融合教育科目は、全学の大学院学生に提供していますので、興味のある方は是非履修して みてください。

- ※学際融合教育科目は、大学院横断教育科目の科目区分の一つとして開講しており、その他の科目区分としては、コミュニケーションデザイン科目(高度教養・汎用力の基礎となる教育に関する授業科目)、CO デザイン科目(社会的課題に応じた高度汎用力を備えた人材育成のための教育に関する授業科目)があります。詳細については、それぞれのシラバスを参照してください。
- ※履修登録は、全学で統一された「他部局科目の履修登録期間」内に KOAN (学務情報システム) から行ってください (https://koan.osaka-u.ac.jp)。
- ※これら大学院横断教育科目の単位認定についての取り扱いは、研究科によって対応が異なります。修了要件への算入可否については、事前に指導教員や所属研究科の教務担当窓口に確認してください。

その他、詳細は以下の URL からご参照ください。

http://www.celas.osaka-u.ac.jp/students/senior/

(3) コミュニケーションデザイン科目及び CO デザイン科目について

■教育プログラムの目的

大阪大学は、高等教育における新しい教育の目標として〈高度汎用力〉の育成を掲げています。 CO デザインセンターは**人をつなぎ、知識をつなぎながら、ともに創出する力を身につける**ための 学部・研究科横断型の新しい高度教養・高度汎用力育成プログラムの研究開発と教育にあたって います。

「コミュニケーションデザイン科目」は、対話することを通して、課題を発見し、ともにその解決をめざし、社会のなかで実践するための基礎的な教育プログラムとして学部生、大学院生を対象に開講されています。

また、「CO デザイン科目」は、さまざまな現実の社会課題の解決を目指したアドバンスト・プログラムとして、より系統的に社会実践力を修養するための科目群として大学院学生を対象に開かれています。

■各研究科・学部でのコミュニケーションデザイン科目及び CO デザイン科目の取り扱いについて

コミュニケーションデザイン科目及び CO デザイン科目の単位認定についての取り扱いは、各学部・研究科によって対応が異なりますので、履修に際しては、事前に指導教員や所属学部・研究科の教務担当窓口に必ず相談してください。

なお、CO デザイン科目は、大学院学生(修士課程、博士前期課程、博士後期課程)対象の科目のため、学部学生は履修することはできません。

■履修手続方法について

コミュニケーションデザイン科目と CO デザイン科目の履修登録は、全学で統一された「他部局科目の履修登録期間」内に KOAN (学務情報システム) から行ってください

(https://koan.osaka-u.ac.jp)

令和3(2021)年度文学部開講科目一覧

- 文学部共通概説
- 人文学概説 【高度教養教育科目】
- 卒業論文
- ・インターンシップを含む科目
- ・ 外国語による発信力を育成するための科目
- ・専修及び専修が別に定める科目
- ・ 全学共通教育科目のうち、文学部の専門教育科目となるもの
- 動態論科目
- 外国語科目
- ・日本語科目
- 学芸員資格認定科目
- ・教育職員免許状の取得に関係する科目・教職に関する科目(各教科の指導法)
- マルチリンガル・エキスパート養成プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目
- マルチリンガル・エキスパート養成プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目

◆備考欄の略号について

隔週:隔週で行われる授業 英:英語で行われる授業

独:ドイツ語で行われる授業 仏:フランス語で行われる授業 イン:インターンシップを含む科目

◆担当教員欄

[]:非常勤講師〈 〉: 招へい教員

文学部共通概説

文学部共通概説は、火曜2限・木曜2限に、文学部の各教員がオムニバス方式で授業する科目です。 必修科目ですので、1年次学生は全員履修しなければなりません。 このため、当該授業時間帯(春~夏学期の火曜2限・木曜2限)に他の授業科目を履修登録してはいけません。

開講 時期	曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	火2 木2	000001	文学部共通概説	文学部共通概説	文学部 専任教員	2	1年	必修	
		1 大学生剂	舌で起こりうる問題の解決のしか	たを知る。					
到達目標 2 大学における学びの基本について習熟する。									
3 人文系の諸分野について理解を深めて自分の学びを定める。									

文学部の学生の皆さんは、1回生の11月に専修を決めて、2回生から専門の勉強を始めます。この授業では、文学部で学ぶことのできる全専修(研究分野)の紹介がなされます。学生の皆さんは、自分の学びたかった学問や、今まで知らなかった学問について、深く知る機会となるでしょう。またこの授業では、資料の集めかたや、レポートの書きかたなど、大学での学びの基本についてのガイダンスがあります。さらにまた、留学にかんすることや、大学生活において知っておきたいことが紹介されます。

この授業は文学部1回生の必須科目です。この授業の時間帯、火曜2限と木曜2限にほかの授業を登録してはなりません。この授業はCLEという大学のオンラインのシステムを併用しておこないます。CLEの文学部共通概説のページにおいて、情報を得たり、資料を入手したりできるほか、課題の提出もそこでおこないます。授業について詳しくはCLEをご覧になってください。

専修の授業のあとには300文字程度のコメントをCLEから提出します。加えて、授業の最後に2つ専修を選び、それぞれの分野が指定するテーマについて、それぞれ2000文字程度の文章を書いて、最終レポートとします。2つのレポートは、CLEから提出します。

文学部共通概説 担当者一覧

令和3年度 文学部共通概説 担当教員日程表

J. 199 O. 179	教室: 文法経講纂	棟/文41講義室	→ 1788 0 179	教室: 文法経講編	義棟/文41講義室		
火曜2限	教員名	専修	木曜2限	教員名	専修		
4月13日	イントロダ	クション	4月15日	伊東信宏輪島裕介	音楽学・演劇学		
4月20日	永 田 靖	音楽学・演劇学	4月22日	門 脇 む つ み	美術史学		
4月27日	高 安 啓 介西 井 奨	美学・文芸学	4月29日				
5月4日			5月6日	三木那由他	哲学・思想文化学		
5月11日	山 上 浩 嗣	フランス文学	5月13日	堀江 剛、ほんま なほ、 小 西 真 理 子	倫理学		
5月18日	吉田耕太郎	ドイッ文学	5月20日	辛賢	中国哲学		
5月25日	学修ガイ	ダンス	5月27日	アカデミック・ラ	イティング入門		
6月1日	アカデミック・ライ	イティング入門	6月3日	アカデミック・ラ	イティング入門		
6月8日	片 渕 悦 久	英米文学・英語学	6月10日	堂山英次郎	インド哲学		
6月15日	岡田禎之	英米文学・英語学	6月17日	川 合 康	日本史学		
6月22日	陳 竺 慧	中国文学	6月24日	松井太	東洋史学		
6月29日	学部学生による	自主研究発表	7月1日	中 谷 惣	西洋史学		
7月6日	斎藤理生· 岡島昭浩	日本文学・国語学	7月8日	高橋照彦	考 古 学		
7月13日	橋本順光	比 較 文 学	7月15日	三宅知宏	日 本 語 学		
7月20日	北 村 毅	日 本 学	7月22日				
7月27日	佐 藤 廉 也	人文地理学	7月29日	学修ガイダンス(研究室訪問)			
8月3日	(予備	日)					

^{*}時間割は、4月13日~7月29日の火曜2限・木曜2限です。

^{*}教室は、文法経講義棟 文41講義室 です。

^{*4}月13日(火)イントロダクション、5月25日(火)学修ガイダンス、6月29日(火)学部学生による自主研究発表、7月29日(木)学修ガイダンス(研究室訪問)があります。

^{*}アカデミック・ライティング入門はオンラインで実施します。

人文学概説

【高度教養教育科目】

※必修科目ではありません。

人文学概説は、大阪大学文学部の人文学研究を構成する6つの分野(哲学・史学・日本学・文学A・文学B・芸術学)から提供される2回ずつの講義、および先端的な人文学研究を展開するゲストスピーカーの講義を通じて、専門分野と現代社会との関わりや人文学一般の現代的意義を講じるオムニバス形式の授業です。

開講時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
秋~冬	木5	000003	人文学概説	人文学の課題と意義を考える	文学部 専任教員	2	2,3年	2019年度以 降入学者対 象	
到達	目標	特殊専門分野に限定されない人文学の全体的な諸課題とその意義を高度教養として理解する。							
成績評	価方法		るショートレスポンス(45%) 講義に対するコメントシート(5% %))					

この授業はCLEという大学のオンラインのシステムを併用しておこないます。CLEの人文学概説のページにおいて、情報を得たり、資料を入手したりできるほか、課題の提出もそこでおこないます。授業について詳しくはCLEをご覧になってください。

授業のあとにはショートレスポンスをCLEから提出します。加えて、最後に自身の専修以外の専修を1つ選び、それぞれの教員から指定されたテーマについて、4000文字~5000文字程度の文章を書いて、学期末レポートとします。学期末レポートも、CLEから提出します。

令和3年度 人文学概説 担当教員日程表

	5限	教室: 豊中総合学館/	302講義室	
个唯	対限	教員名	専修	
第1回	10月7日	イントロダクショ 《野村 玄》		
第2回	10月14日	高安 啓介	美学・文芸学	
第3回	10月21日	辛 賢	中国哲学	
第4回	10月28日	田口 宏二朗	東洋史学	
第5回	11月11日	中嶋 泉	日本学	
第6回	11月18日	浅見 洋二	中国文学	
第7回	11月25日	吉田 耕太郎	ドイツ文学	
第8回	12月2日	伊東 信宏	音楽学•演劇学	
第9回	12月9日	堂山 英次郎	インド学・仏教学	
第10回	12月16日	福永 伸哉	考古学	
第11回	12月23日	マシュー・バーデルスキー	日本語学	
第12回	1月6日	鈴木 暁世	比較文学	
第13回	1月13日	山田 雄三	英米文学	
第14回	1月20日	ゲストスピーカ (尾崎 真理先生/適塾記念セ		
第15回 1月27日 総括 《野村 玄》				

卒業論文

開講時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
秋~冬 (4年次)	_	000002	卒業論文	卒業論文	_	10	4年	必修	
到達	到達目標 大阪大学文学部の学生として4年間の勉学の成果にふさわしい論文を作成する。								
成績評	成績評価方法		での審査による。						

卒業論文の提出方法等については、p.31で確認してください。

インターンシップを含む科目

文学部で開設されている科目のうち、次のものについては、授業の中でインターンシップが設定されています。 その期間、受け入れ先、受け入れ人数、参加資格などについては、開講時の説明、または開講期間以外に開催されるガイダンスに必ず参加 し、十分確認してください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	火4	006414	西洋美術史演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	2,3,4年	イン	
春~夏	不定期	006406	東洋美術史演習	日本・東洋美術史の諸問題(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	2,3,4年	イン	
秋~冬	月3	006205	音楽学演習	音楽学の主題、資料、方法2	伊東 信宏	2	2,3,4年	イン	
秋~冬	火4	006414	西洋美術史演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	2,3,4年	イン	
秋~冬	不定期	006230	演劇学演習	劇場制作研修	永田 靖	2	2,3,4年	イン	
秋~冬	不定期	006407	東洋美術史演習	日本・東洋美術史の諸問題(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	2,3,4年	イン	

外国語による発信力を育成するための科目

文学部で開設されている科目のうち、次のものは、外国語による発信力を育成するために外国語による研究論文やレポートを作成するための専門科目です。授業の目的、授業内容、授業計画等については、シラバスを参照してください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題 目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月4	005011	ドイツ語学Ⅲ演習	Kommunikative und Kulturelle Kompetenz I	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独	
春~夏	火4	008505	Introduction to Contemporary Japanese Studies 1	Topics in Japan's Modern History and Historiography	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	2,3,4年	英	0
春~夏	火5	008501	Basic Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 1	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	2,3,4年	英	0
春~夏	木3	008500	Basic Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	2,3,4年	英	0
春~夏	木4	008504	Introduction to Contemporary Japanese Studies 1	Keywords in Japanese Studies Today	Nicholas Mahood Lambrecht	2	2,3,4年	英	0
春~夏	木4	005208	フランス語学 I 演習	Préparation des examens de langue franç aise DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	仏	
秋~冬	月4	005012	ドイツ語学IV演習	Kommunikative und Kulturelle Kompetenz II	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独	
秋~冬	火4	008507	Introduction to Contemporary Japanese Studies 2	Borders, Migration, and Minorities in Japan's Modern History	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	2,3,4年	英	0
秋~冬	火5	008503	Basic Academic Skills for Humanities 2	Interacting in International Classrooms 2	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	2,3,4年	英	0
秋~冬	木3	008502	Basic Academic Skills for Humanities 2	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	2,3,4年	英	0
秋~冬	木4	008506	Introduction to Contemporary Japanese Studies 2	The Japanese Short Story	Nicholas Mahood Lambrecht	2	2,3,4年	英	0
秋~冬	木4	005209	フランス語学Ⅱ演習	Exercices pratiques de langue française	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	仏	
秋~冬	金2	008508	アカデミック・ライティング	Academic Writing	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	

哲学·思想文化学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題 目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月3	001046	現代哲学講義	討議をめぐる諸問題(4):討議におけるアノマリー的言説	嘉目 道人	2	2,3,4年		0
春~夏	月4	001023	哲学史演習	Hannah Arendt, Elemente und Urspruenge totaler Herrschaft を読む I	舟場 保之	2	2,3,4年		
春~夏	月5	001025	哲学史講義	カントと人権	舟場 保之	2	2,3,4年		0
春~夏	火4	001022	哲学史演習	フィヒテ『全知識学の基礎』を読む (3)	嘉目 道人	2	2,3,4年		
春~夏	水2	001054	現代哲学講義	ポール・グライスの哲学体系(2)	三木 那由他	2	2,3,4年		0
春~夏	水3	001040	現代哲学演習	パース著作集を読む (3): 記号学	嘉目 道人	2	2,3,4年		
春~夏	水4	001045	現代哲学講義	文字通りの意味についての現代の討論	MALIK LUKE	2	2,3,4年	英	0
春~夏	水4	001020	論理学演習	論理学初級(1)	三木 那由他	2	2,3,4年		
春~夏	木1	001027	哲学史演習	ドイツ哲学基本文献講読 I	舟場 保之	2	2,3,4年		
春~夏	木2	001017	哲学講義	西洋哲学通史(デカルトから現代まで)	西條 玲奈、[谷山 弘太] 中村 征樹、[野々村 梓] 舟場 保之、三木 那由他 山上 浩嗣、嘉目 道人	2	2,3,4年		0
春~夏	木4	001014	哲学講義	分析形而上学における現代普遍論争とその射程(1)	西條 玲奈	2	2,3,4年		0
春~夏	金4	001037	現代哲学演習	マーガレット・ギルバート『社会的事実について』を読む	三木 那由他	2	2,3,4年		
秋~冬	月4	001024	哲学史演習	Hannah Arendt, Elemente und Urspruenge totaler Herrschaft を読む II	舟場 保之	2	2,3,4年		
秋~冬	月5	001026	哲学史講義	J.ハーバーマスの思想 XIV	舟場 保之	2	2,3,4年		0
秋~冬	火4	001029	哲学史演習	フィヒテ『全知識学の基礎』を読む (4)	嘉目 道人	2	2,3,4年		
秋~冬	水2	001047	現代哲学講義	会話の哲学	三木 那由他	2	2,3,4年		0
秋~冬	水3	001019	現代哲学演習	パース著作集を読む (4): 記号学	嘉目 道人	2	2,3,4年		
秋~冬	水4	001021	論理学演習	論理学初級(2)	三木 那由他	2	2,3,4年		
秋~冬	木1	001028	哲学史演習	ドイツ哲学基本文献講読 II	舟場 保之	2	2,3,4年		
秋~冬	木4	001015	哲学講義	分析形而上学における現代普遍論争とその射程(2)	西條 玲奈	2	2,3,4年		0
秋~冬	月3	001033	哲学史講義	フィヒテ哲学の研究 (2): フィヒテの観念論	嘉目 道人	2	2,3,4年		0
秋~冬	金4	001013	現代哲学演習	マーガレット・ギルバート『社会的事実について』を読む	三木 那由他	2	2,3,4年		
春~夏	火4	001051	科学史•科学論講義	生命科学の病理学	中村 征樹 〈江口 太郎〉	2	2,3,4年		0
春~夏	水1	001039	現代哲学講義	SDGsを途上国に現地化する:哲学プラクティスを通した国際協力	望月 太郎	2	2,3,4年		0
春~夏	木1	001030	現代哲学演習	アフリカ哲学とは何か	望月 太郎	2	2,3,4年		
秋~冬	火4	001044	現代哲学演習	文理の溝を超えて:『高等教育における人文・アートと科学・工学・医学の融合』を読む	中村 征樹	2	2,3,4年		
秋~冬	水1	001032	現代哲学講義	コラプションの哲学	望月 太郎	2	2,3,4年		0
秋~冬	水5	001050	科学史•科学論講義	レジリエンスを考える	中村 征樹	2	2,3,4年		0
秋~冬	木1	001031	現代哲学演習	モース『贈与論』を読む	望月 太郎	2	2,3,4年		

倫理学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
夏	集中	001232	臨床哲学演習	ソクラティク・ダイアローグ	堀江 剛	2	2,3,4年		
春~夏	火3	001210	倫理学演習	ギリガンを読む	小西 真理子	2	2,3,4年		
春~夏	火5	001233	社会哲学講義	コミュニケーションの哲学	堀江 剛	2	2,3,4年		0
春~夏	水2	001225	倫理学講義	倫理学概論:ともに生きるための倫理学	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	2,3,4年		0
春~夏	水3	001212	倫理学演習	倫理学の論文作成A	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	2,3,4年		
春~夏	金3	001221	倫理学演習	英語で倫理学する	[PECKITT MICHAEL GILLAN]	2	2,3,4年	英	
春~夏	金3	001202	ジェンダー・セクシュアリティ研究基 礎講義	ジェンダーとセクシュアリティを解きほぐす	ほんま なほ 小西 真理子 中嶋 泉 西條 玲奈	2	2,3,4年		0
秋~冬	月3	001203	ジェンダー・セクシュアリティ研究基 礎演習	わたしたちとフェミニズム哲学	ほんま なほ	2	2,3,4年		
秋~冬	火2	001213	倫理学演習	倫理学のレシピ	ほんま なほ 堀江 剛 小西 真理子	2	2,3,4年		
秋~冬	火3	001211	臨床哲学講義	ケアの倫理と臨床哲学	小西 真理子	2	2,3,4年		0
秋~冬	火4	001234	社会哲学演習	応用倫理文献講読	堀江 剛	2	2,3,4年		
秋~冬	水3	001208	倫理学演習	倫理学の論文作成B	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	2,3,4年		

中国哲学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	火5	001404	中国哲学演習	論文作成演習	辛 賢	4	2,3,4年		
春~夏	月4	001412	中国哲学演習	中国文献学演習I	辛 賢	2	2,3,4年		
春~夏	火4	001410	中国哲学講義	易のはなし	辛 賢	2	2,3,4年		0
春~夏	水4	001401	中国哲学講義	中国思想史概説一諸子百家—	湯淺 邦弘	2	2,3,4年		0
春~夏	金2	001408	中国哲学演習	中国出土文献の研究	湯淺 邦弘	2	2,3,4年		
秋~冬	月4	001409	中国哲学演習	中国文献学演習II	辛 賢	2	2,3,4年		
秋~冬	火4	001411	中国哲学講義	中国の神仙思想と死生観―不老不死への道―	辛賢	2	2,3,4年		0
秋~冬	金2	001407	中国哲学演習	懐徳堂文庫漢籍の研究	湯淺 邦弘	2	2,3,4年		

インド哲学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
夏	集中	001609	インド哲学演習	死後の諸世界とそこに至る道たち:古代インドの死生 観	[阪本 純子]	2	2,3,4年		
春~夏	月3,金2	001612	インド文化学演習	サンスクリット語初級	名和 隆乾	4	2,3,4年		
春~夏	火1	001603	インド哲学演習	論文作成指導1	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	2,3,4年		
春~夏	火2	001604	仏教学演習	論文作成指導1	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	2,3,4年		
春~夏	水5	001613	インド哲学演習	ヴェーダ文献研究1	堂山 英次郎	2	2,3,4年		
春~夏	木2	001602	仏教学演習	パーリ語文献研究1	名和 隆乾	2	2,3,4年		
秋~冬	月3	001611	インド文化学演習	サンスクリット語初級講読	堂山 英次郎	2	2,3,4年		
秋~冬	月5	001601	インド哲学史講義	古代インド諸思想を読み解く 一ヴェーダから仏教へ	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	2,3,4年		0
秋~冬	火1	001606	インド哲学演習	論文作成指導2	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	2,3,4年		
秋~冬	火2	001607	仏教学演習	論文作成指導2	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	2,3,4年		
秋~冬	水5	001615	インド哲学演習	ヴェーダ文献研究2	堂山 英次郎	2	2,3,4年		
秋~冬	木2	001605	仏教学演習	パーリ語文献研究2	名和 隆乾	2	2,3,4年		

日本史学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	金4	002003	日本史学演習	日本古代史料演習(『類聚三代格』講読)	市大樹	4	2,3,4年		
夏	集中	002029	日本文化史講義	古代天皇制を考える	[丸山 裕美子]	2	2,3,4年		0
春~夏	火2	002015	日本史学講義	中世天皇家の諸相	伴瀬 明美	2	2,3,4年		0
春~夏	火4	002010	日本史学演習	日本近代史料演習1	飯塚 一幸	2	2,3,4年		
春~夏	水3	002006	日本史学演習	日本史史料演習	川合 康	2	2,3,4年		
春~夏	水3	002007	日本史学演習	日本史論文演習	飯塚 一幸	2	3,4年		
春~夏	水4	002021	日本史学演習	日本近世史くずし字読解演習	野村 玄	2	2,3,4年		
春~夏	水4	002028	日本史学演習	日本中世古文書演習	伴瀬 明美	2	2,3,4年		
春~夏	水5	002008	日本史学演習	近世古文書の解読	野村 玄	2	3,4年		
春~夏	木2	002001	日本史学演習	日本史上の諸問題	市 大樹 飯塚 謙太郎 川合 康 野村 明美	2	3,4年		
春~夏	金3	002012	日本史学演習	中世史料講読	川合 康	2	2,3,4年		
春~夏	金3	002026	日本史学講義	新出資料による日本古代史像の再検討―宮都の成立過程 を中心に④―	市大樹	2	2,3,4年		0
秋~冬	火2	002011	日本史学演習	日本近代史料演習2	飯塚 一幸	2	2,3,4年		
秋~冬	火4	002013	日本史学講義	自由民権運動の再検討	飯塚 一幸	2	2,3,4年		0
秋~冬	水2	002017	日本史学講義	源賴朝論	川合 康	2	2,3,4年		0
秋~冬	水4	002018	日本史学講義	日本近世国家論・日本近世政治史の新構築	野村 玄	2	2,3,4年		0
秋~冬	水4	002023	日本史学演習	中世史料講読	伴瀬 明美	2	2,3,4年		
秋~冬	水5	002020	日本史学演習	近世古文書の解読と整理	野村 玄	2	3,4年		
秋~冬	木2	002022	日本史学演習	日本近世史仮名くずし字読解演習	野村 玄	2	2,3,4年		
秋~冬	金2	002002	日本史学演習	日本古代史料演習(『令義解』講読)	市大樹	2	2,3,4年		
秋~冬	金3	002014	日本史学演習	中世史料講読	川合 康	2	2,3,4年		
秋~冬	金3	002025	日本史学演習	日本古代史料演習(七大寺巡礼私記の講読)	市大樹	2	3,4年		
春~夏	水2	002212	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏二朗	2	2,3,4年	史学 共通	0
春~夏	木3	002431	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	3,4年	史学 共通	0
秋~冬	木3	002432	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代的な賭課 題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	3,4年	史学 共通	0

東洋史学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	木2	002201	東洋史学演習	東洋史学合同演習	松井 太 田口 宏二朗 河上 麻由子	4	2,3,4年		
春~夏	月3	002219	東洋文献学演習	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	3,4年		
春~夏	月4	002208	東洋史学演習	中国史英語文献講読C	田口 宏二朗	2	2,3,4年		
春~夏	火1	002202	東洋史学講義	中央アジア=ウイグル王国史の諸問題	松井 太	2	2,3,4年		0
春~夏	火2	002231	東洋史学演習	中央アジア史英語演習(1)	松井 太	2	3,4年		
春~夏	火4	002236	東洋文献学演習	東アジア漢文史料読解(1)	河上 麻由子	2	2,3,4年		
春~夏	水1	002203	東洋史学演習	古代トルコ・モンゴル文献学演習(3)	松井 太	2	2,3,4年		
春~夏	水3	002235	東洋文献学演習	漢籍基礎講読(1)上	田口 宏二朗	2	2年		
春~夏	金5	002214	東洋文献学演習	北〜中央アジア史漢文史料読解	松井 太	2	3,4年		
秋~冬	月3	002233	東洋文献学演習	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	3,4年		
秋~冬	月4	002230	東洋史学演習	中国史英語文献講読C	田口 宏二朗	2	2,3,4年		
秋~冬	火1	002238	東洋史学演習	東アジア史英語演習	河上 麻由子	2	2,3,4年		
秋~冬	火2	002205	東洋史学演習	中央アジア史英語演習(2)	松井 太	2	2,3,4年		
秋~冬	火2	002218	東洋史学講義	中国古典籍概論―中国学・日本学を学ぶ人のために―	堤 一昭	2	2,3,4年		0
秋~冬	火4	002237	東洋文献学演習	東アジア漢文史料読解(2)	河上 麻由子	2	2,3,4年		
秋~冬	水1	002204	東洋史学演習	古代トルコ・モンゴル文献学演習(4)	松井 太	2	2,3,4年		
秋~冬	水3	002217	東洋文献学演習	漢籍基礎講読(1)下	田口 宏二朗	2	2年		
秋~冬	金5	002220	東洋文献学演習	北〜中央アジア史漢文史料読解	松井 太	2	3,4年		
春~夏	水2	002212	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏二朗	2	2,3,4年	史学 共通	0
春~夏	木3	002431	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新し い大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	3,4年	史学 共通	0
秋~冬	木3	002432	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代的な諸 課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	3,4年	史学 共通	0

西洋史学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春	水4	002436	西洋史学講義	西洋現代史入門―世界史の文脈で考える	秋田 茂	1	3,4年	ターム	0
春	木2	002433	西洋史学講義	西洋古代史入門	栗原 麻子	1	2,3,4年	ターム	0
夏	月3	002437	西洋史学講義	西洋近代史入門	HEÉ Nadine	1	3,4年	ターム	0
夏	月4	002442	西洋史学演習	西洋近代史文献講読	HEÉ Nadine	1	3,4年	ターム	
夏	水4	002441	西洋史学演習	西洋現代史文献講読―世界現代史と関連で	秋田 茂	1	3,4年	ターム	
夏	木2	002438	西洋史学演習	西洋古代史入門	栗原 麻子	1	2,3,4年	ターム	
夏	不定期	002444	西洋史学演習	西洋史学上の諸問題2	藤川 隆男、秋田 茂 栗原 麻子、中谷 惣 見瀬 悠	1	4年	ターム	
春~夏	月2	002407	西洋史学演習	イギリス帝国史とグローバルヒストリー	秋田 茂	2	3,4年		
春~夏	月2	002410	西洋史学講義	北アフリカから見た古代ローマ世界	栗原 麻子 [大清水 裕]	2	2,3,4年		0
春~夏	月3	002409	歷史資料学演習	歴史研究の実践的知識と技術	[石田 真衣]	2	2,3,4年		
春~夏	火3	002421	西洋史学リサーチ演習	西洋近世史演習	見瀬悠	2	3,4年		
春~夏	火4	002412	西洋現代史演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	KROZEWSKI Gerold Michael	2	3,4年	英	
春~夏	水3	002416	西洋史学リサーチ演習	オーストラリア史演習一デジタル・ヒストリー	藤川 隆男	2	3,4年		
春~夏	水5	002415	西洋史学リサーチ演習	ギリシア・ジェンダー史研究の基礎1	栗原 麻子	2	3,4年		
春~夏	木2	002403	西洋史学リサーチ演習	環境史の視座から見た帝国研究I	HEÉ Nadine	2	3,4年		
春~夏	木4	002420	西洋史学リサーチ演習	1950年代から1960年代にかけてのアメリカ合衆国に おける大学と国家、社会	[藤岡 真樹]	2	3,4年		
春~夏	金2	002405	西洋史学講義	ヨーロッパ中世都市の諸相--都市の公共善に迫る	中谷 惣	2	2,3,4年		0
春~夏	金3	002401	西洋史学講義	移民と外国人の近世フランス史	見瀬悠	2	2,3,4年		0
春~夏	金4,5	002423	西洋史学リサーチ演習	西洋中世史演習	中谷 惣	2	3,4年	隔週	
秋	金2	002434	西洋史学講義	西洋中世史研究の最前線	中谷 惣	1	2,3,4年	ターム	0
秋	金4	002435	西洋史学講義	西洋近世史入門	見瀬 悠	1	2,3,4年	ターム	0
冬	金2	002439	西洋史学演習	西洋中世史演習	中谷 惣	1	2,3,4年	ターム	
冬	金4	002440	西洋史学演習	西洋近世史文献講読	見瀬 悠	1	2,3,4年	ターム	
冬	不定期	002443	西洋史学演習	西洋史学上の諸問題1	秋田 茂、藤川 隆男 栗原 麻子、中谷 惣 見瀬 悠	1	3,4年	ターム	
冬	不定期	002445	西洋史学演習	西洋史学上の諸問題3	秋田 茂、藤川 隆男 栗原 麻子、中谷 惣 見瀬 悠	1	4年	ターム	
秋~冬	月2	002408	西洋史学演習	イギリス帝国史とグローバルヒストリー	秋田 茂	2	3,4年		
秋~冬	月4	002422	西洋史学ディベート演習	英米圏の歴史(英語)	藤川 隆男 KROZEWSKI Gerold Michael	2	3,4年	英	
秋~冬	火3	002418	西洋史学リサーチ演習	近世史フランス語講読	見瀬悠	2	3,4年		
秋~冬	火4	002413	西洋現代史演習	Experts and the overseas relations of European nation-states, 1890s-1960s	KROZEWSKI Gerold Michael	2	3,4年	英	
秋~冬	火5	002427	西洋史学リサーチ演習	日常性のなかの政治一前4世紀アテナイにおける市 民社会と法廷—	栗原 麻子	2	3,4年		
秋~冬	水3	002417	西洋史学リサーチ演習	オーストラリア史演習一デジタル・ヒストリー	藤川 隆男	2	3,4年		
秋~冬	水4	002406	西洋史学講義	特論:「インドとイギリス」再考―帝国関係から開発援助・G20へ	秋田 茂	2	2,3,4年		0
秋~冬	木1	002411	西洋史学リサーチ演習	環境史の視座から見た帝国研究II	HEÉ Nadine	2	3,4年		
秋~冬	木2	002425	西洋史学講義	Oceanic Approaches to Modern History	HEÉ Nadine	2	2,3,4年	英	0
秋~冬	金3	002404	西洋史学リサーチ演習	西洋近世史演習	見瀬悠	2	3,4年		
秋~冬	金4,5	002429	西洋史学リサーチ演習	西洋中世史演習	中谷 惣	2	3,4年	隔週	
冬	集中	002414	西洋史学講義	前4世紀アテナイにおける法と法制度 Athenian law and administration of justice in the fourth century B.C.	レーネ・ルビンスタイン 栗原 麻子	1	2,3,4年	英	0
春~夏	水2	002212	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏二朗	2	2,3,4年	史学 共通	0
春~夏	木3	002431	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	3,4年	史学 共通	0
秋~冬	木3	002432	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代的 な諸課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	3,4年	史学 共通	0

考古学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	水5	002609	考古資料論演習	考古学の基本技術	高橋 照彦 上田 直弥	4	3,4年		
春~夏	月3	002607	比較考古学演習	考古学洋書講読	高橋 照彦 上田 直弥	2	2,3,4年		
春~夏	水3	002606	考古資料論講義	日本古代における窯業生産	高橋 照彦	2	2,3,4年		0
春~夏	水4	002602	考古学講義	考古学の基礎的方法	福永 伸哉	2	2,3,4年		0
春~夏	木2	002604	考古学演習	考古学卒業論文演習	福永 伸哉 髙橋 照彦 上田 直弥	2	4年		
春~夏	不定期	002615	考古学演習	考古資料分析実践演習1	福永 伸哉 高橋 照彦 上田 直弥	2	2,3,4年		
秋~冬	月3	002614	考古学講義	日本考古学の研究アプローチ	福永 伸哉	2	2,3,4年		0
秋~冬	火4	002613	考古学講義	環境考古学を学ぶ	[宮路 淳子]	2	2,3,4年		0
秋~冬	水2	002608	比較考古学演習	考古学文献演習	福永 伸哉	2	2,3,4年		
秋~冬	水3	002605	日本考古学講義	歴史考古学の諸問題	髙橋 照彦	2	2,3,4年		0
秋~冬	木2	002603	考古学演習	考古学論文演習	福永 伸哉高橋 照彦上田 直弥	2	3,4年		
秋~冬	不定期	002616	考古学演習	考古資料分析実践演習2	福永 伸哉 髙橋 照彦 上田 直弥	2	2,3,4年		

日本学専修

88 24 k	曜日	n-i: BB skyl		T	1	134	-u.A-		
開講 時期	時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
夏	集中	003014	文化交流史講義	日本近現代ジャーナリズム史	[根津 朝彦]	2	2,3,4年		0
春~夏	月2	003002	民俗学演習	日本学卒業論文の作成1	北村 毅	2	4年		
春~夏	月3	003001	日本文化学講義	民俗学・文化人類学と沖縄	北村 毅	2	2,3,4年		0
春~夏	月5	003003	日本文化学演習	コロナ禍のオーラルヒストリー	安岡 健一	2	2,3,4年		
春~夏	火2	003025	日本思想史演習	Graduation Thesis Preparation Seminar 1	宇野田 尚哉	2	4年		
春~夏	火3	003018	日本思想史演習	近世思想史再考1	宇野田 尚哉	2	2,3,4年		
春~夏	火5	003026	日本思想史演習	Rethinking Postwar Japanese Intellectual History from an Outside Perspective	宇野田 尚哉	2	2,3,4年		
春~夏	水1	003009	比較文化学演習	社会調査基礎演習	中嶋 泉	2	2,3,4年		
春~夏	水3	003005	日本学演習	日本学事始め1	安岡健一中嶋泉	2	2,3,4年		
春~夏	木2	003011	比較文化学演習	日本学卒業論文の作成と議論	中嶋 泉	2	4年		
春~夏	金3	003015	文化交流史演習	日本学卒業論文の作成1	安岡 健一	2	4年		
春~夏	金4	003013	文化交流史演習	文化交流史講読	安岡 健一	2	3,4年		
秋~冬	月3	003008	民俗学演習	日本学卒業論文の作成2	北村 毅	2	3,4年		
秋~冬	火2	003028	日本思想史演習	Graduation Thesis Preparation Seminar 2	宇野田 尚哉	2	4年		
秋~冬	火3	003004	日本思想史演習	近世思想史再考2	宇野田 尚哉	2	2,3,4年		
秋~冬	火5	003024	日本思想史講義	17·18世紀日本儒学史再考	字野田 尚哉	2	2,3,4年		0
秋~冬	水1	003010	比較文化学講義	フェミニズムの理論と現代視覚文化	中嶋 泉	2	2,3,4年		0
秋~冬	水3	003017	日本学演習	日本学事始め2	宇野田 尚哉 北村 毅	2	2,3,4年		
秋~冬	木2	003012	比較文化学演習	日本学卒業論文の作成と議論	中嶋 泉	2	4年		

人文地理学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	水4	003201	人文地理学演習	人文地理学卒論演習	堤研二 佐藤廉也	4	4年		
通年	不定期	003210	地誌学演習	地域調査実習	堤 研二	2	2,3,4年		
夏	集中	003203	人文地理学講義	政治地理学の四方山話	[高木 彰彦]	2	2,3,4年		0
春~夏	火1	003214	地誌学講義	地誌学の概要と地誌学史	堤 研二	2	2,3,4年		0
春~夏	水3	003208	人文地理学演習	人文地理学基礎演習I	堤 研二	2	2,3,4年		
春~夏	木2	003206	人文地理学演習	人文地理学文献演習	佐藤 廉也	2	2,3,4年		
春~夏	木5	003207	自然地理学講義	自然地理学の基礎とその応用	[手代木 功基]	2	2,3,4年		0
秋~冬	月3	003209	地誌学講義	人間・環境系への文化地理学的アプローチ	佐藤 廉也	2	2,3,4年		0
秋~冬	月4	003205	人文地理学演習	人文地理学文献講読	佐藤 廉也	2	2,3,4年		
秋~冬	月5	003212	歷史地理学講義	歴史地理学からみた近代移行期の日本における地域変 化	[川口 洋]	2	2,3,4年		0
秋~冬	火1	003211	人文地理学講義	人文地理学の展開と社会経済地理学	堤 研二	2	2,3,4年		0
秋~冬	水3	003204	人文地理学演習	人文地理学基礎演習II	堤 研二	2	2,3,4年		
秋~冬	不定期	003202	地誌学演習	地域調査の方法	佐藤 廉也	2	2,3,4年		

日本語学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	月4	004019	社会言語学演習	社会言語学の展開	高木 千恵	4	3,4年		
通年	月4	004016	対照言語学演習	対照言語学の展開	渋谷 勝己	4	3,4年		
通年	火2	004015	対照言語学演習	言語・方言記述の実践	渋谷 勝己	4	3,4年		
通年	火3	004040	応用日本語学演習	応用日本語学卒業論文作成演習	BURDELSKI MATTHEW JAMES	4	3,4年		
通年	水3	004001	現代日本語学演習	日本語の文法・語彙の諸問題	田野村 忠温	4	2,3,4年		
通年	金4	004006	現代日本語学演習	現代日本語研究の諸問題	石井 正彦 三宅 知宏	4	2,3,4年		
春~夏	月1	004013	対照言語学 講義	接触言語学概説(1):言語体系	渋谷 勝己	2	2,3,4年		0
春~夏	月2	004041	応用日本語学演習	語用論	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	2,3,4年		
春~夏	火4	004032	社会言語学講義	社会言語学概説(1)	高木 千恵	2	2,3,4年		0
春~夏	水1	004011	現代日本語学講義	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	2,3,4年		0
春~夏	水2	004036	応用日本語学演習	言語社会化	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	2,3,4年		
春~夏	水4	004026	応用日本語学演習	日本語教育実習1	[中井 好男]	2	2,3,4年		
春~夏	水5	004004	現代日本語学講義	探索的データ解析による日本語研究	石井 正彦	2	2,3,4年		0
春~夏	木1	004007	現代日本語学演習	日本語文法研究の方法	三宅 知宏	2	2,3年		
春~夏	木2	004046	現代日本語学講義	日本語文法研究の基礎	三宅 知宏	2	2,3,4年		0
春~夏	金2	004039	現代日本語学講義	日本語文法研究の諸問題	三宅 知宏	2	3,4年		0
春~夏	金3	004009	現代日本語学演習	語彙調査の理論と方法	石井 正彦	2	2,3,4年		
秋~冬	月1	004018	対照言語学講義	接触言語学概説2:言語管理	渋谷 勝己	2	2,3,4年		0
秋~冬	月2	004042	応用日本語学演習	会話分析	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	2,3,4年		
秋~冬	火4	004017	社会言語学講義	社会言語学概説(2)	高木 千恵	2	2,3,4年		0
秋~冬	水1	004012	現代日本語学演習	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	2,3,4年		
秋~冬	水2	004034	応用日本語学講義	言語とジェンダー	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	2,3,4年		0
秋~冬	水4	004024	応用日本語学演習	日本語教育実習2	[中井 好男]	2	2,3,4年		
秋~冬	水5	004005	現代日本語学講義	批判的言語研究の諸相	石井 正彦	2	2,3,4年	_	0
秋~冬	木1	004008	現代日本語学演習	日本語文法研究の方法	三宅 知宏	2	3,4年		
秋~冬	木2	004025	現代日本語学講義	日本語文法研究の基礎	三宅 知宏	2	2,3,4年		0
秋~冬	木3	004002	現代日本語学演習	日本語学研究法の基礎	東条 佳奈	2	3,4年		
秋~冬	金2	004038	現代日本語学講義	日本語文法研究の諸問題	三宅 知宏	2	3,4年		0
秋~冬	金3	004010	現代日本語学演習	日本語語彙意味論の方法と実践	石井 正彦	2	2,3,4年		

日本文学・国語学専修

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	月3	004215	日本文学演習	志賀直哉の小説を読む	斎藤 理生	4	2,3,4年		
通年	水3	004201	日本文学演習	『和漢朗詠集』を読む	滝川 幸司	4	2,3,4年		
通年	水4	004228	日本文学演習	近現代日本文学を読む――芥川と谷崎、「動物小説」	渡邊 英理	4	2,3,4年		
通年	木2	004205	日本文学演習	新出羽倉本『春雨物語』を読む	飯倉 洋一	4	2,3,4年		
通年	金2	004234	日本文学演習	日本古典文学と儀式	勢田 道生	4	2,3,4年		
夏	集中	004204	日本文学講義	『堤中納言物語』講読	[後藤 康文]	2	2,3,4年		0
春~夏	月3	004235	日本文学演習	卒業論文演習	勢田 道生	2	4年		
春~夏	月4	004214	日本文学講義	日本の仏教文学	勢田 道生	2	2,3,4年		0
春~夏	火3	004208	日本文学演習	卒業論文作成演習	斎藤 理生 渡邊 英理	2	4年		
春~夏	火3	004211	日本文学演習	卒業論文演習	飯倉 洋一	2	4年		
春~夏	木2	004202	日本文学演習	卒業論文演習	滝川 幸司	2	4年		
秋~冬	月4	004227	日本文学講義	中上健次の文学世界――初期中期短篇を中心に	渡邊 英理	2	2,3,4年		0
秋~冬	火2	004209	日本文学講義	織田作之助の小説を読む	斎藤 理生	2	2,3,4年		0
秋~冬	水4	004203	日本文学講義	漢文学より見た国風文化	滝川 幸司	2	2,3,4年		0
秋~冬	水5	004212	日本文学講義	日本古典文学と名所	飯倉 洋一	2	2,3,4年		0
秋~冬	木3	004216	日本文学演習	文学の中の近現代日本	尹 芷汐	2	2,3,4年		
通年	月5	004223	国語学演習	キリシタン版「エソポのハブラス」をよむ	岸本 恵実	4	2,3,4年		
通年	金3	004218	国語学演習	帝国議会会議録や地方議会会議録による近代語の研究	岡島 昭浩	4	2,3,4年		
夏	集中	004240	国語学講義	日本語文論	[森山 卓郎]	2	2,3,4年		0
春~夏	月2	004237	国語学講義	日本語意味論	金水 敏	2	2,3,4年		0
春~夏	火4	004220	国語学講義	日本語・日本語研究における速記術と速記録	岡島 昭浩	2	2,3,4年		0
春~夏	水5	004221	国語学演習	国語学の諸問題	金水 敏 岸本 恵実 岡島 昭浩	2	4年		
春~夏	木6	004213	文献情報書誌学演習	近現代文献の分析	岸本 恵実	2	2,3,4年		
秋~冬	木2	004222	国語学講義	芥川龍之介「切支丹物」の語彙	岸本 恵実	2	2,3,4年		0

比較文学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	水4	004402	比較文学演習	オリエンタリズム小説と近代日本	橋本 順光	4	2,3,4年		
春~夏	月4	004405	比較文学講義	オリエンタリズム研究と比較文学	橋本 順光	2	2,3,4年		0
春~夏	水3	004408	比較文学講義	日本近代文学の比較文学的研究	鈴木 暁世	2	2,3,4年		0
秋~冬	月4	004407	比較文学講義	オリエンタリズム研究と比較文学	橋本 順光	2	2,3,4年		0
秋~冬	火4	004406	比較文学演習	近代日本のジェンダー表象とメディア	鈴木 暁世	2	2,3,4年		
秋~冬	木3木4	004401	比較文学講義	文学環境論研究の諸問題	[堀 まどか]	2	2,3,4年	隔週	0
秋~冬	木5	004404	比較文学演習	卒業論文作成指導	橋本 順光	2	2,3,4年		

専修が別に定める他専修の講義及び演習

※比較文学専修所属の学生が以下の単位を修得した場合、比較文学専修の必修科目の単位となります。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	火2	004825	アメリカ文学 Ι 講義	物語更新からみるアメリカ文学史 I	片渕 悦久	2	2,3,4年		0
春~夏	火3	004821	アメリカ文学 I 演習	英米文学レポート・卒論作成演習(1)	片渕 悦久	2	2,3,4年		
春~夏	火5	004817	アメリカ文化 I 講義 *3	物語更新理論入門(5)	片渕 悦久	2	2,3,4年		0
春~夏	火5	004856	英文学Ⅰ講義	英文学史A	[三浦 誉史加]	2	2,3,4年		0
春~夏	水1	004818	アメリカ文化 I 講義 *3	セクシュアリティの観点から考えるアメリカ演劇	森本 道孝	2	2,3,4年		0
春~夏	水2	004823	アメリカ文学 I 演習	アメリカ演劇を読む(1)―David Henry Hwang作品 (1)	森本 道孝	2	2,3,4年		
春~夏	木3	004803	英文学Ⅱ演習	Eitanka Writing Waka in English	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	
春~夏	木4	004805	英文学Ⅳ講義	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] April 2021 Course 6 Alfred Lord Tennyson The Idylls of the King 国王牧歌	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	0
春~夏	集中	004814	イギリス文化 I 講義 *1	カズオ・イシグロの世界	[服部 典之]	2	2,3,4年		0
秋~冬	火2	004819	アメリカ文化 I 講義 *3	ピンチョンの文学	石割 隆喜	2	2,3,4年		0
秋~冬	火2	004820	アメリカ文学Ⅱ講義	物語更新からみるアメリカ文学史Ⅱ	片渕 悦久	2	2,3,4年		0
秋~冬	火3	004822	アメリカ文学Ⅱ演習	英米文学レポート・卒論作成演習(2)	片渕 悦久	2	2,3,4年		
秋~冬	火5	004843	アメリカ文化Ⅱ講義 *4	物語更新理論入門(6)	片渕 悦久	2	2,3,4年		0
秋~冬	水2	004824	アメリカ文学Ⅱ演習	アメリカ演劇を読む(2)— David Henry Hwang の作品(2)	森本 道孝	2	2,3,4年		
秋~冬	水4	004816	イギリス文化Ⅱ講義 *2	田舎者たちのルポルタージュ実践―後期モダニズ ムの時代を中心に	山田 雄三	2	2,3,4年		0
秋~冬	木3	004804	英文学Ⅱ演習	Eitanka Writing Waka in English	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	
秋~冬	木4	004806	英文学IV講義	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] Oct 2021 Course 7 Selected Poems in English 19th century Britain & America	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	0
秋~冬	金2	004857	英文学Ⅰ講義	英文学史A	山田 雄三	2	2,3,4年		0
秋~冬	金3	004808	英文学Ⅱ演習	『ハムレット』を原書で読む	山田 雄三	2	2,3,4年		

【注意】 平成30年度以前入学者が以下の授業科目の単位を修得した場合、旧科目名に読み替えます。

- *1 (新) イギリス文化 I 講義 ⇒ (旧) 英文学 II 講義
- *2 (新) イギリス文化 II 講義 ⇒ (旧) 英文学Ⅲ講義
- *3 (新) アメリカ文化 I 講義 ⇒ (旧) アメリカ文学Ⅲ講義
- *4 (新) アメリカ文化Ⅱ講義 ⇒ (旧) アメリカ文学Ⅳ講義

中国文学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	水5	004613	中国文学演習	中国学研究法	浅見洋二林 暁光 陳 竺慧	4	2,3,4年		
春~夏	月3	004608	中国文学演習	朱イ尊の詞を読む	陳竺慧	2	2,3,4年		
春~夏	月5	004609	中国文学演習	中国中世文学研究―『文選』を読む・第一部	林 暁光	2	2,3,4年		
春~夏	火4	004611	中国文学演習	陸游の詩を読む	浅見 洋二	2	2,3,4年		
春~夏	火5	004601	中国文学講義	中国文学の大勢一古代から現代へ	林 暁光	2	2,3,4年		0
秋~冬	月5	004610	中国文学演習	中国中世文学研究―『文選』を読む・第二部	林 暁光	2	2,3,4年		
秋~冬	火4	004612	中国文学演習	蘇軾の詩を読む	浅見 洋二	2	2,3,4年		
秋~冬	火5	004602	中国文学講義	漢魏晋南北朝賦の研究	林 暁光	2	2,3,4年		0
秋~冬	金2	004613	中国文学演習	近現代文学研究	林 暁光	2	2,3,4年		
秋~冬	金5	004604	中国文学講義	唐宋詩学の諸問題	浅見 洋二	2	2,3,4年		0

英米文学•英語学専修

開講時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	詳義題目	担当教員	単位	対象年次	備考	*高度 国際
春~夏	火2	004825	アメリカ文学 Ι 講義	物語更新からみるアメリカ文学史 I	片渕 悦久	2	2,3,4年		0
春~夏	火3	004821	アメリカ文学 I 演習	英米文学レポート・卒論作成演習(1)	片渕 悦久	2	2,3,4年		
春~夏	火5	004817	アメリカ文化 I 講義 *3	物語更新理論入門(5)	片渕 悦久	2	2,3,4年		0
春~夏	火5	004856	英文学I講義	英文学史A	[三浦 誉史加]	2	2,3,4年		0
春~夏	水1	004818	アメリカ文化 I 講義 *3	セクシュアリティの観点から考えるアメリカ演劇	森本 道孝	2	2,3,4年		0
春~夏	水2	004823	アメリカ文学 I 演習	アメリカ演劇を読む(1)—David Henry Hwang作品(1)	森本 道孝	2	2,3,4年		
春~夏	木3	004803	英文学Ⅱ演習	Eitanka Writing Waka in English	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	
春~夏	木4	004805	英文学IV講義	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] April 2021 Course 6 Alfred Lord Tennyson The Idylls of the King 国王牧歌	HARVEY,PAUL	2	2,3, 4年	英	0
春~夏	集中	004814	イギリス文化 I 講義 *1	カズオ・イシグロの世界	[服部 典之]	2	2,3,4年		0
秋~冬	火2	004819	アメリカ文化 I 講義 *3	ピンチョンの文学	石割 隆喜	2	2,3,4年		0
秋~冬	火2	004820	アメリカ文学Ⅱ講義	物語更新からみるアメリカ文学史Ⅱ	片渕 悦久	2	2,3,4年		0
秋~冬	火3	004822	アメリカ文学Ⅱ演習	英米文学レポート・卒論作成演習(2)	片渕 悦久	2	2,3,4年		
秋~冬	火5	004843	アメリカ文化Ⅱ講義 *4	物語更新理論入門(6)	片渕 悦久	2	2,3,4年		0
秋~冬	水2	004824	アメリカ文学Ⅱ演習	アメリカ演劇を読む (2) — David Henry Hwang の作品 (2)	森本 道孝	2	2,3,4年		
秋~冬	水4	004816	イギリス文化Ⅱ講義 *2	田舎者たちのルポルタージュ実践―後期モダニズムの時代を中心に	山田 雄三	2	2,3,4年		0
秋~冬	木3	004804	英文学Ⅱ演習	Eitanka Writing Waka in English	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	
秋~冬	木4	004806	英文学IV講義	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] Oct 2021 Course 7 Selected Poems in English 19th century Britain & America	HARVEY,PAUL	2	2,3, 4年	英	0
秋~冬	金2	004857	英文学 I 講義	英文学史A	山田 雄三	2	2,3,4年		0
秋~冬	金3	004808	英文学Ⅱ演習	『ハムレット』を原書で読む	山田 雄三	2	2,3,4年		
通年	金4	004830	英語学IV演習	卒業論文作成演習	岡田 禎之 田中 英理	2	4年		
春~夏	月3	004833	英語学Ⅲ講義	英語史入門2	神山 孝夫	2	2,3,4年		0
春~夏	月4	004841	英語学Ⅲ演習	Monday Songs Class	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	
春~夏	火1	004827	英語学I演習	意味変化と構造変化	岡田 禎之	2	2,3,4年		
春~夏	木2	004837	英語学Ⅱ演習	The Cambridge Grammar of Englishを読む: Comparative constructions (Chapter 13)	田中 英理	2	2,3,4年		
春~夏	金2	004839	英語学Ⅱ講義	意味論•語用論入門1	田中 英理	2	2,3,4年		0
春~夏	金3	004846	英語学 I 講義	Cognitive English Grammar1	岡田 禎之	2	2,3,4年		0
秋~冬	月3	004848	英語学Ⅲ演習	古英語·中英語入門	神山 孝夫	2	2,3,4年		
秋~冬	月4	004842	英語学Ⅲ演習	Monday Songs Class	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英	
秋~冬	月5	004834	英語学Ⅲ講義	音声学概論	神山 孝夫	2	2,3,4年		0
秋~冬	火1	004861	英語学 I 演習	直示表現•照応表現研究	岡田 禎之	2	2,3,4年		
秋~冬	木1	004828	英語学 I 講義	Thematic relation and argument structure (項構造や意味役割と関わる言語現象について)	岡田 禎之	2	2,3,4年		0
秋~冬	木2	004836	英語学Ⅱ演習	英語学・言語学の古典的論文を読む	田中 英理	2	2,3,4年		
秋~冬	金2	004840	英語学Ⅱ講義	「比較」に関わる意味論	田中 英理	2	2,3,4年		0
秋~冬	金3	004850	英語学I講義	Cognitive English Grammar 2	岡田 禎之	2	2,3,4年		0

【注意】 平成30年度以前入学者が以下の授業科目の単位を修得した場合、旧科目名に読み替えます。

*1 (新) イギリス文化 I 講義 ⇒ (旧) 英文学 II 講義 ⇒ (※) 英文学 II 講義 → (※) 英文学 II 表述 → (※) 基本表述 → (

*3 (新) アメリカ文化 I 講義 ⇒ (旧) アメリカ文学Ⅲ講義
*4 (新) アメリカ文化 I 講義 ⇒ (旧) アメリカ文学IV講義

ドイツ文学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月4	005011	ドイツ語学Ⅲ演習	Kommunikative und Kulturelle Kompetenz I	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独	
春~夏	月5	005024	ドイツ文学Ⅲ演習	カフカ『変身』を読む(1)	三谷 研育	2	2,3,4年		
春~夏	火4	005003	ドイツ文学研究方法論 I 演習	Forschungskolloquium I	三谷 研爾吉田 耕太郎	2	2,3,4年		
春~夏	水4	005005	ドイツ語学 I 演習	ドイツ語文献読解の基礎 I:ドイツの新型コロナと 文化に関連するニュース	吉田 耕太郎	2	2,3,4年		
春~夏	木2	005002	ドイツ文学I演習	子どもについての記述を中心に(18世紀のモー ド雑誌を読む:14)	吉田 耕太郎	2	2,3,4年		
春~夏	木3	005032	ドイツ文学 I 講義	Ästhetik: Idee und Anschauung, Ereignis und Erfahrung	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独	0
春~夏	金4	005009	中欧文化論講義	アシュケナージ・ユダヤ文化論 I	[赤尾 光春]	2	2,3,4年		0
秋~冬	月3	005010	ドイツ文化論 Ⅱ 講義	ベルリンの都市空間と文化・芸術	三谷 研爾	2	2,3,4年		0
秋~冬	月4	005012	ドイツ語学IV演習	Kommunikative und Kulturelle Kompetenz II	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独	
秋~冬	月5	005025	ドイツ文学IV演習	カフカ『変身』を読む(2)	三谷 研爾	2	2,3,4年		
秋~冬	火3	005019	ドイツ文学IV講義	ドイツ文化における子どものイメージ	吉田 耕太郎	2	2,3,4年		0
秋~冬	火4	005004	ドイツ文学研究方法論 Ⅱ 演習	Forschungskolloquium II	三谷 研育 吉田 耕太郎	2	2,3,4年		
秋~冬	水2	005014	ドイツ文学Ⅱ演習	Lektürekurs Johann Wolfgang von Goethe	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独	
秋~冬	水4	005006	ドイツ語学Ⅱ演習	ドイツ語文献読解の基礎 II:ドイツの新型コロナと 教育に関連するニュース	吉田 耕太郎	2	2,3,4年		
秋~冬	木2	005020	ドイツ文学Ⅱ演習	市民の家庭について記述を中心に(18世紀の モード雑誌を読む:15)	吉田 耕太郎	2	2,3,4年		
秋~冬	木3	005022	ドイツ文学Ⅱ講義	Scripture and the presence of signs	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独	0
秋~冬	金4	005013	中欧文化論演習	アシュケナージ・ユダヤ文化論Ⅱ	[赤尾 光春]	2	2,3,4年		

フランス文学専修

開講時期	曜日時限	時間割コード		講義題目	担当教員	単位	対象	備考	*高度
春~夏	月3	005224	フランス語学 I 講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	仏	
春~夏	月4	005204	フランス文学史 I 講義	18世紀フランス文学作品原文講読	山上 浩嗣	2	2,3,4年		0
春~夏	月5	005206	フランス文学作品論 I 演習	Etudes sur la culture visuelle : apprendre à décrire et commenter une image, en français	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	仏	
春~夏	水2	005214	フランス文学Ⅲ演習	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	2,3,4年		
春~夏	水3	005222	フランス文学Ⅱ講義	フランス・ルネサンス詩研究-恋愛抒情詩を中心 に	林 千宏	2	2,3,4年		0
春~夏	水4	005202	フランス文学 I 演習	モンテーニュ『エセー』を読む	山上 浩嗣	2	2,3,4年		
春~夏	木4	005208	フランス語学 I 演習	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	仏	
春~夏	金2	005217	フランス文学作品論皿演習	プルースト『失われた時を求めて』における旅の場 面を読む	平光 文乃	2	2,3,4年		
秋~冬	月3	005225	フランス語学Ⅱ講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	仏	0
秋~冬	月4	005219	フランス文学 I 講義	フランス映画-歴史と社会の鏡	AVOCAT ERIC MARC 山上 浩嗣	2	2,3,4年	仏	0
秋~冬	水2	005213	フランス文学IV演習	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	2,3,4年		
秋~冬	水4	005203	フランス文学Ⅱ演習	パスカル『パンセ』を読む	山上 浩嗣	2	2,3,4年		
秋~冬	木4	005209	フランス語学Ⅱ演習	Exercices pratiques de langue française	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	仏	
秋~冬	金2	005218	フランス文学作品論IV演習	プルースト『失われた時を求めて』における旅の場 面を読む	平光 文乃	2	2,3,4年		
秋~冬	金3	005210	フランス文学Ⅲ講義	文学とアダプテーション――ゾラ『ナナ』を例に	[中村 翠]	2	2,3,4年		0

美学·文芸学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月5	006030	美学•芸術学講義	イギリス芸術文化研究―ニコラウス・ペヴスナーの視点を中 心に	[近藤 存志]	2	2,3,4年		0
春~夏	火2	006002	美学•芸術学講義	映画と社会	東 志保	2	2,3,4年		0
春~夏	火4	006009	美学•芸術学演習	卒業論文の作成	高安 啓介 田中 均	2	2,3,4年		
春~夏	水2	006032	美学•芸術学演習	芸術研究 A	高安 啓介	2	2,3,4年		
春~夏	水5	006031	美学・芸術学講義	芸術学基礎	高安 啓介	2	2,3,4年		0
春~夏	木1	006040	美学•芸術学講義	美学概論――5つのステップで学ぶ、美と芸術の哲学	田中 均	2	2,3,4年		0
春~夏	木5	006003	美学•芸術学演習	現代美学を英語で読む	田中 均	2	2,3,4年		
秋~冬	火1	006039	美学•芸術学演習	カント『判断力批判』を読む	田中 均	2	2,3,4年		
秋~冬	火2	006004	美学•芸術学演習	映像、ジェンダー、テクノロジー	東 志保	2	2,3,4年		
秋~冬	火4	006012	美学•芸術学演習	卒業論文の作成	田中 均 高安 啓介	2	2,3,4年		
秋~冬	水2	006033	美学•芸術学演習	芸術研究 B	高安 啓介	2	2,3,4年		
秋~冬	水5	006016	美学•芸術学講義	デザイン思想	高安 啓介	2	2,3,4年		0
秋~冬	木1	006038	美学•芸術学演習	ステッカー『分析美学入門』を読む	田中 均	2	2,3,4年		
秋~冬	木3	006001	美学•芸術学講義	古代・中世の美学	[横道 仁志]	2	2,3,4年		0
通年	月5	006021	文芸学演習	卒業論文作成入門	西井 奨	4	2,3,4年		
春~夏	月3	006022	西洋古典学講義	弁論術と文学	渡辺 浩司	2	2,3,4年		0
春~夏	月4	006015	西洋古典学演習	古代ギリシア語演習	西井 奨	2	2,3,4年		
春~夏	火5	006019	西洋古典学演習	ラテン語演習	西井 奨	2	2,3,4年		
春~夏	木2	006023	西洋古典学講義	古代ギリシア・ローマの神話・文芸・文芸学	西井 奨	2	2,3,4年		0
春~夏	木5	006037	文芸学講義	ギリシア悲劇入門	[勝又 泰洋]	2	2,3,4年		0
春~夏	金3	006027	文芸学演習	文芸学文献講読(1)	渡辺 浩司	2	2,3,4年		
春~夏	金5	006017	西洋古典学演習	ギリシア語講読(1)	渡辺 浩司	2	2,3,4年		
秋~冬	月3	006043	文芸学講義	ギリシア・ラテン文学とレトリック	渡辺 浩司	2	2,3,4年		0
秋~冬	月4	006029	西洋古典学演習	古代ギリシア語演習	西井 獎	2	2,3,4年		
秋~冬	火5	006020	西洋古典学演習	ラテン語演習	西井 獎	2	2,3,4年		
秋~冬	木2	006026	西洋古典学講義	古代ギリシア・ローマ文学研究	西井 獎	2	2,3,4年		0
秋~冬	木5	006044	文芸学講義	古代ギリシア語散文文学入門	[勝又 泰洋]	2	2,3,4年		0
秋~冬	金3	006028	文芸学演習	文芸学文献講読(2)	渡辺 浩司	2	2,3,4年		
秋~冬	金5	006018	西洋古典学演習	ギリシア語講読(2)	渡辺 浩司	2	2,3,4年		

音楽学•演劇学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目		担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	火5	006201	音楽学演習	音楽学研究室総合演習		信宏 裕介	2	2,3,4年	隔週	
春~夏	月2	006208	音楽学講義	楽曲分析の基礎	伊東	信宏	2	2,3,4年		0
春~夏	月3	006204	音楽学演習	音楽学の主題、資料、方法1	伊東	信宏	2	2,3,4年		
春~夏	月4	006213	音楽学講義	日本における音楽職能集団の歴史:複数の「日本伝統音楽 史」へ向けて	鈴木	聖子	2	2,3,4年		0
春~夏	火2	006207	音楽学講義	演歌再考:東アジア歌語史に向けて	輪島	裕介	2	2,3,4年		0
春~夏	火3	006209	音楽学演習	音楽文献講読(英語):クルターグについて	伊東	信宏	2	2,3,4年		
春~夏	火4	006203	音楽学演習	ポピュラー音楽研究日本語文献講読1	輪島	裕介	2	2,3,4年		
春~夏	水3	006212	音楽学演習	音楽学英語文献講読:基礎的用語の理解	輪島	裕介	2	2,3,4年		
春~夏	水4	006235	音楽学演習	音楽研究の方法と実践(1)	輪島	裕介	2	2,3,4年		
秋~冬	月3	006205	音楽学演習	音楽学の主題、資料、方法2	伊東	信宏	2	2,3,4年	イン	
秋~冬	月4	006241	音楽学講義	近現代日本の音楽と制度	鈴木	聖子	2	2,3,4年		0
秋~冬	火2	006211	音楽学講義	近代日本大衆音楽史記述の諸問題	輪島	裕介	2	2,3,4年		0
秋~冬	火3	006202	実践音楽学講義	クルターグ『遊び』の実践	伊東	信宏	2	2,3,4年	英	0
秋~冬	火4	006206	音楽学演習	ポピュラー音楽研究日本語文献講読	輪島	裕介	2	2,3,4年		
秋~冬	水3	006237	応用音楽学講義	Processes of Transformation and Invention of "Traditional" Popular Music in Modern Japan: Issues of Continuity and Rupture	輪島	裕介	2	2,3,4年	英	0
秋~冬	水4	006236	音楽学演習	音楽研究の方法と実践(2)	輪島	裕介	2	2,3,4年		
秋~冬	木2	006238	応用音楽学演習	Transnational Popular Music in Japan: How Japanese "Adopted" and "Imagined" American Sound	[永冨	「真梨]	2	2,3,4年	英	
秋~冬	金5	006216	実践音楽学演習	民族音楽のフィールドワークと論述の技法、関西地方の伝統 芸能を中心に	[神野	知恵]	2	2,3,4年	英	
春~夏	月3	006231	演劇学講義	舞踊史再考:十九世紀バレエとジェンダー	古後	奈緒子	2	2,3,4年		0
春~夏	火4	006217	演劇学演習	論文作成の方法と実践	永田	靖	2	2,3,4年		
春~夏	木3	006222	演劇学講義	近代大阪の芸能とその歴史	横田	洋	2	2,3,4年		0
春~夏	金3	006227	演劇学講義	演劇研究とパフォーマンス・スタディーズ	永田	靖	2	2,3,4年	% 1	0
春~夏	金5	006228	演劇学演習	演劇研究の基礎1	永田	靖	2	2,3,4年		
秋~冬	月3	006239	演劇学講義	ダンス、パフォーマンスの研究方法:メディアとしての電気	古後	奈緒子	2	2,3,4年		0
秋~冬	月4	006233	演劇学演習	『八帖花伝書』巻三を読む	中尾	黨	2	2,3,4年		
秋~冬	火4	006218	演劇学演習	観劇実習	永田 中尾	靖薫	2	2,3,4年		
秋~冬	水5	006234	演劇学講義	日本古典演劇と名所	中尾	蕉	2	2,3,4年		0
秋~冬	金3	006232	演劇学講義	問題圏としてのロシア演劇	永田	靖	2	2,3,4年	% 1	0
秋~冬	金5	006229	演劇学演習	演劇研究の基礎2	永田	靖	2	2,3,4年		
秋~冬	不定期	006230	演劇学演習	劇場制作研修	永田	靖	2	2,3,4年	イン	

※1 芸術プロックのみ履修可能

美術史学専修

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	金2	006404	日本美術史演習	見学演習(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	4	2,3,4年		
通年	金3	006405	日本美術史演習	見学演習(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	4	2,3,4年		
通年	不定期	006428	東洋美術史演習	仏教美術の理論と実践	藤岡穣	4	2,3,4年		
春~夏	火4	006402	日本美術史講義	狩野派絵画史Ⅱ	門脇 むつみ	2	2,3,4年		0
春~夏	水2	006401	日本美術史演習	仏教美術史料講読	藤岡 穣	2	2,3,4年		
春~夏	水4	006429	日本美術史講義	日本仏教美術史概説	藤岡 穣	2	2,3,4年		0
春~夏	木2	006403	日本美術史演習	『若冲伝』講読	門脇 むつみ	2	2,3,4年		
春~夏	木3	006412	日本美術史演習	日本近代美術史文献講読	橋爪 節也	2	2,3,4年		
春~夏	不定期	006406	東洋美術史演習	日本・東洋美術史の諸問題(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	2,3,4年	イン	
秋~冬	月3	006432	日本美術史講義	近世の屛風絵(風俗画と物語絵画)	門脇 むつみ	2	2,3,4年		0
秋~冬	火3	006411	日本美術史講義	日本近代美術史―都市と美術、大阪を中心に―	橋爪 節也	2	2,3,4年		0
秋~冬	水2	006409	東洋美術史演習	仏教美術論文演習	藤岡 穣	2	2,3,4年		
秋~冬	水4	006408	東洋美術史講義	東アジアのなかの日本仏像史	藤岡 穣	2	2,3,4年		0
秋~冬	木2	006410	日本美術史演習	絵画史論文演習	門脇 むつみ	2	2,3,4年		
秋~冬	木3	006413	日本美術史演習	日本文人画論講読	橋爪 節也	2	2,3,4年		
秋~冬	不定期	006407	東洋美術史演習	日本・東洋美術史の諸問題(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	2,3,4年	イン	
秋~冬	集中	006430	日本美術史講義	奈良仏教絵画史論	[谷口 耕生] 藤岡 穣	2	2,3,4年		0
春~夏	月1	006422	西洋美術史演習	イタリア語美術史・芸術学文献講読	桑木野 幸司	2	2,3,4年		
春~夏	月3	006442	西洋美術史講義	近現代美術史の賭問題	圀府寺 司	2	2,3,4年		0
春~夏	火1	006416	西洋美術史講義	西洋美術史基礎	圀府寺司 岡田裕成 桑木野幸司	2	2,3,4年		0
春~夏	火3	006421	西洋美術史演習	スペイン語美術史文献講読	岡田 裕成	2	2,3,4年		
春~夏	火4	006414	西洋美術史演習	西洋美術史 研究発表と計論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	2,3,4年	イン	
春~夏	水2	006441	西洋美術史講義	マニエリスム美術史:変容の時代の芸術	桑木野 幸司	2	2,3,4年		0
春~夏	水3	006418	西洋美術史講義	16世紀美術の図像解読術	岡田 裕成	2	2,3,4年		0
春~夏	水5	006420	西洋美術史演習	美術史文献講読	岡田 裕成	2	2,3,4年		
秋~冬	月1	006425	西洋美術史演習	イタリア語美術史・芸術学文献講読	桑木野 幸司	2	2,3,4年		
秋~冬	月4	006424	西洋美術史演習	美術史研究文献購読	圀府寺 司	2	2,3,4年		
秋~冬	火2	006417	西洋美術史講義	西洋美術史基礎	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	2,3,4年		0
秋~冬	火3	006438	西洋美術史演習	スペイン語美術史文献講読	岡田 裕成	2	2,3,4年		
秋~冬	火4	006415	西洋美術史演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺司 岡田裕成 桑木野幸司	2	2,3,4年	イン	
秋~冬	水3	006419	西洋美術史講義	ハプスブルク・スペイン世界帝国の宮廷美術:コレクションの 地政学2.	岡田 裕成	2	2,3,4年		0
秋~冬	水5	006437	西洋美術史演習	美術史論文講読基礎	岡田 裕成	2	2,3,4年		
秋~冬	木4	006423	西洋美術史講義	18世紀フランスの美術と言説	[島本 浣]	2	2,3,4年		0
秋~冬	土3,土4	006436	西洋美術史演習	建築·庭園見学実習	桑木野 幸司	2	2,3,4年	隔週	

全学共通教育科目のうち、文学部の専門教育科目となるもの

※全学共通教育科目の以下の授業科目の単位を修得した場合、文学部の専門教育科目(選択科目)の単位となります。

※平成31年度以降入学者に適用されます。(平成30年度以前入学者は適用外)

※時間割(開講時期・曜日時限・担当教員等)の詳細については、全学教育推進機構HPにて確認してください。

共通教育 科目区分	開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
	-	_	_	インド学の基礎	_	2			
	-	_	-	美学	-	2			
	_	_	_	文芸学	_	2			
	_	_	_	音楽学	_	2			
	_	_	_	演劇学	_	2			
	ı	_	_	東洋美術史	_	2			
	ı	_	_	西洋美術史	_	2			
基	ı	_	_	日本文学研究入門	_	2			
盤教	ı	_	_	日本文学の名作を読む	_	2			
基盤教養教育科目	ı	_	_	比較文学入門	_	2	※平成31年度		
科目	ı	_	_	英米文学入門	_	2	以降入学者		
(人文)	ı	_	_	国語学入門	_	2			
)	1	_	_	英語学の基礎A	_	2			
	1	_	_	英語学の基礎B	_	2			
	-	_	_	英語学の基礎C	_	2			
	-	_	_	世界史の考え方	_	2			
	_	_	_	西洋史学基礎A	_	2			
	ı	_	_	西洋史学基礎B	_	2			
	ı	_	_	日本学基礎	_	2			
	1	_	_	日本学の最前線	_	2			
科基目盤	ı	_	_	心理·行動科学入門	_	2			
○教 社養	-	_	_	社会学の考え方	_	2	※平成31年度 以降入学者		
会教	-	_	_	マクロ経済学の考え方	_	2			
専問	-	_	_	統計学A-I	_	2			
専門基礎教育科目	_	-	-	統計学A-II	_	2	※平成31年度		
教育和	ı	_	_	図学講義A	_	2	以降入学者		
目	ı	_	-	図学講義B	_	2			

動態論科目

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月3	00B014	実践芸術論講義	舞踊史再考:十九世紀バレエとジェンダー	古後 奈緒子	2	2,3,4年		0
春~夏	月3	00B006	空間メディア論講義	近現代美術史の諸問題	圀府寺 司	2	2,3,4年		0
春~夏	月3	00D003	人文学と情報講義	人文学研究のための情報リテラシー	堀 一成	2	2,3,4年	動態論 共通	0
春~夏	月4	00A016	歷史的地域社会論VI講義	オーストラリアの歴史	藤川 隆男	2	2,3,4年		0
春~夏	月4	00B001	アート・メディア史講義	アート・メディア概説	桑木野 幸司 永田 靖 古後 奈緒子 東 志保 圀府寺 司	2	2,3,4年		0
春~夏	火2	00B019	映像メディア論講義	映画と社会	東 志保	2	2,3,4年		0
春~夏	火3	00D001	言語学講義	印欧語比較言語学入門1	神山 孝夫	2	2,3,4年		0
春~夏	火3	00C005	理論文学研究演習	文学テクストはどのように解釈すればいいのか	石割 隆喜	2	2,3,4年		
春~夏	木1	00B004	人文学と社会講義	人文学と社会	堤 一昭	2	2,3,4年	動態論 共通	0
春~夏	木3	00B013	芸術環境論講義	近代大阪の芸能とその歴史	横田 洋	2	2,3,4年		0
春~夏	金2	00A014	歷史的地域社会論IV講義	近代日本の都市社会政策とマイノリティ―歴史都 市の社会史―	[杉本 弘幸]	2	2,3,4年		0
秋~冬	火2	00A015	歷史的地域社会論V講義	中国古典籍概論―中国学・日本学を学ぶ人のために―	堤 一昭	2	2,3,4年		0
秋~冬	木2	00A001	地域文化構造論Ⅲ講義	縁辺地域の社会・経済・文化	堤 研二	2	2,3,4年		0
秋~冬	月3	00B015	実践芸術論講義	ダンス、パフォーマンスの研究方法:メディアとして の電気	古後 奈緒子	2	2,3,4年		0
秋~冬	月4	00B008	空間メディア論演習	美術史研究文献購読	圀府寺 司	2	2,3,4年		
秋~冬	火2	00B021	映像メディア論演習	映像、ジェンダー、テクノロジー	東 志保	2	2,3,4年		
秋~冬	木4	00B007	メディア論B演習	メディアリテラシー教育	[丸井 隆人]	2	2,3,4年		
秋~冬	土3,土4	00B011	メディア文化論演習	建築•庭園見学実習	桑木野 幸司	2	2,3,4年	隔週	
秋~冬	不定期	00B005	アート・プロデュース論演習	劇場制作研修	永田 靖	2	2,3,4年		
秋~冬	火3	00C006	文学テクスト論Ⅱ演習	J. D. Salinger, _Nine Stories_ を読む	石割 隆喜	2	2,3,4年		
秋~冬	火3	00D002	言語学講義	印欧語比較言語学入門2	神山 孝夫	2	2,3,4年		0
秋~冬	水4	00A008	地域文化構造論Ⅳ講義	人類学的研究のフィールド	井本 恭子	2	2,3,4年		0

外国語科目

英米文学・英語学、ドイツ文学又はフランス文学専修に所属する学生は、外国語科目2単位を含まなければなりません。 なお、当該専修の外国語以外の外国語科目を履修するものとし、初級科目を選択する場合は、全学共通教育科目で履修した 外国語以外の外国語科目を選択し修得してください。

開講 時期	曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	月2	008003	イタリア語	基礎的な文法知識の習得とその実践的応用	[吉富 文]	2	2,3,4年	外	
通年	水4	008002	ロシア語(初級)	ロシア語初級	[前田 恵]	2	2,3,4年	外	
通年	木3	008005	ギリシア語	古典ギリシア語	[戸高 和弘]	2	2,3,4年	外	
通年	木4	800800	ラテン語	ラテン語	[戸高 和弘]	2	2,3,4年	外	
通年	金3	008001	英語(英作文•英会話)	時事問題討論及び映像教材を利用したリスニ ング	[初谷 智子]	2	2,3,4年	外	
春~夏	月5	008007	ドイツ語(中級)	カフカ『変身』を読む(1)	三谷 研爾	1	2,3,4年	外	
春~夏	水2	008015	フランス語(中級)	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	1	2,3,4年	外	
春~夏	水4	008011	ドイツ語(中級)	ドイツ語文献読解の基礎 I:ドイツの新型コロ ナと文化に関連するニュース	吉田 耕太郎	1	2,3,4年	外	
春~夏	木4	008013	フランス語(中級)	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	1	2,3,4年	外	
春~夏	金2	008022	英語(英会話・英作文)	Essay Writing in English	HARVEY,PAUL	1	2,3,4年	外	
秋~冬	月5	008009	ドイツ語(中級)	カフカ『変身』を読む(2)	三谷 研爾	1	2,3,4年	外	
秋~冬	水2	008016	フランス語(中級)	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	1	2,3,4年	外	
秋~冬	水4	008012	ドイツ語(中級)	ドイツ語文献読解の基礎 II:ドイツの新型コロナと教育に関連するニュース	吉田 耕太郎	1	2,3,4年	外	
秋~冬	木4	008014	フランス語(中級)	Exercices pratiques de langue française	AVOCAT ERIC MARC	1	2,3,4年	外	

兼修語学(外国語学部開講)

外国語学部で開講される下記科目の単位を修得した場合、英米文学・英語学、ドイツ文学、フランス文学専修においては、 専門教育系科目の必修科目(外国語科目)の単位として取り扱うことができ、他の専修の学生が修得した場合には、専門教育 系科目の選択科目(上限24単位)に含めることができます。

- ※1. 授業の情報はKOANシラバス及び外国語学部からの掲示等で確認してください。
 ※2. 兼修語学の履修を希望する場合は、文学研究科教務係窓口での申請手続きが必要となります。申請方法の詳細については、KOAN等で通知しますので、希望される方は注意してください。
 ※3. 申請の際、全学共通教育科目の第2外国語で履修した外国語以外の外国語科目を選択してください。
 ※4. 初級aとりは、セット履修になります。初級bのみを履修することはできません。
 ※5. 定員を超える場合は、履修を認められないことがあります。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
_	_	-	中国語初級a	_				
_	_	-	中国語初級b	_				
_	_	_	朝鮮語初級a	_				
_	_	_	朝鮮語初級b	_				
_	_	-	ドイツ語初級a	_				
_	_	_	ドイツ語初級b	_				
_	_	-	フランス語初級a	_				
_	_	-	フランス語初級b	_				
_	_	-	イタリア語初級a	_				
_	_	-	イタリア語初級b	_				
_	_	-	スペイン語初級a	_				
_	_	-	スペイン語初級b	_				
_	_	-	ポルトガル語a	_				
_	_	_	ポルトガル語b	_				

日本語科目

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	水4	008105	日本語	実践専門日本語(1)	鄭 聖汝	2	2,3,4年	Ħ	
春~夏	金2	008102	日本語	論文作成法(1)	鄭 聖汝	2	2,3,4年	Ħ	
秋~冬	水4	008106	日本語	実践専門日本語(2)	鄭 聖汝	2	2,3,4年	Ħ	
秋~冬	金2	008103	日本語	論文作成法(2)	鄭 聖汝	2	2,3,4年	Ħ	

学芸員資格認定科目

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	他	007043	博物館学(学内実習)	博物館実習(学内)	高橋 大樹 門脇 形型 ・ 野爪 節也 ・ 横田 洋 ・ 様田 ・ 詳	2	3,4年	学芸	
通年	他	007044	博物館学(館園実習)	博物館実習(館園)	高橋 照彦 市 大樹 門脇 むつみ	1	4年	学芸	
春~夏	火5	007001	博物館学(教育論)	博物館教育・生涯学習の基礎及びその諸問題	[井上 敏]	2	2,3,4年	学芸	
春~夏	木1	007042	博物館学(概論)	博物館概論	[豆谷 浩之]	2	2,3,4年	学芸	
春~夏	木5	007041	博物館学(資料論)	博物館資料論	[中川 あや]	2	2,3,4年	学芸	
秋~冬	火5	007048	博物館学(生涯学習)	生涯学習概論	[吉田 正純]	2	2,3,4年	学芸	
秋~冬	木5	007002	博物館学(経営論)	博物館・文化施設経営の基礎及びその諸問題	[仙海 義之]	2	2,3,4年	学芸	

教育職員免許状の取得に関係する科目

開時		曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
J	Œ.	集中	007003	漢文学(書道)講義	中国の書と書論	[菅野 智明]	2	2,3,4年	教職	0

教職に関する科目(各教科の指導法)

開講 時期	曜日時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月5	007515	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	社会科・地理歴史科教育の歴史、指導目標と内容及 び指導法の実際	[河合 保生] 堤 研二	2	3,4年	教職	
春~夏	木2	007535	英語科教育法Ⅲ		[立木 ドナ] 岡田 禎之	2	3,4年	英 教職	
春~夏	金1	007504	国語科教育法Ⅲ	国語科教育法Ⅲ	[広滝 道代] 斎藤 理生	2	3,4年	教職	
秋~冬	木2	007536	英語科教育法IV	英語科教育法IV	[立木 ドナ] 岡田 禎之	2	3,4年	英 教職	
秋~冬	木5	007516	社会科・公民科教育法Ⅱ		[矢部 正明] 秋田 茂	2	3,4年	教職	
秋~冬	金1	007505	国語科教育法IV	国語科教育法 IV	[広滝 道代] 斎藤 理生	2	3,4年	教職	

⁽注)教職に関する科目(各教科の指導法)は、卒業要件科目にはなりません。

科 E 一 賢 学 部

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム 「グローバル・アジア・スタディーズ」科目

【履修対象:外国語学部所属学生】

本プログラム科目は、外国語学部学生に対して、『マルチリンガル・エキスパート養成プログラム』として提供しており、アジアを対象として、 思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高い専門性を備えたグローバル人材を 育成することを目的としています。

なお、外国語学部以外の学生が履修を希望する場合は、各専修で開講している同授業で履修登録を行ってください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	木3	00Z002	世界の中のアジア史	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	3,4年	アシア	
秋~冬	木3	00Z003	世界の中のアジア史	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」一現代的な賭課題と の関連で	秋田 茂 市 大樹	2	3,4年	アシア	
春~夏	水1	00Z001	グローバルフィロソフィー	SDGsを途上国に現地化する:哲学プラクティスを通した国際協力	望月 太郎	2	2,3,4年	アシア	
春~夏	水1	00Z014	広域アジア史 I	古代トルコ・モンゴル文献学演習(3)	松井 太	2	3,4年	アシア	
秋~冬	水1	00Z015	広域アジア史Ⅱ	古代トルコ・モンゴル文献学演習(4)	松井 太	2	3,4年	アシア	
秋~冬	火2	00Z018	広域アジア史Ⅴ	中国古典籍概論―中国学・日本学を学ぶ人のために―	堤 一昭	2	2,3,4年	アシア	
春~夏	水4	00Z008	アジアの思想史 I	中国思想史概説一睹子百家—	湯淺 邦弘	2	2,3,4年	アシア	
秋~冬	金2	00Z009	アジアの思想史Ⅱ	懐徳堂文庫漢籍の研究	湯淺 邦弘	2	2,3,4年	アシア	
春~夏	火4	00Z031	アジアの思想史Ⅲ	易のはなし	辛賢	2	2,3,4年	アシア	
秋~冬	火4	00Z032	アジアの思想史Ⅲ	中国の神仙思想と死生観―不老不死への道―	辛賢	2	2,3,4年	アシア	
秋~冬	月5	00Z020	アジアの思想史IV	古代インド諸思想を読み解く ―ヴェーダから仏教へ―	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	2,3,4年	アシア	
春~夏	月3	00Z021	アジアの文化と社会 I	民俗学・文化人類学と沖縄	北村 毅	2	2,3,4年	アシア	
夏	集中	00Z022	アジアの文化と社会Ⅱ	日本近現代ジャーナリズム史	[根津 朝彦]	2	2,3,4年	アシア	
秋~冬	水4	00Z010	アジアの芸術史	東アジアのなかの日本仏像史	藤岡 穣	2	2,3,4年	アシア	
春~夏	火4	00Z024	中国語圏文学Ⅱ	陸游の詩を読む	浅見 洋二	2	2,3,4年	アシア	
秋~冬	火4	00Z025	中国語圏文学Ⅲ	蘇軾の詩を読む	浅見 洋二	2	2,3,4年	アシア	
春~夏	月3	00Z026	中国語圏文学IV	朱イ尊の詞を読む	陳竺慧	2	2,3,4年	アシア	
春~夏	金5	00Z028	中国の文化と社会 I	北~中央アジア史漢文史料読解	松井 太	2	3,4年	アシア	
春~夏	月3	00Z029	中国の文化と社会Ⅱ	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	3,4年	アシア	
秋~冬	月3	00Z030	中国の文化と社会Ⅲ	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	3,4年	アシケ	

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム

「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目

【履修対象:外国語学部所属学生】

本プログラム科目は、外国語学部学生に対して、『マルチリンガル・エキスパート養成プログラム』として提供しており、ヨーロッパの古代から現代までのあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを目的としています。 なお、外国語学部以外の学生が履修を希望する場合は、各専修で開講している同授業で履修登録を行ってください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	木2	00Z201	グローバル・ユーロ思想史	西洋哲学通史(デカルトから現代まで)	西條 玲奈、[谷山 弘太] 中村 征樹、[野々村 梓] 舟場 保之、三木 那由他 山上 浩嗣、嘉目 道人	2	2,3,4年	ם-ב	
春~夏	水2	00Z202	グローバル・ユーロ芸術史	マニエリスム美術史:変容の時代の芸術	桑木野 幸司	2	2,3,4年	ユーロ	
春~夏	月5	00Z203	ヨーロッパの哲学[カントと人権	舟場 保之	2	2,3,4年	ユーロ	
秋~冬	月3	00Z204	ヨーロッパの哲学II	フィヒテ哲学の研究(2): フィヒテの観念論	嘉目 道人	2	2,3,4年	ユーロ	
春~夏	水2	00Z205	ヨーロッパの哲学III	ポール・グライスの哲学体系(2)	三木 那由他	2	2,3,4年	ם-ב	
春~夏	月4	00Z206	ヨーロッパの哲学IV	Hannah Arendt, Elemente und Urspruenge totaler Herrschaft を 読む I	舟場 保之	2	2,3,4年	ם-ב	
秋~冬	水2	00Z207	ョーロッパの哲学V	会話の哲学	三木 那由他	2	2,3,4年	ם-ב	
秋~冬	月5	00Z208	ヨーロッパの哲学 VI	J.ハーバーマスの思想 XIV	舟場 保之	2	2,3,4年	ューロ	
春~夏	月2	00Z209	ョーロッパの歴史I	イギリス帝国史とグローバルヒストリー	秋田 茂	2	3,4年	ם-ב	
秋~冬	月2	00Z210	ヨーロッパの歴史I	イギリス帝国史とグローバルヒストリー	秋田 茂	2	3,4年	ם-ב	
春~夏	月2	00Z211	ョーロッパの歴史II	北アフリカから見た古代ローマ世界	栗原 麻子 [大清水 裕]	2	2,3,4年	ユーロ	
春~夏	木3	00Z212	ョーロッパの歴史III	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新しい大学 歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	3,4年	מ-ב	
秋~冬	木3	00Z213	ョーロッパの歴史III	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」一現代的な諸課題との 関連で	秋田 茂 市 大樹	2	3,4年	ユーロ	
春~夏	火5	00Z216	ヨーロッパの文学I	英文学史A	[三浦 誉史加]	2	2,3,4年	ユーロ	
伙~冬	金2	00Z217	ヨーロッパの文学I	英文学史A	山田 雄三	2	2,3,4年	2-0	
夏	集中	00Z218	ョーロッパの文学II	カズオ・イシグロの世界	[服部 典之]	2	2,3,4年	ם-ב	
春~夏	木4	00Z220	ヨーロッパの文学IV	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] April 2021 Course 6 Alfred Lord Tennyson The Idylls of the King 国王牧歌	HARVEY,PAUL	2	2,3,4年	英 ユーロ	
₽~夏	木2	00Z221	ョーロッパの文学V	子どもについての記述を中心に(18世紀のモード雑誌を読む:1 4)	吉田 耕太郎	2	2,3,4年	2-0	
伙~冬	木2	00Z222	ヨーロッパの文学VI	市民の家庭について記述を中心に(18世紀のモード雑誌を読む: 15)	吉田 耕太郎	2	2,3,4年	2-0	
伙~冬	水4	00Z241	ヨーロッパの文学VII	パスカル『パンセ』を読む	山上 浩嗣	2	2,3,4年	ユーロ	
₽~夏	月5	00Z223	ョーロッパの文学VII	Etudes sur la culture visuelle : apprendre à décrire et commenter une image, en français	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	ムユーロ	
₣~夏	木3	00Z231	ョーロッパの文学VIII	Ästhetik: Idee und Anschauung, Ereignis und Erfahrung	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独ューロ	
狄~冬	木3	00Z224	ョーロッパの文学VIII	Scripture and the presence of signs	JOHANNES WASSMER	2	2,3,4年	独 ユーロ	
春~夏	水4	00Z225	ョーロッパの文学IX	モンテーニュ『エセー』を読む	山上 浩嗣	2	2,3,4年	ם-ב	
₹~夏	月4	00Z226	ョーロッパの文学X	18世紀フランス文学作品原文講読	山上 浩嗣	2	2,3,4年	ューロ	
秋~冬	月4	00Z227	ョーロッパの文学X	フランス映画:歴史と社会の鏡	AVOCAT ERIC MARC 山上 浩嗣	2	2,3,4年	仏 ユーロ	
春~夏	水2	00Z228	ョーロッパの文学XI	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	2,3,4年	2-0	
秋~冬	水2	00Z229	ヨーロッパの文学XI	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	2,3,4年	ユーロ	
春~夏	月3	00Z230	ョーロッパの文学XII	弁論術と文学	渡辺 浩司	2	2,3,4年	ユーロ	
春~夏	木4	00Z242	ョーロッパの文学XIII	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	ム ユーロ	
伙~冬	木4	00Z243	ョーロッパの文学XIII	Exercices pratiques de langue française	AVOCAT ERIC MARC	2	2,3,4年	ムコーロ	
春~夏	月2	00Z232	ヨーロッパの芸術I	楽曲分析の基礎	伊東 信宏	2	2,3,4年	ם-ב	
春~夏	火1	00Z233	ヨーロッパの芸術II	西洋美術史基礎	岡田 裕成 桑木野 幸司 圀府寺 司	2	2,3,4年	ם-ב	
秋~冬	月4	00Z234	ヨーロッパの芸術III	美術史研究文献購読	圀府寺 司	2	2,3,4年	ユ ーロ	
春~夏	水3	00Z235	ヨーロッパの芸術IV	16世紀美術の図像解読術	岡田 裕成	2	2,3,4年	ユーロ	
伙~冬	水3	00Z240	ョーロッパの芸術IV	ハプスブルク・スペイン世界帝国の宮廷美術:コレクションの地政 学2.	岡田 裕成	2	2,3,4年	מ-ב	
春~夏	木1	00Z236	ヨーロッパの現代	ドイツ哲学基本文献講読 I	舟場 保之	2	2,3,4年	2-0	
秋~冬	木1	00Z237	ヨーロッパの現代 II	ドイツ哲学基本文献講読 II	舟場 保之	2	2,3,4年	ユーロ	
秋~冬	月3	00Z238	ヨーロッパの現代III	ベルリンの都市空間と文化・芸術	三谷 研育	2	2,3,4年	ם-ב	
秋~冬	水4	00Z239	ヨーロッパの現代IV	人類学的研究のフィールド	井本 恭子	2	2,3,4年	ユーロ	

令和3(2021)年度文学研究科(博士前期課程)開講科目一覧

- 文学研究科共通科目
- インターンシップを含む科目
- 外国語科目
- 外国語による発信力を育成するための科目
- ・エラスムス・ムンドゥス英語授業
- ・専門分野が開講する科目
- 日本語科目
- ・大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目
- ・大学院等高度副プログラム「グローバルヒストリー」科目
- ・大学院副専攻プログラム「グローバル・アジア・スタディーズ」科目
- ・大学院副専攻プログラム「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目

◆備考欄の略号について

◆担当教員欄

隔週:隔週で行われる授業 英:英語で行われる授業 独:ドイツ語で行われる授業

仏:フランス語で行われる授業 イン:インターンシップを含む科目 []:非常勤講師〈 〉:招へい教員

文学研究科共通科目

文学研究科では、近年取り組んだ「グローバルCOEプログラム」「21世紀COEプログラム」「魅力ある大学院教育イニシアティブ」などの成果を土台として、人文学を見渡す広い視野、現代社会を切り結ぶ実践的な研究能力を養うための、特定の専門分野に属さない研究科共通科目を開設しています。

開講 時期	曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	不定期	201525	世界史演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 茂 堤 一昭 飯塚 一幸	4	1,2年	史学共通	
春~夏	水2	201538	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏次朗	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
春~夏	木3	201523	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから 考える新しい大学歴史教育―日本史と世界史 の間で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
秋~冬	木3	201524	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現 代的な諸課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
秋~冬	木4	20C216	メディア論B演習	メディアリテラシー教育	[丸井 隆人]	2	1,2年	研究科 共通	

インターンシップを含む科目

文学研究科で開設されている科目のうち、次のものについては、授業の中でインターンシップが設定されています。その期間、受け入れ先、受け入れ人数、参加資格などについては、開講時の説明、または開講期間以外に開催されるガイダンスに必ず参加し、十分確認してください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	火4	204514	西洋美術史修士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	1,2年	イン	
春~夏	不定期	204506	東洋美術史修士論文作成演習	日本・東洋美術史の賭問題(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2年	イン	
秋~冬	月3	204303	音楽学演習	音楽学の主題、資料、方法2	伊東 信宏	2	1,2年	イン	
秋~冬	火4	204515	西洋美術史修士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	1,2年	イン	
秋~冬	不定期	204507	東洋美術史修士論文作成演習	日本・東洋美術史の諸問題(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2年	イン	

外国語科目

文学研究科では、外国語科目を開設しています。

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	月2	204806	イタリア語	基礎的な文法知識の習得とその実践的応用	[吉富 文]	2	1,2年	外	
通年	水2	204816	フランス語	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	1,2年	外	
通年	水4	204805	ロシア語	ロシア語初級	[前田 恵]	2	1,2年	外	
通年	木3	204807	ギリシア語	古典ギリシア語	[戸高 和弘]	2	1,2年	外	
通年	木4	204815	フランス語	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	外	
通年	木4	204808	ラテン語	ラテン語	[戸高 和弘]	2	1,2年	外	
通年	金3	204804	英語	時事問題討論及び映像教材を利用したリスニ ング	[初谷 智子]	2	1,2年	外	

外国語による発信力を育成するための科目

文学研究科で開設されている科目のうち、次のものは、外国語による発信力を育成するために外国語による研究論文やレポートを作成するための専門科目です。授業の目的、授業内容、授業計画等については、シラバスを参照してください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月3	203322	フランス語学講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	0
春~夏	火4	204773	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	Topics in Japan's Modern History and Historiography	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	火5	204771	Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 1	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	木3	204750	Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	水4	203124	ドイツ語学演習	Akademisches Schreiben I	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	
春~夏	木4	203312	フランス語学演習	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	
春~夏	木4	204752	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	Keywords in Japanese Studies Today	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金2	204770	Issues in Contemporary Japanese Studies 2	Postwar Repatriation in Literature, Art, and History	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金3	204768	Academic Skills for Humanities 2	Writing Research Papers	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	月3	203330	フランス語学講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	0
秋~冬	火4	204774	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	Borders, Migration, and Minorities in Japan's Modern History	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	火5	204772	Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 2	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	木3	204767	Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	水4	203116	ドイツ語学演習	Akademisches Schreiben II	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	
秋~冬	木4	203313	フランス語学演習	Exercices pratiques de langue française	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	
秋~冬	木4	204769	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	The Japanese Short Story	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	金2	204753	Issues in Contemporary Japanese Studies 2	The Practice of Translating Japanese Media	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	金2	204775	アドバンスト・アカデミック・ライティング	Advanced Academic Writing	HARVEY,PAUL	2	1,2年	英	
秋~冬	金3	204751	Academic Skills for Humanities 2	Presenting Research	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0

エラスムス・ムンドゥス英語授業

"Contemporary Japan in a Global Context"

本教育プログラムはエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム(「ユーロカルチャー」)*在籍の留学生に提供されるとともに、本研究科の科目と

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
秋~冬	火3	204850	現代日本文学論講義	Japanese Literature in the World	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 EM	
秋~冬	火4	204912	言語と社会	Language and Society	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2年	英 EM	
秋~冬	水3	204914	アジアにおける人の移動	International Migration in Asia, from and to Japan	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 EM	
秋~冬	木2	204901	現代日本文化論講義	Design Culture in Japan	高安 啓介	2	1,2年	英 EM	
秋~冬	金3	204910	現代日本社会論講義	Contemporary Japanese Society	宇野田 尚哉	2	1,2年	英 EM	

^{*} エラスムス・ムンドゥス・マスタープログラムとは、欧州における高等教育機関の共同の流動性を高めることにより、大学教育を国際化するプログラム。2008年より大阪大学大学院文学研究科が同プログラムの域外パートナーとなり、同プログラムの留学生を受け入れる。「ユーロカルチャー」は現代ヨーロッパの文化的、社会的、政治的アイデンティティーに関する諸問題を研究するためのプログラムであり、国際機関等への就 職をめざしている。

科日 一覧 博前

哲学哲学史専門分野

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	4	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月3	200105	認識論講義	計議をめぐる諸問題(4): 計議におけるアノマリー的言 説	嘉目	道人	2	1,2年		0
春~夏	月4	200115	認識論演習	Hannah Arendt, Elemente und Urspruenge totaler Herrschaft を読む I	舟場	保之	2	1,2年		
春~夏	月5	200117	西洋哲学史講義	カントと人権	舟場	保之	2	1,2年		0
春~夏	火4	200104	哲学哲学史演習	フィヒテ『全知識学の基礎』を読む(3)	嘉目	道人	2	1,2年		
春~夏	水2	200132	言語哲学講義	ポール・グライスの哲学体系(2)	三木	那由他	2	1,2年		0
春~夏	水3	200114	認識論演習	パース著作集を読む (3): 記号学	嘉目	道人	2	1,2年		
春~夏	水4	200109	存在論講義	文字通りの意味についての現代の討論	MALI	IK LUKE	2	1,2年	英	0
春~夏	木1	200101	哲学哲学史演習	ドイツ哲学基本文献講読 [舟場	保之	2	1,2年		
春~夏	木4	200111	西洋哲学史講義	分析形而上学における現代普遍論争とその射程(1)	西條	玲奈	2	1,2年		0
春~夏	金4	200110	言語哲学演習	マーガレット・ギルバート『社会的事実について』を読む	三木	那由他	2	1,2年		
春~夏	金5	200119	哲学哲学史修士論文作成演習	研究発表と討論 (1)	嘉目	道人	2	1,2年		
春~夏	金5	200121	哲学哲学史修士論文作成演習	研究と討論 Ι	舟場	保之	2	1,2年		
春~夏	金5	200122	哲学哲学史修士論文作成演習	研究発表と討論(1)	三木	那由他	2	1,2年		
秋~冬	月3	200130	哲学哲学史講義	フィヒテ哲学の研究 (2): フィヒテの観念論	嘉目	道人	2	1,2年		0
秋~冬	月4	200116	認識論演習	Hannah Arendt, Elemente und Urspruenge totaler Herrschaft を読む II	舟場	保之	2	1,2年		
秋~冬	月5	200118	西洋哲学史講義	J.ハーバーマスの思想 XIV	舟場	保之	2	1,2年		0
秋~冬	火4	200108	哲学哲学史演習	フィヒテ『全知識学の基礎』を読む (4)	嘉目	道人	2	1,2年		
秋~冬	水2	200131	言語哲学講義	会話の哲学	三木	那由他	2	1,2年		0
秋~冬	水3	200112	認識論演習	パース著作集を読む (4): 記号学	嘉目	道人	2	1,2年		
秋~冬	木1	200102	哲学哲学史演習	ドイツ哲学基本文献講読 II	舟場	保之	2	1,2年		
秋~冬	木4	200129	西洋哲学史講義	分析形而上学における現代普遍論争とその射程(2)	西條	玲奈	2	1,2年		0
秋~冬	金4	200113	言語哲学演習	マーガレット・ギルバート『社会的事実について』を読む	三木	那由他	2	1,2年		
秋~冬	金5	200120	哲学哲学史修士論文作成演習	研究発表と討論 (2)	嘉目	道人	2	1,2年		
秋~冬	金5	200124	哲学哲学史修士論文作成演習	研究と討論 II	舟場	保之	2	1,2年		
秋~冬	金5	200128	哲学哲学史修士論文作成演習	研究発表と討論(1)	三木	那由他	2	1,2年		

現代思想文化学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	譜義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月5	200318	現代思想文化学修士論文作成演習	科学技術社会論研究I	中村 征樹	2	1,2年		
春~夏	火4	200315	現代思想文化学講義	生命科学の病理学	中村 征樹	2	1,2年		0
春~夏	水1	200307	現代思想文化学講義	SDGsを途上国に現地化する:哲学プラクティスを通し た国際協力	望月 太郎	2	1,2年		0
春~夏	水4	200320	現代思想文化学修士論文作成演習	発表と討論	望月 太郎	2	1,2年		
春~夏	木1	200316	現代思想文化学演習	アフリカ哲学とは何か	望月 太郎	2	1,2年		
秋~冬	月5	200319	現代思想文化学修士論文作成演習	科学技術社会論研究II	中村 征樹	2	1,2年		
秋~冬	火4	200311	現代思想文化学演習	文理の溝を超えて:『高等教育における人文・アートと 科学・工学・医学の融合』を読む	中村 征樹	2	1,2年		
秋~冬	水1	200302	現代思想文化形成史講義	コラプションの哲学	望月 太郎	2	1,2年		0
秋~冬	水4	200321	現代思想文化学修士論文作成演習	発表と討論	望月 太郎	2	1,2年		
秋~冬	水5	200314	現代思想文化学講義	レジリエンスを考える	中村 征樹	2	1,2年		0
秋~冬	木1	200317	現代思想文化学演習	モース『贈与論』を読む	望月 太郎	2	1,2年		

科目 一覧 博前

臨床哲学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
夏	集中	200513	対話技法論演習	ソクラティク・ダイアローグ	堀江 剛	2	1,2年		
春~夏	火3	200506	臨床哲学演習	ギリガンを読む	小西 真理子	2	1,2年		
春~夏	火5	200529	社会哲学講義	コミュニケーションの哲学	堀江 剛	2	1,2年		0
春~夏	水2	200502	倫理学講義	倫理学概論:ともに生きるための倫理学	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2年		0
春~夏	水3	200510	臨床哲学修士論文作成演習	臨床哲学研究A	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2年		
春~夏	水4	200509	臨床哲学修士論文作成演習	臨床哲学研究C	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2年		
春~夏	金3	200520	倫理学演習	英語で倫理学する	[PECKITT MICHAEL GILLAN]	2	1,2年	英	
春~夏	金3	200514	ジェンダー・セクシュアリティ研究基礎 講義	ジェンダーとセクシュアリティを解きほぐす	ほんま なほ 小西 真理子 中嶋 泉 西條 玲奈	2	1,2年		0
秋~冬	月3	200515	ジェンダー・セクシュアリティ研究基礎 演習	わたしたちとフェミニズム哲学	ほんま なほ	2	1,2年		
秋~冬	火2	200503	倫理学演習	倫理学のレシピ	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2年		
秋~冬	火3	200512	臨床哲学講義	ケアの倫理と臨床哲学	小西 真理子	2	1,2年		0
秋~冬	火4	200530	社会哲学演習	応用倫理文献講読	堀江 剛	2	1,2年		
秋~冬	水3	200527	臨床哲学修士論文作成演習	臨床哲学研究B	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2年		
秋~冬	水4	200528	臨床哲学修士論文作成演習	臨床哲学研究D	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2年		

中国哲学専門分野

開講 時期	曜 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	火5	200704	中国哲学修士論文作成演習	修士論文作成演習	辛 賢	4	1,2年		
春~夏	月4	200712	中国哲学演習	中国文献学演習I	辛 賢	2	1,2年		
春~夏	火4	200710	中国哲学講義	易のはなし	辛賢	2	1,2年		0
春~夏	水4	200701	中国哲学講義	中国思想史概説一諸子百家一	湯淺 邦弘	2	1,2年		0
春~夏	金2	200708	中国哲学演習	中国出土文献の研究	湯淺 邦弘	2	1,2年		
秋~冬	月4	200709	中国哲学演習	中国文献学演習Ⅱ	辛賢	2	1,2年		
秋~冬	火4	200711	中国哲学講義	中国の神仙思想と死生観―不老不死への道―	辛賢	2	1,2年		0
秋~冬	金2	200707	漢籍資料学演習	懐徳堂文庫漢籍の研究	湯淺 邦弘	2	1,2年		

インド学・仏教学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
夏	集中	200907	インド哲学史演習	死後の諸世界とそこに至る道たち:古代インドの死生 観	[阪本 純子]	2	1,2年		
春~夏	月3,金2	200908	インド学演習	サンスクリット語初級	名和 隆乾	4	1,2年		
春~夏	火1	200901	インド学修士論文作成演習	インド思想の諸問題1	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2年		
春~夏	火2	200902	仏教学修士論文作成演習	インド仏教の諸問題1	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2年		
春~夏	水5	200903	インド哲学史演習	ヴェーダ文献研究1	堂山 英次郎	2	1,2年		
春~夏	木2	200914	仏教文献学演習	パーリ語文献研究1	名和 隆乾	2	1,2年		
秋~冬	月3	200911	インド学演習	サンスクリット語初級講読	堂山 英次郎	2	1,2年		
秋~冬	月5	200919	インド学講義	古代インド諸思想を読み解く 一ヴェーダから仏教 へー	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2年		0
秋~冬	火1	200904	インド学修士論文作成演習	インド思想の諸問題2	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2年		
秋~冬	火2	200905	仏教学修士論文作成演習	インド仏教の諸問題2	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2年		
秋~冬	水5	200906	インド哲学史演習	ヴェーダ文献研究2	堂山 英次郎	2	1,2年		
秋~冬	木2	200915	仏教文献学演習	パーリ語文献研究2	名和 隆乾	2	1,2年		

日本学専門分野

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象	備考	*高度
夏	集中	201107	文化交流史講義	日本近現代ジャーナリズム史	[根津 朝彦]	2	1,2年		0
春~夏	月3	201112	日本文化学講義	民俗学・文化人類学と沖縄	北村 毅	2	1,2年		0
春~夏	月4	201110	文化人類学演習	日本研究へのアプローチ1	北村 毅	2	1,2年		
春~夏	月5	201139	日本文化学演習	コロナ禍のオーラルヒストリー	安岡 健一	2	1,2年		
春~夏	火3	201143	日本思想史演習	近世思想史再考1	宇野田 尚哉	2	1,2年		
春~夏	火5	201113	日本思想史演習	Rethinking Postwar Japanese Intellectual History from an Outside Perspective	宇野田 尚哉	2	1,2年		
春~夏	水2	201102	比較文化学演習	視覚文化とジェンダー	中嶋 泉	2	1,2年		
春~夏	金4	201128	文化交流史演習	文化交流史講読	安岡 健一	2	1,2年		
春~夏	金5	201129	日本学修士論文作成演習	日本学修士論文の作成 1	安岡 健一	2	1,2年		
春~夏	不定期	201141	日本学修士論文作成演習	Master's Thesis Preparation Seminar 1	宇野田 尚哉	2	1,2年		
春~夏	不定期	201104	日本学修士論文作成演習	日本学修士論文の作成(1)	中嶋 泉	2	1,2年		
春~夏	不定期	201125	日本学修士論文作成演習	日本学修士論文の作成1	北村 毅	2	1,2年		
秋~冬	月5	201108	文化人類学演習	日本研究へのアプローチ2	北村 毅	2	1,2年		
秋~冬	火3	201144	日本思想史演習	近世思想史再考2	字野田 尚哉	2	1,2年		
秋~冬	火5	201106	日本思想史講義	17·18世紀日本儒学史再考	宇野田 尚哉	2	1,2年		0
秋~冬	水1	201101	比較文化学講義	フェミニズムの理論と現代視覚文化	中嶋 泉	2	1,2年		0
秋~冬	水2	201103	比較文化学演習	視覚文化とジェンダー	中嶋 泉	2	1,2年		
秋~冬	不定期	201142	日本学修士論文作成演習	Master's Thesis Preparation Seminar 2	宇野田 尚哉	2	1,2年		
秋~冬	不定期	201105	日本学修士論文作成演習	日本学修士論文の作成(2)	中嶋 泉	2	1,2年		
秋~冬	不定期	201126	日本学修士論文作成演習	日本学修士論文の作成2	北村 毅	2	1,2年		

日本史学専門分野

開講時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象年次	備考	*高度 国際
通年	火3	201333	日本中世史演習	日本中世史の諸問題	伴瀬 明美	4	1,2年		
通年	火4	201312	日本史修士論文作成演習	修士論文作成指導演習	伴瀬 明美	4	1,2年		
通年	火5	201315	日本近代史演習	近代史料の研究	飯塚 一幸	4	1,2年		
通年	火6	201316	日本史修士論文作成演習	修士論文作成指導演習	飯塚 一幸	4	1,2年		
通年	水1	201311	日本史修士論文作成演習	修士論文の作成	野村 玄	4	1,2年		
通年	水3	201309	日本近世史演習	日本近世史の諸問題	野村 玄	4	1,2年		
通年	水4	201302	日本史修士論文作成演習	日本古代史修士論文作成演習	市大樹	4	1,2年		
通年	金1	201305	日本中世史演習	日本中世史の諸問題	川合 康	4	1,2年		
通年	金2	201306	日本史修士論文作成演習	修士論文作成指導演習	川合 康	4	1,2年		
通年	金4	201301	日本古代史演習	日本古代史料演習(『類聚三代格』講読)	市大樹	4	1,2年		
夏	集中	201307	日本文化史講義	古代天皇制を考える	[丸山 裕美子]	2	1,2年		0
夏	集中	201337	アーカイブズ・マネジメント論	アーカイブズ・マネジメント論講義	菅 真城	2	1,2年		0
春~夏	火2	201325	日本中世史講義	中世天皇家の諸相	伴瀬 明美	2	1,2年		0
春~夏	水4	201323	日本近世史演習	日本近世史くずし字読解演習	野村 玄	2	1,2年		
春~夏	水5	201310	日本近世史演習	近世古文書の解読と整理	野村 玄	2	1,2年		
春~夏	木4	201335	アーカイブズ学概論	アーカイブズ学講義	菅 真城	2	1,2年		0
春~夏	金3	201303	日本中世史演習	中世史料講読	川合 康	2	1,2年		
春~夏	金3	201322	日本古代史講義	新出資料による日本古代史像の再検討―宮都の 成立過程を中心に④―	市大樹	2	1,2年		0
秋~冬	火4	201318	日本近代史講義	自由民権運動の再検討	飯塚 一幸	2	1,2年	ヒストリー	0
秋~冬	水2	201327	日本中世史講義	源賴朝論	川合 康	2	1,2年		0
秋~冬	水4	201313	日本近世史講義	日本近世国家論・日本近世政治史の新構築	野村 玄	2	1,2年		0
秋~冬	水4	201334	日本中世史演習	中世史料講読	伴瀬 明美	2	1,2年		
秋~冬	水5	201320	歷史資料論演習	近世古文書の整理と近世史料学の検討	野村 玄	2	1,2年		
秋~冬	木2	201324	日本近世史演習	日本近世史仮名くずし字読解演習	野村 玄	2	1,2年		
秋~冬	木4	201336	アーカイブズ学基礎演習	アーカイブズ学演習	菅 真城	2	1,2年		
秋~冬	金3	201304	日本中世史演習	中世史料講読	川合 康	2	1,2年		
秋~冬	金3	201328	日本古代史演習	日本古代史料演習(七大寺巡礼私記の講読)	市大樹	2	1,2年		
通年	不定期	201525	世界史演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 茂 堤 一昭 飯塚 一幸	4	1,2年	史学共通	
春~夏	火4	201548	世界史演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英 史学共通 tzトリー	
春~夏	水2	201538	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏二朗	2	1,2年	史学共通	0
春~夏	木3	201523	歴史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考 える新しい大学歴史教育―日本史と世界史の間 で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	史学共通	0
秋~冬	火4	201547	世界史演習	Experts and the overseas relations of European nation-states, 1890s-1960s	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英 史学共通	
秋~冬	木3	201524	歷史学方法論講義		秋田 茂市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0

東洋史学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	木1	201514	中央アジア史演習	古代トルコ・モンゴル文献学演習 (Advance)	松井 太	4	1,2年		
通年	金5	201515	中央アジア史演習	北〜中央アジア史漢文史料読解	松井 太	4	1,2年		
春~夏	月3	201526	東アジア史演習	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	1,2年		
春~夏	月4	201511	東アジア史演習	中国史英語文献講読C	田口 宏二朗	2	1,2年		
春~夏	火1	201516	中央アジア史講義	中央アジア=ウイグル王国史の諸問題	松井 太	2	1,2年		0
春~夏	火2	201512	中央アジア史演習	中央アジア史英語演習(1)	松井 太	2	1,2年		
春~夏	火4	201540	東アジア史演習	東アジア漢文史料読解(1)	河上 麻由子	2	1,2年		
春~夏	水1	201542	中央アジア史演習	古代トルコ・モンゴル文献学演習(3)	松井 太	2	1,2年		
春~夏	水4	201508	東アジア史演習	東アジア史研究の諸問題	田口 宏二朗	2	1,2年		
春~夏	木2	201501	東洋史演習	東洋史学合同演習(1)	松井 太 田口 宏二朗 河上 麻由子	2	1,2年		
秋~冬	月1	201504	東洋史修士論文作成演習	東洋史学論文指導	松井 太 河上 麻由子	2	1,2年		
秋~冬	月3	201539	東アジア史演習	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	1,2年		
秋~冬	月4	201536	東アジア史演習	中国史英語文献講読C	田口 宏二朗	2	1,2年		
秋~冬	火1	201541	東アジア史演習	東アジア史英語演習	河上 麻由子	2	1,2年		
秋~冬	火2	201513	中央アジア史演習	中央アジア史英語演習(2)	松井 太	2	1,2年		
秋~冬	火2	201535	東洋史講義	中国古典籍概論―中国学・日本学を学ぶ人のため に―	堤 一昭	2	1,2年		0
秋~冬	火4	201546	東アジア史演習	東アジア漢文史料読解(1)	河上 麻由子	2	1,2年		
秋~冬	水1	201543	中央アジア史演習	古代トルコ・モンゴル文献学演習(3)	松井 太	2	1,2年		
秋~冬	水4	201533	東洋史修士論文作成演習	東アジア史修士論文作成演習	田口 宏二朗	2	1,2年		
秋~冬	木2	201502	東洋史演習	東洋史学合同演習(2)	松井 太 田口 宏二朗 河上 麻由子	2	1,2年		
通年	不定期	201525	世界史演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 茂 堤 一昭 飯塚 一幸	4	1,2年	史学共通	
春~夏	火4	201548	世界史演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英 史学共通 ヒストリー	
春~夏	水2	201538	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏二朗	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
春~夏	木3	201523	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考 える新しい大学歴史教育―日本史と世界史の間で ―	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	史学共通	0
秋~冬	火4	201547	世界史演習	Experts and the overseas relations of European nation-states, 1890s-1960s	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英 史学共通	
秋~冬	木3	201524	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代 的な諸課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0

西洋史学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月2	201704	西洋近代史演習	イギリス帝国史とグローバルヒストリー	秋田 茂	2	1,2年		
春~夏	月2	201717	西洋古代史講義	北アフリカから見た古代ローマ世界	栗原 麻子 [大清水 裕]	2	1,2年	ヒストリー	0
春~夏	月3	201718	西洋古代史リサーチ演習	ギリシア・ジェンダー史研究の基礎2	栗原 麻子	2	1,2年		
春~夏	月3,月4	201725	西洋近代史リサーチ演習	グローバルヒストリー研究	秋田 茂	2	1,2年		
春~夏	月4	201733	西洋中世史演習	西洋中世史演習	中谷 惣	2	1,2年		
春~夏	月5	201701	西洋史修士論文作成演習	西洋史学上の諸問題1	秋田茂、藤川隆男 栗原麻子、中谷物 見瀬悠	2	1,2年		
春~夏	火3	201728	西洋史演習	西洋近世史演習	見瀬 悠	2	1,2年		
春~夏	水2	201722	西洋近代史リサーチ演習	論文作成のための演習	藤川 隆男	2	1,2年		
春~夏	水3	201712	西洋近代史リサーチ演習	オーストラリア史演習―デジタル・ヒストリー	藤川 隆男	2	1,2年		
春~夏	水5	201716	西洋古代史リサーチ演習	ギリシア・ジェンダー史研究の基礎1	栗原 麻子	2	1,2年		
春~夏	木2	201738	世界史演習	環境史の視座から見た帝国研究I	HEÉ Nadine	2	1,2年		
春~夏	木4	201714	西洋近代史リサーチ演習	1950年代から1960年代にかけてのアメリカ合衆 国における大学と国家、社会	[藤岡 真樹]	2	1,2年		
春~夏	金2	201731	西洋中世史講義	ヨーロッパ中世都市の諸相――都市の公共善に 迫る	中谷 惣	2	1,2年		0
春~夏	金3	201705	西洋史講義	移民と外国人の近世フランス史	見瀬 悠	2	1,2年		0
春~夏	金4,金5	201710	西洋中世史演習	西洋中世史演習	中谷 惣	2	1,2年	隔週	
春~夏	不定期	201735	西洋史演習	英語実践的報告演習	藤川 隆男、秋田茂 栗原 麻子、中谷 惣 見瀬 悠	2	1,2年	英	
冬	不定期	201734	西洋史演習	『パブリック・ヒストリー』の刊行演習	秋田茂、藤川隆男 栗原麻子、中谷物 見瀬悠	1	1,2年	ターム	
冬	集中	201706	西洋古代史講義	前4世紀アテナイにおける法と法制度 Athenian law and administration of justice in the fourth century B.C.	レーネ・ルビンスタイン 栗原 麻子	1	1,2年	英	0
秋~冬	月2	201726	西洋近代史演習	イギリス帝国史とグローバルヒストリー	秋田 茂	2	1,2年		
秋~冬	月3	201719	西洋古代史リサーチ演習	│ 西洋古代史史料研究―ギリシア・ローマ都市の │ 政治文化―	栗原 麻子	2	1,2年		
秋~冬	月3,月4	201727	西洋近代史リサーチ演習	グローバルヒストリー研究	秋田 茂	2	1,2年		
秋~冬	月4	201732	西洋中世史演習	西洋中世史演習	中谷 惣	2	1,2年		
秋~冬	月4	201721	西洋近代史ディベート演習	英米圏の歴史(英語)	藤川 隆男 KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英	
秋~冬	月5	201702	西洋史修士論文作成演習	西洋史学上の諸問題2	藤川 隆男、秋田茂 栗原 麻子、中谷 惣 見瀬 悠	2	1,2年		
秋~冬	火3	201707	西洋史演習	近世史フランス語講読	見瀬悠	2	1,2年		
秋~冬	火5	201729	西洋古代史リサーチ演習	日常性のなかの政治―前4世紀アテナイにおけ る市民社会と法廷―	栗原 麻子	2	1,2年		
秋~冬	水2	201713	西洋近代史リサーチ演習	論文作成のための演習	藤川 隆男	2	1,2年		
秋~冬	水3	201730	西洋近代史リサーチ演習	オーストラリア史演習一デジタル・ヒストリー	藤川 隆男	2	1,2年		
秋~冬	水4	201720	西洋史講義	特論:「インドとイギリス」再考―帝国関係から開発 援助・G20へ	秋田 茂	2	1,2年		0
秋~冬	木1	201737	世界史演習	環境史の視座から見た帝国研究II	HEÉ Nadine	2	1,2年		
秋~冬	木2	201723	西洋近代史講義	Oceanic Approaches to Modern History	HEÉ Nadine	2	1,2年	英	0
秋~冬	金3	201703	西洋史演習	西洋近世史演習	見瀬 悠	2	1,2年		
秋~冬	金4,5	201708	西洋中世史演習	西洋中世史演習	中谷 惣	2	1,2年	隔週	
秋~冬	不定期	201736	西洋史演習	英語実践的報告演習	秋田茂、藤川隆男 栗原麻子、中谷惣 見瀬悠	2	1,2年	英 ヒストリー	
通年	不定期	201525	世界史演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 茂 堤 一昭 飯塚 一幸	4	1,2年	史学共通	
春~夏	火4	201548	世界史演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英 史学共通 ヒストリー	
春~夏	水2	201538	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏二朗	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
春~夏	木3	201523	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから 考える新しい大学歴史教育―日本史と世界史の 関で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
秋~冬	火4	201547	世界史演習	Experts and the overseas relations of European nation-states, 1890s-1960s	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英 史学共通	
秋~冬	木3	201524	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代 的な諸課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	1,2年	史学共通 とストリー	0

考古学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月4	201902	考古学修士論文作成演習	考古学修士論文指導1	福永 伸哉 高橋 照彦	2	1,2年		
春~夏	水3	201905	考古資料論講義	日本古代における窯業生産	髙橋 照彦	2	1,2年		0
春~夏	水6	201906	考古学演習	プロジェクト研究実践演習	福永 伸哉 髙橋 照彦 上田 直弥	2	1,2年		
春~夏	不定期	201907	考古資料論演習	フィールド調査実践演習1	福永 伸哉 高橋 照彦 上田 直弥	2	1,2年		
秋~冬	月3	201911	考古学講義	日本考古学の研究アプローチ	福永 伸哉	2	1,2年		0
秋~冬	月4	201903	考古学修士論文作成演習	考古学修士論文指導2	福永 伸哉 高橋 照彦 上田 直弥	2	1,2年		
秋~冬	火4	201915	考古学講義	環境考古学を学ぶ	[宮路 淳子]	2	1,2年		0
秋~冬	水3	201904	日本考古学講義	歴史考古学の諸問題	髙橋 照彦	2	1,2年		0
秋~冬	水6	201913	比較考古学演習	プロジェクト比較研究実践演習	高橋 照彦 福永 伸哉 上田 直弥	2	1,2年		
秋~冬	不定期	201901	日本考古学演習	フィールド調査実践演習2	高橋 照彦 福永 伸哉 上田 直弥	2	1,2年		

人文地理学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	水2	202103	人文地理学修士論文作成演習	人文地理学の諸問題と修士論文の作成	堤 研二 佐藤 廉也	4	1,2年		
夏	集中	202101	人文地理学講義	政治地理学の四方山話	[高木 彰彦]	2	1,2年		0
春~夏	火1	202109	地誌学講義	地誌学の概要と地誌学史	堤 研二	2	1,2年		0
春~夏	木5	202108	自然地理学講義	自然地理学の基礎とその応用	[手代木 功基]	2	1,2年		0
秋~冬	月3	202102	地誌学講義	人間・環境系への文化地理学的アプローチ	佐藤 廉也	2	1,2年		0
秋~冬	月5	202107	歴 史地理学講義	歴史地理学からみた近代移行期の日本における 地域変化	[川口 洋]	2	1,2年		0
秋~冬	火1	202105	人文地理学講義	人文地理学の展開と社会経済地理学	堤 研二	2	1,2年		0
秋~冬	火2	202104	人文地理学演習	人文地理学英文文献講読	堤 研二	2	1,2年		

日本文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	火2	202313	近世文学論演習	名所図会を読む4	飯倉 洋一	4	1,2年		
通年	火3	202316	日本文学作家作品研究演習	和歌(真名)序を読む	滝川 幸司	4	1,2年		
通年	火4	202301	日本文学作家作品研究演習	「戦後文学」を読む――中上健次と 「(再)開発文学」	渡邊 英理	4	1,2年		
通年	水4	202309	日本文学作家作品研究演習	『戦後十年傑作小説全集』を読む	斎藤 理生	4	1,2年		
通年	金3	202321	日本文学作家作品研究演習	寺社縁起を読む	勢田 道生	4	1,2年		
夏	集中	202311	日本文学作家作品研究講義	『堤中納言物語』講読	[後藤 康文]	2	1,2年		0
春~夏	月4	202317	日本文学作家作品研究講義	日本の仏教文学	勢田 道生	2	1,2年		0
春~夏	火4	202302	日本文学修士論文作成演習	修士論文演習	滝川 幸司	2	1,2年		
春~夏	水2	202324	日本文学修士論文作成演習	日本中世文学の諸問題	勢田 道生	2	1,2年		
春~夏	水2	202314	日本文学修士論文作成演習	日本近世文学の諸問題	飯倉 洋一	2	1,2年		
春~夏	水3	202310	日本文学修士論文作成演習	修士論文作成演習	斎藤 理生 渡邊 英理	2	1,2年		
秋~冬	月4	202304	日本文学作家作品研究講義	中上健次の文学世界——初期中期短篇 を中心に	渡邊 英理	2	1,2年		0
秋~冬	火2	202308	日本文学作家作品研究講義	織田作之助の小説を読む	斎藤 理生	2	1,2年	·	0
秋~冬	水4	202320	日本文学作家作品研究講義	漢文学より見た国風文化	滝川 幸司	2	1,2年	·	0
秋~冬	水5	202312	日本文学講義	日本古典文学と名所	飯倉 洋一	2	1,2年	·	0

比較文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	水4	202502	比較文学演習	オリエンタリズム小説と近代日本	橋本 順光	4	1,2年		
春~夏	月4	202505	比較文学講義	オリエンタリズム研究と比較文学	橋本 順光	2	1,2年		0
春~夏	水3	202508	比較文学講義	日本近代文学の比較文学的研究	鈴木 暁世	2	1,2年		0
秋~冬	月4	202501	比較文学講義	オリエンタリズム研究と比較文学	橋本 順光	2	1,2年		0
秋~冬	火4	202506	比較文学演習	近代日本のジェンダー表象とメディア	鈴木 暁世	2	1,2年		
秋~冬	木3 木4	202507	比較文学講義	文学環境論研究の諸問題	[堀 まどか]	2	1,2年	隔週	0
秋~冬	木5	202504	比較文学演習	修士論文作成演習	橋本 順光	2	1,2年		

中国文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	月2	202701	中国文学修士論文作成演習	中国文学・語学の諸問題	浅見 洋二 林暁光	4	1,2年		
通年	水5	202716	中国文学演習	中国学研究法	浅見 洋二 林 暁光 陳 竺慧	4	1,2年		
春~夏	月3	202708	中国文学演習	朱イ尊の詞を読む	陳 竺慧	2	1,2年		
春~夏	月5	202706	中国文学演習	中国中世文学研究―『文選』を読む・第一部	林 暁光	2	1,2年		
春~夏	火4	202709	中国文学演習	陸游の詩を読む	浅見 洋二	2	1,2年		
春~夏	火5	202702	中国文学講義	中国文学の大勢一古代から現代へ	林 暁光	2	1,2年		0
秋~冬	月5	202707	中国文学演習	中国中世文学研究―『文選』を読む・第二部	林 暁光	2	1,2年		
秋~冬	火4	202710	中国文学演習	蘇軾の詩を読む	浅見 洋二	2	1,2年		
秋~冬	火5	202703	中国文学講義	漢魏晋南北朝賦の研究	林 暁光	2	1,2年		0
秋~冬	金2	202716	中国文学演習	近現代文学研究	林 暁光	2	1,2年		
秋~冬	金5	202713	中国文学講義	唐宋詩学の諸問題	浅見 洋二	2	1,2年		0

英米文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	金1	202903	英文学作品研究演習	Stean Anthony Messages to My Mother 1-7	HARVEY,PAUL	4	1,2年	英	
夏	集中	202912	英文学史講義	カズオ・イシグロの世界	[服部 典之]	2	1,2年		0
春~夏	火2	202919	アメリカ文学作品研究演習	Thomas Pynchon, Gravity's Rainbow を読む	石割 隆喜	2	1,2年		
春~夏	火5	202908	アメリカ文学史講義	物語更新理論入門(5)	片渕 悦久	2	1,2年		0
春~夏	水1	202905	アメリカ文学史講義	セクシュアリティの観点から考えるアメリカ演劇	森本 道孝	2	1,2年		0
春~夏	水3	202914	アメリカ文学作品研究演習	アメリカ演劇研究—David Lindsay-Abaire の主要作品 を読む(1)	森本 道孝	2	1,2年		
春~夏	木2	202923	アメリカ文学作品研究演習	物語論の現在形(7)	片渕 悦久	2	1,2年		
春~夏	木4	202901	英文学史講義	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] April 2021 Course 6 Alfred Lord Tennyson The Idylls of the King 国王牧歌	HARVEY,PAUL	2	1,2年	英	0
春~夏	金4	202907	英文学作品研究修士論文作成演習	英文学研究の諸問題	片渕 悦久	2	1,2年		
春~夏	金4	202909	アメリカ文学作品研究修士論文作成 演習	アメリカ文学修士論文作成演習	片渕 悦久	2	1,2年		
秋~冬	火2	202918	アメリカ文学史講義	ピンチョンの文学	石割 隆喜	2	1,2年		0
秋~冬	火5	202913	アメリカ文学史講義	物語更新理論入門(6)	片渕 悦久	2	1,2年		0
秋~冬	水2	202920	英文学作品研究演習	『ハムレット』を異本で読む	山田 雄三	2	1,2年		
秋~冬	水3	202915	アメリカ文学作品研究演習	アメリカ演劇研究―David Lindsay-Abaireの主要作品 を読む(2)	森本 道孝	2	1,2年		
秋~冬	水4	202910	英文学史講義	田舎者たちのルポルタージュ実践―後期モダニズムの 時代を中心に	山田 雄三	2	1,2年		0
秋~冬	木2	202925	アメリカ文学作品研究演習	物語論の現在形(8)	片渕 悦久	2	1,2年		
秋~冬	木4	202902	英文学史講義	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] Oct 2021 Course 7 Selected Poems in English 19th century Britain & America	HARVEY,PAUL	2	1,2年	英	0

ドイツ文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月5	203105	ドイツ文学演習	カフカ『変身』を読む(1)	三谷 研育	2	1,2年		
春~夏	火4	203109	ドイツ文学修士論文作成演習	Forschungskolloquium I	三谷 研爾 吉田 耕太郎	2	1,2年		
春~夏	水4	203124	ドイツ語学演習	Akademisches Schreiben I	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	
春~夏	木2	203115	ドイツ文学演習	子どもについての記述を中心に(18世紀のモード雑 誌を読む:14)	吉田 耕太郎	2	1,2年		
春~夏	木3	203125	ドイツ文学講義	Ästhetik: Idee und Anschauung, Ereignis und Erfahrung	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	0
春~夏	金4	203120	ドイツ文学史講義	アシュケナージ・ユダヤ文化論 I	[赤尾 光春]	2	1,2年		0
秋~冬	月3	203128	ドイツ文学講義	ベルリンの都市空間と文化・芸術	三谷 研爾	2	1,2年		0
秋~冬	月5	203104	ドイツ文学演習	カフカ『変身』を読む(2)	三谷 研育	2	1,2年		
秋~冬	火3	203107	ドイツ文学史講義	ドイツ文化における子どものイメージ	吉田 耕太郎	2	1,2年		0
秋~冬	火4	203110	ドイツ文学修士論文作成演習	Forschungskolloquium II	三谷 研爾吉田 耕太郎	2	1,2年		
秋~冬	水2	203117	ドイツ文学作品研究演習	Lektürekurs Johann Wolfgang von Goethe	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	
秋~冬	水4	203116	ドイツ語学演習	Akademisches Schreiben II	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	
秋~冬	木2	203126	ドイツ文学演習	市民の家庭について記述を中心に(18世紀のモード 雑誌を読む:15)	吉田 耕太郎	2	1,2年		
秋~冬	木3	203112	ドイツ文学講義	Scripture and the presence of signs	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	0
秋~冬	金4	203114	ドイツ文学史演習	アシュケナージ・ユダヤ文化論Ⅱ	[赤尾 光春]	2	1,2年		

フランス文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	水4	203329	フランス文学演習	モンテーニュ『エセー』を読む/パスカル『パンセ』を 読む	山上 浩嗣	4	1,2年		
春~夏	月3	203322	フランス語学講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	0
春~夏	月5	203310	フランス文学作品研究演習	Etudes sur la culture visuelle : apprendre à décrire et commenter une image, en français	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	
春~夏	月6	203301	フランス文学作品研究修士論文作成演習	フランス文学各論(1)	山上 浩嗣	2	1,2年		
春~夏	水2	203331	フランス文学演習	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	1,2年		
春~夏	水3	203315	フランス文学作品研究講義	フランス・ルネサンス詩研究-恋愛抒情詩を中心に	林 千宏	2	1,2年		0
春~夏	木3	203325	フランス文学講義	Les voyages de Nicolas Bouvier. (1) L'usage du monde	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	0
春~夏	木4	203312	フランス語学演習	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	
春~夏	金2	203311	フランス文学作品研究演習	プルースト『失われた時を求めて』における旅の場面 を読む	平光 文乃	2	1,2年		
秋~冬	月3	203330	フランス語学講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	0
秋~冬	月4	203326	フランス文学作品研究講義	フランス映画-歴史と社会の鏡	AVOCAT ERIC MARC 山上 浩嗣	2	1,2年	仏	0
秋~冬	月6	203302	フランス文学作品研究修士論文作成演習	フランス文学各論(2)	山上 浩嗣	2	1,2年		
秋~冬	水2	203332	フランス文学演習	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	1,2年		
秋~冬	木3	203316	フランス文学講義	Les voyages de Nicolas Bouvier. (2) Chronique japonaise ; Le poisson-scorpion	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	0
秋~冬	木4	203313	フランス語学演習	Exercices pratiques de langue française	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	
秋~冬	金2	203314	フランス文学作品研究演習	プルースト『失われた時を求めて』における旅の場面 を読む	平光 文乃	2	1,2年		
秋~冬	金3	203303	フランス文学作品研究講義	文学とアダプテーション――ゾラ『ナナ』を例に	[中村 翠]	2	1,2年		0

国語学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	月3	203509	国語学演習	キリシタン版「サントスのご作業」をよむ	岸本 恵実	4	1,2年		
通年	火3	203507	国語史演習	コーパスを用いた日本語の歴史的研究	金水 敏	4	1,2年		
通年	金2	203516	国語史演習	日本語速記術と速記録の研究	岡島 昭浩	4	1,2年		
夏	集中	203518	国語学講義	日本語文論	[森山 卓郎]	2	1,2年		0
春~夏	月2	203501	国語学講義	日本語意味論	金水 敏	2	1,2年		0
春~夏	火4	203517	国語学講義	日本語・日本語研究における速記術と速記録	岡島 昭浩	2	1,2年		0
春~夏	火5	203503	国語学修士論文作成演習	国語学の諸問題	金水 敏 岸本 恵実 岡島 昭浩	2	1,2年		
春~夏	木6	203511	文献情報書誌学演習	近現代文献の分析	岸本 恵実	2	1,2年		
秋~冬	木2	203506	国語学講義	芥川龍之介「切支丹物」の語彙	岸本 恵実	2	1,2年		0

日本語学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	月3	203719	社会言語学修士論文作成演習	社会言語学の展開	髙木 千恵	4	1,2年		
通年	月3	203713	対照言語学修士論文作成演習	対照言語学の展開	渋谷 勝己	4	1,2年		
通年	火2	203743	社会言語学演習	言語・方言記述の実践	高木 千恵	4	1,2年		
通年	火2	203712	対照言語学演習	言語・方言記述の実践	渋谷 勝己	4	1,2年		
通年	火3	203739	日本語教育学修士論文作成演習	日本語教育学修士論文作成演習	BURDELSKI MATTHEW JAMES	4	1,2年		
通年	水3	203701	現代日本語学修士論文作成演習	日本語の文法・語彙の諸問題	田野村 忠温	4	1,2年		
通年	金4	203705	現代日本語学修士論文作成演習	現代日本語研究の諸問題	石井 正彦 三宅 知宏	4	1,2年		
春~夏	月1	203714	対照言 語学講義	接触言語学概説(1):言語体系	渋谷 勝己	2	1,2年		0
春~夏	月2	203745	日本語教育学演習	語用論	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2年		
春~夏	火4	203724	社会言語学講義	社会言語学概説(1)	高木 千恵	2	1,2年		0
春~夏	水1	203710	現代日本語学講義	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	1,2年		0
春~夏	水2	203735	日本語教育学演習	言語社会化	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2年		
春~夏	水4	203728	日本語教育学演習	日本語教育実習1	[中井 好男]	2	1,2年		
春~夏	水5	203738	現代日本語学講義	探索的データ解析による日本語研究	石井 正彦	2	1,2年		0
春~夏	木2	203748	現代日本語学講義	日本語文法研究の基礎	三宅 知宏	2	1,2年		0
春~夏	金2	203747	現代日本語学講義	日本語文法研究の諸問題	三宅 知宏	2	1,2年		0
春~夏	金3	203708	現代日本語学演習	語彙調査の理論と方法	石井 正彦	2	1,2年		
秋~冬	月1	203716	対照言語学講義	接触言語学概説2:言語管理	渋谷 勝己	2	1,2年		0
秋~冬	月2	203736	日本語教育学演習	会話分析	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2年		
秋~冬	火4	203718	社会言語学講義	社会言語学概説(2)	高木 千恵	2	1,2年		0
秋~冬	水1	203711	現代日本語学演習	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	1,2年		
秋~冬	水2	203733	日本語教育学講義	言語とジェンダー	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2年		0
秋~冬	水4	203722	日本語教育学演習	日本語教育実習2	[中井 好男]	2	1,2年		
秋~冬	水5	203704	現代日本語学講義	批判的言語研究の諸相	石井 正彦	2	1,2年		0
秋~冬	木1	203707	現代日本語学演習	日本語文法研究の方法	三宅 知宏	2	1,2年		
秋~冬	木2	203703	現代日本語学講義	日本語文法研究の基礎	三宅 知宏	2	1,2年		0
秋~冬	木3	203702	現代日本語学演習	日本語学研究法の基礎	東条 佳奈	2	1,2年		
秋~冬	金2	203737	現代日本語学講義	日本語文法研究の諸問題	三宅 知宏	2	1,2年		0
秋~冬	金3	203709	現代日本語学演習	日本語語彙意味論の方法と実践	石井 正彦	2	1,2年		

英語学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	金4	203908	英語学修士論文作成演習	英語の文法理論の研究	岡田 禎之 田中 英理	2	1,2年		
春~夏	月3	203911	英語史講義	英語史入門2	神山 孝夫	2	1,2年		0
春~夏	火2	203901	英語学演習	意味論研究	田中 英理	2	1,2年		
春~夏	火4	203903	英語学演習	英語学理論の動向	岡田 禎之	2	1,2年		
春~夏	金2	203923	英語学講義	意味論•語用論入門1	田中 英理	2	1,2年		0
春~夏	金3	203914	英語学講義	Cognitive English Grammar1	岡田 禎之	2	1,2年		0
秋~冬	月3	203925	英語史演習	古英語·中英語入門	神山 孝夫	2	1,2年		
秋~冬	月5	203913	英語学講義	音声学概論	神山 孝夫	2	1,2年		0
秋~冬	火2	203906	英語学演習	意味論研究	田中 英理	2	1,2年		
秋~冬	火4	203904	英語学演習	英語学理論の動向	岡田 禎之	2	1,2年		
秋~冬	金2	203926	英語学講義	「比較」に関わる意味論	田中 英理	2	1,2年		0
秋~冬	金3	203915	英語学講義	Cognitive English Grammar 2	岡田 禎之	2	1,2年		0

美学•文芸学専門分野

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月5	204113	芸術学講義	イギリス芸術文化研究―ニコラウス・ペヴスナーの視点 を中心に	[近藤 存志]	2	1,2年		0
春~夏	火2	204101	芸術学講義	映画と社会	東 志保	2	1,2年		
春~夏	火5	204151	美学修士論文作成演習	修士論文の作成	高安 啓介 田中 均	2	1,2年		
春~夏	水2	204132	芸術学演習	芸術研究 A	高安 啓介	2	1,2年		
春~夏	水5	204131	芸術学講義	芸術学基礎	高安 啓介	2	1,2年		0
春~夏	木1	204140	美学講義	美学概論――5つのステップで学ぶ、美と芸術の哲学	田中 均	2	1,2年		0
春~夏	木5	204104	美学演習	現代美学を英語で読む	田中 均	2	1,2年		
秋~冬	火1	204139	美学演習	カント『判断力批判』を読む	田中 均	2	1,2年		
秋~冬	火2	204102	芸術学演習	映像、ジェンダー、テクノロジー	東 志保	2	1,2年		
秋~冬	火5	204153	美学修士論文作成演習	修士論文の作成	田中 均 高安 啓介	2	1,2年		
秋~冬	水2	204145	芸術学演習	芸術研究 B	高安 啓介	2	1,2年		
秋~冬	水5	204114	芸術学講義	デザイン思想	高安 啓介	2	1,2年		0
秋~冬	木1	204138	美学演習	ステッカー『分析美学入門』を読む	田中 均	2	1,2年		
秋~冬	木3	204118	美学講義	古代・中世の美学	[横道 仁志]	2	1,2年		0
通年	月5	204125	文芸学修士論文作成演習	修士論文作成演習	渡辺 浩司 西井 奨	4	1,2年		
春~夏	月3	204119	西洋古典学講義	弁論術と文学	渡辺 浩司	2	1,2年		0
春~夏	月4	204126	西洋古典学演習	古代ギリシア語演習	西井 奨	2	1,2年		
春~夏	火5	204123	西洋古典学演習	ラテン語演習	西井 奨	2	1,2年		
春~夏	木2	204120	西洋古典学講義	古代ギリシア・ローマの神話・文芸・文芸学	西井 奨	2	1,2年		0
春~夏	木5	204136	文芸学講義	ギリシア悲劇入門	[勝又 泰洋]	2	1,2年		0
春~夏	金3	204115	文芸学演習	文芸学文献講読(1)	渡辺 浩司	2	1,2年		
春~夏	金5	204121	西洋古典学演習	ギリシア語講読(1)	渡辺 浩司	2	1,2年		
秋~冬	月3	204143	文芸学講義	ギリシア・ラテン文学とレトリック	渡辺 浩司	2	1,2年		0
秋~冬	月4	204127	西洋古典学演習	古代ギリシア語演習	西井 奨	2	1,2年		
秋~冬	火5	204124	西洋古典学演習	ラテン語演習	西井 奨	2	1,2年		
秋~冬	木2	204112	西洋古典学講義	古代ギリシア・ローマ文学研究	西井 奨	2	1,2年		0
秋~冬	木5	204144	文芸学講義	古代ギリシア語散文文学入門	[勝又 泰洋]	2	1,2年		0
秋~冬	金3	204116	文芸学演習	文芸学文献講読(2)	渡辺 浩司	2	1,2年		
秋~冬	金5	204122	西洋古典学演習	ギリシア語講読(2)	渡辺 浩司	2	1,2年		

音楽学•演劇学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	ŧ	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	火5	204301	音楽学演習	音楽学研究室総合演習		信宏 裕介	2	1,2年	隔週	
春~夏	月2	204308	音楽行動研究講義	楽曲分析の基礎	伊東	信宏	2	1,2年		0
春~夏	月3	204302	音楽学演習	音楽学の主題、資料、方法1	伊東	信宏	2	1,2年		
春~夏	月4	204313	音楽学講義	日本における音楽職能集団の歴史:複数の「日本伝統音 楽史」へ向けて	鈴木	聖子	2	1,2年		0
春~夏	火2	204304	音楽学講義	演歌再考:東アジア歌謡史に向けて	輪島	裕介	2	1,2年		0
春~夏	火3	204309	音楽学演習	音楽文献講読(英語):クルターグについて	伊東	信宏	2	1,2年		
春~夏	火4	204311	音楽学修士論文作成演習	音楽学修士論文作成演習(1)	伊東	信宏	2	1,2年		
春~夏	火4	204307	音楽学演習	ポピュラー音楽研究日本語文献講読1	輪島	裕介	2	1,2年		
春~夏	水3	204306	音楽学演習	音楽学英語文献講読: 基礎的用語の理解	輪島	裕介	2	1,2年		
春~夏	水4	204315	音楽学演習	音楽研究の方法と実践(1)	輪島	裕介	2	1,2年		
秋~冬	月3	204303	音楽学演習	音楽学の主題、資料、方法2	伊東	信宏	2	1,2年	イン	
秋~冬	月4	204343	音楽学講義	近現代日本の音楽と制度	鈴木	聖子	2	1,2年		0
秋~冬	火2	204305	音楽学講義	近代日本大衆音楽史記述の諸問題	輪島	裕介	2	1,2年		0
秋~冬	火3	204344	実践音楽学講義	クルターグ『遊び』の実践	伊東	信宏	2	1,2年	英	0
秋~冬	火4	204312	音楽学修士論文作成演習	音楽学修士論文作成演習(2)	伊東	信宏	2	1,2年		
秋~冬	火4	204339	音楽学演習	ポピュラー音楽研究日本語文献講読	輪島	裕介	2	1,2年		
秋~冬	水3	204346	応用音楽学講義	Processes of Transformation and Invention of "Traditional" Popular Music in Modern Japan: Issues of Continuity and Rupture	輪島	裕介	2	1,2年	英	0
秋~冬	水4	204300	音楽学演習	音楽研究の方法と実践(2)	輪島	裕介	2	1,2年		
秋~冬	木2	204347	応用音楽学演習	Transnational Popular Music in Japan: How Japanese "Adopted" and "Imagined" American Sound	[永冨	[真梨]	2	1,2年	英	
秋~冬	金5	204345	実践音楽学演習	民族音楽のフィールドワークと論述の技法、関西地方の 伝統芸能を中心に	[神野	知恵]	2	1,2年	英	
通年	火5	204328	演劇学修士論文作成演習	演劇学関係論文講読	永田	靖	4	1,2年		
春~夏	月3	204322	演劇学講義	舞踊史再考:十九世紀バレエとジェンダー	古後	奈緒子	2	1,2年		0
春~夏	火4	204317	演劇学演習	論文作成の方法と実践	永田	靖	2	1,2年		
春~夏	木3	204340	演劇学講義	近代大阪の芸能とその歴史	横田	洋	2	1,2年		0
春~夏	金3	204327	演劇学講義	演劇研究とパフォーマンス・スタディーズ	永田	靖	2	1,2年	% 1	0
春~夏	金5	204329	演劇学演習	演劇研究の基礎1	永田	靖	2	1,2年		
秋~冬	月3	204321	演劇学講義	ダンス、パフォーマンスの研究方法:メディアとしての電気	古後	奈緒子	2	1,2年		0
秋~冬	月4	204316	演劇学演習	『八帖花伝書』巻三を読む	中尾	薫	2	1,2年		
秋~冬	火4	204318	演劇学演習	観劇実習	永田 中尾		2	1,2年		
秋~冬	水5	204335	演劇学講義	日本古典演劇と名所	中尾	薫	2	1,2年		0
秋~冬	金3	204333	演劇学講義	問題圏としてのロシア演劇	永田	靖	2	1,2年	% 1	0
秋~冬	金5	204330	演劇学演習	演劇研究の基礎2	永田	靖	2	1,2年		
秋~冬	不定期	204319	演劇学修士論文作成演習	日本伝統演劇研究の方法	中尾	薫	2	1,2年		

※1 芸術プロックのみ履修可

美術史学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	金2	204504	日本美術史演習	見学演習(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	4	1,2年		
通年	金 3	204505	日本美術史演習	見学演習(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	4	1,2年		
通年	不定期	204528	東洋美術史演習	仏教美術の理論と実践	藤岡穣	4	1,2年		
春~夏	火4	204540	日本美術史講義	狩野派絵画史Ⅱ	門脇 むつみ	2	1,2年		0
春~夏	水2	204502	日本美術史演習	仏教美術史料講読	藤岡 穣	2	1,2年		
春~夏	水4	204529	日本美術史講義	日本仏教美術史概説	藤岡 穣	2	1,2年		0
春~夏	木2	204503	日本美術史演習	『若冲伝』講読	門脇 むつみ	2	1,2年		
春~夏	木3	204512	日本美術史演習	日本近代美術史文献講読	橋爪 節也	2	1,2年		
春~夏	不定期	204506	東洋美術史修士論文作成演習	日本・東洋美術史の諸問題(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2年	イン	
秋~冬	月3	204533	日本美術史講義	近世の屛風絵(風俗画と物語絵画)	門脇 むつみ	2	1,2年		0
秋~冬	火3	204511	日本美術史講義	日本近代美術史―都市と美術、大阪を中心に―	橋爪 節也	2	1,2年		0
秋~冬	水2	204508	東洋美術史演習	仏教美術論文演習	藤岡 穣	2	1,2年		
秋~冬	水4	204543	東洋美術史講義	東アジアのなかの日本仏像史	藤岡 穣	2	1,2年		0
秋~冬	木2	204510	日本美術史演習	絵画史論文演習	門脇 むつみ	2	1,2年		
秋~冬	木3	204513	日本美術史演習	日本文人画論講読	橋爪 節也	2	1,2年		
秋~冬	不定期	204507	東洋美術史修士論文作成演習	日本・東洋美術史の諸問題(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2年	イン	
秋~冬	集中	204554	日本美術史講義	奈良仏教絵画史論	[谷口 耕生] 藤岡 穣	2	1,2年		0
春~夏	月1	204521	西洋美術史演習	イタリア語美術史・芸術学文献講読	桑木野 幸司	2	1,2年		
春~夏	月3	204542	西洋美術史講義	近現代美術史の諸問題	圀府寺 司	2	1,2年		0
春~夏	火3	204537	西洋美術史演習	スペイン語美術史文献講読	岡田 裕成	2	1,2年		
春~夏	火4	204514	西洋美術史修士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺司岡田裕成 桑木野幸司	2	1,2年	イン	
春~夏	水2	204541	西洋美術史講義	マニエリスム美術史:変容の時代の芸術	桑木野 幸司	2	1,2年		0
春~夏	水3	204518	西洋美術史講義	16世紀美術の図像解読術	岡田 裕成	2	1,2年		0
春~夏	水5	204520	西洋美術史演習	美術史文献講読	岡田 裕成	2	1,2年		
秋~冬	月1	204522	西洋美術史演習	イタリア語美術史・芸術学文献講読	桑木野 幸司	2	1,2年		
秋~冬	月4	204531	西洋美術史演習	美術史研究文献購読	圀府寺 司	2	1,2年		
秋~冬	火2	204530	西洋美術史演習	『具体』誌講読	〈加藤 瑞穂〉	2	1,2年		
秋~冬	火3	204538	西洋美術史演習	スペイン語美術史文献講読	岡田 裕成	2	1,2年		
秋~冬	火4	204515	西洋美術史修士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	1,2年	イン	
秋~冬	水3	204519	西洋美術史講義	ハプスブルク・スペイン世界帝国の宮廷美術:コレ クションの地政学2.	岡田 裕成	2	1,2年		0
秋~冬	水5	204532	西洋美術史演習	美術史論文講読基礎	岡田 裕成	2	1,2年		
秋~冬	木4	204517	西洋美術史講義	18世紀フランスの美術と言説	[島本 浣]	2	1,2年		0
秋~冬	土3,土4	204536	西洋美術史演習	建築•庭園見学実習	桑木野 幸司	2	1,2年	隔週	

日本語科目

開講 時期	曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	水4	204813	日本語	実践専門日本語(1)	鄭 聖汝	2	1,2年	Ħ	
春~夏	金2	204802	日本語	論文作成法(1)	鄭 聖汝	2	1,2年	Ħ	
秋~冬	水4	204814	日本語	実践専門日本語(2)	鄭 聖汝	2	1,2年	Ħ	
秋~冬	金2	204803	日本語	論文作成法(2)	鄭 聖汝	2	1,2年	Ħ	

大学院等高度副プログラム

「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目

研究/教育のグローバル化にともなって、日本には海外からますます強い関心が寄せられています。そのような関心に有効に応えるためには、学問分野ごとに深められてきた日本研究の成果を総合し、全体像を把握しやすいかたちで提示する必要があります。また、海外の日本研究の文脈を理解し、それを踏まえて自分の日本研究の成果を英語で発信する能力を高めることも不可欠です。大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」は、そのようなグローバル化時代の要請に応える新たな日本研究プログラムとして設置されました。本プログラムでは、修了要件の10単位以上を、2年間で修得していただきます。Academic Skills for Humanities 1・2のうちの1科目2単位、Issues in Contemporary Japanese Studies 1・2のうちの1科目2単位が選択必修で、残りの6単位以上は複数の領域の科目を選択していただきます。プログラムの詳細については、高度副プログラムのパンフレット等でご確認ください。多くの方が受講してくださることを期待しています。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	火5	204771	Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 1	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	木3	204750	Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	火5	204772	Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 2	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	木3	204767	Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金3	204768	Academic Skills for Humanities 2	Writing Research Papers	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	金3	204751	Academic Skills for Humanities 2	Presenting Research	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	木4	204752	Issues in Contemporary Japanese Studies	Keywords in Japanese Studies Today	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	火4	204773	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	Topics in Japan's Modern History and Historiography	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	火4	204774	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	Borders, Migration, and Minorities in Japan's Modern History	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	木4	204769	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	The Japanese Short Story	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金2	204770	Issues in Contemporary Japanese Studies 2	Postwar Repatriation in Literature, Art, and History	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	金2	204753	Issues in Contemporary Japanese Studies 2	The Practice of Translating Japanese Media	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金3	204754	世界のなかの日本史 I	新出資料による日本古代史像の再検討一宮 都の成立過程を中心に④—	市大樹	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	火4	204755	世界のなかの日本史Ⅱ	自由民権運動の再検討	飯塚 一幸	2	1,2年	ジャパン	
春~夏	月4	204756	世界文学のなかの日本文学 I	日本の仏教文学	勢田 道生	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	火2	204757	世界文学のなかの日本文学Ⅱ	織田作之助の小説を読む	斎藤 理生	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	木2	204758	日本語の歴史	芥川龍之介「切支丹物」の語彙	岸本 恵実	2	1,2年	ジャパン	
春~夏	月4	204766	現代日本語の諸相	役割語・キャラクター言語と翻訳	金水 敏	2	1,2年	シャパン	
春~夏	火4	204760	世界のなかの日本美術	狩野派絵画史Ⅱ	門脇 むつみ	2	1,2年	シャパン	
秋~冬	水5	204761	世界のなかの日本演劇	日本古典演劇と名所	中尾 薫	2	1,2年	シャパン	
秋~冬	火2	204762	現代日本のポピュラー音楽	近代日本大衆音楽史記述の諸問題	輪島 裕介	2	1,2年	シャパン	
春~夏	月3	204763	日本の民俗と宗教	民俗学・文化人類学と沖縄	北村 毅	2	1,2年	シャパン	
秋~冬	火5	204764	日本の社会と思想	17·18世紀日本儒学史再考	宇野田 尚哉	2	1,2年	ジャパン	
夏	集中	204765	異文化交流のなかの日本	日本近現代ジャーナリズム史	[根津 朝彦]	2	1,2年	ジャパン	
春~夏	金1	306000	日本語学研究総論	_	岸田 泰浩	2	1,2年	言文 ジャパン	
春~夏	火1	306100	日本語教育学研究総論	_	髙井 美穂	2	1,2年	言文 ジャパン	
秋~冬	金1	306200	日本文化学研究総論	_	加藤 均	2	1,2年	言文 ジャパン	
秋~冬	木2	211632	コンフリクトの人文学特講II	_	栗本 英世	2	1,2年	人科 ジャパン	
春~夏	木3	220434	日本法総合演習	_	Elbalti Beligh	2	1,2年	法 ジャパン	
春~夏	火4	220435	日本政治総合演習	_	瀧口 剛	2	1,2年	法 ジャパン	
秋~冬	火4	230130	日本経済史 I	_	廣田 誠	2	1,2年	経済 ジャパン	
春~夏	月2	230134	グローバル経営史 I	_	Pierre-Yves Donze	2	1,2年	経済 ジャパン	
春~夏	木3	311484	特殊講義(日本とアジアの国際政治)	_	佐藤 治子	2	1,2年	国公 ジャパン	

大学院等高度副プログラム

「グローバルヒストリー」科目

グローバル化の急速な進展に伴い、現代世界がいかにして形成されてきたのか、長期の時間軸と、国民国家 (national history)を含めた多様な空間認識で、世界の歴史をとらえ直して、改めて現代を理解することが不可欠になっています。本プログラムは、このような新たな世界史理解に対する社会的・学術的ニーズを背景に、グローバル市民として活躍できるような人材を養成する目的で設置されました。また、本プログラムでは、修了要件の8単位以上を2年間で修得していただきます。プログラムの詳細については、高度副プログラムのパンフレット等でご確認ください。文系、理系を問わず、文系内部でも人文学、社会諸科学、地域研究などの学問領域を超えて、新たな世界史であるグローバルヒストリーを考えてみようという、意欲的な学生の皆さんの受講を歓迎しませ

します。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	水2	201538	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏次朗	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
春~夏	木3	201523	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーか ら考える新しい大学歴史教育―日本史と世界 史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	史学共通 とストリー	0
秋~冬	木3	201524	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」― 現代的な諸課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
秋~冬	火4	201318	日本近代史講義	自由民権運動の再検討	飯塚 一幸	2	1,2年	ヒストリー	0
春~夏	月2	201717	西洋古代史講義	北アフリカから見た古代ローマ世界	栗原 麻子 [大清水 裕]	2	1,2年	ヒストリー	0
春~夏	火4	201548	世界史演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英 史学共通 ヒストリー	
秋~冬	不定期	201736	西洋史演習	英語実践的報告演習	秋田 茂 藤川 隆男 栗原 麻子 中谷 惣 見瀬 悠	2	1,2年	英 ヒストリー	
春~夏	火2	220351	日本政治史	_	瀧口 剛	2	1,2年	法 ヒストリー	
春~夏	火2	305195	ヨーロッパ言語社会動態論ⅡA	_	古谷 大輔	2	1,2年	言文 ヒストリー	
秋~冬	木4	305550	グローバル地域社会論B	_	菅原 由美	2	1,2年	言文 ヒストリー	
春~夏	火3	311169	演習(アメリカ外交論)	_	中嶋 啓雄	2	1,2年	国公 ヒストリー	
秋~冬	水3	311606	特殊講義(International Relations of East Asia)	_	南 和志	2	1,2年	国公 ヒストリー	

科目 一覧 博前

大学院副専攻プログラム

「グローバル・アジア・スタディーズ」科目 (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)

【履修対象:言語文化研究科所属学生】

本プログラム科目は、言語文化研究科学生に対して、『マルチリンガル・エキスパート養成プログラム』として提供しており、アジアの古代〜現代のあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを目的としています。 なお、言語文化研究科以外の学生が履修を希望する場合は、各専門分野で開講している同授業で履修登録を行ってください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	木3	20Z000	世界の中のアジア史(M)	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える 新しい大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	アシア	
秋~冬	木3	20Z001	世界の中のアジア史(M)	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代的な 諸課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	1,2年	アシア	
春~夏	水1	20Z002	グローバルフィロソフィー(M)	SDGsを途上国に現地化する:哲学プラクティスを通した 国際協力	望月 太郎	2	1,2年	アシア	
春~夏	水1	20Z006	広域アジア史 I (M)	古代トルコ・モンゴル文献学演習(3)	松井 太	2	1,2年	アシア	
秋~冬	水1	20Z007	広域アジア史 II (M)	古代トルコ・モンゴル文献学演習(3)	松井 太	2	1,2年	アシア	
秋~冬	火2	20Z010	広域アジア史 V (M)	中国古典籍概論―中国学・日本学を学ぶ人のために―	堤 一昭	2	1,2年	アシア	
春~夏	水4	20Z011	アジアの思想史 I (M)	中国思想史概説一諸子百家一	湯淺 邦弘	2	1,2年	アシア	
秋~冬	金2	20Z012	アジアの思想史 II (M)	懐徳堂文庫漢籍の研究	湯淺 邦弘	2	1,2年	アシア	
春~夏	火4	20Z026	アジアの思想史Ⅲ(M)	易のはなし	辛賢	2	1,2年	アシア	
秋~冬	火4	20Z027	アジアの思想史Ⅲ(M)	中国の神仙思想と死生観―不老不死への道―	辛賢	2	1,2年	アシア	
秋~冬	月5	20Z014	アジアの思想史IV(M)	古代インド諸思想を読み解く 一ヴェーダから仏教へ―	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2年	アシア	
秋~冬	水4	20Z015	アジアの芸術史(M)	東アジアのなかの日本仏像史	藤岡 穣	2	1,2年	アシア	
春~夏	月3	20Z016	アジアの文化と社会 I (M)	民俗学・文化人類学と沖縄	北村 毅	2	1,2年	アシア	
夏	集中	20Z017	アジアの文化と社会 II (M)	日本近現代ジャーナリズム史	[根津 朝彦]	2	1,2年	アシア	
春~夏	火4	20Z019	中国語圈文学II (M)	陸游の詩を読む	浅見 洋二	2	1,2年	アシア	
秋~冬	火4	20Z020	中国語圈文学Ⅲ(M)	蘇軾の詩を読む	浅見 洋二	2	1,2年	アシア	
春~夏	月3	20Z021	中国語圖文学IV(M)	朱イ尊の詞を読む	陳竺慧	2	1,2年	アシア	
春~夏	金5	20Z023	中国の文化と社会 I (M)	北〜中央アジア史漢文史料読解	松井 太	2	1,2年	アシア	
春~夏	月3	20Z024	中国の文化と社会 II (M)	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	1,2年	アシア	
秋~冬	月3	20Z025	中国の文化と社会Ⅲ(M)	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	1,2年	アシア	

大学院副専攻プログラム

「グローバル・ユーロ・スタディーズ」科目 (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)

【履修対象: 言語文化研究科所属学生】

本プログラム科目は、言語文化研究科学生に対して、『マルチリンガル・エキスパート養成プログラム』として提供しており、 ヨーロッパの古代から現代までのあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、 幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを目的としています。 なお、言語文化研究科以外の学生が履修を希望する場合は、各専門分野で開講している同授業で履修登録を行ってください。

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	詳義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月5	20Z200	ョーロッパの哲学 I (M)	カントと人権	舟場 保之	2	1,2年	ם-ב	
秋~冬	月3	20Z201	ョーロッパの哲学Ⅱ(M)	フィヒテ哲学の研究(2): フィヒテの観念論	嘉目 道人	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	水2	20Z202	ョーロッパの哲学III(M)	ポール・グライスの哲学体系(2)	三木 那由他	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	月4	20Z203	ヨーロッパの哲学IV(M)	Hannah Arendt, Elemente und Urspruenge totaler Herrschaft を読む I	舟場 保之	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	水2	20Z204	ヨーロッパの哲学V(M)	会話の哲学	三木 那由他	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	月5	20Z205	ヨーロッパの哲学 VI (M)	J.ハーパーマスの思想 XIV	舟場 保之	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	月2	20Z206	ヨーロッパの歴史 I (M)	イギリス帝国史とグローバルヒストリー	秋田 茂	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	月2	20Z207	ョーロッパの歴史 I (M)	イギリス帝国史とグローバルヒストリー	秋田 茂	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	月2	20Z208	ヨーロッパの歴史Ⅱ(M)	北アフリカから見た古代ローマ世界	栗原 麻子 [大清水 裕]	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	木3	20Z209	ョーロッパの歴史皿(M)	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新しい大学歴 史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂 市 大樹	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	木3	20Z210	ョーロッパの歴史Ⅲ(M)	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代的な賭課題との関 連で	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	火5	20Z211	ヨーロッパの文学 I (M)	英文学史A	[三浦 誉史加]	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	金2	20Z212	ョーロッパの文学 I (M)	英文学史A	山田 雄三	2	1,2年	ユーロ	
Ų	集中	20Z213	ョーロッパの文学Ⅱ(M)	カズオ・イシグロの世界	[服部 典之]	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	木4	20Z215	ョーロッパの文学IV(M)	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] April 2021 Course 6 Alfred Lord Tennyson The Idylls of the King 国王牧歌	HARVEY,PAUL	2	1,2年	英 ユーロ	
春~夏	木2	20Z216	ョーロッパの文学V(M)	子どもについての記述を中心に(18世紀のモード雑誌を読む:14)	吉田 耕太郎	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	木2	20Z217	ヨーロッパの文学VI(M)	市民の家庭について記述を中心に(18世紀のモード雑誌を読む: 15)	吉田 耕太郎	2	1,2年	2-0	
春~夏	月5	20Z218	ョーロッパの文学VII(M)	Etudes sur la culture visuelle : apprendre à décrire et commenter une image, en français	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏 ユーロ	
春~夏	木3	20Z219	ョーロッパの文学 证 (M)	Ästhetik: Idee und Anschauung, Ereignis und Erfahrung	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独 ユーロ	
秋~冬	木3	20Z220	ョーロッパの文学VII(M)	Scripture and the presence of signs	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独 ユーロ	
春~夏	水4	20Z221	ョーロッパの文学IX(M)	モンテーニュ『エセー』を読む	山上 浩嗣	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	月4	20Z222	ョーロッパの文学X(M)	18世紀フランス文学作品原文講読	山上 浩嗣	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	月4	20Z223	ヨーロッパの文学X(M)	フランス映画:歴史と社会の鏡	AVOCAT ERIC MARC 山上浩嗣	2	1,2年	仏 ユーロ	
春~夏	水2	20Z224	ヨーロッパの文学XI(M)	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	水2	20Z225	ヨーロッパの文学XI(M)	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	月3	20Z226	ヨーロッパの文学XII(M)	弁論術と文学	渡辺 浩司	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	月2	20Z227	ョーロッパの芸術 I (M)	楽曲分析の基礎	伊東 信宏	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	火1	20Z228	ヨーロッパの芸術 II (M)	西洋美術史基礎	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	月4	20Z229	ョーロッパの芸術Ⅲ(M)	美術史研究文献購読	圀府寺 司	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	水3	20Z230	ヨーロッパの芸術IV(M)	ルネサンス美術の図像解読術	岡田 裕成	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	水3	20Z231	ョーロッパの芸術IV(M)	ハプスブルク・スペイン世界帝国の宮廷美術:コレクションの地政学2.	岡田 裕成	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	木1	20Z232	ヨーロッパの現代 I (M)	ドイツ哲学基本文献講読 I	舟場 保之	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	木1	20Z233	ョーロッパの現代 II (M)	ドイツ哲学基本文献講読 II	舟場 保之	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	月3	20Z234	ョーロッパの現代Ⅲ(M)	ベルリンの都市空間と文化・芸術	三谷 研育	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	水4	20Z235	ヨーロッパの現代IV(M)	人類学的研究のフィールド	井本 恭子	2	1,2年	ユーロ	
秋~冬	水4	20Z236	ョーロッパの文学VII(M)	パスカル『パンセ』を読む	山上 浩嗣	2	1,2年	ユーロ	
春~夏	木4	20Z237	ヨーロッパの文学XIII(M)	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏 ユーロ	
秋~冬	木4	20Z238	ョーロッパの文学XIII(M)	Exercices pratiques de langue française	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏 ユーロ	

令和3(2021)年度文学研究科(修士課程)開講科目一覧

- 文学研究科共通科目
- ・インターンシップを含む科目
- 外国語科目
- ・ 外国語による発信力を育成するための科目
- ・エラスムス・ムンドゥス英語授業
- 動態論共通科目
- ・コースが開講する科目
- ・大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目
- ・大学院等高度副プログラム「グローバルヒストリー」科目

◆備考欄の略号について

隔週:隔週で行われる授業 英:英語で行われる授業

独:ドイツ語で行われる授業 仏:フランス語で行われる授業 イン:インターンシップを含む科目 ◆担当教員欄

[]:非常勤講師

〈 〉: 招へい教員

文学研究科共通科目

文学研究科では、近年取り組んだ「グローバルCOEプログラム」「21世紀COEプログラム」「魅力ある大学院教育イニシアティブ」などの成果を土台として、人文学を見渡す広い視野、現代社会を切り結ぶ実践的な研究能力を養うための、特定の専門分野に属さない研究科共通科目を開設しています。

開講 時期	曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	不定期	201525	世界史演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 茂 堤 一昭 飯塚 一幸	4	1,2年	史学共通	
春~夏	水2	201538	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏次朗	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
春~夏	木3	201523	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから 考える新しい大学歴史教育―日本史と世界史 の間で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
秋~冬	木3	201524	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現 代的な諸課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
秋~冬	木4	20C216	メディア論B演習	メディアリテラシー教育	[丸井 隆人]	2	1,2年	研究科 共通	

インターンシップを含む科目

文学研究科で開設されている科目のうち、次のものについては、授業の中でインターンシップが設定されています。その期間、受け入れ先、受け入れ人数、参加資格などについては、開講時の説明、または開講期間以外に開催されるガイダンスに必ず参加し、十分確認してください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	火4	204514	西洋美術史修士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	1,2年	シ	
春~夏	不定期	204506	東洋美術史修士論文作成演習	日本・東洋美術史の賭問題(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2年	イン	
秋~冬	月3	204303	音楽学演習	音楽学の主題、資料、方法2	伊東 信宏	2	1,2年	イン	
秋~冬	火4	204515	西洋美術史修士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	1,2年	イン	
秋~冬	不定期	204507	東洋美術史修士論文作成演習	日本・東洋美術史の諸問題(2)	藤岡 穣 橋爪 節也	2	1,2年	イン	

外国語科目

文学研究科では、外国語科目を開設しています。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	月2	204806	イタリア語	基礎的な文法知識の習得とその実践的応用	[吉富 文]	2	1,2年	外	
通年	水2	204816	フランス語	フランス文学と西洋絵画	山上 浩嗣	2	1,2年	外	
通年	水4	204805	ロシア語	ロシア語初級	[前田 恵]	2	1,2年	外	
通年	木3	204807	ギリシア語	古典ギリシア語	[戸高 和弘]	2	1,2年	外	
通年	木4	204815	フランス語	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	外	
通年	木4	204808	ラテン語	ラテン語	[戸高 和弘]	2	1,2年	外	
通年	金3	204804	英語	時事問題討論及び映像教材を利用したリスニ ング	[初谷 智子]	2	1,2年	外	

外国語による発信力を育成するための科目

文学研究科で開設されている科目のうち、次のものは、外国語による発信力を育成するために外国語による研究論文やレポートを作成 するための専門科目です。授業の目的、授業内容、授業計画等については、シラバスを参照してください。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月3	203322	フランス語学講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	0
春~夏	火4	204771	Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 1	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	火5	204773	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	Topics in Japan's Modern History and Historiography	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	木3	204750	Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	水4	203124	ドイツ語学演習	Akademisches Schreiben I	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	
春~夏	木4	203312	フランス語学演習	Préparation des examens de langue française DELF-DALF	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	
春~夏	木4	204752	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	Keywords in Japanese Studies Today	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金2	204770	Issues in Contemporary Japanese Studies 2	Postwar Repatriation in Literature, Art, and History	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金3	204768	Academic Skills for Humanities 2	Writing Research Papers	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	月3	203330	フランス語学講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	0
秋~冬	火4	204772	Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 2	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	火5	204774	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	Borders, Migration, and Minorities in Japan's Modern History	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	木3	204767	Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	水4	203116	ドイツ語学演習	Akademisches Schreiben II	JOHANNES WASSMER	2	1,2年	独	
秋~冬	木4	203313	フランス語学演習	Exercices pratiques de langue française	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2年	仏	
秋~冬	木4	204769	Issues in Contemporary Japanese Studies 1	The Japanese Short Story	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	金2	204753	Issues in Contemporary Japanese Studies 2	The Practice of Translating Japanese Media	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	金2	204775	アドバンスト・アカデミック・ライティング	Advanced Academic Writing	HARVEY,PAUL	2	1,2年	英	
秋~冬	金3	204751	Academic Skills for Humanities 2	Presenting Research	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0

エラスムス・ムンドゥス英語授業

"Contemporary Japan in a Global Context"

本教育プログラムはエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム(「ユーロカルチャー」)*在籍の留学生に提供されるとともに、本研究科の科

本教育プログラムはエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム(「ユーロカルチャー」)* 在籍の留学生に提供されるとともに、本研究科の科目として履修することができます。
ョーロッパ、アメリカ、アジアなどの諸外国との関係、交流、影響を視野に入れながら、特に「現代」を主題化し、日本の文化、社会、歴史、芸術、文学、言語について学習します。授業はすべて英語で行われるため、それに見合う英語運用能力が求められます。また本プログラムにおいて受講生の主体的な参加に基づく、双方向的な授業を実施するとともに、課外においても文献講読など自主学習が課せられるほか、フィールドワーク、見学会、学術交流会などの実施も予定しています。 開講は10月~12月に10回、定員は10~15名程度です。日本人学生にとっては、英語を通じて、国際的見地から自らの文化、社会、歴史を相対化するとともに、英語による発言能力を養い、日本文化・歴史を国際的に理解可能なものとして発信することを学ぶことになります。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
秋~冬	火3	204850	現代日本文学論講義	Japanese Literature in the World	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 EM	
秋~冬	火4	204912	言語と社会	Language and Society	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2年	英 EM	
秋~冬	水3	204914	アジアにおける人の移動	International Migration in Asia, from and to Japan	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 EM	
秋~冬	木2	204901	現代日本文化論講義	Design Culture in Japan	高安 啓介	2	1,2年	英 EM	
秋~冬	金3	204910	現代日本社会論講義	Contemporary Japanese Society	宇野田 尚哉	2	1,2年	英 EM	

^{*} エラスムス・ムンドゥス・マスタープログラムとは、欧州における高等教育機関の共同の流動性を高めることにより、大学教育を国際化するプログラム。2008年より大阪大学大学院文学研究科が同プログラムの城外パートナーとなり、同プログラムの留学生を受け入れる。「ユーロカル チャー」は現代ヨーロッパの文化的、社会的、政治的アイデンティティーに関する諸問題を研究するためのプログラムであり、国際機関等への 就職をめざしている。

動態論共通科目

文化動態論専攻の学生は、以下の授業科目が必修科目となっていますので、全員修得するよう注意してください。

・平成31年度以降入学者:「人文学と社会講義」の1科目(2単位)を修得すること。

・平成30年度以前入学者:「人文学と社会講義」及び「人文学と情報講義(※)」の2科目(4単位)を修得すること。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月3	20C002	人文学と情報講義	人文学研究のための情報リテラシー	堀 一成	2	1,2年	*	0
春~夏	木1	20C001	人文学と社会講義	人文学と社会	堤 一昭	2	1,2年	必修	0

共生文明論コース

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	詳義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
通年	不定期	20C110	歴史教育論Ⅱ演習		堤 一昭 秋田 茂 飯塚 一幸	4	1,2年		
春~夏	月3	20C126	共生文明論修了研究演習	修士論文作成演習	堤 研二	2	1,2年		
春~夏	月4	20C127	共生文明論修了研究演習	修士論文作成演習	井本 恭子	2	1,2年		
春~夏	月4	20C105	歷史的地域社会論VI講義	オーストラリアの歴史	藤川 隆男	2	1,2年		0
春~夏	火2	20C106	歷史的地域社会論V演習	「世界史」教科書の内容分析―明治から現代まで―	堤 一昭	2	1,2年		
春~夏	火3	20C130	共生文明論修了研究演習	共生文明論研究における諸問題	堤 一昭	2	1,2年		
春~夏	水2	20C128	共生文明論修了研究演習	論文作成のための演習	藤川 隆男	2	1,2年		
春~夏	水4	20C109	地域文化構造論IV演習	近現代社会の諸問題と人類学的な視座	井本 恭子	2	1,2年		
春~夏	木2	20C102	地域文化構造論I演習	地域文化構造へのアプローチ	堤 研二	2	1,2年		
春~夏	金2	20C103	歷史的地域社会論IV講義	近代日本の都市社会政策とマイノリティ一歴史都市の社会史一	[杉本 弘幸]	2	1,2年		0
秋~冬	火2	20C108	歴史的地域社会論 V 講義	中国古典籍概論―中国学・日本学を学ぶ人のために―	堤 一昭	2	1,2年		0
秋~冬	水2	20C104	歷史的地域社会論VI演習	論文作成のための演習	藤川 隆男	2	1,2年		
秋~冬	水4	20C111	地域文化構造論IV講義	人類学的研究のフィールド	井本 恭子	2	1,2年		0
秋~冬	木2	20C101	地域文化構造論Ⅲ講義	縁辺地域の社会・経済・文化	堤 研二	2	1,2年		0
秋~冬	金2	20C107	歷史的地域社会論IV演習	日本史学の研究論文を読み解く	[杉本 弘幸]	2	1,2年		
秋~冬	不定期	20C112	共生文明論修了研究演習	共生文明論研究における諸問題	堤 一昭 堤 研二 井本 恭子 藤川 隆男	2	1,2年		

アート・メディア論コース

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月3	20C209	実践芸術論講義	舞踊史再考:十九世紀バレエとジェンダー	古後 奈緒子	2	1,2年		0
春~夏	月3	20C203	空間メディア論講義	近現代美術史の諸問題	圀府寺 司	2	1,2年		0
春~夏	月4	20C201	アート・メディア史講義	アート・メディア概説	桑木野 幸司 永田 靖 古後 奈緒子 東 志保 圀府寺 司	2	1,2年		0
春~夏	月5	20C218	アート・メディア論修了研究演習	修了研究作成演習	桑木野 幸司 永田 靖 古後 奈緒子 東 志保 圀府寺 司	2	1,2年		
春~夏	火2	20C207	映像メディア論講義	映画と社会	東 志保	2	1,2年		0
春~夏	水2	20C225	メディア文化論講義	マニエリスム美術史:変容の時代の芸術	桑木野 幸司	2	1,2年		0
春~夏	木3	20C211	芸術環境論講義	近代大阪の芸能とその歴史	横田 洋	2	1,2年		0
春~夏	金3	20C229	芸術環境論講義	演劇研究とパフォーマンス・スタディーズ	永田 靖	2	1,2年	※ 1	0
秋~冬	月3	20C223	実践芸術論講義	ダンス、パフォーマンスの研究方法:メディアと しての電気	古後 奈緒子	2	1,2年		0
秋~冬	月4	20C204	空間メディア論演習	美術史研究文献購読	圀府寺 司	2	1,2年		
秋~冬	月5	20C221	アート・メディア論修了研究演習	修了研究作成演習	桑木野 幸司 永田 靖 古後 奈緒子 東 志保 圀府寺 司	2	1,2年		
秋~冬	火2	20C208	映像メディア論演習	映像、ジェンダー、テクノロジー	東 志保	2	1,2年		
秋~冬	木4	20C216	メディア論B演習	メディアリテラシー教育	[丸井 隆人]	2	1,2年	研究科 共通	
秋~冬	金3	20C230	芸術環境論講義	問題圏としてのロシア演劇	永田 靖	2	1,2年	※ 1	0
秋~冬	土3,土4	20C206	メディア文化論演習	建築•庭園見学実習	桑木野 幸司	2	1,2年	隔週	
秋~冬	不定期	20C213	アート・プロデュース論演習	劇場制作研修	永田 靖	2	1,2年		

※1 アート・メディア論コースのみ履修可能

文学環境論コース

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月4	20C328	異言語接触文学論Ⅱ講義	役割語・キャラクター言語と翻訳	金水 敏	2	1,2年		0
春~夏	火2	20C311	文学テクスト論Ⅱ演習	Thomas Pynchon, Gravity's Rainbow を読む	石割 隆喜	2	1,2年		
春~夏	火3	20C327	理論文学研究演習	文学テクストはどのように解釈すればいいのか	石割 隆喜	2	1,2年		
春~夏	火3	20C329	異言語接触文学論 I 演習	芥川龍之介の作品を読む	鈴木 暁世	2	1,2年		
春~夏	水2	20C326	異言語接触文学論Ⅱ演習	小説翻訳論(1)	金水 敏	2	1,2年		
春~夏	水3	20C319	異言語接触文学論I講義	日本近代文学の比較文学的研究	鈴木 暁世	2	1,2年		0
秋~冬	月1	20C304	文学環境論修了研究演習	文学環境論研究の諸問題	金水 敏	2	1,2年		
秋~冬	月3	20C316	文学環境論Ⅱ講義	ベルリンの都市空間と文化・芸術	三谷 研爾	2	1,2年		0
秋~冬	火2	20C310	文学テクスト論Ⅱ講義	ピンチョンの文学	石割 隆喜	2	1,2年		0
秋~冬	火3	20C325	文学テクスト論Ⅱ演習	J. D. Salinger, _Nine Stories_ を読む	石割 隆喜	2	1,2年		
秋~冬	火4	20C308	ジェンダー表象論Ⅱ講義	近代日本のジェンダー表象とメディア	鈴木 暁世	2	1,2年		0
秋~冬	水1	20C301	文学環境論修了研究演習	文学環境論研究の諸問題	鈴木 暁世	2	1,2年		
秋~冬	水2	20C330	異言語接触文学論Ⅱ演習	小説翻訳論(2)	金水 敏	2	1,2年		
秋~冬	水2	20C309	ジェンダー表象論Ⅱ演習	日本近代文学における「他者」	鈴木 暁世	2	1,2年		
秋~冬	木1	20C303	文学環境論修了研究演習	文学環境論研究の諸問題	三谷 研爾	2	1,2年		
秋~冬	木3木4	20C307	文学環境論Ⅱ演習	越境者の文芸とその文化的・社会的環境を読む	[堀 まどか]	2	1,2年	隔週	
秋~冬	金1	20C306	文学環境論修了研究演習	文学環境論研究の諸問題	石割 隆喜	2	1,2年		

言語生態論コース

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	月1	20C419	言語接触論I講義	接触言語学概説(1):言語体系	渋谷 勝己	2	1年		0
春~夏	月1	20C420	言語接触論Ⅱ講義	接触言語学概説(1):言語体系	渋谷 勝己	2	2年		0
春~夏	月3	20C409	言語変化論I講義	英語史入門2	神山 孝夫	2	1年		0
春~夏	月3	20C410	言語変化論Ⅱ講義	英語史入門2	神山 孝夫	2	2年		0
春~夏	火3	20C427	比較言語学講義	印欧語比較言語学入門1	神山 孝夫	2	1,2年		0
春~夏	水1	20C413	言語分析論Ⅰ講義	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	1年		0
春~夏	水1	20C414	言語分析論Ⅱ講義	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	2年		0
春~夏	木2	20C401	言語生態論基礎研究IA演習	言語生態論基礎研究	渋谷 勝己 岡田 禎之 神山 孝夫 田野村 忠温	2	1年		
春~夏	木2	20C403	言語生態論修了研究ⅡA演習	言語生態論修了研究	渋谷 勝己 岡田 禎之 神山 孝夫 田野村 忠温	2	2年		
春~夏	金3	20C431	言語生成論 I 講義	Cognitive English Grammar1	岡田 禎之	2	1,2年		0
春~夏	金3	20C432	言語生成論Ⅱ講義	Cognitive English Grammar1	岡田 禎之	2	1,2年		0
秋~冬	月1	20C423	言語接触論I講義	接触言語学概説2:言語管理	渋谷 勝己	2	1年		0
秋~冬	月1	20C433	言語接触論Ⅱ講義	接触言語学概説2:言語管理	渋谷 勝己	2	2年		0
秋~冬	月3	20C411	言語変化論I演習	古英語•中英語入門	神山 孝夫	2	1年		
秋~冬	月3	20C412	言語変化論Ⅱ演習	古英語・中英語入門	神山 孝夫	2	2年		
秋~冬	火3	20C428	比較言語学講義	印欧語比較言語学入門2	神山 孝夫	2	1,2年		0
秋~冬	水1	20C415	言語分析論I演習	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	1年		
秋~冬	水1	20C416	言語分析論Ⅱ演習	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	2年		
秋~冬	木2	20C402	言語生態論基礎研究 I B演習	言語生態論基礎研究	渋谷 勝己 岡田 禎之 神山 孝夫 田野村 忠温	2	1年		
秋~冬	木2	20C404	言語生態論修了研究ⅡB演習	言語生態論修了研究	渋谷 勝己 岡田 禎之 神山 孝夫 田野村 忠温	2	2年		
秋~冬	金3	20C407	言語生成論 I 講義	Cognitive English Grammar 2	岡田 禎之	2	1年		0
秋~冬	金3	20C408	言語生成論Ⅱ講義	Cognitive English Grammar 2	岡田 禎之	2	2年		0

大学院等高度副プログラム

「グローバル・ジャパン・スタディーズ」科目

研究/教育のグローバル化にともなって、日本には海外からますます強い関心が寄せられています。そのような関心に有効に応えるためには、学問分野ごとに深められてきた日本研究の成果を総合し、全体像を把握しやすいかたちで提示する必要があります。また、海外の日本研究の文脈を理解し、それを踏まえて自分の日本研究の成果を英語で発信する能力を高めることも不可欠です。大学院等高度副プログラム「グローバル・ジャパン・スタディーズ」は、そのようなグローバル化時代の要請に応える新たな日本研究プログラムとして設置されました。 本プログラムとして設置されました。 本プログラムでは、修了要件の10単位以上を、2年間で修得していただきます。Academic Skills for Humanities 1・2のうちの1科目2単位、Issues in Contemporary Japanese Studies 1・2のうちの1科目2単位が選択必修で、残りの6単位以上は複数の領域の科目を選択していただきます。プログラムの詳細については、高度副プログラムのパンフレット等でご確認ください。多くの方が受講してくださることを期待しています。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	火4	204771	Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 1	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	木3	204750	Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	火4	204772	Academic Skills for Humanities 1	Interacting in International Classrooms 2	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	木3	204767	Academic Skills for Humanities 1	Reading for Discussion	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金3	204768	Academic Skills for Humanities 2	Writing Research Papers	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	金3	204751	Academic Skills for Humanities 2	Presenting Research	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	木4	204752	Issues in Contemporary Japanese Studies	Keywords in Japanese Studies Today	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	火5	204773	Issues in Contemporary Japanese Studies	Topics in Japan's Modern History and Historiography	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	火5	204774	Issues in Contemporary Japanese Studies	Borders, Migration, and Minorities in Japan's Modern History	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2年	英 ジャパン	0
秋~冬	木4	204769	Issues in Contemporary Japanese Studies	The Japanese Short Story	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金2	204770	Issues in Contemporary Japanese Studies 2	Postwar Repatriation in Literature, Art, and History	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャハン	0
秋~冬	金2	204753	Issues in Contemporary Japanese Studies	The Practice of Translating Japanese Media	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2年	英 ジャパン	0
春~夏	金3	204754	世界のなかの日本史 I	新出資料による日本古代史像の再検討一宮 都の成立過程を中心に④—	市大樹	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	火4	204755	世界のなかの日本史II	自由民権運動の再検討	飯塚 一幸	2	1,2年	ジャパン	
春~夏	月4	204756	世界文学のなかの日本文学 I	日本の仏教文学	勢田 道生	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	火2	204757	世界文学のなかの日本文学Ⅱ	織田作之助の小説を読む	斎藤 理生	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	木2	204758	日本語の歴史	芥川龍之介「切支丹物」の語彙	岸本 恵実	2	1,2年	ジャパン	
春~夏	月4	204766	現代日本語の諸相	役割語・キャラクター言語と翻訳	金水 敏	2	1,2年	ジャパン	
春~夏	火4	204760	世界のなかの日本美術	狩野派絵画史Ⅱ	門脇 むつみ	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	水5	204761	世界のなかの日本演劇	日本古典演劇と名所	中尾 薫	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	火2	204762	現代日本のポピュラー音楽	近代日本大衆音楽史記述の諸問題	輪島 裕介	2	1,2年	ジャパン	
春~夏	月3	204763	日本の民俗と宗教	民俗学・文化人類学と沖縄	北村 毅	2	1,2年	ジャパン	
秋~冬	火5	204764	日本の社会と思想	17·18世紀日本儒学史再考	宇野田 尚哉	2	1,2年	ジャパン	
夏	集中	204765	異文化交流のなかの日本	日本近現代ジャーナリズム史	[根津 朝彦]	2	1,2年	ジャパン	
春~夏	金1	306000	日本語学研究総論	_	岸田 泰浩	2	1,2年	言文 ジャパン	
春~夏	火1	306100	日本語教育学研究総論	_	高井 美穂	2	1,2年	言文 ジャパン	
秋~冬	金1	306200	日本文化学研究総論	_	加藤 均	2	1,2年	言文 ジャパン	
秋~冬	木2	211632	コンフリクトの人文学特講II	_	栗本 英世	2	1,2年	人科 ジャパン	
春~夏	木3	220434	日本法総合演習	_	Elbalti Beligh	2	1,2年	法 ジャパン	
春~夏	火4	220435	日本政治総合演習	_	瀧口 剛	2	1,2年	法 ジャパン	
秋~冬	火4	230130	日本経済史 I	_	廣田 誠	2	1,2年	経済 ジャパン	
春~夏	月2	230134	グローバル経営史 I	_	Pierre-Yves Donze	2	1,2年	経済 ジャパン	
春~夏	木3	311484	特殊講義(日本とアジアの国際政治)	_	佐藤 治子	2	1,2年	国公ジャパン	

大学院等高度副プログラム

「グローバルヒストリー」科目

グローバル化の急速な進展に伴い、現代世界がいかにして形成されてきたのか、長期の時間軸と、国民国家 (national history)を含めた多様な空間認識で、世界の歴史をとらえ直して、改めて現代を理解することが不可欠になっています。本プログラムは、このような新たな世界史理解に対する社会的・学術的ニーズを背景に、グローバル市民として活躍できるような人材を養成する目的で設置されました。また、本プログラムでは、修了要件の8単位以上を2年間で修得していただきます。プログラムの詳細については、高度副プログラムのパンフレット等でご確認ください。文系、理系を問わず、文系内部でも人文学、社会諸科学、地域研究などの学問領域を超えて、新たな世界史であるグローバルヒストリーを考えてみようという、意欲的な学生の皆さんの受講を歓迎します。

します。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考	*高度 国際
春~夏	水2	201538	歷史学方法論講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏次朗	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
春~夏	木3	201523	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育―日本史と世界 史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
秋~冬	木3	201524	歷史学方法論講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」— 現代的な諸課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	1,2年	史学共通 ヒストリー	0
秋~冬	火4	201318	日本近代史講義	自由民権運動の再検討	飯塚 一幸	2	1,2年	ヒストリー	0
春~夏	月2	201717	西洋古代史講義	北アフリカから見た古代ローマ世界	栗原 麻子 [大清水 裕]	2	1,2年	ヒストリー	0
春~夏	火4	201548	世界史演習		KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2年	英 史学共通 ヒストリー	
秋~冬	不定期	201736	西洋史演習	英語実践的報告演習	秋田 茂 藤川 隆男 栗原 麻子 中瀬 悠	2	1,2年	英 ヒストリー	
春~夏	火2	220351	日本政治史	_	瀧口 剛	2	1,2年	法 ヒストリー	
春~夏	火2	305195	ヨーロッパ言語社会動態論ⅡA	_	古谷 大輔	2	1,2年	言文 ヒストリー	
秋~冬	木4	305550	グローバル地域社会論B	_	菅原 由美	2	1,2年	言文 ヒストリー	
春~夏	火3	311169	演習(アメリカ外交論)	_	中嶋 啓雄	2	1,2年	国公 ヒストリー	
秋~冬	水3	311606	特殊講義(International Relations of East Asia)	_	南 和志	2	1,2年	国公 ヒストリー	

科目 一覧 博後

令和3(2021)年度文学研究科(博士後期課程)開講科目一覧

- 文学研究科共通科目
- ・インターンシップを含む科目
- 外国語科目
- ・外国語による発信力を育成するための科目
- ・エラスムス・ムンドゥス英語授業
- ・専門分野が開講する科目

◆備考欄の略号について

隔週:隔週で行われる授業 英:英語で行われる授業

独:ドイツ語で行われる授業 仏:フランス語で行われる授業 イン:インターンシップを含む科目 ◆担当教員欄

[]: 非常勤講師〈 〉: 招へい教員

文学研究科共通科目

文学研究科では、近年取り組んだ「グローバルCOEプログラム」「21世紀COEプログラム」「魅力ある大学院教育イニシアティブ」などの成果を土台として、人文学を見渡す広い視野、現代社会を切り結ぶ実践的な研究能力を養うための、特定の専門分野に属さない研究科共通科目を開設しています。

開講 時期	曜日 時限	時間割 コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	不定期	206516	世界史特殊演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 茂 堤 一昭 飯塚 一幸	4	1,2,3年	史学共通
春~夏	水2	206522	歷史学方法論特殊講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏次朗	2	1,2,3年	史学共通
春~夏	木3	206520	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考え る新しい大学歴史教育―日本史と世界史の間で―		2	1,2,3年	史学共通
秋~冬	木3	206521	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」一現代的 な賭課題との関連で	秋田 茂 市 大樹	2	1,2,3年	史学共通
秋~冬	木4	209521	メディア人文学特殊演習	メディアリテラシー教育	[丸井 隆人]	2	1,2,3年	研究科 共通

インターンシップを含む科目

文学研究科で開設されている科目のうち、次のものについては、授業の中でインターンシップが設定されています。その期間、受け入れ先、受け入れ人数、参加資格などについては、開講時の説明、または開講期間以外に開催されるガイダンスに必ず参加し、十分確認してください。

開講 時期	曜日 時限	時間制	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
春~夏	火4	209508	西洋美術史博士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺司 岡田裕成 桑木野幸司	2	1,2,3年	イン
春~夏	不定期	209506	東洋美術史博士論文作成演習	日本・東洋美術史の諸問題(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2,3年	イン
秋~冬	火4	209509	西洋美術史博士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺 司 岡田 裕成 桑木野 幸司	2	1,2,3年	イン
秋~冬	不定期	209507	東洋美術史博士論文作成演習	日本・東洋美術史の諸問題(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2,3年	イン

外国語科目

文学研究科では、外国語科目を開設しています。

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	月2	209603	イタリア語	基礎的な文法知識の習得とその実践的応用	[吉富 文]	2	1,2,3年	外
通年	水4	209602	ロシア語	ロシア語初級	[前田 恵]	2	1,2,3年	外
通年	木3	209604	ギリシア語	古典ギリシア語	[戸高 和弘]	2	1,2,3年	外
通年	木4	209605	ラテン語	ラテン語	[戸高 和弘]	2	1,2,3年	外
通年	金3	209601	英語	時事問題討論及び映像教材を利用したリスニング	[初谷 智子]	2	1,2,3年	外

外国語による発信力を育成するための科目

文学研究科で開設されている科目のうち、次のものは、外国語による発信力を育成するために外国語による研究論文やレポートを作成するための 専門科目です。授業の目的、授業内容、授業計画等については、シラバスを参照してください。

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
春~夏	月3	208316	フランス語学特殊講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2,3年	仏
春~夏	水4	208123	ドイツ語学特殊演習	Akademisches Schreiben I	JOHANNES WASSMER	2	1,2,3年	独
春~夏	金3	209704	Advanced Academic Skills for Humanities 1	Writing Research Papers	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2,3年	英
秋~冬	月3	208319	フランス語学特殊講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2,3年	仏
秋~冬	水4	208115	ドイツ語学特殊演習	Akademisches Schreiben II	JOHANNES WASSMER	2	1,2,3年	独
秋~冬	金2	209706	アドバンスト・アカデミック・ライティング	Academic Writing in English	HARVEY,PAUL	2	1,2,3年	英
秋~冬	金3	209705	Advanced Academic Skills for Humanities 2	Presenting Research	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2,3年	英

エラスムス・ムンドゥス英語授業

"Contemporary Japan in a Global Context"

本教育プログラムはエラスムス・ムンドゥス・マスタープログラム(「ユーロカルチャー」)*在籍の留学生に提供されるとともに、本研究科の科目として履修する

できます。 ヨーロッパ、アメリカ、アジアなどの諸外国との関係、交流、影響を視野に入れながら、特に「現代」を主題化し、日本の文化、社会、歴史、芸術、文学、言語について学習します。授業はすべて英語で行われるため、それに見合う英語運用能力が求められます。また本プログラムにおいて受講生の主体的な参加に基づく、双方向的な授業を実施するとともに、課外においても文献講読など自主学習が課せられるほか、フィールドワーク、見学会、学術交流会などの実施も予定し

ています。 開講は10月~12月に10回、定員は10~15名程度です。 日本人学生にとっては、英語を通じて、国際的見地から自らの文化、社会、歴史を相対化するとともに、英語による発言能力を養い、日本文化・歴史を国際的に理解可能なものとして発信することを学ぶことになります。

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
秋~冬	火3	209908	現代日本文学論特殊講義	Japanese Literature in the World	Nicholas Mahood Lambrecht	2	1,2,3年	英 EM
秋~冬	火4	209911	言語と社会特論	Language and Society	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2,3年	英 EM
秋~冬	水3	209913	アジアにおける人の移動特論	International Migration in Asia, from and to Japan	SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO	2	1,2,3年	英 EM
秋~冬	木2	209901	現代日本文化論特殊講義	Design Culture in Japan	高安 啓介	2	1,2,3年	英 EM
秋~冬	金3	209909	現代日本社会論特殊講義	Contemporary Japanese Society	宇野田 尚哉	2	1,2,3年	英 EM

* エラスムス・ムンドゥス・マスタープログラムとは、欧州における高等教育機関の共同の流動性を高めることにより、大学教育を国際化するプログラム。2008年より大阪大学大学院文学研究科が同プログラムの域外パートナーとなり、同プログラムの留学生を受け入れる。「ユーロカルチャー」は現代ヨーロッパの文化的、社会的、政治的アイデンティティーに関する諸問題を研究するためのプログラムであり、国際機関等への就職をめざしている。

哲学哲学史専門分野

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象	備考
春~夏	月3	205101	認識論特殊講義	計議をめぐる諸問題(4):計議におけるアノマリー的言 説	嘉目 道人	2	1,2,3年	
春~夏	月4	205115	認職論特殊演習	Hannah Arendt, Elemente und Urspruenge totaler Herrschaft を読む I	舟場 保之	2	1,2,3年	
春~夏	月5	205117	西洋哲学史特殊講義	カントと人権	舟場 保之	2	1,2,3年	
春~夏	火4	205108	哲学哲学史特殊演習	フィヒテ『全知識学の基礎』を読む(3)	嘉目 道人	2	1,2,3年	
春~夏	水2	205131	言語哲学特殊講義	ポール・グライスの哲学体系(2)	三木 那由他	2	1,2,3年	
春~夏	水3	205111	認識論特殊演習	パース著作集を読む (3): 記号学	嘉目 道人	2	1,2,3年	
春~夏	水4	205114	存在論特殊講義	文字通りの意味についての現代の討論	MALIK LUKE	2	1,2,3年	英
春~夏	木4	205122	西洋哲学史特殊講義	分析形而上学における現代普遍論争とその射程(1)	西條 玲奈	2	1,2,3年	
春~夏	金4	205110	言語哲学特殊演習	マーガレット・ギルバート『社会的事実について』を読む	三木 那由他	2	1,2,3年	
春~夏	金6	205119	哲学哲学史博士論文作成演習	研究発表と討論 (1)	嘉目 道人	2	1,2,3年	
春~夏	金6	205121	哲学哲学史博士論文作成演習	研究と討論 Ι	舟場 保之	2	1,2,3年	
春~夏	金6	205104	哲学哲学史博士論文作成演習	研究発表と討論(1)	三木 那由他	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	205129	哲学哲学史特殊講義	フィヒテ哲学の研究 (2): フィヒテの観念論	嘉目 道人	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	205116	認識論特殊演習	Hannah Arendt, Elemente und Urspruenge totaler Herrschaft を読む II	舟場 保之	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	205118	西洋哲学史特殊講義	J.ハーバーマスの思想 XIV	舟場 保之	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	205109	哲学哲学史特殊演習	フィヒテ『全知識学の基礎』を読む(4)	嘉目 道人	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	205130	言語哲学特殊講義	会話の哲学	三木 那由他	2	1,2,3年	
秋~冬	水3	205112	認識論特殊演習	パース著作集を読む (4): 記号学	嘉目 道人	2	1,2,3年	
秋~冬	木4	205128	西洋哲学史特殊講義	分析形而上学における現代普遍論争とその射程(2)	西條 玲奈	2	1,2,3年	
秋~冬	金4	205113	言語哲学特殊演習	マーガレット・ギルバート『社会的事実について』を読む	三木 那由他	2	1,2,3年	
秋~冬	金6	205125	哲学哲学史博士論文作成演習	研究発表と討論 (2)	嘉目 道人	2	1,2,3年	
秋~冬	金6	205120	哲学哲学史博士論文作成演習	研究と討論 II	舟場 保之	2	1,2,3年	
秋~冬	金6	205127	哲学哲学史博士論文作成演習	研究発表と討論(1)	三木 那由他	2	1,2,3年	

現代思想文化学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
春~夏	月5	205321	現代思想文化学博士論文作成演習	科学技術社会論研究I	中村 征樹	2	1,2,3年	
春~夏	火4	205315	現代思想文化学特殊講義	生命科学の病理学	中村 征樹	2	1,2,3年	
春~夏	水1	205307	現代思想文化学特殊講義	SDGsを途上国に現地化する:哲学プラクティスを通した国際 協力	望月 太郎	2	1,2,3年	
春~夏	水4	205319	現代思想文化学博士論文作成演習	発表と討論	望月 太郎	2	1,2,3年	
春~夏	木1	205316	現代思想文化学特殊演習	アフリカ哲学とは何か	望月 太郎	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	205322	現代思想文化学博士論文作成演習	科学技術社会論研究II	中村 征樹	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	205311	現代思想文化学特殊演習	文理の溝を超えて:『高等教育における人文・アートと科学・工 学・医学の融合』を読む	中村 征樹	2	1,2,3年	
秋~冬	水1	205301	現代思想文化形成史特殊講義	コラプションの哲学	望月 太郎	2	1,2,3年	
秋~冬	水4	205320	現代思想文化学博士論文作成演習	発表と討論	望月 太郎	2	1,2,3年	
秋~冬	水5	205314	現代思想文化学特殊講義	レジリエンスを考える	中村 征樹	2	1,2,3年	
秋~冬	木1	205317	現代思想文化学特殊演習	モース『贈与論』を読む	望月 太郎	2	1,2,3年	

臨床哲学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
夏	集中	205513	対話技法論特殊演習	ソクラティク・ダイアローグ	堀江 剛	2	1,2,3年	
春~夏	火3	205506	臨床哲学特殊演習	ギリガンを読む	小西 真理子	2	1,2,3年	
春~夏	火5	205529	社会哲学特殊講義	コミュニケーションの哲学	堀江 剛	2	1,2,3年	
春~夏	水2	205524	倫理学特殊講義	倫理学概論:ともに生きるための倫理学	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2,3年	
春~夏	水3	205510	臨床哲学博士論文作成演習	臨床哲学研究A	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2,3年	
春~夏	水4	205509	臨床哲学博士論文作成演習	臨床哲学研究C	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2,3年	
春~夏	金3	205520	倫理学特殊演習	英語で倫理学する	[PECKITT MICHAEL GILLAN]	2	1,2,3年	英
春~夏	金3	205514	ジェンダー・セクシュアリティ研究基礎 特殊講義	ジェンダーとセクシュアリティを解きほぐす	ほんま なほ 小西 真理子 中嶋 泉 西條 玲奈	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	205515	ジェンダー・セクシュアリティ研究基礎 特殊演習	わたしたちとフェミニズム哲学	ほんま なほ	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	205521	倫理学特殊演習	倫理学のレシピ	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2,3年	
秋~冬	火3	205512	臨床哲学特殊講義	ケアの倫理と臨床哲学	小西 真理子	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	205530	社会哲学特殊演習	応用倫理文献講読	堀江 剛	2	1,2,3年	
秋~冬	水3	205527	臨床哲学博士論文作成演習	臨床哲学研究B	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2,3年	
秋~冬	水4	205528	臨床哲学博士論文作成演習	臨床哲学研究D	堀江 剛 ほんま なほ 小西 真理子	2	1,2,3年	

中国哲学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	牌義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	火5	205704	中国哲学博士論文作成演習	博士論文作成演習	辛 賢	4	1,2,3年	
春~夏	月4	205703	中国哲学特殊演習	中国文献学演習I	辛 賢	2	1,2,3年	
春~夏	火4	205710	中国哲学特殊講義	易のはなし	辛 賢	2	1,2,3年	
春~夏	水4	205701	中国哲学特殊講義	中国思想史概說一諸子百家—	湯淺 邦弘	2	1,2,3年	
春~夏	金2	205708	中国哲学特殊演習	中国出土文献の研究	湯淺 邦弘	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	205709	中国哲学特殊演習	中国文献学演習Ⅱ	辛 賢	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	205711	中国哲学特殊講義	中国の神仙思想と死生観―不老不死への道―	辛 賢	2	1,2,3年	
秋~冬	金2	205707	漢籍資料学特殊演習	懐徳堂文庫漢籍の研究	湯淺 邦弘	2	1,2,3年	

インド学・仏教学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
夏	集中	205913	インド哲学史特殊演習	死後の諸世界とそこに至る道たち:古代インドの死生観	[阪本 純子]	2	1,2,3年	
春~夏	月3,金2	205912	インド学特殊演習	サンスクリット語初級	名和 隆乾	4	1,2,3年	
春~夏	火1	205901	インド学博士論文作成演習	インド思想の諸問題1	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2,3年	
春~夏	火2	205902	仏教学博士論文作成演習	インド仏教の諸問題1	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2,3年	
春~夏	水5	205907	インド哲学史特殊演習	ヴェーダ文献研究1	堂山 英次郎	2	1,2,3年	
春~夏	木2	205903	仏教文献学特殊演習	パーリ語文献研究1	名和 隆乾	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	205911	インド学特殊演習	サンスクリット語初級講読	堂山 英次郎	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	205916	インド学特殊講義	古代インド諸思想を読み解く 一ヴェーダから仏教へ一	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2,3年	
秋~冬	火1	205904	インド学博士論文作成演習	インド思想の諸問題2	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	205905	仏教学博士論文作成演習	インド仏教の諸問題2	堂山 英次郎 名和 隆乾	2	1,2,3年	
秋~冬	水5	205908	インド哲学史特殊演習	ヴェーダ文献研究2	堂山 英次郎	2	1,2,3年	
秋~冬	木2	205906	仏教文献学特殊演習	パーリ語文献研究2	名和 隆乾	2	1,2,3年	

日本学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
夏	集中	206128	文化交流史特殊講義	日本近現代ジャーナリズム史	[根準 朝彦]	2	1,2,3年	
春~夏	月3	206124	日本文化学特殊講義	民俗学・文化人類学と沖縄	北村 毅	2	1,2,3年	
春~夏	月4	206116	文化人類学特殊演習	日本研究へのアプローチ1	北村 毅	2	1,2,3年	
春~夏	月5	206122	日本文化学特殊演習	コロナ禍のオーラルヒストリー	安岡 健一	2	1,2,3年	
春~夏	火3	206136	日本思想史特殊演習	近世思想史再考1	宇野田 尚哉	2	1,2,3年	
春~夏	水2	206102	比較文化学特殊演習	視覚文化とジェンダー	中嶋 泉	2	1,2,3年	
春~夏	金5	206121	日本学博士論文作成演習	日本学博士論文の作成 1	安岡 健一	2	1,2,3年	
春~夏	不定期	206108	日本学博士論文作成演習	Doctoral Thesis Preparation Seminar 1	宇野田 尚哉	2	1,2,3年	
春~夏	不定期	206104	日本学博士論文作成演習	日本学博士論文の作成(1)	中嶋 泉	2	1,2,3年	
春~夏	不定期	206118	日本学博士論文作成演習	日本学博士論文の作成1	北村 毅	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	206113	文化人類学特殊演習	日本研究へのアプローチ2	北村 毅	2	1,2,3年	
秋~冬	火3	206137	日本思想史特殊演習	近世思想史再考2	宇野田 尚哉	2	1,2,3年	
秋~冬	水1	206112	比較文化学特殊講義	フェミニズムの理論と現代視覚文化	中嶋 泉	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	206140	比較文化学特殊演習	視覚文化とジェンダー	中嶋 泉	2	1,2,3年	
秋~冬	不定期	206120	日本学博士論文作成演習	Doctoral Thesis Preparation Seminar 2	宇野田 尚哉	2	1,2,3年	
秋~冬	不定期	206105	日本学博士論文作成演習	日本学博士論文の作成(2)	中嶋 泉	2	1,2,3年	
秋~冬	不定期	206119	日本学博士論文作成演習	日本学博士論文の作成2	北村 毅	2	1,2,3年	

日本史学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
通年	火3	206329	日本中世史特殊演習	日本中世史の諸問題	伴瀬 明美	4	1,2,3年	
通年	火4	206309	日本史博士論文作成演習	博士論文作成指導演習	伴瀬 明美	4	1,2,3年	
通年	火5	206312	日本近代史特殊演習	近代史料の研究	飯塚 一幸	4	1,2,3年	
通年	火6	206313	日本史博士論文作成演習	博士論文作成指導演習	飯塚 一幸	4	1,2,3年	
通年	水1	206310	日本史博士論文作成演習	博士論文の作成	野村 玄	4	1,2,3年	
通年	水3	206308	日本近世史特殊演習	日本近世史の諸問題	野村 玄	4	1,2,3年	
通年	水4	206302	日本史博士論文作成演習	日本古代史博士論文作成演習	市大樹	4	1,2,3年	
通年	金1	206304	日本中世史特殊演習	日本中世史の諸問題	川合 康	4	1,2,3年	
通年	金2	206305	日本史博士論文作成演習	博士論文作成指導演習	川合 康	4	1,2,3年	
通年	金4	206301	日本古代史特殊演習	日本古代史料演習(『類聚三代格』講読)	市大樹	4	1,2,3年	
夏	集中	206303	日本文化史特殊講義	古代天皇制を考える	[丸山 裕美子]	2	1,2,3年	
春~夏	火2	206325	日本中世史特殊講義	中世天皇家の諸相	伴瀬 明美	2	1,2,3年	
春~夏	金3	206306	日本中世史特殊演習	中世史料講読	川合 康	2	1,2,3年	
春~夏	金3	206320	日本古代史特殊講義	新出資料による日本古代史像の再検討―宮都の成立過程を中心に④―	市大樹	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	206315	日本近代史特殊講義	自由民権運動の再検討	飯塚 一幸	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	206323	日本中世史特殊講義	源賴朝論	川合 康	2	1,2,3年	
秋~冬	水4	206317	日本近世史特殊講義	日本近世国家論・日本近世政治史の新構築	野村 玄	2	1,2,3年	
秋~冬	水4	206331	日本中世史特殊演習	中世史料講読	伴瀬 明美	2	1,2,3年	
秋~冬	金3	206307	日本中世史特殊演習	中世史料講読	川合 康	2	1,2,3年	
秋~冬	金3	206324	日本古代史特殊演習	日本古代史料演習(七大寺巡礼私記の講読)	市大樹	2	1,2,3年	
通年	不定期	206516	世界史特殊演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 茂 堤 一昭 飯塚 一幸	4	1,2,3年	史学共通
春~夏	火4	206534	世界史特殊演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2,3年	英 史学共通
春~夏	水2	206522	歷史学方法論特殊講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏二朗	2	1,2,3年	史学共通
春~夏	木3	206520	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新し い大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2,3年	史学共通
秋~冬	火4	206533	世界史特殊演習	Experts and the overseas relations of European nation- states, 1890s-1960s	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2,3年	英 史学共通
秋~冬	木3	206521	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代的な諸 課題との関連で	秋田 茂市 大樹	2	1,2,3年	史学共通
				,				

東洋史学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	金5	206517	中央アジア史特殊演習	北〜中央アジア史漢文史料読解	松井 太	4	1,2,3年	
通年	不定期	206501	中央アジア史特殊演習	古代トルコ・モンゴル文献学演習 (Advance)	松井 太	4	1,2,3年	
春~夏	月1	206507	東洋史博士論文作成演習	東洋史学論文指導	松井 太 河上 麻由子	2	1,2,3年	
春~夏	月3	206503	東アジア史特殊演習	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	1,2,3年	
春~夏	月4	206504	東アジア史特殊演習	中国史英語文献講読C	田口 宏二朗	2	1,2,3年	
春~夏	火1	206519	中央アジア史特殊講義	中央アジア=ウイグル王国史の諸問題	松井 太	2	1,2,3年	
春~夏	火2	206512	中央アジア史特殊演習	中央アジア史英語演習(1)	松井 太	2	1,2,3年	
春~夏	火4	206535	東アジア史特殊演習	東アジア漢文史料読解(1)	河上 麻由子	2	1,2,3年	
春~夏	水1	206531	中央アジア史特殊演習	古代トルコ・モンゴル文献学演習(3)	松井 太	2	1,2,3年	
春~夏	水5	206508	東アジア史特殊演習	東アジア史研究の諸問題	田口 宏二朗	2	1,2,3年	
春~夏	木2	206502	東洋史特殊演習	東洋史学合同演習	松井 太 田口 宏二朗 河上 麻由子	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	206505	東アジア史特殊演習	漢籍中級講読(1)	田口 宏二朗	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	206506	東アジア史特殊演習	中国史英語文献講読C	田口 宏二朗	2	1,2,3年	
秋~冬	火1	206536	東アジア史特殊演習	東アジア史英語演習	河上 麻由子	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	206515	中央アジア史特殊演習	中央アジア史英語演習(2)	松井 太	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	206537	東アジア史特殊演習	東アジア漢文史料読解(2)	河上 麻由子	2	1,2,3年	
秋~冬	水1	206532	中央アジア史特殊演習	古代トルコ・モンゴル文献学演習(3)	松井 太	2	1,2,3年	
秋~冬	水5	206523	東洋史博士論文作成演習	東アジア史博士論文作成演習	田口 宏二朗	2	1,2,3年	
通年	不定期	206516	世界史特殊演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 茂 堤 一昭 飯塚 一幸	4	1,2,3年	史学共通
春~夏	火4	206534	世界史特殊演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2,3年	英 史学共通
春~夏	水2	206522	歷史学方法論特殊講義	歴史研究の理論と方法	栗原 麻子 野村 玄 田口 宏二朗	2	1,2,3年	史学共通
春~夏	木3	206520	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新し い大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田 茂市 大樹	2	1,2,3年	史学共通
秋~冬	火4	206533	世界史特殊演習	Experts and the overseas relations of European nation—states, 1890s-1960s	KROZEWSKI Gerold Michael	2	1,2,3年	英 史学共通
秋~冬	木3	206521	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」一現代的な諸課 題との関連で	秋田 茂市 大樹	2	1,2,3年	史学共通

西洋史学専門分野

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目		担当教員	単 位	対象 年次	備考
春~夏	月3	206707	西洋古代史特殊演習	ギリシア・ジェンダー史研究の基礎2	栗原	麻子	2	1,2,3年	
春~夏	月3,月4	206714	西洋近代史特殊演習	グローバルヒストリー研究	秋田	茂	2	1,2,3年	
春~夏	月4	206720	西洋中世史特殊演習	西洋中世史演習	中谷	惣	2	1,2,3年	
春~夏	火3	206706	西洋史特殊演習	西洋近世史演習	見瀬	悠	2	1,2,3年	
春~夏	水2	206704	西洋近代史特殊演習	論文作成のための演習	藤川	隆男	2	1,2,3年	
春~夏	木2	206726	世界史特殊演習	環境史の視座から見た帝国研究I	HEÉ N	Nadine	2	1,2,3年	
春~夏	木4	206721	西洋近代史特殊演習	1950年代から1960年代にかけてのアメリカ合衆国における 大学と国家、社会	[藤岡	真樹]	2	1,2,3年	
春~夏	金1	206701	西洋史博士論文作成演習	西洋史学上の諸問題1		茂、藤川隆男 麻子、中谷物 悠	2	1,2,3年	
春~夏	金4,金5	206717	西洋中世史特殊演習	西洋中世史演習	中谷	惣	2	1,2,3年	隔週
春~夏	不定期	206723	西洋史特殊演習	英語実践的報告演習		隆男、秋田 茂 麻子、中谷 惣 悠	2	1,2,3年	英
冬	不定期	206725	西洋史特殊演習	『パブリック・ヒストリー』の刊行演習		茂、藤川 隆男 麻子、中谷 惣 悠	1	1,2,3年	ターム
冬	集中	206710	西洋古代史特殊講義	前4世紀アテナイにおける法と法制度 Athenian law and administration of justice in the fourth century B.C.	レーネ 栗原	・ルビンスタイン 麻子	1	1,2,3年	英
秋~冬	月3	206708	西洋古代史特殊演習	西洋古代史史料研究―ギリシア・ローマ都市の政治文化―	栗原	麻子	2	1,2,3年	
秋~冬	月3,月4	206715	西洋近代史特殊演習	グローバルヒストリー研究	秋田	茂	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	206722	西洋中世史特殊演習	西洋中世史演習	中谷	惣	2	1,2,3年	
秋~冬	火3	206711	西洋史特殊演習	近世史フランス語講読	見瀬	悠	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	206705	西洋近代史特殊演習	論文作成のための演習	藤川	隆男	2	1,2,3年	
秋~冬	木1	206727	世界史特殊演習	環境史の視座から見た帝国研究II	HEÉ N	Nadine	2	1,2,3年	
秋~冬	木2	206703	西洋近代史特殊講義	Oceanic Approaches to Modern History	HEÉ N	Nadine	2	1,2,3年	英
秋~冬	金1	206702	西洋史博士論文作成演習	西洋史学上の諸問題2		隆男、秋田 茂 麻子、中谷 惣 悠	2	1,2,3年	
秋~冬	金3	206709	西洋史特殊演習	西洋近世史演習	見瀬	悠	2	1,2,3年	
秋~冬	金4,5	206712	西洋中世史特殊演習	西洋中世史演習	中谷	惣	2	1,2,3年	隔週
秋~冬	不定期	206724	西洋史特殊演習	英語実践的報告演習		茂、藤川 隆男 麻子、中谷 惣 悠	2	1,2,3年	英
通年	不定期	206516	世界史特殊演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 堤 一 飯塚	·昭	4	1,2,3年	史学共通
春~夏	火4	206534	世界史特殊演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	Michae		2	1,2,3年	英 史学共通
春~夏	水2	206522	歷史学方法論特殊講義	歴史研究の理論と方法		玄 宏二朗	2	1,2,3年	史学共通
春~夏	木3	206520	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新し い大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田市 大		2	1,2,3年	史学共通
秋~冬	火4	206533	世界史特殊演習	Experts and the overseas relations of European nation- states, 1890s-1960s	KROZ Micha	EWSKI Gerold el	2	1,2,3年	英 史学共通
秋~冬	木3	206521	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」一現代的な諸課 題との関連で	秋田 市 大		2	1,2,3年	史学共通
通年	不定期	206516	世界史特殊演習	新しい歴史学と歴史教育	秋田 堤 一 飯塚	·昭	4	1,2,3年	史学共通
春~夏	火4	206534	世界史特殊演習	Europe, migrants, and migration: from 19th century colonialism to the late 20th century	KROZI Michae	EWSKI Gerold el	2	1,2,3年	英 史学共通
春~夏	水2	206522	歷史学方法論特殊講義	歴史研究の理論と方法	栗原 野村 田口		2	1,2,3年	史学共通
春~夏	木3	206520	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:グローバルヒストリーから考える新し い大学歴史教育―日本史と世界史の間で―	秋田市 大		2	1,2,3年	史学共通
秋~冬	火4	206533	世界史特殊演習	Experts and the overseas relations of European nation- states, 1890s-1960s	Micha		2	1,2,3年	英 史学共通
秋~冬	木3	206521	歷史学方法論特殊講義	歴史学のフロンティア:「歴史学の現代性」―現代的な賭課 題との関連で	秋田 清市 大		2	1,2,3年	史学共通

考古学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	1	担当教員	単位	対象 年次	備考
春~夏	月5	206902	考古学博士論文作成演習	考古学博士論文指導1	福永 高橋	伸哉 照彦	2	1,2,3年	
春~夏	水3	206905	考古資料論特殊講義	日本古代における窯業生産	髙橋	照彦	2	1,2,3年	
春~夏	水6	206906	考古学特殊演習	プロジェクト研究実践演習		照彦 伸哉 直弥	2	1,2,3年	
春~夏	不定期	206907	考古資料論特殊演習	フィールド調査実践演習1	髙橋	伸哉 照彦 直弥	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	206911	考古学特殊講義	日本考古学の研究アプローチ	福永	伸哉	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	206903	考古学博士論文作成演習	考古学博士論文指導2	福永 髙橋 上田	伸哉 照彦 直弥	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	206916	考古学特殊講義	環境考古学を学ぶ	[宮路	淳子]	2	1,2,3年	
秋~冬	水3	206904	日本考古学特殊講義	歴史考古学の諸問題	髙橋	照彦	2	1,2,3年	
秋~冬	水6	206914	比較考古学特殊演習	プロジェクト比較研究実践演習		照彦 伸哉 直弥	2	1,2,3年	
秋~冬	不定期	206901	日本考古学特殊演習	フィールド調査実践演習2	福永	照彦 伸哉 直弥	2	1,2,3年	

人文地理学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	水2	207103	人文地理学博士論文作成演習	人文地理学の諸問題と博士論文の作成	堤研二 佐藤廉也	4	1,2,3年	
夏	集中	207101	人文地理学特殊講義	政治地理学の四方山話	[高木 彰彦]	2	1,2,3年	
春~夏	火1	207108	地誌学特殊講義	地誌学の概要と地誌学史	堤 研二	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	207102	地誌学特殊講義	人間・環境系への文化地理学的アプローチ	佐藤 廉也	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	207107	歷史地理学特殊講義	歴史地理学からみた近代移行期の日本における地域変化	[川口 祥]	2	1,2,3年	
秋~冬	火1	207105	人文地理学特殊講義	人文地理学の流れと社会経済地理学	堤 研二	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	207104	人文地理学特殊演習	人文地理学英文文献講読	堤 研二	2	1,2,3年	

日本文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題 目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	火2	207301	近世文学論特殊演習	名所図会を読む4	飯倉 洋一	4	1,2,3年	
通年	火3	207316	日本文学作家作品研究特殊演習	和歌(真名)序を読む	滝川 幸司	4	1,2,3年	
通年	火4	207302	日本文学作家作品研究特殊演習	「戦後文学」を読む――中上健次と「(再)開発文学」	渡邊 英理	4	1,2,3年	
通年	水4	207310	日本文学作家作品研究特殊演習	『戦後十年傑作小説全集』を読む	斎藤 理生	4	1,2,3年	
通年	金3	207321	日本文学作家作品研究特殊演習	寺社縁起を読む	勢田 道生	4	1,2,3年	
夏	集中	207305	日本文学作家作品研究特殊講義	『堤中納言物語』講読	[後藤 康文]	2	1,2,3年	
春~夏	月4	207314	日本文学作家作品研究特殊講義	日本の仏教文学	勢田 道生	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	207317	日本文学作家作品研究特殊講義	中上健次の文学世界――初期中期短篇を中心に	渡邊 英理	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	207307	日本文学作家作品研究特殊講義	織田作之助の小説を読む	斎藤 理生	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	207303	日本文学博士論文作成演習	博士論文演習	滝川 幸司	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	207324	日本文学博士論文作成演習	中世文学研究	勢田 道生	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	207312	日本文学博士論文作成演習	近世文学の研究	飯倉 洋一	2	1,2,3年	
秋~冬	水3	207311	日本文学博士論文作成演習	博士論文演習	斎藤 理生 渡邊 英理	2	1,2,3年	
秋~冬	水4	207320	日本文学作家作品研究特殊講義	漢文学より見た国風文化	滝川 幸司	2	1,2,3年	
秋~冬	水5	207313	日本文学作家作品研究特殊講義	日本古典文学と名所	飯倉 洋一	2	1,2,3年	

比較文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	水4	207502	比較文学特殊演習	オリエンタリズム小説と近代日本	橋本 順光	4	1,2,3年	
春~夏	月4	207505	比較文学特殊講義	オリエンタリズム研究と比較文学	橋本 順光	2	1,2,3年	
春~夏	水3	207504	比較文学特殊講義	日本近代文学の比較文学的研究	鈴木 暁世	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	207507	比較文学特殊講義	オリエンタリズム研究と比較文学	橋本 順光	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	207506	比較文学特殊演習	近代日本のジェンダー表象とメディア	鈴木 暁世	2	1,2,3年	
秋~冬	木3,木4	207501	比較文学特殊講義	文学環境論研究の諸問題	[堀 まどか]	2	1,2,3年	隔週
秋~冬	木5	207508	比較文学博士論文作成演習	博士論文作成演習	橋本順光	2	1,2,3年	

中国文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	月1	207701	中国文学博士論文作成演習	中国文学・語学の諸問題	浅見 洋二 林暁光	4	1,2,3年	
通年	水5	207716	中国文学特殊演習	中国学研究法	浅見 洋二 林 暁光 陳 竺慧	4	1,2,3年	
春~夏	月3	207708	中国文学特殊演習	朱イ尊の詞を読む	陳竺慧	2	1,2,3年	
春~夏	月5	207706	中国文学特殊演習	中国中世文学研究―『文選』を読む・第一部	林 暁光	2	1,2,3年	
春~夏	火4	207709	中国文学特殊演習	陸游の詩を読む	浅見 洋二	2	1,2,3年	
春~夏	火5	207702	中国文学特殊講義	中国文学の大勢一古代から現代へ	林 暁光	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	207707	中国文学特殊演習	中国中世文学研究―『文選』を読む・第二部	林 暁光	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	207710	中国文学特殊演習	蘇軾の詩を読む	浅見 洋二	2	1,2,3年	
秋~冬	火5	207703	中国文学特殊講義	漢魏晋南北朝賦の研究	林 暁光	2	1,2,3年	
秋~冬	金2	207716	中国文学特殊演習	近現代文学研究	林 暁光	2	1,2,3年	
秋~冬	金5	207713	中国文学特殊講義	唐宋詩学の諸問題	浅見 洋二	2	1,2,3年	

英米文学専門分野

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象年次	備考
通年	金1	207910	英文学作品研究特殊演習	Reading Stean Anthony Messages to My Mother books 1-7.	HARVEY,PAUL	4	1,2,3年	英
夏	集中	207906	英文学史特殊講義	カズオ・イシグロの世界	[服部 典之]	2	1,2,3年	
春~夏	火2	207920	アメリカ文学作品研究特殊演習	Thomas Pynchon, Gravity's Rainbow を読む	石割 隆喜	2	1,2,3年	
春~夏	火5	207912	アメリカ文学史特殊講義	物語更新理論入門(5)	片渕 悦久	2	1,2,3年	
春~夏	水1	207915	アメリカ文学史特殊講義	セクシュアリティの観点から考えるアメリカ演劇	森本 道孝	2	1,2,3年	
春~夏	水3	207921	アメリカ文学作品研究特殊演習	アメリカ演劇研究—David Lindsay-Abaire の主要作品を読む (1)	森本 道孝	2	1,2,3年	
春~夏	木2	207925	アメリカ文学作品研究特殊演習	物語論の現在形(7)	片渕 悦久	2	1,2,3年	
春~夏	木4	207908	英文学史特殊講義	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] April 2021 Course 6 Alfred Lord Tennyson The Idylls of the King 国王牧歌	HARVEY,PAUL	2	1,2,3年	英
春~夏	金4	207904	英文学作品研究博士論文作成演習	英文学研究の諸問題	片渕 悦久	2	1,2,3年	
春~夏	金4	207914	アメリカ文学作品研究博士論文作成演習	アメリカ文学博士論文作成演習	片渕 悦久	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	207919	アメリカ文学史特殊講義	ピンチョンの文学	石割 隆喜	2	1,2,3年	
秋~冬	火5	207911	アメリカ文学史特殊講義	物語更新理論入門(6)	片渕 悦久	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	207923	英文学作品研究特殊演習	『ハムレット』を異本で読む	山田 雄三	2	1,2,3年	
秋~冬	水3	207924	アメリカ文学作品研究特殊演習	アメリカ演劇研究—David Lindsay-Abaireの主要作品を読む (2)	森本 道孝	2	1,2,3年	
秋~冬	水4	207905	英文学史特殊講義	田舎者たちのルポルタージュ実践―後期モダニズムの時代を 中心に	山田 雄三	2	1,2,3年	
秋~冬	木2	207927	アメリカ文学作品研究特殊演習	物語論の現在形(8)	片渕 悦久	2	1,2,3年	
秋~冬	木4	207909	英文学史特殊講義	Piesat (Poetry In English Stean Anthony Textbook) [Stean Anthony is the pen name of Paul Harvey] Oct 2021 Course 7 Selected Poems in English 19th century Britain & America	HARVEY,PAUL	2	1,2,3年	英

ドイツ文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
春~夏	月5	208103	ドイツ文学特殊演習	カフカ『変身』を読む(1)	三谷 研育	2	1,2,3年	
春~夏	火4	208109	ドイツ文学博士論文作成演習	Forschungskolloquium I	三谷研育 吉田耕太郎	2	1,2,3年	
春~夏	水4	208123	ドイツ語学特殊演習	Akademisches Schreiben I	JOHANNES WASSMER	2	1,2,3年	独
春~夏	木2	208119	ドイツ文学特殊演習	子どもについての記述を中心に(18世紀のモード雑誌を読む: 14)	吉田 耕太郎	2	1,2,3年	
春~夏	木3	208122	ドイツ文学特殊講義	Ästhetik: Idee und Anschauung, Ereignis und Erfahrung	JOHANNES WASSMER	2	1,2,3年	独
春~夏	金4	208114	ドイツ文学史特殊講義	アシュケナージ・ユダヤ文化論 [[赤尾 光春]	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	208126	ドイツ文学特殊講義	ベルリンの都市空間と文化・芸術	三谷 研育	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	208104	ドイツ文学特殊演習	カフカ『変身』を読む(2)	三谷 研育	2	1,2,3年	
秋~冬	火3	208102	ドイツ文学史特殊講義	ドイツ文化における子どものイメージ	吉田 耕太郎	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	208110	ドイツ文学博士論文作成演習	Forschungskolloquium II	三谷研育 吉田耕太郎	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	208107	ドイツ文学作品研究特殊演習	Lektürekurs Johann Wolfgang von Goethe	JOHANNES WASSMER	2	1,2,3年	独
秋~冬	水4	208115	ドイツ語学特殊演習	Akademisches Schreiben II	JOHANNES WASSMER	2	1,2,3年	独
秋~冬	木2	208128	ドイツ文学特殊演習	市民の家庭について記述を中心に(18世紀のモード雑誌を読む:15)	吉田 耕太郎	2	1,2,3年	
秋~冬	木3	208112	ドイツ文学特殊講義	Scripture and the presence of signs	JOHANNES WASSMER	2	1,2,3年	独
秋~冬	金4	208105	ドイツ文学史特殊演習	アシュケナージ・ユダヤ文化論Ⅱ	[赤尾 光春]	2	1,2,3年	

フランス文学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
通年	水4	208314	フランス文学特殊演習	モンテーニュ『エセー』を読む/パスカル『パンセ』を読む	山上 浩嗣	4	1,2,3年	
春~夏	月3	208316	フランス語学特殊講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2,3年	仏
春~夏	月5	208304	フランス文学作品研究博士論文作成 演習	フランス文学各論(1)	山上 浩嗣	2	1,2,3年	
春~夏	水3	208318	フランス文学作品研究特殊講義	フランス・ルネサンス詩研究-恋愛抒情詩を中心に	林 千宏	2	1,2,3年	
春~夏	木3	208321	フランス文学特殊講義	Les voyages de Nicolas Bouvier. (1) L'usage du monde	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2,3年	仏
春~夏	金2	208302	フランス文学作品研究特殊演習	プルースト『失われた時を求めて』における旅の場面を読む	平光 文乃	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	208319	フランス語学特殊講義	Lire et écrire en français : littérature et sciences humaines	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2,3年	仏
秋~冬	月4	208320	フランス文学作品研究特殊講義	フランス映画-歴史と社会の鏡	AVOCAT ERIC MARC 山上 浩嗣	2	1,2,3年	仏
秋~冬	月5	208305	フランス文学作品研究博士論文作成 演習	フランス文学各論(2)	山上 浩嗣	2	1,2,3年	
秋~冬	木3	208322	フランス文学特殊講義	Les voyages de Nicolas Bouvier. (2) Chronique japonaise ; Le poisson-scorpion	AVOCAT ERIC MARC	2	1,2,3年	仏
秋~冬	金2	208303	フランス文学作品研究特殊演習	プルースト『失われた時を求めて』における旅の場面を読む	平光 文乃	2	1,2,3年	
秋~冬	金3	208301	フランス文学作品研究特殊講義	文学とアダプテーション――ゾラ『ナナ』を例に	[中村 翠]	2	1,2,3年	

国語学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
通年	月3	208517	国語学特殊演習	キリシタン版「サントスのご作業」をよむ	岸本 恵実	4	1,2,3年	
通年	火3	208505	国語史特殊演習	コーパスを用いた日本語の歴史的研究	金水 敏	4	1,2,3年	
通年	金2	208516	国語史特殊演習	日本語速記術と速記録の研究	岡島 昭浩	4	1,2,3年	
夏	集中	208519	国語学特殊講義	日本語文論	[森山 卓郎]	2	1,2,3年	
春~夏	月2	208506	国語学特殊講義	日本語意味論	金水 敏	2	1,2,3年	
春~夏	火4	208501	国語学特殊講義	日本語・日本語研究における速記術と速記録	岡島 昭浩	2	1,2,3年	
春~夏	木6	208502	文献情報書誌学演習	近現代文献の分析	岸本 恵実	2	1,2,3年	
秋~冬	火5	208515	国語学博士論文作成演習	国語学の諸問題	金水 敏 岸本 恵実 岡島 昭浩	2	1,2,3年	
秋~冬	木2	208509	国語学特殊講義	芥川龍之介「切支丹物」の語彙	岸本 恵実	2	1,2,3年	

日本語学専門分野

開講 時期	曜日時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	月3	208723	社会言語学博士論文作成演習	社会言語学の展開	高木 千恵	4	1,2,3年	
通年	月3	208711	対照言語学博士論文作成演習	対照言語学の展開	渋谷 勝己	4	1,2,3年	
通年	火2	208724	社会言語学特殊演習	言語・方言記述の実践	高木 千恵	4	1,2,3年	
通年	火2	208714	対照言語学特殊演習	言語・方言記述の実践	渋谷 勝己	4	1,2,3年	
通年	火3	208732	日本語教育学博士論文作成演習	日本語教育学博士論文作成演習	BURDELSKI MATTHEW JAMES	4	1,2,3年	
通年	水4	208701	現代日本語学博士論文作成演習	日本語文法•語彙研究	田野村 忠温	4	1,2,3年	
通年	金5	208705	現代日本語学博士論文作成演習	現代日本語研究の諸問題	石井 正彦 三宅 知宏	4	1,2,3年	
春~夏	月1	208712	対照言語学特殊講義	接触言語学概説(1):言語体系	渋谷 勝己	2	1,2,3年	
春~夏	月2	208734	日本語教育学特殊演習	語用論	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2,3年	
春~夏	火4	208715	社会言語学特殊講義	社会言語学概説(1)	高木 千恵	2	1,2,3年	
春~夏	水1	208709	現代日本語学特殊講義	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	1,2,3年	
春~夏	水2	208728	日本語教育学特殊演習	言語社会化	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2,3年	
春~夏	金2	208730	現代日本語学特殊講義	日本語文法研究の諸問題	三宅 知宏	2	1,2,3年	
春~夏	金3	208706	現代日本語学特殊演習	語彙調査の理論と方法	石井 正彦	2	1,2,3年	
秋~冬	月1	208722	対照言語学特殊講義	接触言語学概説2:言語管理	渋谷 勝己	2	1,2,3年	
秋~冬	月2	208729	日本語教育学特殊演習	会話分析	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	208713	社会言語学特殊講義	社会言語学概説(2)	高木 千恵	2	1,2,3年	
秋~冬	水1	208710	現代日本語学特殊演習	言語分析の諸問題	田野村 忠温	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	208725	日本語教育学特殊講義	言語とジェンダー	BURDELSKI MATTHEW JAMES	2	1,2,3年	
秋~冬	水5	208704	現代日本語学特殊講義	批判的言語研究の諸相	石井 正彦	2	1,2,3年	
秋~冬	金2	208731	現代日本語学特殊講義	日本語文法研究の諸問題	三宅 知宏	2	1,2,3年	_
秋~冬	金3	208708	現代日本語学特殊演習	日本語語彙意味論の方法と実践	石井 正彦	2	1,2,3年	

英語学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	譜義題目	担当教員	単 位	対象 年次	備考
通年	金5	208908	英語学博士論文作成演習	英語学の諸問題	岡田 禎之 田中 英理	2	1,2,3年	
春~夏	月3	208911	英語史特殊講義	英語史入門2	神山 孝夫	2	1,2,3年	
春~夏	火2	208901	英語学特殊演習	意味論研究	田中 英理	2	1,2,3年	
春~夏	火3	208921	英語史特殊講義	印欧語比較言語学入門1	神山 孝夫	2	1,2,3年	
春~夏	火4	208903	英語学特殊演習	英語学理論の動向	岡田 禎之	2	1,2,3年	
春~夏	金2	208923	英語学特殊講義	意味論•語用論入門1	田中 英理	2	1,2,3年	
春~夏	金3	208914	英語学特殊講義	Cognitive English Grammar1	岡田 禎之	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	208925	英語史特殊演習	古英語•中英語入門	神山 孝夫	2	1,2,3年	
秋~冬	月5	208913	英語学特殊講義	音声学概論	神山 孝夫	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	208906	英語学特殊演習	意味論研究	田中 英理	2	1,2,3年	
秋~冬	火3	208922	英語史特殊講義	印欧語比較言語学入門2	神山 孝夫	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	208904	英語学特殊演習	英語学理論の動向	岡田 禎之	2	1,2,3年	
秋~冬	金2	208918	英語学特殊講義	「比較」に関わる意味論	田中 英理	2	1,2,3年	
秋~冬	金3	208915	英語学特殊講義	Cognitive English Grammar 2	岡田 禎之	2	1,2,3年	

美学•文芸学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
春~夏	月5	209108	芸術学特殊講義	イギリス芸術文化研究―ニコラウス・ペヴスナーの視点を中心 に	[近藤 存志]	2	1,2,3年	
春~夏	火2	209103	芸術学特殊講義	映画と社会	東 志保	2	1,2,3年	
春~夏	火5	209150	美学博士論文作成演習	博士論文の作成	高安 啓介 田中 均	2	1,2,3年	
春~夏	水2	209132	芸術学特殊演習	芸術研究 A	高安 啓介	2	1,2,3年	
春~夏	水5	209131	芸術学特殊講義	芸術学基礎	高安 啓介	2	1,2,3年	
春~夏	木5	209104	美学特殊演習	現代美学を英語で読む	田中 均	2	1,2,3年	
秋~冬	火1	209140	美学特殊演習	カント『判断力批判』を読む	田中 均	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	209109	芸術学特殊演習	映像、ジェンダー、テクノロジー	東 志保	2	1,2,3年	
秋~冬	火5	209153	美学博士論文作成演習	博士論文の作成	田中 均 高安 啓介	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	209107	芸術学特殊演習	芸術研究 B	高安 啓介	2	1,2,3年	
秋~冬	水5	209106	芸術学特殊講義	デザイン思想	高安 啓介	2	1,2,3年	
秋~冬	木1	209139	美学特殊演習	ステッカー『分析美学入門』を読む	田中 均	2	1,2,3年	
秋~冬	木3	209102	美学特殊講義	古代・中世の美学	[横道 仁志]	2	1,2,3年	
通年	月5	209121	文芸学博士論文作成演習	博士論文作成演習	渡辺 浩司 西井 奨	4	1,2,3年	
春~夏	月3	209114	西洋古典学特殊講義	弁論術と文学	渡辺 浩司	2	1,2,3年	
春~夏	月4	209120	西洋古典学特殊演習	古代ギリシア語演習	西井 奨	2	1,2,3年	
春~夏	火5	209118	西洋古典学特殊演習	ラテン語演習	西井 奨	2	1,2,3年	
春~夏	木2	209115	西洋古典学特殊講義	古代ギリシア・ローマの神話・文芸・文芸学	西井 奨	2	1,2,3年	
春~夏	木5	209137	文芸学特殊講義	ギリシア悲劇入門	[勝又 泰洋]	2	1,2,3年	
春~夏	金3	209112	文芸学特殊演習	文芸学文献講読(1)	渡辺 浩司	2	1,2,3年	
春~夏	金5	209116	西洋古典学特殊演習	ギリシア語講読(1)	渡辺 浩司	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	209144	文芸学特殊講義	ギリシア・ラテン文学とレトリック	渡辺 浩司	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	209146	西洋古典学特殊演習	古代ギリシア語演習	西井 奨	2	1,2,3年	
秋~冬	火5	209119	西洋古典学特殊演習	ラテン語演習	西井 奨	2	1,2,3年	
秋~冬	木2	209130	西洋古典学特殊講義	古代ギリシア・ローマ文学研究	西井 奨	2	1,2,3年	
秋~冬	木5	209154	文芸学特殊講義	古代ギリシア語散文文学入門	[勝又 泰洋]	2	1,2,3年	
秋~冬	金3	209113	文芸学特殊演習	文芸学文献講読(2)	渡辺 浩司	2	1,2,3年	
秋~冬	金5	209117	西洋古典学特殊演習	ギリシア語講読(2)	渡辺 浩司	2	1,2,3年	

音楽学•演劇学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目		担当教員	単 位	対象 年次	備考
通年	火5	209301	音楽学特殊演習	音楽学研究室総合演習	伊東 輪島		2	1,2,3年	隔週
春~夏	月2	209304	音楽行動研究特殊講義	楽曲分析の基礎	伊東	信宏	2	1,2,3年	
春~夏	月4	209309	音楽学特殊講義	日本における音楽職能集団の歴史:複数の「日本伝統音楽 史」へ向けて	鈴木	聖子	2	1,2,3年	
春~夏	火2	209315	音楽学特殊講義	演歌再考:東アジア歌謡史に向けて	輪島	裕介	2	1,2,3年	
春~夏	火3	209305	音楽学特殊演習	音楽文献講読(英語):クルターグについて	伊東	信宏	2	1,2,3年	
春~夏	火4	209307	音楽学博士論文作成演習	音楽学博士論文作成演習(1)	伊東	信宏	2	1,2,3年	
春~夏	水3	209302	音楽学特殊演習	音楽学英語文献講読: 基礎的用語の理解	輪島	裕介	2	1,2,3年	
春~夏	水4	209317	音楽学特殊演習	音楽研究の方法と実践(1)	輪島	裕介	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	209340	音楽学特殊講義	近現代日本の音楽と制度	鈴木	聖子	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	209316	音楽学特殊講義	近代日本大衆音楽史記述の諸問題	輪島	裕介	2	1,2,3年	
秋~冬	火3	209312	実践音楽学特殊講義	クルターグ『遊び』の実践	伊東	信宏	2	1,2,3年	英
秋~冬	火4	209308	音楽学博士論文作成演習	音楽学修士論文作成演習(2)	伊東	信宏	2	1,2,3年	
秋~冬	水3	209319	応用音楽学特殊講義	Processes of Transformation and Invention of "Traditional" Popular Music in Modern Japan: Issues of Continuity and Rupture	輪島	裕介	2	1,2,3年	英
秋~冬	水4	209303	音楽学特殊演習	音楽研究の方法と実践(2)	輪島	裕介	2	1,2,3年	
秋~冬	木2	209320	応用音楽学特殊演習	Transnational Popular Music in Japan: How Japanese "Adopted" and "Imagined" American Sound	[永冨	真梨]	2	1,2,3年	英
秋~冬	金5	209318	実践音楽学特殊演習	民族音楽のフィールドワークと論述の技法、関西地方の伝統 芸能を中心に	[神野	知恵]	2	1,2,3年	英
通年	火5	209324	演劇学博士論文作成演習	演劇学関係論文講読	永田	靖	4	1,2,3年	
春~夏	月3	209328	演劇学特殊講義	舞踊史再考:十九世紀パレエとジェンダー	古後	奈緒子	2	1,2,3年	
春~夏	火4	209313	演劇学特殊演習	論文作成の方法と実践	永田	靖	2	1,2,3年	
春~夏	木3	209327	演劇学特殊講義	近代大阪の芸能とその歴史	横田	洋	2	1,2,3年	
春~夏	金3	209323	演劇学特殊講義	演劇研究とパフォーマンス・スタディーズ	永田	靖	2	1,2,3年	% 1
春~夏	金5	209325	演劇学特殊演習	演劇教授法の基礎1	永田	靖	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	209321	演劇学特殊講義	ダンス、パフォーマンスの研究方法:メディアとしての電気	古後	奈緒子	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	209332	演劇学特殊演習	『八帖花伝書』巻三を読む	中尾	*	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	209314	演劇学特殊演習	観劇実習	永田 中尾		2	1,2,3年	
秋~冬	水5	209331	演劇学特殊講義	日本古典演劇と名所	中尾	*	2	1,2,3年	
秋~冬	金3	209329	演劇学特殊講義	問題圏としてのロシア演劇	永田	靖	2	1,2,3年	% 1
秋~冬	金5	209326	演劇学特殊演習	演劇学教授法の基礎2	永田	靖	2	1,2,3年	
秋~冬	不定期	209341	演劇学博士論文作成演習	日本伝統演劇研究の諸問題	中尾	業	2	1,2,3年	

※1 芸術ブロックのみ履修可能

美術史学専門分野

開講 時期	曜日 時限	時間割コード	授業科目名	講義題目	担当教員	単位	対象 年次	備考
通年	金2	209504	日本美術史特殊演習	見学演習(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	4	1,2,3年	
通年	金3	209505	日本美術史特殊演習	見学演習(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	4	1,2,3年	
通年	不定期	209522	東洋美術史特殊演習	仏教美術の理論と実践	藤岡 穣	4	1,2,3年	
春~夏	火4	209514	日本美術史特殊講義	狩野派絵画史Ⅱ	門脇 むつみ	2	1,2,3年	
春~夏	水2	209502	日本美術史特殊演習	仏教美術史料講読	藤岡 穣	2	1,2,3年	
春~夏	水4	209540	日本美術史特殊講義	日本仏教美術史概説	藤岡 穣	2	1,2,3年	
春~夏	木2	209503	日本美術史特殊演習	『若冲伝』講読	門脇 むつみ	2	1,2,3年	
春~夏	木3	209511	日本美術史特殊演習	日本近代美術史文献講読	橋爪 節也	2	1,2,3年	
春~夏	不定期	209506	東洋美術史博士論文作成演習	日本・東洋美術史の諸問題(1)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2,3年	イン
秋~冬	集中	209546	日本美術史特殊講義	奈良仏教絵画史論	[谷口耕生] 藤岡穣	2	1,2,3年	
秋~冬	月3	209528	日本美術史特殊講義	近世の屛風絵(風俗画と物語絵画)	門脇 むつみ	2	1,2,3年	
秋~冬	火3	209510	日本美術史特殊講義	日本近代美術史―都市と美術、大阪を中心に―	橋爪 節也	2	1,2,3年	
秋~冬	水2	209513	東洋美術史特殊演習	仏教美術論文演習	藤岡 穣	2	1,2,3年	
秋~冬	水4	209545	東洋美術史特殊講義	東アジアのなかの日本仏像史	藤岡 穣	2	1,2,3年	
秋~冬	木2	209542	日本美術史特殊演習	絵画史論文演習	門脇 むつみ	2	1,2,3年	
秋~冬	木3	209512	日本美術史特殊演習	日本文人画論講読	橋爪 節也	2	1,2,3年	
秋~冬	不定期	209507	東洋美術史博士論文作成演習	日本・東洋美術史の諸問題(2)	藤岡 穣 橋爪 節也 門脇 むつみ	2	1,2,3年	イン
春~夏	月1	209536	西洋美術史特殊演習	イタリア語美術史・芸術学文献講読	桑木野 幸司	2	1,2,3年	
春~夏	月3	209544	西洋美術史特殊講義	近現代美術史の諸問題	圀府寺 司	2	1,2,3年	
春~夏	火3	209539	西洋美術史特殊演習	スペイン語美術史文献講読	岡田 裕成	2	1,2,3年	
春~夏	火4	209508	西洋美術史博士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺司 岡田裕成 桑木野幸司	2	1,2,3年	イン
春~夏	水2	209543	西洋美術史特殊講義	マニエリスム美術史:変容の時代の芸術	桑木野 幸司	2	1,2,3年	
春~夏	水3	209517	西洋美術史特殊講義	16世紀美術の図像解読術	岡田 裕成	2	1,2,3年	
春~夏	水5	209516	西洋美術史特殊演習	美術史文献講読	岡田 裕成	2	1,2,3年	
秋~冬	月1	209519	西洋美術史特殊演習	イタリア語美術史・芸術学文献講読	桑木野 幸司	2	1,2,3年	
秋~冬	月4	209518	西洋美術史特殊演習	美術史研究文献購読	圀府寺 司	2	1,2,3年	
秋~冬	火2	209525	西洋美術史特殊演習	『具体』誌講読	〈加藤 瑞穂〉	2	1,2,3年	
秋~冬	火3	209538	西洋美術史特殊演習	スペイン語美術史文献講読	岡田 裕成	2	1,2,3年	
秋~冬	火4	209509	西洋美術史博士論文作成演習	西洋美術史 研究発表と討論	圀府寺司 岡田裕成 桑木野幸司	2	1,2,3年	イン
秋~冬	水3	209531	西洋美術史特殊講義	ハプスブルク・スペイン世界帝国の宮廷美術:コレクションの地政学	岡田 裕成	2	1,2,3年	
秋~冬	水5	209537	西洋美術史特殊演習	美術史論文講読基礎	岡田 裕成	2	1,2,3年	
秋~冬	木4	209515	西洋美術史特殊講義	18世紀フランスの美術と言説	[島本 浣]	2	1,2,3年	
秋~冬	±3,±4	209523	西洋美術史特殊演習	建築・庭園見学実習	桑木野 幸司	2	1,2,3年	隔週

学則

大阪大学・大阪大学大学院関係規程等

- 大阪大学学部学則
- 大阪大学大学院学則
- 大阪大学学位規程
- 大阪大学憲章

大阪大学学部学則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この学則は、大阪大学(以下「本学」という。)の学部の修業年限、教育課程その他の学生の修学上必要な事項について、定めるものとする。

(教育研究上の目的の公表等)

第1条の2 本学は、学部又は学科ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、公表するものとする。

(学部及び学科)

第2条 本学に、次の学部及び学科を置く。

文学部 人文学科

人間科学部 人間科学科

外国語学部 外国語学科

法学部 法学科、国際公共政策学科

経済学部 経済・経営学科

理学部 数学科、物理学科、化学科、生物科学科

医学部 医学科、保健学科

歯学部 歯学科

薬学部 薬学科

工学部 応用自然科学科、応用理工学科、電子情報工学科、環境・エネルギー工学科、地球総合 工学科

基礎工学部 電子物理科学科、化学応用科学科、システム科学科、情報科学科

(収容定員)

第3条 前条に定める学部及び学科の収容定員は、別表1のとおりとする。

(学年)

第4条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期

第5条 学年を分けて、次の4学期とする。

春学期

夏学期

秋学期

冬学期

- 2 春学期及び秋学期の開始日は、それぞれ4月1日及び10月1日とし、夏学期及び冬学期の開始日は、総長がその都度定める。
- 3 夏学期及び冬学期の終了日は、それぞれ9月30日及び3月31日とし、春学期及び秋学期の終了日は、総長がその都度定める。

(休業日)

第6条 休業日は、次のとおりとする。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)及び天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律(平成30年法律第99号)に規定する休日

大阪大学記念日 5月1日

春季休業 4月1日から4月10日まで

夏季休業 8月5日から9月30日まで

冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで

- 2 春季休業、夏季休業及び冬季休業については、学部の事情により学部長が総長の承認を得て、そ の都度変更することができる。
- 3 臨時の休業日については、総長がその都度定める。

第7条 削除

第2章 学生

(修業年限)

- **第8条** 修業年限は、4年とする。ただし、医学部医学科、歯学部及び薬学部については、6年とする。
- 2 第10条の5の規定に基づき、長期にわたる教育課程の履修を認められた者(以下「長期履修学生」という。)は、当該許可された年限を修業年限とする。

(在学年限)

- **第9条** 在学年限(長期履修学生の在学年限にあっても同様とする。)は、8年とする。ただし、医学部医学科、歯学部及び薬学部については、12年とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、第14条から第15条までの規定により、入学を許可された者の在学 年限については、学部規程で別に定める。
- 3 学生が前2項に規定する在学年限に達したときは、当該学生はその身分を失う。

(教育課程及びその履修方法等)

- 第10条 教育課程は、本学、学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、教養教育、専門教育及び国際性涵養教育を基に体系的に編成するものとする。
- 2 授業科目の区分は、次のとおりとする。

教養教育系科目

学問への扉、基盤教養教育科目、高度教養教育科目、情報教育科目、健康・スポーツ教育科 目、アドヴァンスト・セミナー、コミュニケーションデザイン科目

専門教育系科目

専門基礎教育科目、専門教育科目

国際性涵養教育系科目

マルチリンガル教育科目、高度国際性涵養教育科目、国際交流科目、グローバルイニシアティブ科目

- 3 前項に定める区分の各授業科目、履修方法等については、学部規程で別に定める。ただし、全学 の協力のもとに実施する科目については、全学共通教育科目として別に定める。
- 4 前項の規定にかかわらず、教養教育系科目のコミュニケーションデザイン科目並びに国際性涵養 教育系科目の国際交流科目及びグローバルイニシアティブ科目の開設並びに履修方法等について は、別に定める。
- 5 第2項に定めるもののほか、教職教育科目を開設し、その授業科目、履修方法等については、別に定める。

(大学院等高度副プログラム)

- **第10条の2** 前条の教育課程のほか、幅広い分野の素養等を培う教育を行うため、大学院等高度副 プログラムを開設する。
- 2 大学院等高度副プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(授業の方法)

- **第10条の2の2** 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを 高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 4 第1項の授業の一部は、文部科学大臣が別に定めるところにより、校舎及び附属施設以外の場所

で行うことができる。

(単位の計算方法)

- 第10条の2の3 各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修 を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、 授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。
 - (1)講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で学部規程又は全学共通教育規程で定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で学部規程又は全学共通 教育規程で定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 1の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により 行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して学部規程又は 全学共通教育規程で定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を 評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修を考慮して、単位 数を定めることができる。

(学修証明書等)

- 第10条の2の4 第10条に規定する教育課程の一部をもって体系的に開設する授業科目の単位 を修得した学生に対し、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第163条の2に規 定する学修証明書を交付することができる。
- 2 前項に規定する体系的に開設する授業科目は、学修証明プログラムと称する。
- 3 前項に定めるもののほか、学修証明プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(他の大学等における授業科目の履修)

- 第10条の3 学部長(学部長から委任を受けた者を含む。以下同じ。)が教授会の議を経て教育上有益と認めるときは、他の大学、専門職大学若しくは短期大学(専門職短期大学を含む。以下同じ。)又は外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。)若しくは短期大学との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。ただし、やむを得ない事情により、外国の大学又は短期大学との協議を行うことが困難な場合は、これを欠くことができる。
- 2 前項の規定により、学生が他の大学、専門職大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学において修得した単位は、60単位を限度として、卒業に要する単位に算入することができる。

(大学以外の教育施設等における学修)

- **第10条の3の2** 学部長が教授会の議を経て教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は 高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の 履修とみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。
- 2 前項の規定により与えることのできる単位は、前条第2項により修得した単位と合わせて60単位を限度とする。

(入学前の既修得単位の認定)

- 第10条の4 学部長が教授会の議を経て教育上有益と認めるときは、本学に入学した者が本学入学前に大学、専門職大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学において修得した授業科目の単位(大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条第1項に規定する科目等履修生及び同条第2項に規定する特別の課程履修生として修得した単位を含む。)を、本学において修得したものとして認定することができる。
- 2 学部長が教授会の議を経て教育上有益と認めるときは、本学に入学した者が本学入学前に行った 前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、学部の定めるところにより 単位を与えることができる。
- 3 前2項の規定により修得したものとして認定し、又は与えることのできる単位数は、第14条から第15条までの規定により入学又は転学を許可された場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第10条の3第2項及び前条第2項の規定により修得した単位と合わせて60単位を限度とする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第10条の5 学部長は、別に定めるところにより、学生が、職業を有している等の事情により、第

8条第1項に規定する修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

- 第10条の6 本学における教育職員の免許状授与の所要資格の取得方法は、別に定める。 (試験及び評価)
- **第10条の7** 履修した各授業科目の合否は、当該授業担当教員が実施する筆記試験によって決定する。ただし、試験に代わる方法によることもできる。
- 2 各授業科目の試験の成績は、100点を満点として次の評価をもって表し、S、A、B及びCを 合格、Fを不合格とする。
 - S (90点以上)
 - A(80点以上90点未満)
 - B (70点以上80点未満)
 - C(60点以上70点未満)
 - F (60点未満)

(成績評価基準等の明示等)

- **第10条の8** 本学においては、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。
- 2 本学においては、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保 するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準に従って適切に行うも のとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第10条の9 本学においては、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(入学)

- **第11条** 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の必要があり、かつ、教育上支障がないと学部長が認めたときは、夏学期、秋学期及び冬学期の始めに入学させることができる。
- 第12条 入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
 - (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
 - (2) 通常の課程により、12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに 相当する学校を修了した者
 - (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (6) 文部科学大臣の指定した者
 - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度 認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和 26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)
 - (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある と認められた者で、18歳に達したもの
- **第13条** 入学を志願する者に対して選抜試験を行い、総長は、教授会の議を経て、入学を許可すべき者を決定する。
- 2 選抜試験については、別に定める。
- **第14条** 次の各号のいずれかに該当する者については、総長は、学部規程の定めるところにより、 教授会の議を経て、入学を許可することがある。
 - (1) 一の学部を卒業し、更に他の学部又は同一学部の他の学科(文学部、人間科学部及び外国語学部の場合にあっては、同一学科の他の専攻分野)に入学を志願する者

- (2) 学部を退学した後、更にその学部に入学を志願する者
- (3) 他の大学又は専門職大学の学部を卒業し、更に本学の学部に入学を志願する者
- 2 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)で、本学の学部に編入学を志願するものについては、総長は、当該学部規程の定めるところにより、教授会の議を経て、編入学を許可することがある。
- 3 高等専門学校を卒業した者で、工学部又は基礎工学部に編入学を志願するものについては、総長は、当該学部規程の定めるところにより、教授会の議を経て、編入学を許可することがある。
- **第14条の2** 次の各号のいずれかに該当する者で、法学部第3年次に入学を志願するものについては、総長は、法学部規程の定めるところにより、教授会の議を経て、入学を許可することがある。
 - (1)大学若しくは専門職大学を卒業した者又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - (2)大学又は専門職大学において2年以上在学し、法学部が別に定める所定の単位を修得した者
 - (3) 外国において学校教育における14年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者(外国において最終の学年を含め2年以上継続して学校教育を受けていた者に限る。)
 - (4) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
- **第14条の3** 次の各号のいずれかに該当する者で、人間科学部又は経済学部の第3年次に入学を志願するものについては、総長は、当該学部規程の定めるところにより、教授会の議を経て、入学を許可することがある。
 - (1)大学若しくは専門職大学を卒業した者又は学校教育法第104条第7項の規定により学士の 学位を授与された者
 - (2)大学又は専門職大学において2年以上在学し、当該学部が別に定める所定の単位を修得した者
 - (3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者
 - (4) 外国において、前3号に相当する学校教育における課程を修了した者
- **第14条の4** 外国語学部の第3年次、医学部の第2年次若しくは第3年次又は歯学部の第3年次に 入学を志願する者については、総長は、当該学部規程の定めるところにより、教授会の議を経て、 入学を許可することがある。
- **第15条** 他の大学又は専門職大学の学部の学生で本学に転学を志願する者については、総長は、学部規程の定めるところにより、教授会の議を経て、転学を許可することがある。
- 2 前項の規定により、転学を願い出た者は、その際現に在学する大学又は専門職大学の長の許可書 を願書に添えなければならない。
- **第16条** 第14条から前条までの規定により、入学を許可された者であって、既に1学年以上本学の授業科目を学修したものと同等以上の学力があると認定されたものの修業年数の計算については、既に1学年以上本学において修業したものとみなすことができる。
- 2 前項の認定に当たり必要があるときは、学部規程の定めるところにより、試験を行う。
- **第17条** 入学を志願する者は、所定の期日までに、入学願書に別に定める書類を添えて、提出しなければならない。
- **第18条** 入学の許可は、別に定める書類の提出、入学料の納付等所定の手続を経た者に対して行う。
- **第19条** 前2条に定める手続その他に虚偽又は不正があった場合は、入学の許可を取り消すことがある。
- **第19条の2** 次の各号のいずれかに該当する者が、その者に係る納付すべき入学料を所定の期日までに納付しないときは、当該学生はその身分を失う。
 - (1) 第45条の2第1項又は第2項の規定により入学料の免除を願い出た者で、免除が不 許可となったもの又は一部の免除が許可となったもの
 - (2) 第 4 5 条 の 3 第 1 項 又 は 第 2 項 の規定による入学料の徴収猶予の可否を決定された者 (転部等)
- **第19条の3** 転部又は学科の変更を志願する学生については、志願先の学部長が、学部規程の定めるところにより、転部又は学科の変更を許可することがある。

- 2 前項の規定により、転部を願い出た者は、その際現に在学する学部の長の許可書を願書に添えなければならない。
- 3 第1項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、教授会の議を経て 学部長が行う。

(転学)

第20条 他の大学又は専門職大学に転学を志願する学生は、学部長に願い出て、その許可を受けなければならない。

(留学)

- **第20条の2** 第10条の3第1項の規定に基づき、外国の大学又は短期大学に留学を志願する学生は、学部長に願い出て、その許可を受けなければならない。
- 2 前項により留学した期間は、第8条に規定する修業年限に算入するものとする。

(休学)

- **第21条** 学生が、疾病その他やむを得ない事由により3月以上修学できない場合は、学部長の許可を得て、その学年の終わりまで、休学することができる。
- **第22条** 疾病のため、修学が不適当と認められる学生に対しては、学部長は、休学を命ずることができる。
- 第23条 休学した期間は、在学年数には算入しない。
- **第24条** 休学期間は、4年を超えることができない。ただし、医学部医学科、歯学部及び薬学部については、その休学期間は、6年を超えることができないものとする。
- 2 前項ただし書の規定にかかわらず、薬学部については、薬学部長が特別の事情があると認めたと きは、休学期間を延長することができる。
- **第25条** 休学期間中に、その事由が消滅したときは、学部長の許可を得て、復学することができる。 (**退学**)
- **第26条** 学生が退学しようとするときは、事由を詳記した退学願書を、学部長に提出し、その許可を受けなければならない。
- 第27条 削除

(卒業)

- **第28条** 第8条に規定する期間在学し、所定の授業科目を履修してその単位数を修得し、かつ、 学部規程に定める試験に合格した者に対し、学部長は、教授会の議を経て、卒業を認定する。
- 2 前項の規定にかかわらず、医学部、歯学部及び薬学部を除き本学に3年以上在学した者で、卒業の要件として当該学部の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものに対し、学部長は、当該学部規程の定めるところにより、教授会の議を経て、卒業を認定することができる。
- 3 学部長は、前2項により卒業を認定したときは、文書で総長に報告しなければならない。
- 4 第1項の規定による卒業に必要な単位のうち、第10条の2の2第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は、60単位を超えないものとする。

(学士の学位)

- 第29条 総長は、前条により卒業の認定を受けた者に対し、卒業を決定し、学士の学位を授与する。
- 2 前項の学位には、学部又は学科の区分に従い、次のとおり専攻分野の名称を付記するものとする。 文学部 文学

人間科学部 人間科学

外国語学部 言語・文化

法学部 法学

経済学部 経済学

理学部 理学

医学部 医学科 医学

保健学科/看護学/保健衛生学

歯学部 歯学

薬学部 薬学

工学部 工学

基礎工学部 工学

- 3 本学において学士の学位を授与された者が、その学位の名称を用いるときは、大阪大学と付記するものとする。
- 4 学士の学位記の様式は、別表2のとおりとする。

(除籍)

- 第30条 削除
- **第31条** 学生が故なく授業を受けないことが長きにわたるとき、又は成業の見込みがないときは、 教授会の議を経て、総長は、除籍することができる。
- **第32条** 学生が授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しないときは、学部長は、除籍することができる。

(復籍)

第32条の2 前条の規定により除籍となった者から復籍の願い出があったときは、学部長は、復籍を認めることができる。

(懲戒)

- **第33条** 学生に、本学の規則に違反し又はその本分に反する行為があるときは、教授会の議を経て、 総長が懲戒する。
- 2 懲戒は、戒告、停学及び放学とする。
- 3 停学の期間は、第9条に規定する在学年限に算入し、第8条に規定する修業年限に算入しない。ただし、停学の期間が1月未満の場合には、修業年限に算入することができる。
- 4 懲戒に関する手続は、別に定める。

第3章 特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び研究生

(特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び研究生)

- **第34条** 他の大学、専門職大学、短期大学若しくは高等専門学校又は外国の大学若しくは短期大学 との協議に基づき、学部長は、当該大学等に在学中の者を特別聴講学生として入学を許可し、授業 科目を履修させることができる。
- 第34条の2 授業科目中1科目又は複数科目を選んで履修し、単位を修得しようとする者があると きは、学部長は、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。
- **第35条** 授業科目中1科目又は複数科目を選んで聴講しようとする者があるときは、学部長は、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。
- **第36条** 学部において特定事項について攻究しようとする者があるときは、学部長は、選考の上、 研究生として入学を許可することがある。
- 2 研究生の入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の事情があるときはこの限りでない。
- 3 在学期間は原則として1年とする。ただし、研究上必要と認めたときは在学期間を延長することができる。
- **第37条** 特別聴講学生、科目等履修生、聴講生又は研究生として入学を志願する者は、願書に別に 定める書類を添えて、学部長に提出しなければならない。
- 第38条 実習及び攻究に要する特別の費用は、科目等履修生及び研究生の負担とする。
- 第38条の2 特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び研究生が次の各号のいずれかに該当すると きは、学部長は、除籍することができる。
 - (1) 成業の見込みがないと認められるとき。
 - (2) 授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しないとき。
- **第39条** 特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び研究生については、この学則に定めるもののほか、学部規程で定める。

第4章 特別の課程

(履修証明プログラム)

第39条の2 本学の学生以外の者を対象とした学校教育法第105条に規定する特別の課程として、履修証明プログラムを編成することができる。

2 前項に定めるもののほか、履修証明プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

第5章 外国人留学生

(外国人留学生)

- 第40条 外国人で留学のため、本学に学生、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生又は研究生として入学を志願する者があるときは、選考の上、総長又は学部長は、入学を許可することがある。
- 2 前項の許可を受け入学する者を外国人留学生という。
- 第41条 削除
- 第42条 削除
- 第43条 削除

第6章 検定料、入学料及び授業料

(検定料の納付)

- 第44条 入学を志願する者は、願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。 (検定料の免除)
- **第44条の2** 総長が相当の事由があると認めて別に定めた場合は、検定料を免除することができる。 (**入学料の納付**)
- **第45条** 入学に当たっては、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。 (入学料の免除等)
- **第45条の2** 入学する者(科目等履修生、聴講生又は研究生として入学する者を除く。以下この項及び次項並びに次条第1項及び第2項において同じ。)であって、次の各号のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められるものには、別に定めるところにより、入学料の全部又は一部を免除することができる。
 - (1)入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者(以下この号において「学資負担者」という。)が死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
 - (2) 前号に準ずる場合であって、総長が相当と認める事由がある場合
- 2 前項に定めるもののほか、入学する者であって、大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号。以下「修学支援法」という。)に基づく入学料免除の支援対象者の要件を満たすと認めるときは、別に定めるところにより、入学料の全部又は一部を免除することができる。
- 3 第 1 9 条 の 2 の規定により学生の身分を失った場合は、別に定めるところにより、当該学生 に係る入学料を免除することができる。
- 4 本学学部に合格し、一方の学部に対する入学(編入学、転入学及び聴講生、研究生としての入学を除く。)手続を行った後に、その入学を辞退し、他方の学部に対する入学手続を行う者については、入学料を免除することができる。
- 5 前各項に定めるもののほか、総長が相当の事由があると認めて別に定めた場合は、入学料を免除 することができる。
- **第45条の3** 入学する者が次の各号のいずれかに該当する場合には、別に定めるところにより、入 学料の徴収を猶予することができる。
 - (1) 経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
 - (2)前条第1項第1号に掲げる場合で、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合
 - (3) その他やむを得ない事情があると総長が認めた場合
- 2 前項に定めるもののほか、修学支援法に基づく入学料免除の申請を入学する者から受理した場合 は、別に定めるところにより、入学料の徴収を猶予することができる。
- 3 前2項の徴収猶予の期間は、当該入学に係る年度を超えないものとする。
- 第45条の4 第45条の2第1項若しくは第2項又は前条第1項若しくは第2項の規定により、入学料の免除又は徴収猶予を受けようとする者は、所定の期日までに必要書類を添えて、総

長に願い出るものとする。

2 前項の規定により入学料の免除又は徴収猶予を願い出た者に係る入学料の納付については、免除 又は徴収猶予の可否が決定するまでの間、猶予することができる。

(授業料の納付)

- **第46条** 学生は、授業料を毎年前期(4月から9月まで)及び後期(10月から翌年3月まで)の 2期に分けて、所定の期日までに、年額の2分の1ずつ納付しなければならない。ただし、特別の 事情がある場合は、月割分納を許可することができる。
- 2 第1項本文の規定にかかわらず、学生は、前期に係る授業料を納付するときに、当該年度の後期 に係る授業料を併せて納付することができる。
- 3 特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び研究生は、各期に受講する単位数分又は月数分の授業 料を第1項(ただし書を除く。)に準じて納付しなければならない。
- 4 第1項ただし書の月割分納を許可された者は、授業料年額の12分の1に相当する額を毎月納付しなければならない。ただし、夏季及び冬季休業中の授業料については、その開始前に納付させるものとする。
- **第47条** 学生が退学し、除籍又は放学された場合の授業料については、別に定める場合を除くほか、 その納期に属する分は徴収する。
- 2 停学中の学生の授業料については、その期間中も徴収する。

(授業料の免除等)

- **第48条** 学生が休学した場合の授業料は、休学月の翌月(休学する日が月の初日からのときは、その月)から復学当月の前月まで月割をもって免除する。ただし、休学する日が前期にあっては5月以後、後期にあっては11月以後であって、授業料の徴収猶予又は月額分納を許可されていない者で、かつ、前期にあっては4月末日までに、後期にあっては10月末日までに休学を許可されていないものの当該期の授業料については、この限りでない。
- 2 第19条の2の規定により学生の身分を失った場合、第32条若しくは第38条の2の 規定により学生を除籍した場合、又は死亡若しくは行方不明のため、学籍を除いた場合は、当該学 生に係る未納の授業料の全額を免除することができる。
- 3 第 4 9 条 の規定により授業料の徴収猶予を許可されている学生が退学した場合は、月割計算により、退学の翌月以降に納付すべき授業料の全額を免除することができる。
- **第49条** 本学の学生(科目等履修生、聴講生及び研究生を除く。次項において同じ。)であって、 経済的理由によって授業料の納付が困難であると認めるとき、その他やむを得ない事情があると認 めるときは、別に定めるところにより、授業料の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予 することができる。
- 2 前項に定めるもののほか、本学の学生であって、修学支援法に基づく授業料免除の支援対象者の 要件を満たすと認めるときは、別に定めるところにより、授業料の全部若しくは一部を免除し、又 はその徴収を猶予することができる。
- 3 前2項の徴収猶予の期間は、当該年度を超えないものとする。
- **第49条の2** 前2条に定めるもののほか、総長が相当の事由があると認めて別に定めた場合は、授業料を免除することができる。
- 第50条 第49条の規定により授業料の免除又は徴収猶予(月割分納の場合を含む。以下同じ。) を受けようとする者は、その事由を具して所定の期日までに総長に願い出るものとする。
- 2 前項の規定により授業料の免除又は徴収猶予を願い出た者に係る授業料の納付については、免除 若しくは徴収猶予の可否が決定するまでの間、猶予することができる。
- 第51条 授業料の免除又は徴収猶予を受ける学生は、納期ごとに総長が定める。
- **第52条** 授業料の免除を受けている者がその事由を失ったときは、その当月から当該期末までの授業料を月割をもって納付しなければならない。
- 2 授業料の徴収猶予を受けている者がその事由を失ったときは、直ちに授業料を納付しなければならない。

(授業料等の不徴収等)

第52条の2 第44条及び第45条の規定にかかわらず、特別聴講学生に係る検定料及び入学料は徴収しない。

- 2 第46条第3項の規定にかかわらず、 特別聴講学生が次のいずれかに該当する場合は、授業料を徴収しない。
 - (1) 国立の大学又は専門職大学の学生
 - (2) 本学と相互に授業料の不徴収を定めた相互単位互換協定(部局間協定を含む。)に基づき授業科目を履修する公立若しくは私立の大学、専門職大学若しくは短期大学又は国立、公立若しくは私立の高等専門学校の学生
- 3 第44条、第45条及び第46条の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項(昭和29年3月31日文部大臣裁定)に基づき入学する者及び本学と外国の大学等との間において相互に検定料、入学料及び授業料の不徴収を定めた大学間交流協定(部局間交流協定を含む。)に基づき入学する者については、検定料、入学料及び授業料を徴収しない。

(検定料、入学料及び授業料の額)

第53条 第44条の検定料、第45条の入学料及び第46条の授業料の額は、大阪大学学生納付金規程(以下「納付金規程」という。)の定めるところによる。

(納付済の検定料、入学料及び授業料)

- 第54条 納付済の検定料、入学料及び授業料は返付しない。
- 2 第13条に規定する選抜試験における次の各号のいずれかに該当する者に対しては、前項の規定にかかわらず、その者の申出により、前項の検定料のうち当該各号に掲げる額を返付する。
 - (1) 出願書類等による選抜(以下「第1段階目の選抜」という。)を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜(以下「第2段階目の選抜」という。)を行う場合において、第1段階目の選抜に合格しなかった者 納付金規程第2条第4項に定める第2段階目の選抜に係る検定料相当額(以下「第2段階目選抜検定料相当額」という。)
 - (2)出願を受け付けた後において、大学入学共通テストの受験科目の不足により出願資格のない ことが判明した者 第2段階目選抜検定料相当額
- 3 第46条第2項の規定により前期分の授業料納付の際、後期分授業料を併せて納付した者が、 前期末までに休学又は退学した場合は、納付した者の申出により後期分授業料相当額を返付する。
- 4 第45条の2第2項又は第49条第2項の規定により入学料又は授業料の免除が認定された場合で、免除対象の入学料又は授業料を納付済のときは、それぞれ免除された額の相当額を返付する。

第7章 学寮等

(学寮等)

- **第55条** 本学に、学寮及び外国人留学生を寄宿させる施設(以下「学寮等」という。)を設ける。 2 学寮等は、総長の監督に属する。
- 第56条 学寮等について必要な事項は、別に定める。

附則

(略)

附則

- 1 この改正は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日現在在学中の者(以下この項において「在学者」という。)及び平成31年4月1日以後において在学者の属する年次に編入学、再入学又は転入学する者については、改正後の第10条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の場合において、改正前の第10条の適用については、同条第2項中「グローバルコラボレーション科目」の次に

「国際性涵養教育系科目

グローバルイニシアティブ科目」

を加え、同条第5項中「及びグローバルコラボレーション科目」とあるのは、「、グローバルコラボレーション科目及び国際性涵養教育系科目のグローバルイニシアティブ科目」と読み替えるものとする。

(略)

附則

1 この改正は、令和2年10月1日から施行する。 (略)

別表1

収容定員表

学部名	学科名	入学定員及び編入学定員	収容定員
文学部	人文学科	165	660

別表 2

(略)

大阪大学大学院学則

第1章 総則

(趣旨及び目的等)

- 第1条 この学則は、大阪大学(以下「本学」という。)の大学院の修業年限、教育方法その他の学生の修学上必要な事項について、定めるものとする。
- 2 本学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。
- 3 本学大学院は、研究科又は専攻ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を定め、公表するものとする。

(課程及び標準修業年限)

- **第2条** 本学大学院の課程は、博士課程とする。ただし、文学研究科及び医学系研究科においては、 修士課程及び博士課程とし、高等司法研究科においては、法科大学院の課程とする。
- 2 修士課程の標準修業年限は、2年とする。
- 3 博士課程の標準修業年限は、5年とする。ただし、医学系研究科医学専攻、歯学研究科又は薬学研究科医療薬学専攻の博士課程(以下「医学・歯学・薬学の博士課程」という。)の標準修業年限は、4年とする。
- 4 博士課程は、これを前期2年の課程(以下「前期課程」という。)及び後期3年の課程(以下「後期課程」という。)に区分する。ただし、医学・歯学・薬学の博士課程及び生命機能研究科の博士課程にあっては、この区分を設けないものとする。
- 5 前項の前期課程は、標準修業年限を2年とし、これを修士課程として取り扱うものとする。
- 6 法科大学院の課程の標準修業年限は、3年とする。
- 7 第3項及び第4項の規定にかかわらず、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大 学連合小児発達学研究科の博士課程は、後期課程のみの博士課程とし、その標準修業年限は、3年 とする。
- 8 第 1 0 条 の規定に基づき、長期にわたる教育課程の履修を認められた者(以下「長期履修学生」という。)は、当該許可された年限を標準修業年限とする。

(研究科、専攻及び課程)

第3条 本学大学院に置く研究科、専攻及びその課程は、次表に掲げるとおりとする。

研究科名	専攻名	課程の別		
文学研究科	文化形態論、文化表現論	博士課程		
	文化動態論	修士課程		
(略)				

2 前項の高等司法研究科は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第99条第2項に定める専門職大学院とする。

(課程の目的)

- **第4条** 修士課程及び前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力 又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的と する。
- **第5条** 後期課程、医学・歯学・薬学の博士課程及び生命機能研究科の博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。
- **第5条の2** 法科大学院の課程は、専門職大学院設置基準に定める専門職学位課程のうち、専ら法曹 養成のための教育を行うことを目的とする。

第2章 教育課程

(教育課程の編成方針)

- 第5条の3 本学大学院の教育課程は、専門教育、国際性涵養教育及び教養教育を基に体系的に編成するものとする。
- 第5条の4 本学大学院(専門職大学院を除く。以下次項、第5条の6第1項、第9条の2、第9条の4第1項及び第12条において同じ。)においては、その教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)の計画を策定するものとする。
- 2 教育課程の編成に当たっては、本学大学院においては、専攻分野に関する高度の専門的知識及び 能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮 しなければならない。
- **第5条の5** 専門職大学院においては、その教育上の目的を達成するために専攻分野に応じ必要な授業科目を、産業界等と連携しつつ、開設するものとする。
- 2 専門職大学院においては、その目的を達成し得る実践的な教育を行うよう専攻分野に応じ事例研究、現地調査又は双方向若しくは多方向に行われる討論若しくは質疑応答その他の適切な方法により授業を行うなど適切に配慮しなければならない。

(博士課程教育リーディングプログラム等)

第5条の6 各研究科において編成する教育課程を充実させるため、本学大学院に、次のプログラムを開設する。

博士課程教育リーディングプログラム

卓越大学院プログラム

2 前項の各プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(大学院副専攻プログラム等)

第5条の7 第5条の3から前条までに規定する教育課程等のほか、本学に、幅広い分野の素養等を 培う教育を行うため、次のプログラムを開設する。

大学院副専攻プログラム

大学院等高度副プログラム

2 前項の各プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(学修証明書等)

- **第5条の8** 第5条の3から第5条の6までに規定する教育課程又はプログラムの一部をもって体系的に開設する授業科目の単位を修得した学生に対し、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号。以下「施行規則」という。)第163条の2に規定する学修証明書を交付することができる。
- 2 前項に規定する体系的に開設する授業科目は、学修証明プログラムと称する。
- 3 前項に定めるもののほか、学修証明プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

(教育方法等)

- **第6条** 本学大学院の教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行うものとする。ただし、専門職大学院にあっては、研究指導を除くものとする。
- 2 各研究科の授業科目の内容及び単位数並びに研究指導の内容並びにこれらの履修方法は、各研究 科において別に定める。
- 3 授業の方法及び各授業科目の単位の計算方法については、本学学部学則第10条の2の2 及び第10条の2の3の規定を準用する。
- 4 第2項に規定する授業科目のほか、次の授業科目を開設する。

大学院横断型の教育に関する授業科目(以下「大学院横断教育科目」という。)

博士課程教育リーディングプログラムに関する授業科目(「以下「リーディングプログラム科目」という。)

グローバルイニシアティブ科目

5 大学院横断教育科目、リーディングプログラム科目及びグローバルイニシアティブ科目に関し必要な事項は、別に定める。

- 第7条 本学大学院においては、当該研究科教授会の議を経て研究科長(研究科長から委任を受けた者を含む。以下同じ。)が必要と認めるときは、当該研究科の他の専攻の授業科目、他の研究科の授業科目若しくは前条第4項の授業科目又は学部の授業科目を履修し、これを第15条に規定する単位に充当することができる。
- **第8条** 本学大学院においては、当該研究科教授会の議を経て研究科長が必要と認めるときは、他の大学院の授業科目、外国の大学院の授業科目又は国際連合大学の教育課程における授業科目を履修し、15単位を超えない範囲で、これを第15条に規定する単位に充当することができる。
- 2 前項に規定する授業科目の履修については、本学学部学則第10条の3第1項の規定を準 用する。
- 第8条の2 本学大学院においては、当該研究科教授会の議を経て研究科長が教育上有益と認めるときは、学生が本学大学院入学前に大学院、外国の大学院又は国際連合大学の教育課程において修得した授業科目の単位(大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条において準用する大学設置基準(昭和38年文部省令第28号)第31条第1項に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。)を本学大学院において修得したものとして認定することができる。
- 2 前項の規定により修得したものとして認定することができる単位数は、第24条の2第1項に規定する入学又は第32条第2項に規定する再入学若しくは転学を許可された場合を除き、本学大学院において修得した単位以外のものについては、15単位を超えない範囲で、第15条に規定する単位に充当することができるものとし、前条第1項の規定により修得したものとみなす単位数と合わせて20単位を超えないものとする。
- **第8条の3** 専門職大学院における他の大学院における授業科目、外国の大学院における授業科目又は国際連合大学の教育課程における授業科目の履修及び入学前の既修得単位の認定については、当該研究科の定めるところによる。
- 第9条 本学大学院においては、当該研究科教授会の議を経て研究科長が教育上有益と認めるときは、他の大学院等又は外国の大学院等とあらかじめ協議の上、当該大学院等において必要な研究指導 (第45条で規定する国際連携専攻の学生が第46条で規定する連携外国大学院において受けるものを除く。)を受けることができる。
- 2 前項の研究指導を受ける期間は、修士課程及び前期課程の学生にあっては、1年を超えることはできない。

(成績評価基準等の明示等)

- **第9条の2** 本学大学院においては、学生に対して、授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。
- 2 本学大学院においては、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客 観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準 にしたがって適切に行うものとする。
- **第9条の3** 専門職大学院においては、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。
- 2 専門職大学院においては、学修の成果に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

- **第9条の4** 本学大学院においては、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な 研修及び研究を実施するものとする。
- 2 専門職大学院においては、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施 するものとする。

(長期にわたる課程の履修)

第10条 研究科長は、別に定めるところにより、学生が、職業を有している等の事情により、第2条第2項、第3項及び第5項に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

(教育職員の免許状授与の所要資格の取得)

第10条の2 本学大学院における教育職員の免許状授与の所要資格の取得方法は、別に定める。

第3章 課程の修了及び学位の授与

(試験及び評価)

- **第11条** 履修した各授業科目の合否は、筆記試験若しくは口頭試験又は研究報告によって決定する。 ただし、試験に代わる方法によることもできる。
- 2 各授業科目の試験の成績は、100点を満点として次の評価をもって表し、S、A、B及びCを 合格、Fを不合格とする。
 - S (90点以上)
 - A(80点以上90点未満)
 - B(70点以上80点未満)
 - C(60点以上70点未満)
 - F (60点未満)

(学位論文の提出等)

- 第12条 本学大学院においては、在学期間中に学位論文を当該研究科長に提出し、最終試験を受けるものとする。ただし、第15条第1項本文に規定する特定の課題についての研究の成果の審査を受ける場合並びに同条第2項に規定する試験及び審査を受ける場合は、この限りでない。
- **第13条** 後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者は、 前条の規定にかかわらず、退学後においても、当該研究科長の許可を得て博士論文を提出し、最終 試験を受けることができる。
- 2 医学・歯学・薬学の博士課程に4年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者は、前条の規定にかかわらず、退学後においても、当該研究科長の許可を得て博士論文を提出し、最終試験を受けることができる。
- 3 生命機能研究科の博士課程に5年以上(第24条の2の規定により入学を許可された者にあっては3年以上)在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者は、前条の規定にかかわらず、退学後においても、当該研究科長の許可を得て博士論文を提出し、最終試験を受けることができる。
- 4 研究科長は、前3項の許可を与える場合は、研究科教授会の議を経なければならない。

(学位論文の審査等)

- 第14条 学位論文の審査及び最終試験は、当該研究科教授会が、審査委員会を設けて行う。
- 2 学位論文の審査においては、当該論文の内容に関する発表会を実施するものとする。
- 3 学位論文の審査に当たって必要があるときは、当該研究科教授会の議を経て、他の大学院等の教員等の協力を得ることができる。
- 4 第1項及び前項の規定は、次条第2項に規定する試験及び審査を行う場合について準用する。 (修了要件)
- 第15条 修士課程又は前期課程の修了の要件は、当該課程に2年以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該研究科教授会の議を経て研究科長が特に認めた場合に限り、この課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 前期課程の修了の要件は、当該博士課程の目的を達成するために必要と認められる場合には、前項に規定する修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することに 代えて、次に掲げる試験及び審査に合格することとすることができる。
 - (1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期課程において修得し、又は涵養すべきものについての試験
 - (2) 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期課程において修得すべきものについての審査
- 3 前項の規定は、第2条第3項に規定する標準修業年限を5年とする博士課程における一貫した人 材養成上の目的を有する教育課程を履修する者に限り適用することができる。

- 4 医学・歯学・薬学の博士課程を除く博士課程の修了の要件は、この課程に5年(修士課程又は前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあっては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該研究科教授会の議を経て研究科長が特に認めた場合に限り、この課程に3年(修士課程又は前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあっては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。
- 5 第1項ただし書の規定による在学期間をもって修士課程又は前期課程を修了した者の医学・歯学・薬学の博士課程を除く博士課程の修了の要件は、この課程に修士課程又は前期課程における在学期間に3年を加えた期間以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該研究科教授会の議を経て研究科長が特に認めた場合に限り、この課程に3年(修士課程又は前期課程における在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。
- 6 医学・歯学・薬学の博士課程の修了の要件は、この課程に4年以上在学し、各研究科の定めるところにより、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該研究科教授会の議を経て研究科長が特に認めた場合に限り、この課程に3年以上在学すれば足りるものとする。
- 7 第4項及び第5項の規定にかかわらず、修士の学位若しくは専門職学位(学位規則(昭和28年 文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。)を有する者又は施行規則第 156条の規定により、後期課程への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があ ると認めた者が、後期課程に入学した場合の後期課程の修了の要件は、この課程に3年以上在学し、 必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期 間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、当該研究科教授会の議を経て研究科長が特 に認めた場合に限り、この課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 8 前項本文の規定にかかわらず、各研究科において必要と認めるときは、前項の修了要件として、 所要の授業科目について、所定の単位を修得することを加えることができる。
- 9 法科大学院の課程の修了の要件は、この課程に3年以上在学し、研究科の定めるところにより、 所要の授業科目について、98単位以上を修得することとする。ただし、在学期間に関しては、法 科大学院の課程において必要とされる法学の基礎的な学識を有すると認められる者(以下「法学既 修者」という。)については、当該研究科教授会の議を経て研究科長が特に認めた場合に限り、この 課程に2年以上在学すれば足りるものとする。

(大学院における在学期間の短縮)

- 第15条の2 入学前に本学大学院及び他の大学院において修得した単位(学校教育法第102条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限るものとし、大学院設置基準第15条において準用する大学設置基準第31条第1項に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。)を本学大学院において修得したものと認定することのできる場合であって、当該単位の修得により当該研究科の修士課程又は博士課程(後期課程を除く。)若しくは法科大学院の課程の教育課程の一部を履修したと当該研究科が認めるときは、修得した単位数、その修得に要した期間その他必要と認める事項を勘案して1年を超えない範囲で当該研究科が定める期間在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、修士課程又は前期課程については、当該課程に少なくとも1年以上在学するものとする。
- 2 前項の規定は、修士課程又は前期課程を修了した者の前条第4項及び第5項に規定する博士課程 における在学期間(同条第4項の規定により博士課程における在学期間に含む修士課程又は前期課 程における在学期間を除く。)及び法学既修者の在学期間については、適用しない。

(学位の授与)

第16条 第15条第1項から第7項まで及び前条の規定により課程を修了した者には、総長は、当該課程に応じて修士又は博士の学位を授与する。

- 2 第15条第9項及び前条の規定により法科大学院の課程を修了した者には、総長は、法務博士の 学位を授与する。
- 3 第1項に規定するもののほか、生命機能研究科の博士課程において、第15条第1項及び第2項 に規定する修士課程の修了に相当する要件を満たした者にも、総長は、修士の学位を授与すること ができる。
- **第17条** 前条第1項及び第3項の学位には、研究科の区分に従い、次のとおり専攻分野の名称を付 記するものとする。

研究科名	修士	博士		
文学研究科	文学	文学		
(略)				

- 2 前条第2項の法務博士の学位には、専門職と付記するものとする。
- 3 第1項の規定にかかわらず、学際領域等の分野を専攻した者で、当該研究科教授会の議を経て総 長が適当と認めるときは、学術と付記することができる。
- **第18条** 前条に定めるもののほか、修士、博士及び法務博士の学位については、本学学位規程の定めるところによる。
- 第19条 削除

第4章 入学、休学、退学、転学、転科、留学、再入学及び専攻の変更

(入学資格等)

- 第20条 修士課程、前期課程、生命機能研究科の博士課程又は法科大学院の課程に入学することのできる者は、次のとおりとする。
 - (1) 大学又は専門職大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国 の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。)の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を 有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科 学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者
 - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に 入学させる研究科において、当該研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認め られたもの
 - (10) 大学又は専門職大学に3年以上在学した者であって、当該研究科において、所定の単位を 優秀な成績で修得したものと認められたもの(当該単位の修得の状況及び法科大学院が当該法 科大学院において必要とされる法学の基礎的な学識を有するかどうかを判定するために実施す

る試験の結果に基づき、これと同等以上の能力及び資質を有すると認められたものを含む。)

- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、当該研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの
- (12) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの
- 第21条 修士課程、前期課程、生命機能研究科の博士課程又は法科大学院の課程の入学志願者は、 入学願書に所定の書類を添えて提出しなければならない。
- 第22条 修士課程、前期課程又は生命機能研究科の博士課程の入学志願者に対しては、学力検査を 行い、志望理由を記載した書類、成績証明書等を総合して、総長は、教授会の議を経て、入学を許 可すべき者を決定する。
- 2 法科大学院の課程の入学志願者に対しては、高等司法研究科において定めるところにより選考の 上、総長は、教授会の議を経て、入学を許可すべき者を決定する。
- 第23条 後期課程に入学することのできる者は、次のとおりとする。
 - (1)修士の学位又は専門職学位を有する者
 - (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において 位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修 士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
 - (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者
 - (8) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの
- **第24条** 後期課程の入学志願者に対しては、本学大学院において修士の学位を取得した者については、当該前期課程における学業成績及び修士論文等により、その他の志願者については、各研究科において定めるところにより、それぞれ選考の上、総長は、教授会の議を経て、入学を許可すべき者を決定する。
- **第24条の2** 生命機能研究科の博士課程第3年次への入学志願者については、総長は、当該研究科において定めるところにより、教授会の議を経て、入学を許可することがある。
- 2 前項の規定により入学した者にかかる修了要件等については、当該研究科において別に定める。
- **第25条** 医学・歯学・薬学の博士課程に入学することのできる者は、次のとおりとする。
 - (1) 大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程(以下「医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程」という。)を卒業した者
 - (2) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者
 - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国 の学校教育における18年の課程を修了した者
 - (4) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (5) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の

政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部 科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が5年以上である課程を修了するこ と(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当 該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって 前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する 学位を授与された者

- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に 入学させる研究科において、当該研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認め られたもの
- (8)大学(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学した者であって、 当該研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの
- (9) 外国において学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了した者又は我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、当該研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められたもの
- (10) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を 履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの
- **第26条** 医学・歯学・薬学の博士課程の入学志願者に対しては、各研究科において定めるところにより選考の上、総長は、教授会の議を経て、入学を許可すべき者を決定する。
- 第27条 第21条の規定は、後期課程、医学・歯学・薬学の博士課程及び生命機能研究科の博士 課程第3年次の入学志願者に準用する。

(在学年限)

- 第28条 修士課程及び前期課程には4年、後期課程には5年、医学・歯学・薬学の博士課程及び法科大学院の課程には6年、生命機能研究科の博士課程には7年を超えて在学することはできない。ただし、後期課程、医学・歯学・薬学の博士課程、生命機能研究科の博士課程及び法科大学院の課程に限り、特別の事情があるときは、研究科教授会の議を経て、在学の年限を延長することができる。
- 2 学生が前項に規定する在学年限に達したときは、当該学生はその身分を失う。

(入学の時期等)

- **第29条** 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、研究科長が特別の必要があり、かつ、教育上 支障がないと認めるときは、夏学期、秋学期及び冬学期の始めの始めに入学させることができる。
- 2 入学の手続、許可及び許可の取り消し並びに退学及び転学については、本学学部学則の規定を準 用する。
- 3 次の各号のいずれかに該当する者が、その者に係る納付すべき入学料を所定の期日までに納付し ないときは、当該学生は、その身分を失う。
 - (1) 第38条第1項の規定により入学料の免除を願い出た者で、免除が不許可となったもの又は一部の免除が許可となったもの
 - (2) 第38条の2の規定による入学料の徴収猶予の可否を決定された者

(休学)

- **第30条** 休学期間は、修士課程及び前期課程においては2年、後期課程及び法科大学院の課程においては3年、医学・歯学・薬学の博士課程においては4年、生命機能研究科の博士課程においては5年を超えることができない。ただし、特別の事情があるときは、研究科教授会の議を経て、休学期間を延長することができる。
- 2 前項のほか、休学については本学学部学則の規定を準用する。

(留学)

- **第31条** 外国の大学院に留学を志望する学生は、研究科長に願い出て、その許可を受けなければならない。
- 2 前項により留学した期間は、第2条第2項、第3項、第5項及び第6項に規定する修業年限に算入するものとする。

(転科等)

- 第32条 転科又は専攻の変更を志願するときは、志願先の研究科長は、選考の上教授会の議を経て、 転科又は専攻の変更を許可することがある。
- 2 再入学を志願するとき並びに他の大学院及び国際連合大学から転学を志願するときは、総長は、 選考の上教授会の議を経て、再入学又は転学を許可することがある。
- 3 前2項の場合において、既に修得した授業科目の単位及び在学期間の認定は、当該研究科教授会 の議を経て研究科長が行うものとする。

第5章 除籍、復籍及び懲戒

(除籍等)

第33条 除籍、復籍及び懲戒については、本学学部学則の規定を準用する。

第6章 検定料、入学料及び授業料

(検定料の納付)

- 第34条 入学を志願する者は、願書提出と同時に、検定料を納付しなければならない。ただし、本学大学院の修士課程、前期課程又は法科大学院の課程を修了し、引き続き後期課程、医学・歯学・薬学の博士課程又は生命機能研究科の博士課程第3年次に入学を志願する者については、検定料を徴収しない。
- 2 前項の規定は、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学及び福井大学の大学院修士課程、前期課程又 は法科大学院若しくは教職大学院の課程を修了し、引き続き大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・ 千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科に入学を志願する者について準用する。

(入学料の納付)

- **第35条** 入学に当たっては、所定の期日までに、入学料を納付しなければならない。ただし、本学大学院の修士課程、前期課程又は法科大学院の課程を修了し、引き続き後期課程、医学・歯学・薬学の博士課程又は生命機能研究科の博士課程第3年次に入学する者については、入学料を徴収しない。
- 2 前項の規定は、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学及び福井大学の大学院修士課程、前期課程又 は法科大学院若しくは教職大学院の課程を修了し、引き続き大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・ 千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科に入学を志願する者について準用する。

(授業料の納付)

- **第36条** 大学院学生は、授業料を毎年前期(4月から9月まで)及び後期(10月から翌年3月まで)の2期に分けて、所定の期日までに、年額の2分の1ずつ納付しなければならない。
- 2 授業料の納付及び月割分納等については、本学学部学則の規定を準用する。

(検定料、入学料及び授業料の額)

第37条 第34条の検定料、第35条の入学料及び第36条の授業料の額は、大阪大学学生納付金規程(以下「納付金規程」という。)の定めるところによる。

(検定料の免除)

第37条の2 検定料の免除については、本学学部学則の規定を準用する。

(入学料の免除等)

第38条 本学大学院に入学する者(科目等履修生、聴講生又は研究生として入学する者を除く。以下この項において同じ。)であって、経済的理由によって入学料の納付が困難であると認められるもの及びこれに該当しない者であっても、次の各号のいずれかに該当する特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められるものには、別に定めるところにより、入学料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者(以下この号において「学資負担者」という。)が死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の 災害を受けた場合
- (2) 前号に準ずる場合であって、総長が相当と認める事由がある場合
- 2 第 2 9 条 第 3 項 の規定により学生の身分を失った場合は、当該学生に係る入学料の全部又は一 部を免除することができる。
- 第38条の2 前条に規定するもののほか、入学料の免除及び徴収猶予については、本学学部学則の規定を準用する。

(授業料の免除等)

第39条 授業料の免除及び徴収猶予については、本学学部学則の規定を準用する。

(納付済の検定料、入学料及び授業料)

- 第39条の2 納付済の検定料、入学料及び授業料は返付しない。
- 2 第22条第2項に規定する法科大学院の課程の入学志願者に対する選考において、出願書類等による選抜(以下「第1段階目の選抜」という。)を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜(以下「第2段階目の選抜」という。)を行う場合は、前項の規定にかかわらず、第1段階目の選抜に合格しなかった者に対し、当該者の申出により、前項の検定料のうち、納付金規程第2条第5項において定める第2段階目の選抜に係る検定料相当額を返付する。
- 3 第36条第2項の規定により、学部学則第46条第2項の規定を準用して前期分の授業料納付の際、後期分授業料を併せて納付した者が、前期末までに休学又は退学した場合は、納付した者の申出により後期分授業料相当額を返付する。

第7章 収容定員

(収容定員)

第40条 本学大学院の収容定員は、別表のとおりとする。

第8章 特別研究学生、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生、研究生及び外国人留学生

(特別研究学生等)

- 第41条 本学大学院に特別研究学生、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生、研究生及び外国人留学生の制度を置く。
- 2 他の大学院、外国の大学院又は国際連合大学の教育課程に在学する学生で、本学大学院又は本学の研究所(各附置研究所、各学内共同教育研究施設、各全国共同利用施設及び免疫学フロンティア研究センターをいう。)において研究指導を受けようとするものがあるときは、研究科長又は研究所の長は、これを特別研究学生として入学を許可することができる。
- 3 特別研究学生の授業料及びその納付については、本学学部学則の研究生に関する規定を準用する。ただし、特別研究学生が国立大学の大学院の学生であるとき又は本学と相互に授業料の不徴収を定めた大学間特別研究学生交流協定(部局間交流協定を含む。)に基づき研究指導を受ける公立若しくは私立の大学の大学院の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 4 特別研究学生に係る検定料及び入学料は徴収しない。
- 5 特別研究学生の除籍については、本学学部学則の研究生に関する規定を準用する。
- 6 特別聴講学生、科目等履修生、聴講生及び研究生については、本学学部学則の特別聴講学生、 科目等履修生、聴講生及び研究生に関する規定を準用する。
- 7 外国人で、留学のため本学に大学院学生、特別研究学生、特別聴講学生、科目等履修生、聴講生 又は研究生として入学する者を外国人留学生という。
- 8 第3項本文、第6項及び第7項の規定にかかわらず、国費外国人留学生制度実施要項(昭和29年3月31日文部大臣裁定)に基づき入学する者及び本学と外国の大学等との間において相互に検定料、入学料及び授業料の不徴収を定めた大学間交流協定(部局間交流協定を含む。)に基づき入学する者については、検定料、入学料及び授業料を徴収しない。

第9章 特別の課程

(履修証明プログラム)

- **第41条の2** 本学に、本学の学生以外の者を対象とした学校教育法第105条に規定する特別の課程として、大学院科目等履修生高度プログラムその他の履修証明プログラムを編成することができる。
- 2 前項に定めるもののほか、大学院科目等履修生高度プログラムその他の履修証明プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

第10章 学年、学期及び休業日

(学年等)

第42条 学年、学期及び休業日については、本学学部学則の規定を準用する。

第11章 教員組織

(教員組織)

- 第43条 本学大学院を担当する教員は、本学の教授、准教授、講師及び助教とする。
- 2 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科の教育研究は、本学、金沢大学、浜松医科大学、千葉大学及び福井大学の協力により実施する。

第12章 研究科委員会等

(研究科委員会等)

- **第44条** 研究科教授会の審議事項のうち、特定の事項について審議を行うため、当該研究科に研究 科委員会等を置くことができる。
- 2 研究科委員会等の組織は、当該研究科の定めるところによる。

第13章 国際連携専攻に関する特例

(国際連携専攻の設置)

第45条 研究科(高等司法研究科を除く。以下同じ。)は、教育上の目的を達成するために必要があると認める場合には、外国の大学院(国際連合大学を含む。以下同じ。)と連携して教育研究を実施するための専攻(以下「国際連携専攻」という。)を設けることができる。

(国際連携教育課程の編成)

第46条 国際連携専攻を設ける研究科は、第5条の3及び第5条の4第1項の規定にかかわらず、 国際連携専攻において連携して教育研究を実施する一以上の外国の大学院(以下「連携外国大学院」 という。)が開設する授業科目を当該研究科の教育課程の一部とみなして、当該連携外国大学院と 連携した教育課程(以下「国際連携教育課程」という。)を編成することができる。

(共同開設科目)

- **第47条** 国際連携専攻を設ける研究科は、第5条の3及び第5条の4第1項の規定にかかわらず、 連携外国大学院と共同して授業科目を開設することができる。
- 2 国際連携専攻を設ける研究科が前項の授業科目(以下この項において「共同開設科目」という。) を開設した場合、当該国際連携専攻の学生が当該共同開設科目の履修により修得した単位は、5単位を超えない範囲で、当該研究科又は連携外国大学院のいずれかにおいて修得した単位とすることができる。ただし、連携外国大学院において修得した単位数が、第49条第1項及び第2項の規定により連携外国大学院において修得することとされている単位数に満たない場合は、共同開設科目の履修により修得した単位を連携外国大学院において修得した単位とすることはできない。

(国際連携教育課程に係る単位の認定等)

第48条 国際連携専攻を設ける研究科は、学生が連携外国大学院において履修した国際連携教育課程に係る授業科目について修得した単位を、当該国際連携教育課程に係る授業科目の履修により修

得したものとみなすものとする。

2 国際連携専攻を設ける研究科は、学生が連携外国大学院において受けた国際連携教育課程に係る 研究指導を、当該国際連携教育課程に係るものとみなすものとする。

(国際連携専攻に係る修了要件)

- 第49条 国際連携専攻の修士課程又は前期課程の修了の要件は第15条第1項に、同専攻の医学・歯学・薬学の博士課程を除く博士課程の修了の要件は同条第4項及び第5項に、同専攻の医学・歯学・薬学の博士課程の修了の要件は同条第6項に、それぞれ定めるもののほか、国際連携専攻を設ける研究科において国際連携教育課程に係る授業科目の履修により15単位以上を修得するとともに、それぞれの連携外国大学院において当該国際連携教育課程に係る授業科目の履修により10単位以上を修得することとする。
- 2 前項により国際連携専攻を設ける研究科及びそれぞれの連携外国大学院において国際連携教育課程に係る授業科目の履修により修得する単位数には、第8条若しくは第8条の2又は第48条第1項の規定により充当することができ、又は修得したものとして認定することができ、若しくは修得したものとしてみなすものとする単位を含まないものとする。ただし、第8条の2の規定により修得したものとして認定することができる単位について、国際連携教育課程を編成し、及び実施するために特に必要と認められる場合は、この限りでない。

(国際連携専攻学生の授業料等)

第50条 国際連携専攻の学生のうち、連携外国大学院を主として入学する学生の本学における検定料、入学料及び授業料については、第34条本文、第35条本文及び第36条第1項の規定にかかわらず、その全額を徴収しない。

(その他)

- **第51条** 本学則に定めるもののほか、国際連携専攻に係る次の各号に掲げる事項については、あらかじめ当該専攻を設ける研究科と連携外国大学院との協議により、別に定める。
 - (1) 教育課程の編成に関する事項
 - (2) 教育組織の編成に関する事項
 - (3) 入学者の選抜及び学位の授与に関する事項
 - (4) 学生の在籍の管理及び安全に関する事項
 - (5) 学生の奨学及び厚生補導に関する事項
 - (6) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
 - (7) その他国際連携専攻に関する事項

附 則

(略)

附 則

この改正は、令和3年4月1日から施行する。

別表1

大学院収容定員表

研究科名	専攻名	修士課程、 前期課程又 院の課程		博士課程の 医学・歯学 士課程又は 究科の博士	・薬学の博 生命機能研	収容定員
		1年当	収容 定員	1年当	収容 定員	
	文化形態論	38	76	20	60	
文学研究科	文化表現論	37	74	21	63	311
义子 研 九 科	文化動態論	19	38	_	_	311
	計	94	188	41	123	
(略)						

大阪大学学位規程

(総則)

- **第1条** 大阪大学(以下「本学」という。)において授与する学位は、学士、修士、博士及び法務博士とする。
- 2 本学において授与する修士、博士及び法務博士の学位については、大阪大学大学院学則(以下「学則」という。)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。
- 3 学士の学位については、大阪大学学部学則の定めるところによる。

(学位に付記する専攻分野等の名称)

第2条 本学において授与する修士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

文学

人間科学

法学

経済学

応用経済学

経営学

理学

医科学

保健学

看護学

薬科学

工学

言語文化学

日本語・日本文化

国際公共政策

情報科学

生命機能学

2 本学において授与する博士の学位に付記する専攻分野の名称は、次のとおりとする。

文学

人間科学

法学

経済学

応用経済学

経営学

理学

医学

保健学

看護学

歯学

薬科学

薬学

工学

言語文化学

日本語・日本文化

国際公共政策

情報科学

生命機能学

小児発達学

- 3 前2項の規定にかかわらず、専攻分野が学際領域等に係るもので、当該研究科教授会の議を経て総長が適当と認めたときは、学術と付記することができる。
- 4 本学において授与する法務博士の学位には、専門職と付記するものとする。

(学位の授与要件)

- 第3条 学位は、学則の定めるところにより、所定の課程を修了した者に授与する。
- 2 前項に定めるもののほか、修士の学位は、学則の定めるところにより、生命機能研究科の博士課程において、修士課程の修了に相当する要件を満たした者にも授与することができる。
- 3 第1項に定めるもののほか、博士の学位は、博士論文の審査に合格し、かつ、本学大学院の博士課程を 修了した者と同等以上の学力を有することを確認(以下「学力の確認」という。)した者にも授与する ことができる。

(課程を経る者の論文の提出)

- **第4条** 本学大学院の課程(法科大学院の課程を除く。)を経る者(前条第2項に規定する者を含む。以下同じ。)の学位論文は、学則の定めるところにより、当該研究科長に提出するものとする。
- 2 前項の場合において、博士論文にあっては、論文目録、論文内容の要旨及び履歴書を添付しなければな らない。

(課程を経ない者の学位授与の申請)

- 第5条 第3条第3項の規定により、博士の学位の授与を受けようとする者は、学位申請書に博士論文、論 文目録、論文内容の要旨、履歴書を添え、学位に付記する専攻分野を指定して総長に提出するものとす る。
- 2 前項の申請は、別に定める論文審査手数料を納付後に行うものとし、申請期間は、当該納付した日から 4日以内とする。
- 3 総長は、前項の納付を確認後、第1項の申請書類を受理したときは、専攻分野に応じて、当該研究科長 に回付するものとする。

(論文)

- **第6条** 審査を受けるため提出する学位論文(学則第15条第1項本文の規定による特定の課題についての研究の成果を含む。)は、1篇とし、所定の部数を提出するものとする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。
- 2 審査のため必要があるときは、研究科教授会は、論文の訳文、模型又は標本等を提出させることができる。
- 第7条 受理した学位論文及び論文審査手数料は、返付しない。

(学位論文の審査の付託)

第8条 研究科長は、学位論文を受理(第5条第3項の規定により総長から回付された場合を含む。)したときは、その審査及び最終試験又は学力の確認を当該研究科教授会に付託するものとする。

(審査委員会)

- 第9条 研究科教授会は、審査を付託された学位論文の審査等を行うため、審査委員会を設けるものとする。
- 2 審査委員会は、当該研究科教授 2 名以上の委員で組織する。ただし、修士論文の審査にあっては、当該 研究科の教授 1 名及び准教授 1 名以上とすることができる。
- 3 前項の場合において、必要があるときは、研究科教授会の議を経て、他の大学院等の教員等の協力を得ることができる。
- 4 審査委員会の委員は、公表するものとする。

- 5 審査委員会の委員は、学位論文の審査等に関し、供応接待又は財産上の利益の供与を受けてはならない。 (論文の発表会)
- **第9条の2** 学位論文の審査においては、当該論文の内容に関する発表会を公開で実施するものとする。ただし、当該論文の内容に関し、知的財産を保護する必要があるとき又は秘密保持の義務を課した本学の契約を遵守する必要があるときは、非公開とすることができる。

(課程を経る者の最終試験)

第10条 学則第12条本文に規定する最終試験は、学位論文を中心とし、これに関連のある科目について、口答試問又は筆答試問により行う。

(課程を経ない者の学力の確認)

- **第11条** 第3条第3項に規定する学力の確認は、学位論文に関連のある科目及び外国語について、口答試問又は筆答試問により行うものとする。
- 2 前項の外国語については、2種類を課すものとする。ただし、研究科教授会が特別の事由があると認めるときは、1種類のみとすることができる。
- 第12条 本学大学院博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上退学した者が、博士論文を提出したときは、各研究科で定める年限内に限り、学力の確認を行わないことがある。

(審査期間)

第13条 審査委員会は、博士論文が提出された日から1年以内に、論文の審査及び最終試験又は学力の確認を終了しなければならない。ただし、特別の事由があるときは、当該研究科教授会の議を経て、その期間を延長することができる。

(審査結果の報告)

第14条 審査委員会は、論文の審査及び最終試験又は学力の確認が終了したときは、直ちに論文の内容の要旨、審査の結果の要旨及び最終試験の結果の要旨又は学力の確認の結果の要旨に、学位を授与できるか否かの意見を添え、当該研究科教授会に文書で報告しなければならない。ただし、修士の学位については、学位を授与できるか否かの意見のみを報告すれば足りるものとする。

(博士論文研究基礎力審査)

- 第14条の2 修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に代えて、学則第15条第2項に規定する試験及び審査(以下「博士論文研究基礎力審査」という。)を行う場合については、第9条及び前条の規定を準用する。この場合において、第9条第1項中「審査を付託された学位論文の審査等」とあり、同条第2項中「修士論文の審査」とあり、及び同条第5項中「学位論文の審査等」とあるのは「博士論文研究基礎力審査」と読み替えるものとする。
- 2 前項に定めるもののほか、博士論文研究基礎力審査の内容、方法等については、当該博士課程の目的に 応じ、研究科において定めるものとする。

(学位授与の議決等)

- 第15条 研究科教授会は、第14条(前条第1項において準用する場合を含む。)の報告にを受け、学位を授与すべきか否かを審議し、議決する。ただし、研究科の定めるところにより、教授会通則第9条に規定する代議員会等に委任し、その議決をもって研究科教授会の議決に代えることができる。
- 2 前項の議決には、構成員の3分の2以上の出席を必要とし、かつ、出席者の3分の2以上の同意がなければならない。
- 第16条 研究科教授会が前条の議決をしたときは、当該研究科長は、文書で総長に報告しなければならない。
- 2 前項の場合において、博士の学位にあっては、博士論文とともに論文の内容の要旨、審査の結果の要旨 及び最終試験の結果の要旨又は学力の確認の結果の要旨を添付するものとする。

(学位の授与)

第17条 総長は、前条の報告を受け、学位を授与すべきか否かを決定し、学位を授与すべき者には、所定

の学位記を授与し、学位を授与できない者には、その旨を通知する。

(学位簿への登録)

第18条 本学は、博士の学位を授与したときは、学位簿に登録の上、当該学位を授与した日から3月以内に文部科学大臣に報告するものとする。

(博士論文の要旨等の公表)

- 第19条 本学は、博士の学位を授与したときは、当該学位を授与した日から3月以内に当該博士論文の内容の要旨及び審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表する。
- 2 前項の規定による公表は、本学の機関リポジトリの利用により行う。

(博士論文の公表)

- **第20条** 博士の学位を授与された者は、学位を授与された日から1年以内に当該博士論文の全文を公表しなければならない。ただし、既に印刷公表したときは、この限りでない。
- 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、当該研究科長の承認を得て、当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。 この場合において、当該研究科長は、研究科教授会の議を経て、その公表を承認するとともに、当該博士論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
- 3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、インターネットの利用により行うものとし、本学においては機関リポジトリの利用により行うものとする。

(学位名称の使用)

第21条 本学において学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、大阪大学と付記するものとする。

(学位の取消)

- 第22条 学位を授与された者に、不正の方法により学位の授与を受けた事実があると認められたときは、 総長は、当該研究科教授会の意見を聴いた上、教育研究評議会の議を経て、学位を取り消し、学位記を 返付させ、かつ、その旨を公表する。
- 2 学位を授与された者に、その名誉を汚す行為があったときは、前項の例により、当該学位を取り消すことがある。

(学位記の様式)

- 第23条 学位記の様式は、別表のとおりとする。
- 2 国際連携専攻における学位記の表記は、別表九及び別表十のとおり日本語とする。ただし、連携外国大学院との協議により、連携外国大学院が所在する国の公用語又は国際的通用性のある第三国の言語を併記することができる。

(雑則)

- 第24条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。
- 2 国際連携専攻における学位申請手続き及び学位論文の審査方法等については、この規程に定めるもののほか、連携外国大学院との協議により別に定めることができるものとする。

附 則

(略)

附則

この改正は、平成31年5月1日から施行する。

別表

(略)

大阪大学憲章

大阪大学は、開学以来の国立大学という組織を離れて、国立大学法人として新たに出発する。かねて大阪の地に根づいていた懐徳堂・適塾以来の市民精神を受け継ぎつつ、「地域に生き世界に伸びる」ことをモットーとして、それぞれの時代の社会の課題に応えてきた。歴史の大きな転換点をむかえつつあるいま、 大阪大学が国立大学法人として新たな出発をするこの機に臨み、将来の豊かな発展を期して、あらためて自らの基本理念を以下のとおり宣言し、大阪大学の全構成員の指針とする。

1 世界水準の研究の遂行

大阪大学は、人間そのものや人間が構成する様々な社会、及びそれを取り巻く環境や自然のあらゆる分野について、また、それら相互の関係について、その真理を探求し、世界最先端の学術研究の場となることをめざす。

2 高度な教育の推進

大阪大学は、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを、その 目標とする。

3 社会への貢献

大阪大学は、教育研究活動を通じて、「地域に生き世界に伸びる」をモットーとして、社会の安寧と福祉、 世界平和、人類と自然環境の調和に貢献する。

4 学問の独立性と市民性

大阪大学は、教育研究の両面において、懐徳堂・適塾以来の自由で闊達な市民的性格と批判精神やその市民性を継承し、発展させる。学問の本質を踏まえ、いかなる権力にも権威にもおもねることなく、自主独立の気概のもとに展開する。

5 基礎的研究の尊重

大阪大学は、すべての分野において基礎的・理論的な研究を重視し、世界水準の研究を自らの課題として、次世代においても研究のリーダーであることを標榜する。

6 実学の重視

大阪大学は、実学の伝統を生かし、基礎と応用のバランスに配慮して、現実社会の要請に応える教育研究を実践する。

7 総合性の強化

大阪大学は、総合大学としての特色を追求する。たんなる部局の集合体ではなく、人文科学・社会科学・ 自然科学・生命科学など、あらゆる学問分野の相互補完性を重視するとともに、新時代に適合する分野融 合型の教育研究を推進する。

8 改革の伝統の継承

大阪大学は、つねに世界に先駆けて新たな学問分野を切り拓き、それに見合った教育研究組織を生み出してきた自己革新の伝統を継承し、絶えざる組織の点検・再編に努める。

9 人権の擁護

大阪大学は、その活動のあらゆる側面において、人種、民族、宗教、信条、貧富、社会的身分、性別、 障害の有無などに関するすべての差別を排し、基本的人権を擁護する。

10 対話の促進

大阪大学は、あらゆる意味での対話を重んじ、教職員および学生は、それぞれの立場から、また、その 立場を超えて、互いに相手を尊重する。

11 自律性の堅持

大阪大学は、直面する課題に対し、構成員間の協調をとおして、自らの意思においてその解決を図る。

学部学生に関する規程等

- 大阪大学文学部規程
- ・大阪大学文学部履修規程 [平成31(2019)年度以降の入学者適用]
- ・大阪大学文学部履修規程[平成26年度~平成30年度の入学者適用]
- ・大阪大学文学部履修規程 [平成25年度以前の入学者適用]
- ・大阪大学文学部における卒業論文の評価基準

大阪大学文学部規程

(趣旨)

- **第1条** この規程は、大阪大学学部学則(以下「学部学則」という。)に基づき、大阪大学文学部(以下「本学部」という。)に関する必要な事項を定めるものとする。
- 2 この規程に定めるもののほか、本学部に関し必要な事項は、本学部教授会(以下「学部教授会」という。)が、別に定める。

(目的)

第1条の2 本学部は、人文学の教育研究を通じて、人間存在の在り方及び人間の社会的・文化的営為を深く理解し、高度の論理的思考力と豊かな感性によって人間社会の未来を切り拓く能力をもった人材を養成することを目的とする。

(学科目及び専修)

第2条 本学部人文学科に履修上の区分として、次の学科目及び専修を置く。

学科目 専修

人文基礎学哲学・思想文化学、倫理学、中国哲学、インド哲学

歷史文化学日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学

地域文化学 日本学、人文地理学

言語基礎学 日本語学、日本文学・国語学、英米文学・英語学

文学表現学 日本文学・国語学、比較文学、中国文学、英米文学・英語学、ドイツ文学、フラン

ス文学、

芸術文化学美学・文芸学、音楽学・演劇学、美術史学

2 学生は、指定する期日までに、前項に規定する専修のうちいずれか1つを選択し、学部長に届け出なければならない。

(教育課程、授業科目、履修方法等)

- 第3条 本学部の教育課程は、教養教育系科目、専門教育系科目及び国際性涵養教育系科目をもって編成する。
- 2 本学部における教養教育系科目、専門教育系科目及び国際性涵養教育系科目の授業科目の履修方法については、大阪大学文学部履修規程(以下「履修規程」という。)で別に定める。
- 3 教養教育系科目の科目区分、授業科目及び単位数は、別表、大阪大学全学共通教育規程等の定めると ころによるものとする。
- 4 専門教育系科目の科目区分、授業科目及び単位数は、別表のとおりとする。
- 5 国際性涵養教育系科目の科目区分、授業科目及び単位数は、別表、大阪大学全学共通教育規程等の定めるところによるものとする。
- 6 学生は、履修規程の定めるところにより、合計130単位以上を修得しなければならない。

(単位の計算方法)

第4条 教養教育系科目、専門教育系科目及び国際性涵養教育系科目のうち本学部で開設する授業科目 (以下「専門教育系科目等の授業科目」という。)の授業科目の単位の計算方法は、15時間をもって 1単位とする。ただし、外国語科目及び実習は、30時間をもって1単位とする。

(授業科目の履修)

- **第5条** 学生は、指定の期日までに、所定の様式により、履修しようとする専門教育系科目等の授業科目 を届け出なければならない。
- 2 他学部の授業科目を履修するときは、学部長を経て、当該学部長の許可を受けなければならない。

(他の大学等における授業科目の履修)

- 第6条 学部学則第10条の3の規定に基づき、他の大学、専門職大学若しくは短期大学(専門職短期大学を含む。以下同じ。)又は外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。)若しくは短期大学の授業科目を履修しようとする者は、学部長に願い出て、その許可を受けなければならない。
- 2 前項の規定により修得した授業科目の単位は、履修規程に定めるところにより、卒業に要する単位に 算入することができる。

(入学前の既修得単位の認定)

- **第7条** 学部学則第10条の4に規定する入学前の既修得単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の指定の期日までに学部長に願い出、承認を受けるものとする。
- 2 前項の規定により承認された単位は、30単位を限度として卒業に要する単位に算入することができる。

(科目修了試験)

- **第8条** 専門教育系科目等の各授業科目の履修の認定は、科目修了試験(以下「試験」という。)により 行う。
- 2 試験は、学期末、学年末その他授業科目担当教員の都合等により適当な時期に行う。
- 3 試験の方法及び日時については、あらかじめ発表する。
- 4 試験の成績は、100点を満点として次の評価をもって表し、その判定は、S、A、B及びCを合格、Fを不合格とする。
 - S (90点以上)
 - A (80点以上)
 - B (70点以上80点未満)
 - C (60点以上70点未満)
 - F (60点未満)
- 5 試験に合格した者には、当該授業科目所定の単位を与える。

(卒業試験)

- 第9条 卒業試験は、論文試験及び口頭試験とする。
- 2 論文試験は、前条に規定する所定の試験に合格した者に対して行う。
- 3 論文の提出については、別に定める。

(卒業)

第10条 卒業の認定を受けるためには、本学部に所定の期間在学し、履修規程に定める所定の授業科目を履修して単位を修得し、卒業試験(論文を10単位に計算する。)に合格しなければならない。

(学士入学、再入学及び転入学)

- **第11条** 学部学則第14条及び第15条の規定により本学部へ入学を志願する者については、選考の上、 学部教授会の議を経て、入学を許可することがある。
- 2 前項の規定により入学を許可された者の在学年限については、別に定める。

(特別聴講学生、科目等履修生及び研究生)

- **第12条** 他の大学、専門職大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学に在学中の者で、特別聴講学生として本学部の授業科目を履修しようとするものは、学部長に願い出、その許可を受けなければならない。
- **第13条** 科目等履修生の入学は、当該授業科目を履修するのに必要な学力を有する者のうちから、学部 教授会の議を経て、学部長がこれを許可する。
- 2 科目等履修生の入学の時期は、春学期又は秋学期の始めとする。
- 3 科目等履修生の在学期間は、履修を許可された授業科目が開講される期間とする。ただし、引き続き

在学を希望する者は、学部長に期間の延長を願い出、その許可を受けなければならない。

- 4 科目等履修生は、履修した授業科目について試験を受けることができる。
- 5 前項の試験に合格した者には、当該授業科目所定の単位を与え、願いによって証明書を交付する。
- **第14条** 研究生の入学は、次の各号のいずれかに該当する者のうちから、学部教授会の議を経て、学部 長がこれを許可する。
 - (1) 大学又は専門職大学を卒業した者
 - (2) 学部教授会において前号と同等以上の学力があると認めた者
- 2 研究生の入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特別の事情があるときはこの限りでない。
- 3 研究生の指導教員は、学部教授会の議を経て、学部長がこれを定める。
- 4 研究生は、指導教員及び授業科目担当教員の承認を得て、研究に関連のある本学部の授業を聴講することができる。
- 5 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、研究の必要により引き続き在学を希望する者は、学 部長に期間の延長を願い出て、許可を得なければならない。
- 6 研究生は、在学期間の終わりに、その攻究成績を、指導教員を経て、学部長に提出しなければならない。
- 7 前項に規定する攻究成績の優秀な者については、学部教授会の議を経て、証明書を交付することがある。
- **第15条** 特別聴講学生、科目等履修生及び研究生に対しては、前3条の規定のほか、学生に関する規定 を準用する。

附 則

(略)

附 則

- 1 この改正は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日現在在学中の者(以下この項においては「在学者」という。)及び平成31年4月1日以後において在学者の属する年次に学士入学、再入学又は転入学する者については、改正後の第3条から第5条まで及び第8条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

(略)

附 則

この改正は、令和3年4月1日から施行する。

別表

専修等	授業科目名	単位数	備	考
共通	文学部共通概説	1、2又は4		
	人文学概説	1、2又は4		
	卒業論文	10		
哲学・思想	哲学講義	1、2又は4		
文化学専修	哲学演習	1、2又は4		
	哲学史講義	1、2又は4		
	哲学史演習	1、2又は4		
	論理学講義	1、2又は4		
	論理学演習 日本哲学講	1、2又は4		
	日本哲学講義 日本哲学演習	1、2又は4		
	現代哲学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	現代哲学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	生命哲学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	生命哲学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	環境哲学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	環境哲学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	科学史•科学論講義	1、2又は4		
	科学史・科学論演習	1、2又は4		
倫理学専修	倫理学講義	1、2又は4		
	倫理学演習	1、2又は4		
	倫理学史講義	1、2又は4		
	倫理学史演習	1、2又は4		
	臨床哲学講義	1、2又は4		
	臨床哲学演習	1、2又は4		
	社会哲学講義	1、2又は4		
	社会哲学演習	1、2又は4		
	ジェンダー・セクシュアリティ 研究基礎講義	1、2又は4		
	ジェンダー・セクシュアリティ	1 07734		
	研究基礎演習	1、2又は4		
中国哲学専 修	中国哲学講義	1、2又は4		
戶	中国哲学演習	1、2又は4		
	中国文化学講義	1、2又は4		
インド哲学	中国文化学演習インド哲学講義	1、2又は4 1、2又は4		
専修	インド哲学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	インド哲学史講義	1、2又は4 1、2又は4		
	インド哲学史演習	1、2又は4 1、2又は4		
	インド文化学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	インド文化学演習	1、2又は4		
	仏教学講義	1、2又は4		
	仏教学演習	1、2又は4		
日本史学専	歴史学方法論講義	1、2又は4		
修	歷史学方法論演習	1、2又は4		
	日本史学講義	1、2又は4		
	日本史学演習	1、2又は4		
	日本文化史講義	1、2又は4		
東洋史学専	日本文化史演習	1、2又は4		
東往史子母 修	歴史学方法論講義 歴史学方法論演習	1、2又は4		
	歴史子万伝論演習 東洋史学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	東洋史学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	東洋文献学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	東洋文献学演習	1、2又は4 1、2又は4		
西洋史学専	歴史学方法論講義	1、2又は4 1、2又は4		
修	歴史学方法論演習	1、2又は4 1、2又は4		
	西洋史学講義	1、2又は4		
	西洋史学演習	1、2又は4		
•	•			•

専修等	授業科目名	単位数	備	考
西洋史学専	西洋史学リサーチ講義	1、2又は4		
修	西洋史学リサーチ演習	1、2又は4		
	西洋史学ディベート講義	1、2又は4		
	西洋史学ディベート演習	1、2又は4		
	西洋現代史講義	1、2又は4		
	西洋現代史演習	1、2又は4		
	西洋現代史リサーチ講義	1、2又は4		
	西洋現代史リサーチ演習	1、2又は4		
	西洋現代史ディベート講義	1、2又は4		
	西洋現代史ディベート演習	1、2又は4 1、2又は4		
	歴史資料学講義	1、2又は4		
	歴史資料学演習	1、2又は4 1、2又は4		
考古学専修	考古学講義	1、2又は4 1、2又は4		
7 1 4-18	考古学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	日本考古学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	日本考古学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	比較考古学講義			
		1、2又は4		
	比較考古学演習	1、2又は4		
	考古資料論講義	1、2又は4		
	考古資料論演習	1、2又は4		
	木簡・金石学講義	1、2又は4		
日本学専修	木簡・金石学演習	1、2又は4		
日本子导修	日本学講義	1、2又は4		
	日本学演習	1、2又は4		
	日本学研究方法論講義 日本学研究方法論演習	1、2又は4		
		1、2又は4		
	日本文化学講義	1、2又は4		
	日本文化学演習	1、2又は4		
	日本思想史講義	1、2又は4		
	日本思想史演習	1、2又は4		
	文化人類学講義	1、2又は4		
	文化人類学演習	1、2又は4		
	民俗学講義	1、2又は4		
	民俗学演習	1、2又は4		
	文化交流史講義	1、2又は4		
	文化交流史演習	1、2又は4		
	比較文化学講義	1、2又は4		
	比較文化学演習	1、2又は4		
人文地理学 専修	人文地理学講義	1、2又は4		
410	人文地理学演習	1、2又は4		
	自然地理学講義	1、2又は4		
	自然地理学演習	1、2又は4		
	歴史地理学講義	1、2又は4		
	歴史地理学演習	1、2又は4		
	地誌学講義	1、2又は4		
日本語学専	地誌学演習	1、2又は4		
修	日本語学講義	1、2又は4 1、2又は4		
,_	日本語学演習 現代日本語学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	現代日本語学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	応用日本語学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	応用日本語子講教 応用日本語学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	社会言語学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	社会言語学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	対照言語学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	対照言語学演習	1、2又は4 1、2又は4		
日本文学・	日本文学講義	1、2又は4 1、2又は4		
国語学専修	日本文学演習	1、2又は4 1、2又は4		
1		1, 4, 1, 1, 1, 1	l	

専修等	授業科目名	単位数	備	考
	文献情報書誌学講義	1、2又は4		
国語学専修	文献情報書誌学演習	1、2又は4		
	国語学講義	1、2又は4		
	国語学演習	1、2又は4		
	国語史講義	1、2又は4		
	国語史演習	1、2又は4 1、2又は4		
	国語機能論講義	1、2又は4 1、2又は4		
	国語機能論演習	1、2又は4 1、2又は4		
比較文学専	比較文学講義	1、2又は4 1、2又は4		
化载入于守 修	比較文学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	比較文学方法論講義	1、2又は4 1、2又は4		
	比較文学方法論演習			
		1、2又は4		
	比較文学史講義	1、2又は4		
山田立学甫	比較文学史演習	1、2又は4		
中国文学専 修	中国文学講義	1、2又は4		
1:	中国文学演習	1、2又は4		
	中国語学講義	1、2又は4		
本小子 类	中国語学演習	1、2又は4		
英米文学・ 英語学専修	英文学 I 講義	1、2又は4		
大阳十号形	英文学 I 演習	1、2又は4		
	英文学Ⅱ講義	1、2又は4		
	英文学Ⅱ演習	1、2又は4		
	英文学Ⅲ講義	1、2又は4		
	英文学Ⅲ演習	1、2又は4		
	英文学IV講義	1、2又は4		
	英文学IV演習	1、2又は4		
	アメリカ文学 I 講義	1、2又は4		
	アメリカ文学I演習	1、2又は4		
	アメリカ文学Ⅱ講義	1、2又は4		
	アメリカ文学Ⅱ演習	1、2又は4		
	アメリカ文学Ⅲ講義	1、2又は4		
	アメリカ文学Ⅲ演習	1、2又は4		
	アメリカ文学IV講義	1、2又は4		
	アメリカ文学IV演習	1、2又は4		
	英語学 I 講義	1、2又は4		
	英語学 I 演習	1、2又は4		
	英語学Ⅱ講義	1、2又は4		
	英語学Ⅱ演習	1、2又は4		
	英語学Ⅲ講義	1、2又は4		
	英語学Ⅲ演習	1、2又は4		
	英語学IV講義	1、2又は4		
	英語学IV演習	1、2又は4 1、2又は4		
	イギリス文化 I 講義	1、2又は1 1、2又は4		
	イギリス文化I演習	1、2又は1 1、2又は4		
	イギリス文化Ⅱ講義	1、2又は4 1、2又は4		
	イギリス文化Ⅱ 講習	1、2又は4 1、2又は4		
	アメリカ文化 I 講義	1、2又は4 1、2又は4		
	アメリカ文化 I 演習	1、2又は4 1、2又は4		
	アメリカ文化 I 演習 アメリカ文化 II 講義	1、2又は4 1、2又は4		
ドイツ文学	アメリカ文化Ⅱ演習	1、2又は4		
トインス字 専修	ドイツ文学Ⅰ講義	1、2又は4		
17-110	ドイツ文学Ⅰ演習	1、2又は4		
	ドイツ文学Ⅱ講義	1、2又は4		
	ドイツ文学Ⅱ演習	1、2又は4		
	ドイツ文学Ⅲ講義	1、2又は4		
	ドイツ文学Ⅲ演習	1、2又は4		
		1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4		

専修等	授業科目名	単位数	備考
ドイツ文学	ドイツ語学 I 講義	1、2又は4	
専修	ドイツ語学 I 演習	1、2又は4	
	ドイツ語学Ⅱ講義	1、2又は4	
	ドイツ語学Ⅱ演習	1、2又は4	
	ドイツ語学Ⅲ講義	1、2又は4	
	ドイツ語学Ⅲ演習	1、2又は4	
	ドイツ語学IV講義	1、2又は4	
	ドイツ語学Ⅳ演習 ドイツ文学研究方法論Ⅰ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	ドイン文学研究方法論 I 演習	1、2又は4 1、2又は4	
	ドイツ文学研究方法論Ⅱ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	ドイツ文学研究方法論Ⅱ演習	1、2又は4	
	ドイツ文化論Ⅰ講義	1、2又は4	
	ドイツ文化論Ⅰ演習	1、2又は4	
	ドイツ文化論Ⅱ講義	1、2又は4	
	ドイツ文化論Ⅱ演習	1、2又は4	
	中欧文化論講義	1、2又は4	
7=1:	中欧文化論演習	1、2又は4	
フランス文 学専修	フランス文学Ⅰ講義	1、2又は4	
1 41%	フランス文学 I 演習 フランス文学 II 講義	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学Ⅱ講義 フランス文学Ⅱ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文子Ⅱ領自 フランス文学Ⅲ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学Ⅲ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学IV講義	1、2又は4	
	フランス文学IV演習	1、2又は4	
	フランス語学 I 講義	1、2又は4	
	フランス語学I演習	1、2又は4	
	フランス語学Ⅱ講義	1、2又は4	
	フランス語学Ⅱ演習 フランス文学史Ⅰ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学史Ⅰ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学史Ⅱ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学史Ⅱ演習	1、2又は4	
	フランス文学史Ⅲ講義	1、2又は4	
	フランス文学史Ⅲ演習	1、2又は4	
	フランス文学史IV講義	1、2又は4	
	フランス文学史IV演習	1、2又は4	
	フランス文学作品論Ⅰ講義	1、2又は4	
	フランス文学作品論 I 演習 フランス文学作品論 II 講義	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文字作品論Ⅱ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学作品論Ⅲ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学作品論Ⅲ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	フランス文学作品論IV講義	1、2又は4	
	フランス文学作品論IV演習	1、2又は4	
美学・文芸	芸術学総論講義	1、2又は4	
学専修	美学・芸術学講義	1、2又は4	
	美学・芸術学演習 美学・芸術学史講義	1、2又は4 1、2又は4	
	美子・云州子史神 我 美学・芸術学史演習	1、2又は4 1、2又は4	
	環境芸術学講義	1、2又は4 1、2又は4	
	環境芸術学演習	1、2又は4 1、2又は4	
	文芸学講義	1、2又は4	
	文芸学演習	1、2又は4	
	西洋古典学講義	1、2又は4	
	西洋古典学演習	1、2又は4	

専修等	授業科目名	単位数	備考	ž.
音楽学・演	芸術学総論講義	1、2又は4		
劇学専修	音楽学講義	1、2又は4		
	音楽学演習	1、2又は4		
	実践音楽学講義	1、2又は4		
	実践音楽学演習	1、2又は4		
	応用音楽学講義	1、2又は4		
	応用音楽学演習	1、2又は4		
	演劇学講義	1、2又は4		
	演劇学演習	1、2又は4		
	演劇史講義	1、2又は4		
****	演劇史演習	1、2又は4		
美術史学専 修	芸術学総論講義	1、2又は4		
115	美術史学講義	1、2又は4		
	美術史学演習	1、2又は4		
	日本美術史講義	1、2又は4		
	日本美術史演習	1、2又は4		
	東洋美術史講義	1、2又は4		
	東洋美術史演習	1、2又は4		
	西洋美術史講義	1、2又は4		
	西洋美術史演習	1、2又は4		
	建築・工芸史講義	1、2又は4		
その他	建築・工芸史演習 インド学の基礎	1、2又は4		
ここのが	インド字の基礎 美学	2 2		
	文芸学	2		
	音楽学	2		
	演劇学	2		
	東洋美術史	2		
	西洋美術史	2		
	日本文学研究入門	2		
	日本文学の名作を読む	2		
	比較文学入門	2		
	英米文学入門	2		
	国語学入門	2		
	英語学の基礎A	2		
	英語学の基礎B	2		
	英語学の基礎C	2		
	英語学の基礎D	2		
	世界史の考え方	2		
	西洋史学基礎A	2		
	西洋史学基礎B	2		
	日本学基礎	2		
	日本学の最前線	2		
	心理・行動科学入門	2		
	社会学の考え方	2		
	マクロ経済学の考え方	2		
	統計学A-I	2		
	統計学A-II	2		
	図学講義A	2		
	図学講義B	2		
	Basic Academic Skills for	1、2又は4		
	Humanities 1 Basic Academic Skills for			
	Humanities 2	1、2又は4		
	Introduction to Contemporary	1、2又は4		
	Japanese Studies 1	1, 4, 1, 1, 1, 1		
	Introduction to Contemporary	1、2又は4		
	Japanese Studies 2 博物館学	2又は3		
	漢文学講義	2又は3 2又は4		
Į.	VV 1 htt-4x	4/107		

専修等	授業科目名	単位数	備 耂
その他			
こ~~1世	人文学と社会講義	1、2又は4	30.1芯冊件 目
	人文学と情報講義	1、2又は4	
	共生文明論講義	1、2又は4	
	共生文明論演習 既中的#### 4 0 20 1 ## #	1、2又は4	
	歴史的地域社会論 I 講義	1、2又は4	野 思 論 科
	歴史的地域社会論 I 演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論Ⅱ講義	1、2又は4	
	歴史的地域社会論Ⅱ演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論Ⅲ講義	1、2又は4	
	歴史的地域社会論Ⅲ演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論IV講義	1、2又は4	
	歷史的地域社会論IV演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論V講義	1、2又は4	
	歷史的地域社会論V演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論VI講義	1、2又は4	
	歷史的地域社会論VI演習	1、2又は4	
	地域文化構造論 I 講義 地域文化構造論 I 演習	1、2又は4	
	地域文化構造論 I 演習	1、2又は4	
	地域文化構造論Ⅱ講義	1、2又は4	
	地域文化構造論Ⅱ演習	1、2又は4	
	地域文化構造論Ⅲ講義	1、2又は4	
	地域文化構造論Ⅲ演習	1、2又は4	
	地域文化構造論IV講義	1、2又は4 1、2又は4	
	地域文化構造論IV演習	1、2又は4 1、2又は4	
	多言語社会論講義	1、2又は4 1、2又は4	
		1、2又は4 1、2又は4	
	歴史教育論 I 講義	1、2又は4 1、2又は4	
	多言語社会論演習 歴史教育論 I 講義 歴史教育論 I 演習	1、2又は4 1、2又は4	
	歴史教育論Ⅱ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	歴史教育論Ⅱ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	正文教育冊 I	1、2又は4 1、2又は4	
	アート・メディア史演習	1、2又は4 1、2又は4	
	ノート・メティノ 史典省 メディア文化論講義	1、2又は4 1、2又は4	
	メディア文化論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	アフィノ X化調便音 映像メディア論講義	1、2又は4 1、2又は4	
	映像メディア論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	映像メディチ論演賞 空間メディア論講義	1、2又は4 1、2又は4	
	空間メアイケ論講義 空間メディア論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	空间メディア論演省 アーツ・プラクシス講義	1、2又は4 1、2又は4	
		-	
	アーツ・プラクシス演習 実践芸術学	1、2又は4 1、2又は4	
	実践芸術論講義 実践芸術論講義	1、2又は4	
	実践芸術論演習	1、2又は4	
	芸術環境論講義	1、2又は4	
	芸術環境論演習	1、2又は4	
	メディア論A講義	1、2又は4	
	メディア論A演習	1、2又は4	
	メディア論B講義	1、2又は4	
	メディア論B演習	1、2又は4	
	文化政策論講義	1、2又は4	
	文化政策論演習	1、2又は4	
	アート・プロデュース論講義	1、2又は4	
	アート・プロデュース論演習	1、2又は4	
	芸術計画論演習	1、2又は4	
	文学環境論Ⅰ講義	1、2又は4	
	文学環境論 I 演習	1、2又は4	
	文学環境論Ⅱ講義	1、2又は4	
	文学環境論Ⅱ演習	1、2又は4	
	異言語接触文学論 I 講義	1、2又は4	

専修等	授業科目名	単位数	備考
その他	異言語接触文学論I演習	1、2又は4	
	異言語接触文学論Ⅱ講義	1、2又は4	
	異言語接触文学論Ⅱ演習	1、2又は4	
	ジェンダー表象論 I 講義	1、2又は4	
	ジェンダー表象論 I 演習	1、2又は4	
	ジェンダー表象論Ⅱ講義	1、2又は4	
	ジェンダー表象論Ⅱ演習	1、2又は4	
	文学テクスト論I講義	1、2又は4	
	文学テクスト論Ⅰ演習	1、2又は4	
	文学テクスト論Ⅱ講義	1、2又は4	
	文学テクスト論Ⅱ演習	1、2又は4	
	理論文学研究講義	1、2又は4	
	理論文学研究演習	1、2又は4	
	言語生成論 I 講義	1、2又は4 1、2又は4	
	言語生成論 I 演習	1、2又は4	
	言語生成論Ⅱ講義	1、2又は4	
	言語生成論Ⅱ演習	1、2又は4	
	言語分析論 I 講義	1、2又は4 1、2又は4	
	言語分析論 I 演習	1、2又は4 1、2又は4	
	言語分析論Ⅱ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	言語分析論Ⅱ演習	1、2又は4	
	言語変化論I講義	1、2又は4 1、2又は4	
	言語変化論 I 演習	1、2又は4 1、2又は4	
	言語変化論Ⅱ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	言語変化論Ⅱ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	言語接触論Ⅰ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	言語接触論Ⅰ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	言語接触論Ⅱ講義	1、2又は4 1、2又は4	
	言語接触論Ⅱ演習	1、2又は4 1、2又は4	
	比較言語学講義	1、2又は4 1、2又は4	
	比較言語学演習	1、2又は4	
	言語学講義	1、2又は4	
	言語学演習	1、2又は4	
	世界の中のアジア史	1. 2又は4	グローバ
	グローバルフィロソフィー	1、2又は4	ル・アジ
	アジアの思想史 I	1、2又は4	ア・スタ ディーズ科
	アジアの思想史Ⅱ	1、2又は4	
	アジアの思想史Ⅲ	1、2又は4	
	アジアの思想史IV	1、2又は4	
	グローバル・アジア研究 I	1、2又は4	
	グローバル・アジア研究Ⅱ	1、2又は4	
	グローバル・アジア研究Ⅲ	1、2又は4	
	広域アジア史	1、2又は4	
	広域アジア史 I	1、2又は4	
	広域アジア史Ⅱ	1、2又は4	
	広域アジア史Ⅲ	1、2又は4	
	広域アジア史IV	1、2又は4	
	広域アジア史V	1、2又は4	
	アジアの文化と社会	1、2又は4	
	アジアの文化と社会 I	1、2又は4	
	アジアの文化と社会Ⅱ	1、2又は4	
	中国の文化と社会	1、2又は4	
	中国の文化と社会 I	1、2又は4	
	中国の文化と社会Ⅱ	1、2又は4	
	中国の文化と社会Ⅱ 中国の文化と社会Ⅲ 中国語圏文学	1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4	
	中国の文化と社会Ⅲ	1、2又は4	

専修等	授業科目名	単位数	備考
その他	中国語圏文学Ⅲ	1、2又は4	
	中国語圏文学IV	1、2又は4	
	中国語圏文学V	1、2又は4	
	アジアの芸術史	1、2又は4	
	グローバル・ユーロ思想史	1、2又は4	グローバ
	グローバル・ユーロ芸術史	1、2又は4	ル・ユー
	ヨーロッパの哲学 I	1、2又は4	ロ・ヘク
	ヨーロッパの哲学Ⅱ	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの哲学Ⅲ	1、2又は4	
	ョーロッパの哲学IV	1、2又は4	
	ヨーロッパの哲学V	1、2又は4	
	ョーロッパの哲学VI	1、2又は4	
	ョーロッパの歴史 I	1、2又は4	
	ヨーロッパの歴史Ⅱ	1、2又は4	
	ヨーロッパの歴史Ⅲ	1、2又は4	
	ョーロッパの歴史IV	1、2又は4	
	ヨーロッパの歴史V	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学 I	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学Ⅱ	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学Ⅲ	1、2又は4 1、2又は4	
	ョーロッパの文学IV	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学V	1、2又は1 1、2又は4	
	ョーロッパの文学VI	1、2又は4 1、2又は4	
	ョーロッパの文学VI	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学WI	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学IX	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学X	1、2又は1 1、2又は4	
	ョーロッパの文学X I	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学X II	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの文学XⅢ	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの芸術 I	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの芸術Ⅱ	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの芸術Ⅲ	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの芸術IV	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの現代 I	1、2又は1 1、2又は4	
	ヨーロッパの現代Ⅱ	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの現代Ⅲ	1、2又は4 1、2又は4	
	ヨーロッパの現代IV	1、2又は4 1、2又は4	
	英語		外国語科
	ドイツ語	1又は2 1又は2	目
	フランス語	1又は2 1又は2	
	ロシア語	1又は2 1又は2	
	中国語	1又は2 1又は2	
	スペイン語	1又 <i>は</i> 2	
	イタリア語	1又 <i>は</i> 2	
	ラテン語	1又は2 1又は2	
	ギリシア語	1又 <i>は</i> 2	
	サンスクリット語	1又 <i>は</i> 2	
	朝鮮語	1又 <i>は</i> 2	
	ヨーロッパ諸語	1又 <i>は</i> 2	
	アジア・アフリカ諸語	1又は2 1又は2	
	アカデミック・ライティング	1又は2 1又は2	
		, ,,,,,,	日本語科
	日本語	1又は2	目(留学生
			対象)
		· 	

各授業科目が、「専門教育科目」、「高度教養教育科目」及び「高 度国際性涵養教育科目」のいずれの区分に該当するかについては、 別に定める。

文学部履修規程(平成31(2019)年度以降の入学者適用)

- 第1条 この規程は、大阪大学文学部規程第3条第2項の規定に基づき、本学部学生の履修等に関し、必要な事項を定めるものとする。
- **第2条** 学生は、教養教育系科目について、次に示すとおりに授業科目を履修し、計14単位以上修得しなければならない。
 - (1) 全学共通教育科目
 - ア 学問への扉

学問への扉の授業科目のうちから2単位を修得すること。

イ 基盤教養教育科目

人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目及び総合型科目のうち本学部が指定する授業 科目の中から選択履修し、6単位以上を修得すること。

ウ 情報教育科目

「情報社会基礎」(2単位)を修得すること。

エ 健康・スポーツ教育科目

「スポーツ実習 A」(1単位)を必修とし、さらに、「スポーツ科学」(1単位)、「健康科学実習 A」(1単位)又は「健康科学」(1単位)のいずれかを選択履修し、計2単位を修得すること。

- オ 以上の12単位を修得した上で、基盤教養教育科目又はアドヴァンスト・セミナーを履修した場合は、それぞれ2単位を上限に教養教育系科目の単位として算入することができる。
- (2) 高度教養教育科目

次の授業科目のうちから、2年次秋学期以降に選択履修し、2単位以上を修得すること。

- ア 本学部が高度教養教育科目として開設する科目
- イ 他学部等が高度教養教育科目として提供する科目で本学部が指定する科目
- ウ 全学教育推進機構が開講する高度教養教育科目
- エ コミュニケーションデザイン科目で本学部が認める科目
- **第3条** 学生は、専門教育系科目について、次に示すとおりに授業科目を履修し、卒業論文を含め計78 単位以上修得しなければならない。
 - (1) 必修科目
 - ア 「文学部共通概説」(2単位)を修得すること。
 - イ 所属する専修の講義及び演習並びに専修が別に定める他専修の講義及び演習にわたり28単位 を修得すること。
 - ウ 英米文学・英語学、ドイツ文学又はフランス文学専修に所属する学生にあっては、前イに規定する単位に外国語科目2単位を含まなければならない。この場合において、当該専修の外国語以外の外国語科目を履修するものとし、初級科目を選択する者は、当該学生がマルチリンガル教育科目として履修した外国語以外の外国語科目を選択しなければならない。なお、外国語学部が開設する兼修語学のうち、本学部が指定する科目の単位を修得した場合は、外国語科目の単位として算入することができる。
 - (2) 選択科目

「文学部共通概説」及び卒業論文を除く本学部の授業科目の中から38単位以上を修得すること。

(3) 卒業論文

「卒業論文」(10単位)を修得すること。

- 2 英米文学・英語学、ドイツ文学及びフランス文学専修以外に所属する学生にあっては、外国語学部 が開設する兼修語学のうち、本学部が指定する科目の単位を修得した場合は、2単位を上限に選択科 目の単位として算入することができる。
- 3 在学中に、他の大学、専門職大学若しくは短期大学(専門職短期大学を含む。以下同じ。)又は外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。)若しくは短期大学で修得した単位は、24単位まで選択科目として認められることがある。
- 第4条 専門教育系科目において演習は、必修科目及び選択科目を合わせて20単位以上修得しなければならない。
- 第5条 卒業論文は、4年次の所定の期日までに提出するものとする。
- **第6条** 学生は、国際性涵養教育系科目について、次に示すとおり授業科目を履修し、28単位以上を修得しなければならない。
 - (1) 全学共通教育科目(マルチリンガル教育科目)
 - ①第1外国語として、総合英語のうち本学部が指定する授業科目の中から選択履修し6単位、実践英語のうち本学部が指定する授業科目の中から選択履修し2単位を修得すること。ただし、英語を母語とする外国人留学生及び特別な理由のある者については、第2外国語として設定されているドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語のうちから1外国語を選択し、第1外国語として履修することができる。
 - ②第2外国語として、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、スペイン語及びイタリア語のうちから1外国語を選択履修し、本学部が指定する授業科目から4単位を修得すること。ただし、外国人留学生については、1外国語として日本語を選択することができる。なお、①のただし書によって第1外国語に替えた外国語は、第2外国語として選択することができない。
 - ③選択外国語として、選択外国語の授業科目の中から4単位、又は「第2外国語」として開講されているドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語の中から(第2外国語として選択している外国語を除く。) 1外国語を選択し4単位を修得すること。
 - ④グローバル理解のうち本学部が指定する授業科目から第2外国語として履修する外国語と関連する科目を選択履修し、8単位を修得すること。ただし、①のただし書によって第1外国語で英語以外の外国語を履修した者は、当該外国語と関連する科目を8単位修得しなければならない。また、外国人留学生で第2外国語の日本語を選択履修した場合は、「多文化コミュニケーション(日本語)」の科目を8単位修得すること。
 - ⑤以上の24単位を修得した上で、第2外国語の上級科目又はグローバル理解の「特別外国語演習」 の科目を履修した場合は、それぞれ2単位を上限に国際性涵養教育系科目の単位として算入するこ とができる。
 - (2) 高度国際性涵養教育科目

次の授業科目のうちから、2年次秋学期以降に選択履修し、4単位以上を修得すること。

- ア 本学部が開設する高度国際性涵養教育科目
- イ 他学部が高度国際性涵養教育科目として提供する科目のうち本学部が指定する科目
- ウ 国際交流科目及びグローバルイニシアティブ科目のうち、本学部が認める科目
- **第7条** 履修科目の選択については、指導教員から指示することがある。
- **第8条** 教育職員免許状等を取得しようとする者は、教育職員免許法等の関係法令に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 第9条 学士入学者は、本学部に2年以上在学し、次に示すとおり修得しなければならない。
 - (1) 第2条第2号で定める高度教養教育科目の中から2単位以上を修得すること。
 - (2) 第3条で定める専門教育系科目のうち、必修科目(「文学部共通概説」を除く。) 28単位、選択

科目26単位以上及び卒業論文10単位を修得すること。

- (3) 第6条第2号で定める高度国際性涵養教育科目の中から2単位以上を修得すること。
- 第10条 入学前に大学、専門職大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は、30単位まで本学部において修得したものとして認定することができる。

附 則

- 1 この改正は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日現在本学部に在学中の者(以下この項において「在学者」という。)及び平成31年4月1日以後において在学者の属する年次に学士入学、再入学又は転部する者については、改正後の第1条から第4条まで、第6条、第7条及び第9条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の場合において、改正前の第3条第3項中「グローバルコラボレーション科目」とあるのは、「グローバルコラボレーション科目、グローバルイニシアティブ科目」と、「他の大学若しくは短期大学又は外国の大学」とあるのは、「他の大学、専門職大学若しくは短期大学(専門職短期大学を含む。以下同じ。)又は外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。)」と、それぞれ読み替えるものとする。

文学部履修規程(平成26年度~平成30年度の入学者適用)

- 第1条 この規程は、大阪大学文学部規程第3条第3項の規定に基づき、本学部学生の履修等に関し、必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 学生は、全学共通教育科目について、次に示すとおりに授業科目を履修し、計42単位以上修得しなければならない。
- 必 修(40単位)
 - (1) 共通教育系科目
 - ア 教養教育科目

基礎教育科目の「基礎教養1」から2単位及び「基礎教養2」から2単位、現代教養科目から2単位、先端教養科目又は国際教養科目の「国際教養1」から2単位並びに国際教養科目の「国際教養2」から第2外国語として履修する外国語と関連する科目を8単位選択履修し計16単位

- イ 言語・情報教育科目
 - ① 第1外国語として、英語の授業科目の中から8単位

ただし、英語を母語とする外国人留学生及び特別な理由のある者については、第1外国語として、英語のほか、第2外国語として開講されているドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語のうち1外国語を履修することができる。その場合、国際教養科目の「国際教養2」から当該外国語と関連する科目を8単位履修しなければならない。

② 第2外国語として、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、スペイン語及びイタリア語の中から1外国語を選択し4単位

ただし、外国人留学生については、1外国語として日本語を選択することができる。

なお、①のただし書きによって第1外国語に替えた外国語は、第2外国語として選択すること ができない。

- ③ 選択外国語として、選択外国語の授業科目の中から4単位又は第2外国語として開講されているドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語の中から(第2外国語として選択している外国語を除く。) 1 外国語を選択し4 単位
- ④ 情報処理教育科目として、「情報活用基礎」(2単位)を必修とし2単位
- ウ 健康・スポーツ教育科目

「スポーツ実習A」(1単位)を必修とし、さらに、「スポーツ科学」(1単位)、「健康科学実習A」(1単位)、「健康科学」(1単位)のいずれかを選択履修し計2単位

(2) 専門教育系科目

専門基礎教育科目の中で、本学部が指定した授業科目の中から4単位

選 択(2単位以上)

必修として指定された単位数以外に教養教育科目(基礎教養科目の「基礎教養1」及び「基礎教養2」、現代教養科目、先端教養科目、国際教養科目の「国際教養1」)、「国際教養2」のうち特別外国語演習科目、言語・情報教育科目、基礎セミナー並びに専門基礎教育科目の中から2単位以上。なお、上の授業科目のうち、専門基礎教育科目を4単位を超えて修得した場合は、その超えた単位のうち2単位を優先的に選択に充当する。

- 第3条 学生は、専門教育科目について、次に示すとおりに授業科目を履修し、卒業論文を含め計88単位 以上修得しなければならない。
 - (1) 必修科目

ア 文学部共通概説 2 単位

- イ 所属する専修の講義及び演習並びに専修が別に定める他専修の講義及び演習にわたり 28 単位
- ウ 英米文学・英語学、ドイツ文学又はフランス文学専修に所属する学生にあっては、前イに規定する単位に外国語科目2単位を含まなければならない。この場合において、当該専修の外国語以外の外国語科目を履修するものとし、初級科目を選択する者は、当該学生が共通教育系科目として履修した外国語以外の外国語科目を選択しなければならない。
- (2) 選択科目

文学部共通概説及び卒業論文を除く本学部の授業科目の中から48単位以上

(3) 卒業論文

10単位

- 2 第2条の必修の第2号に定める専門基礎教育科目について4単位を超えて修得した場合、その超えた 単位のうち2単位は第2条の選択の単位に充当し、その上で、本学部専任教員が担当した授業科目に限 り、6単位まで前項第2号に定める選択科目の単位として認められることがある。
- 3 在学中に、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目、グローバルコラボレーション科目及び 他学部、他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は、24単位まで選 択科目として認められることがある。
- 第4条 専門教育科目において演習は、必修科目及び選択科目を合わせて20単位以上修得しなければならない。
- 第5条 卒業論文は、4年次秋~冬学期の所定の期日までに提出するものとする。
- 第6条 履修科目の選択については、指導教員から指示することがある。
- 第7条 教育職員免許状等を取得しようとする者は、教育職員免許法等の関係法令に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 2 前項により履修しようとする授業科目は、教職に関する科目を除いて、専門教育科目の必修科目又は 選択科目に含めることができる。
- 第8条 学士入学者は、本学部に2年以上在学し、第3条に規定する授業科目のうち、必修科目(文学部 共通概説を除く。)28単位、選択科目30単位、卒業論文10単位、計68単位以上修得しなければならない。
- 2 第2条の必修の第2号に定める専門基礎教育科目を学士入学後に修得した場合、本学部専任教員が担当する授業科目に限り、4単位まで前項の選択科目として認められることがある。
- 第9条 入学前に、大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は30単位まで本学部において修得したものとして認定することができる。

附 則

(略)

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

文学部履修規程(平成25年度以前の入学者適用)

- 第1条 この規程は、大阪大学文学部規程第3条第3項の規定に基づき、本学部学生の履修等に関し、必要な事項を定めるものとする。
- 第2条 学生は、全学共通教育科目について、次に示すとおりに授業科目を履修し、計42単位以上修得しなければならない。
- 必 修(40単位)
 - (1) 共通教育系科目
 - ア 教養教育科目

基礎教育科目の「基礎教養1」から2単位及び「基礎教養2」から2単位、現代教養科目から2単位、先端教養科目又は国際教養科目の「国際教養1」から2単位並びに国際教養科目の「国際教養2」から第2外国語として履修する外国語と関連する科目を8単位選択履修し計16単位

- イ 言語・情報教育科目
 - ① 第1外国語として、英語の授業科目の中から8単位

ただし、英語を母語とする外国人留学生及び特別な理由のある者については、第1外国語として、英語のほか、第2外国語として開講されているドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語のうち1外国語を履修することができる。その場合、国際教養科目の「国際教養2」から当該外国語と関連する科目を8単位履修しなければならない。

② 第2外国語として、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、スペイン語及びイタリア語の中から1外国語を選択し4単位

ただし、外国人留学生については、1外国語として日本語を選択することができる。

なお、①のただし書きによって第1外国語に替えた外国語は、第2外国語として選択すること ができない。

- ③ 選択外国語として、選択外国語の授業科目の中から4単位又は第2外国語として開講されているドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語の中から(第2外国語として選択している外国語を除く。)1 外国語を選択し4単位
- ④ 情報処理教育科目として、「情報活用基礎」(2単位)を必修とし2単位
- ウ 健康・スポーツ教育科目

「スポーツ実習A」(1単位)を必修とし、さらに、「スポーツ科学」(1単位)、「健康科学実習A」(1単位)、「健康科学」(1単位)のいずれかを選択履修し計2単位

(2) 専門教育系科目

専門基礎教育科目の中で、本学部が指定した授業科目の中から4単位

選 択(2単位以上)

必修として指定された単位数以外に教養教育科目(基礎教養科目の「基礎教養1」及び「基礎教養2」、現代教養科目、先端教養科目、国際教養科目の「国際教養1」)、言語・情報教育科目、基礎セミナー並びに専門基礎教育科目の中から2単位以上。なお、上の授業科目のうち、専門基礎教育科目を4単位を超えて修得した場合は、その超えた単位のうち2単位を優先的に選択に充当する。

- 第3条 学生は、専門教育科目について、次に示すとおりに授業科目を履修し、卒業論文を含め計88単位 以上修得しなければならない。
 - (1) 必修科目
 - ア 文学部共通概説 2 単位
 - イ 所属する専修の講義及び演習並びに専修が別に定める他専修の講義及び演習にわたり 28 単位

- ウ 英米文学・英語学、ドイツ文学又はフランス文学専修に所属する学生にあっては、前イに規定する単位に外国語科目2単位を含まなければならない。この場合において、当該専修の外国語以外の外国語科目を履修するものとし、初級科目を選択する者は、当該学生が共通教育系科目として履修した外国語以外の外国語科目を選択しなければならない。
- (2) 選択科目

文学部共通概説を除く本学部の授業科目の中から48単位以上

(3) 卒業論文

10単位

- 2 第2条の必修の第2号に定める専門基礎教育科目について4単位を超えて修得した場合、その超えた 単位のうち2単位は第2条の選択の単位に充当し、その上で、本学部専任教員が担当した授業科目に限 り、6単位まで前項第2号に定める選択科目の単位として認められることがある。
- 3 在学中に、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目、グローバルコラボレーション科目及び 他学部、他の大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は、24単位まで選 択科目として認められることがある。
- 第4条 専門教育科目において演習は、必修科目及び選択科目を合わせて20単位以上修得しなければならない。
- 第5条 卒業論文は、4年次秋~冬学期の所定の期日までに提出するものとする。
- 第6条 履修科目の選択については、指導教員から指示することがある。
- 第7条 教育職員免許状等を取得しようとする者は、教育職員免許法等の関係法令に定める授業科目の単位を修得しなければならない。
- 2 前項により履修しようとする授業科目は、教職に関する科目を除いて、専門教育科目の必修科目又は 選択科目に含めることができる。
- 第8条 学士入学者は、本学部に2年以上在学し、第3条に規定する授業科目のうち、必修科目(文学部 共通概説を除く。)28単位、選択科目30単位、卒業論文10単位、計68単位以上修得しなければならない。
- 2 第2条の必修の第2号に定める専門基礎教育科目を学士入学後に修得した場合、本学部専任教員が担当する授業科目に限り、4単位まで前項の選択科目として認められることがある。
- 第9条 入学前に、大学若しくは短期大学又は外国の大学若しくは短期大学で修得した単位は30単位まで本学部において修得したものとして認定することができる。

附 則

(略)

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

大阪大学文学部における卒業論文の評価基準

- 1. 卒業論文は、提出者自身の単著であるとともに、自立的ないし主体的に取り組んだ研究の成果でなければならない。
- 2. 卒業論文は、各専修で指定した言語により書かれるものとする。また、題目は本文と同じ言語によるものとする。
- 3. 各専修は、以下のような評価項目の中から研究分野に相応しい評価項目を定めて評価を行う。なお、各専修は必要に応じて評価項目を追加することができる。
 - ○対象テクストを正確に読解している。
 - ○選択した研究方法に従ってデータや資史料などを的確に収集・処理している。
 - ○先行研究を踏まえ、また基本的な文献調査を行うなど、学問的研究方法を着実に身につけて いる。
 - ○着眼点の斬新さ、新たな知見、分析の切り口の面白さ等を有している。
 - ○適切な文章表現による論述が行われており、全体的によくまとまっている。
 - ○研究課題への真摯な取り組みが認められる。
- 4. 卒業論文の評価は、次のような基準により行うものとする。
 - (1)各専修において定める評価項目のすべてを満たしていない論文はF評価とする。
 - (2)各専修において定める評価項目のいくつかを充分に満たしていない論文は、B、Cいずれかの評価とする。なお、B評価あるいは C評価は、各評価項目を満たしている程度に基づいて行われるものとする。
 - (3)各専修において定める評価項目を概ね満たし優れていると認められる論文は、A 評価とする。 さらに、評価項目のいくつかにおいてたいへん優れている論文は、S に近い A 評価 (85 点以上) とする。
 - (4)各専修の定める評価項目のほぼ全てにおいてたいへん優れており、卒業論文として高い水準に あると認められる論文は、S評価とする。なお、S評価の場合、学部教授会で評価理由の補足説 明を行うこととする。

大学院学生に関する規程等

- · 大阪大学大学院文学研究科規程
- ・大阪大学大学院文学研究科履修規程[平成31(2019)年度以降の入学者適用]
- ・大阪大学大学院文学研究科における修士論文の評価基準
- ・大阪大学大学院文学研究科における博士学位申請論文の審査基準

大阪大学大学院文学研究科規程

第1章 総則

(趣旨及び目的)

- **第1条** この規程は、大阪大学大学院学則に基づき、大阪大学大学院文学研究科(以下「本研究科」という。) における必要な事項を定めるものとする。
- 2 本研究科は、人文学の教育研究を通じて、高度の研究能力を有し、将来の人文学を担いうる研究者及び高度の専門的知識を備え、社会において専門職業人として活躍しうる人材を養成することを目的とする。

(専攻及び課程)

第2条 本研究科に、次の専攻を置く。

文化形態論専攻

文化表現論専攻

文化動態論専攻

- 2 本研究科の課程は、博士課程とする。ただし、文化動態論専攻の課程は、修士課程とする。
- 3 博士課程は、これを前期2年の課程(以下「前期課程」という。)及び後期3年の課程(以下「後期課程」という。)に区分する。
- 4 前期課程は、これを修士課程として取り扱う。

(専門分野及びコース専攻)

第3条 各専攻に、次の専門分野又はコースを置く。

文化形態論専攻 文化基礎学専門分野、地域社会論専門分野、哲学哲学史専門分野、現代思想文化学

専門分野、臨床哲学専門分野、中国哲学専門分野、インド学・仏教学専門分野、日本学専門分野、日本史学専門分野、東洋史学専門分野、西洋史学専門分野、考古学

専門分野、人文地理学専門分野

文化表現論専攻 言語文芸学専門分野、文献情報学専門分野、異文化交流論専門分野、日本文学専門

分野、比較文学専門分野、中国文学専門分野、英米文学専門分野、ドイツ文学専門 分野、フランス文学専門分野、国語学専門分野、日本語学専門分野、英語学専門分

野、美学・文芸学専門分野、音楽学・演劇学専門分野、美術史学専門分野

文化動態論専攻 共生文明論コース、アート・メディア論コース、文学環境論コース、言語生態論コ

(教育方法)

- 第4条 本研究科の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。) によって行う。
- 2 本研究科の授業科目の単位の計算方法は、15時間をもって1単位とする。ただし、外国語科目は30時間をもって1単位とする。

(指導教員)

- 第5条 学生には、所属する専門分野又はコースに応じて指導教員を定める。
- 2 前項に定めるもののほか、必要に応じて副指導教員を定める。

第2章 前期課程

(授業科目及び単位数)

第6条 前期課程の授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。

(学修方法)

- 第7条 前期課程の学生は、必要な研究指導を受けるほか、大阪大学大学院文学研究科履修規程(以下「履修規程」という。)により別に定められた履修方法により30単位以上を修得しなければならない。
- 2 学生は、研究科長が教育上有益と認めるときは、他の研究科の授業科目を履修することができる。
- 3 学生は、研究科長が教育上有益と認めるときは、大学院横断教育科目、リーディングプログラム科目又は グローバルイニシアティブ科目を履修することができる。
- 4 研究指導については、毎学年末に研究概要を報告しなければならない。

(長期にわたる課程の履修)

- 第7条の2 研究科長は、学生が、職業を有している等の事情により、2年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。
- 2 前項の規定により計画的な履修を許可された学生に関し必要な事項は、別に定める。

(履修及び研究計画の届出)

第8条 学生は、毎学年の始めに、授業科目を履修し、かつ、研究指導を受けるため、指導教員の指示に基づき履修計画及び研究計画を作成し、所定の期日までに研究科長に届け出なければならない。

(履修科目の試験)

- 第9条 履修した授業科目の試験は、筆記試験若しくは口頭試験又は研究報告によって行うものとする。
- 2 前項の規定による試験は、学期末、学年末その他授業科目担当教員の都合等により適当な時期に行う。 (単位の授与)
- 第10条 前条の規定による試験に合格した授業科目については、所定の単位を授与する。

(修士論文の提出)

- 第11条 修士論文を提出しようとする学生は、前期課程又は修士課程に1年を超えて在学し、16単位以上 を修得し、かつ、研究指導を受けていなければならない。
- 2 修士論文の題目は、指導教員の承認を得て、あらかじめ指定する期日までに研究科長に届け出なければならない。
- 3 修士論文は、あらかじめ指定する期日までに研究科長に提出しなければならない。

(修士論文の審査及び最終試験)

- 第12条 修士論文の審査は、本研究科教授会(以下「教授会」という。)において委嘱する教授2名以上又は 教授1名及び催教授1名を含む2名以上の委員からなる審査委員会がこれを行い、その報告を受け、教授会 が合否を審議し、議決する。
- 2 修士論文の審査に当たって必要があるときは、教授会の議を経て、他の大学院等の教員等の協力を得ることができる。
- 第13条 前期課程の最終試験は、第7条に規定する単位を修得し、研究指導を受け、かつ、修士論文を提出 した者について行う。
- 2 最終試験は、審査委員会が修士論文及びこれに関連のある授業科目について筆記試験又は口頭試験により 行い、その報告を受け、教授会が合否を審議し、議決する。

(入学)

第14条 前期課程に入学を志願する者については、教授会の議を経て選考するものとする。

第3章 修士課程

(授業科目及び単位数)

第15条 修士課程の授業科目及び単位数は、別表2のとおりとする。

(学修方法)

- **第16条** 修士課程の学生は、必要な研究指導を受けるほか、履修規程により別に定められた履修方法により30単位以上を修得しなければならない。
- 2 他の研究科の授業科目の履修については、第7条第2項の規定を準用する。
- 3 大学院横断教育科目、リーディングプログラム科目及びグローバルイニシアティブ科目の履修については、 第7条第3項の規定を準用する。
- 4 研究指導については、第7条第4項の規定を準用する。

(長期にわたる課程の履修)

第17条 長期にわたる課程の履修については、第7条の2の規定を準用する。

(履修及び研究計画の届出)

第18条 履修計画及び研究計画の届出については、第8条の規定を準用する。

(履修科目の試験)

第19条 履修した授業科目の試験については、第9条の規定を準用する。

(単位の授与)

第20条 単位の授与については、第10条の規定を準用する。

(修士論文の提出)

- 第21条 修士論文(特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代える場合は、当該研究の成果とする。以下同じ。)を提出しようとする学生は、修士課程に1年を超えて在学し、16単位以上を修得し、かつ、研究指導を受けていなければならない。
- 2 修士論文の題目の届け出については、第11条第2項の規定を準用する。
- 3 修士論文の提出については、第11条第3項の規定を準用する。

(修士論文の審査及び最終試験)

- 第22条 修士論文の審査については、第12条の規定を準用する。
- 2 修士課程の最終試験は、第16条に規定する単位を修得し、研究指導を受け、かつ、修士論文を提出した者について行う。
- 3 最終試験の方法並びに合否の審議及び議決については、第13条第2項の規定を準用する。

(入学)

第23条 修士課程に入学を志願する者については、第14条の規定を準用する。

第4章 後期課程

(授業科目及び単位数)

第24条 後期課程の授業科目及び単位数は、別表3のとおりとする。

(学修方法)

- 第25条 後期課程の学生は、必要な研究指導を受けるほか、履修規程により別に定められた履修方法により 8単位以上を修得しなければならない。
- 2 研究指導については、第7条第4項の規定を準用する。

(長期にわたる課程の履修)

- **第26条** 研究科長は、学生が、職業を有している等の事情により、3年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。
- 2 前項の規定により計画的な履修を許可された学生に関し必要な事項は、別に定める。

(履修及び研究計画の届出)

第27条 履修計画及び研究計画の届出については、第8条の規定を準用する。

(履修科目の試験)

第28条 履修した授業科目の試験については、第9条の規定を準用する。

(単位の授与)

第29条 単位の授与については、第10条の規定を準用する。

(博士論文の提出)

- 第30条 博士論文を提出しようとする学生は、後期課程に2年6月を超えて在学し、6単位以上を修得し、研究指導を受け、博士論文の構想を届け出、かつ、博士予備論文を提出してその審査に合格していなければならない。
- 2 博士論文の構想は、指導教員の指示に基づいて作成し、あらかじめ指定する期日までに研究科長に届け出なければならない。
- 3 博士予備論文は、指導教員の研究指導の下に作成し、あらかじめ指定する期日までに研究科長に提出しなければならない。
- 4 第1項から第3項までの規定にかかわらず、6単位以上を修得し、研究指導を受け、かつ、優れた研究業績を上げた者で、研究科長が、教授会の議を経て特に認めた場合に限り後期課程に半年を超えて在学していれば、博士論文を提出することができる。ただし、在学期間に関しては、前期課程又は修士課程を2年未満の在学期間で修了した者については、後期課程と通算して2年6月を超えて在学していなければならない。
- 5 博士論文は、指導教員を通じて、あらかじめ指定する期日までに研究科長に提出しなければならない。

(博士論文の審査及び最終試験)

- 第31条 博士論文の審査は、教授会において委嘱する教授2名を含む3名以上の委員からなる審査委員会が これを行い、その報告を受け、教授会が合否を審議し、議決する。
- 2 博士論文の審査に当たって必要があるときは、教授会の議を経て、他の大学院等の教員等の協力を得ることができる。
- 3 後期課程の最終試験は、第25条に規定する単位を修得し、研究指導を受け、かつ、博士論文を提出した 者について行う。
- 4 最終試験の方法並びに合否の審議及び議決については、第13条第2項の規定を準用する。

(入学)

第32条 後期課程に入学を志願する者については、第14条の規定を準用する。

第5章 他の大学院等又は外国の大学院等における学修等及び単位等の認定

(履修及び研究指導)

- 第33条 教授会の議を経て、研究科長が教育上有益と認めるときは、学生に他の大学院等又は外国の大学院等の授業科目を第4条に規定する授業科目として履修させることができる。
- 2 教授会の議を経て、研究科長が教育上有益と認めるときは、学生に他の大学院等又は外国の大学院等において研究指導を受けさせることができる。
- 3 前項の規定による研究指導を受ける期間は1年とする。ただし、前期課程又は修士課程の学生が研究指導を受ける場合を除き、必要があるときは1年ごとに期間の延長を願い出て許可を得なければならない。
- 4 前3項の規定に基づき、授業科目を履修し、又は研究指導を受けようとする学生は、あらかじめ所定の手続によって申請し、許可を得なければならない。

(単位等の認定)

- 第34条 前条の規定により、修得した単位等については、審査の上、これを第7条、第16条及び第25条 に規定する授業科目の単位又は研究指導として認定することができる。
- 2 前項の規定により修得した授業科目の単位は、履修規程の定めるところにより、修了に要する単位に算入することができる。

- 第35条 教授会の議を経て、研究科長が教育上有益と認めるときは、学生が本研究科入学前に大学院において修得した授業科目の単位(大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条において準用する大学設置基準(昭和38年文部省令第28号)第31条第1項に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。)を審査の上、本研究科において修得したものとして認定することができる。
- 2 前項の規定により修得した授業科目の単位は、履修規程の定めるところにより、修了に要する単位に算入することができる。

第6章 特別研究学生、特別聴講学生、科目等履修生及び研究生

(特別研究学生)

- **第36条** 他の大学院又は外国の大学院に在学する学生で本研究科において研究指導を受けようとする者は、 所定の手続により研究科長に願い出るものとする。
- 2 前項の規定による出願者については、選考の上、特別研究学生として受け入れることができる。
- 3 特別研究学生の在学期間は、1年以内とする。ただし、研究の必要により引き続き在学を希望する者は、研究科長に期間の延長を願い出て、許可を得なければならない。

(特別聴講学生)

- 第37条 他の大学院等又は外国の大学院等に在学する学生で、本研究科の授業科目を履修しようとする者は、 所定の手続により研究科長に願い出るものとする。
- 2 前項の規定による出願者については、選考の上、特別聴講学生として受け入れることができる。
- 3 特別聴講学生の在学期間は、履修する授業科目所定の授業期間とする。
- 4 特別聴講学生の履修科目の試験及び単位の授与については、第9条、第10条、第19条、第20条、第28条及び第29条の規定を準用する。

(科目等履修生)

- 第38条 科目等履修生として本研究科の授業科目を履修しようとする者は、所定の手続により研究科長に願い出るものとする。
- 2 前項の規定による出願者については、当該授業科目を履修するのに必要な学力を有する者のうちから選考 の上、受け入れることができる。
- 3 科目等履修生の入学時期は、春学期又は秋学期の始めとする。
- 4 科目等履修生の在学期間は、履修を許可された授業科目が開講される期間とする。ただし、引き続き在学を希望する者が研究科長に願い出て許可を受けた場合は、この限りではない。
- 5 科目等履修生の履修科目の試験及び単位の授与については、第9条、第10条、第19条、第20条、第 28条及び第29条の規定を準用する。

(研究生)

- **第39条** 研究生として本研究科において特定事項について攻究しようとする者は、所定の手続により研究科 長に願い出るものとする。
- 2 前項の規定による出願者については、選考の上、研究生として受け入れることがで きる。
- 3 研究生として入学を志願することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。
 - (1) 修士の学位を有する者
 - (2) 教授会の議を経て、研究科長が前号と同等以上の学力があると認めた者
- 4 研究生の入学時期は、学年の始めとする。ただし、特別の事情があるとときは、この限りでない。
- 5 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、研究の必要により引き続き在学を希望する者は、研究科 長に期間の延長を願い出て、許可を得なければならない。

第7章 補則

(規程外事項の処理)

第40条 この規程に定めるもののほか、本研究科に関する必要な事項は、教授会の議を経て、研究科長が定める。

附 則

(略)

附 則

- 1 この改正は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日現在在学中の者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の場合において、改正前の第6条第3項中「大学院横断教育科目」とあるのは、「大学院横断教育科目又はグローバルイニシアティブ科目」と、第14条第3項中「大学院横断教育科目」とあるのは、「大学院横断教育科目又はグローバルイニシアティブ科目」と、改正前の別表1の文化形態論専攻の表の日本史学専門分野の項中「

日本現代史演習	1、2又は4	
」とあるのは、		
日本現代史演習	1、2又は4	
日本文化史講義	1、2又は4	
日本文化史演習	1、2又は4	
」と、改正前の別表3の文化	上形態論専攻の表の日本史学	専門分野の項中「
日本現代史特殊演習	1、2又は4	
」とあるのは、		
日本現代史特殊演習	1、2又は4	
日本文化史特殊講義	1、2又は4	
日本文化史特殊演習	1、2又は4	

」と、それぞれ読み替えるものとする。

附 則

この改正は、令和3年4月1日から施行する。

別表1 博士前期課程授業科目表

各専攻共通

分野等	授業科目名	単位数	備	考	専門分野等		単位数	備考
	インターフェイス人文学講義	1、2又は4			共通科目	世界のなかの日本美術	1、2又は4	グローバル・ ジャパン・2
	インターフェイス人文学演習	1、2又は4				世界のなかの日本演劇	1、2又は4	タディーズ和
	メディア人文学講義	1、2又は4				現代日本のポピュラー音楽	1、2又は4	目
	メディア人文学演習	1、2又は4				日本の民俗と宗教	1、2又は4	
	コンフリクトの人文学講義	1、2又は4				日本の社会と思想	1、2又は4	
	コンフリクトの人文学演習	1、2又は4				異文化交流のなかの日本	1、2又は4	
	地域社会論講義	1、2又は4				世界の中のアジア史	1、2又は4	グローバル・アジア・スタ
	地域社会論演習	1、2又は4				グローバルフィロソフィー	1、2又は4	ディーズ科目
	言語文芸論講義	1、2又は4				グローバル・アジア研究 I	1、2又は4	
	言語文芸論演習	1、2又は4				グローバル・アジア研究Ⅱ	1、2又は4	
	言語科学講義	1、2又は4				グローバル・アジア研究Ⅲ	1、2又は4	
	言語科学演習	1、2又は4				広域アジア史 I	1、2又は4	
	文献情報学講義	1、2又は4				広域アジア史Ⅱ	1、2又は4	
	文献情報学演習	1、2又は4				広域アジア史Ⅲ	1、2又は4	
	異文化交流論講義	1、2又は4				広域アジア史IV	1、2又は4	
	異文化交流論演習	1、2又は4				広域アジア史V	1、2又は4	
	現代日本文化論講義	1、2又は4				アジアの思想史 I	1、2又は4	
	現代日本文化論演習	1、2又は4				アジアの思想史Ⅱ	1、2又は4	
		1、2又は4 1、2又は4				アジアの思想史Ⅲ	1、2又は4	
	現代日本思想論演習	1、2又は4				アジアの思想史IV	1、2又は4	
	現代日本社会環境論講義	1、2又は4				アジアの芸術史	1、2又は4	
	現代日本社会環境論演習	1、2又は4 1、2又は4				アジアの文化と社会 I	1、2又は4	
	現代日本社会論講義	1、2又は4 1、2又は4				アジアの文化と社会Ⅱ	1、2又は4 1、2又は4	
	現代日本社会論演習	1、2又は4 1、2又は4				中国語圏文学Ⅰ	1、2又は4 1、2又は4	
	現代日本芸術論講義	1、2又は4 1、2又は4				中国語圏文学Ⅱ	1、2又は4 1、2又は4	
	現代日本芸術論演習	1、2又は4 1、2又は4				中国語圏文学Ⅲ	1、2又は4 1、2又は4	
	現代日本玄州論俱自	1、2又は4 1、2又は4				中国語圏文学IV	1、2又は4 1、2又は4	
	現代日本文学論演習					中国語圏文学V	1、2又は4 1、2又は4	
		1、2又は4				中国語画文子 V 中国の文化と社会 I		
	比較文明論講義 比較文明論演習	1、2又は4				中国の文化と社会Ⅱ	1、2又は4	
		1、2又は4					1、2又は4	
	比較思想論講義 比較思想論演習	1、2又は4				中国の文化と社会Ⅲ ヨーロッパの哲学 I	1、2又は4 1、2又は4	グローバル
		1、2又は4				l '	1、2又は4 1、2又は4	ユーロ・ス
	比較歴史論講義	1、2又は4				ヨーロッパの哲学Ⅱ		ディーズ科
	比較歴史論演習	1、2又は4				ヨーロッパの哲学Ⅲ	1、2又は4	
		1、2又は4				ョーロッパの哲学IV	1、2又は4	
	比較社会環境論演習	1、2又は4				ョーロッパの哲学V	1、2又は4	
	比較芸術論講義	1、2又は4				ョーロッパの哲学VI	1、2又は4	
		1、2又は4				ョーロッパの歴史 I	1、2又は4	
	比較言語論講義	1、2又は4				ヨーロッパの歴史Ⅱ	1、2又は4	
		1、2又は4				ョーロッパの歴史Ⅲ	1、2又は4	
	言語と社会	1、2又は4				ヨーロッパの文学 I	1、2又は4	
	アジアにおけるマイノリティと政治	1、2又は4				ヨーロッパの文学Ⅱ	1、2又は4	
						ヨーロッパの文学Ⅲ	1、2又は4	
	アジアにおける人の移動	1、2又は4	グロー	バル・		ヨーロッパの文学IV	1、2又は4	
	Academic Skills for Humanities 1	1、2又は4	ジャパ	ン・ス		ヨーロッパの文学V	1、2又は4	
			タディ 日	ーズ科		ヨーロッパの文学VI	1、2又は4	
	Academic Skills for Humanities 2	1、2又は4	П			ヨーロッパの文学Ⅶ	1、2又は4	
	Issues in Contemporary Japanese	1、2又は4				ョーロッパの文学Ⅷ	1、2又は4	
	Studies 1	1、4又144				ョーロッパの文学IX	1、2又は4	
	Issues in Contemporary Japanese	1、2又は4				ヨーロッパの文学X	1、2又は4	
	Studies 2 世界のなかの日本中 I					ョーロッパの文学X I	1、2又は4	
	世界のなかの日本史Ⅰ	1、2又は4				ョーロッパの文学X Ⅱ	1、2又は4	
	世界のなかの日本史Ⅱ	1、2又は4				ョーロッパの文学XIII	1、2又は4	
	世界文学のなかの日本文学I	1、2又は4				ヨーロッパの芸術 [1、2又は4 1、2又は4	
	111 mm 1 334 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3						1, 4/104	I
	世界文学のなかの日本文学Ⅱ	1、2又は4				ヨーロッパの芸術 Π	1 9 ♥ l+1	
	日本語の歴史	1、2又は4				ヨーロッパの芸術Ⅱ	1、2又は4 1、2又は4	
	日本語の歴史					ヨーロッパの芸術Ⅱ ヨーロッパの芸術Ⅲ ヨーロッパの芸術Ⅳ	1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4	

専門分野等	授業科目名	単位数	備考
共通科目	ヨーロッパの現代Ⅱ	1、2又は4	グローバル・
	ヨーロッパの現代Ⅲ	1、2又は4	ユーロ・スタ ディーズ科目
	ヨーロッパの現代IV	1、2又は4	
	英語	1又は2	外国語科目
	ドイツ語	1又は2	
	フランス語	1又は2	
	ロシア語	1又は2	
	中国語	1又は2	
	スペイン語	1又は2	
	イタリア語	1又は2	
	ラテン語	1又は2	
	ギリシア語	1又は2	
	サンスクリット語	1又は2	
	朝鮮語	1又は2	
	ヨーロッパ諸語	1又は2	
	アジア・アフリカ諸語	1又は2	
	アドバンスト・アカデミック・ライ ティング	1又は2	
	日本語	1又は2	日本語科目 (留学生対象)

文化形態論専攻

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
哲学哲学史	哲学哲学史講義	1、2又は4		
専門分野	哲学哲学史演習	1、2又は4		
	西洋哲学史講義	1、2又は4		
	西洋哲学史演習	1、2又は4		
	比較哲学講義	1、2又は4		
	比較哲学演習	1、2又は4		
	言語哲学講義	1、2又は4		
	言語哲学演習	1、2又は4		
	存在論講義	1、2又は4		
	存在論演習	1、2又は4		
	認識論講義	1、2又は4		
	認識論演習	1、2又は4		
	哲学哲学史修士論文作成演習	1、2又は4		
現代思想文	現代思想文化学講義	1、2又は4		
化学専門分 野	現代思想文化学演習	1、2又は4		
到了	現代思想文化形成史講義	1、2又は4		
	現代思想文化形成史演習	1、2又は4		
	生命思想論講義	1、2又は4		
	生命思想論演習	1、2又は4		
	環境思想論講義	1、2又は4		
	環境思想論演習	1、2又は4		
	科学思想講義	1、2又は4		
	科学思想演習	1、2又は4		
	現代思想文化学修士論文作成演習	1、2又は4		
臨床哲学専 門分野	倫理学講義	1、2又は4		
門分野	倫理学演習	1、2又は4		
	倫理思想史講義	1、2又は4		
	倫理思想史演習	1、2又は4		
	臨床哲学講義	1、2又は4		
	臨床哲学演習	1、2又は4		
	社会哲学講義	1、2又は4		
	社会哲学演習	1、2又は4		
	対話技法論講義	1、2又は4		
	対話技法論演習	1、2又は4		

専門分野等		単位数	備考
臨床哲学専 門分野	ジェンダー・セクシュアリティ研究 基礎講義	1、2又は4	
	ジェンダー・セクシュアリティ研究 基礎演習	1、2又は4	
	臨床哲学修士論文作成演習	1、2又は4	
中国哲学専	中国哲学講義	1、2又は4	
門分野	中国哲学演習	1、2又は4	
	中国文化学講義	1、2又は4	
	中国文化学演習	1、2又は4	
	漢籍資料学講義	1、2又は4	
	漢籍資料学演習	1、2又は4	
	中国哲学修士論文作成演習	1、2又は4	
インド学・	インド哲学講義	1、2又は4	
仏教学専門 分野	インド哲学演習	1、2又は4	
刀到	インド哲学史講義	1、2又は4	
	インド哲学史演習	1、2又は4	
	インド学講義	1、2又は4	
	インド学演習	1、2又は4	
	仏教文献学講義	1、2又は4	
	仏教文献学演習	1、2又は4	
	仏教学講義	1、2又は4	
	仏教学演習	1、2又は4	
	インド学修士論文作成演習	1、2又は4	
口十兴丰田	仏教学修士論文作成演習	1、2又は4	
日本学専門 分野	日本学講義	1、2又は4	
7/21	日本学演習	1、2又は4	
	日本学研究方法論講義	1、2又は4	
	日本学研究方法論演習 日本思想史講義	1、2又は4 1、2又は4	
	日本思想史演習	1、2又は4 1、2又は4	
	民俗学講義	1、2又は4 1、2又は4	
	民俗学演習	1、2又は4 1、2又は4	
	文化人類学講義	1、2又は4 1、2又は4	
	文化人類学演習	1、2又は4 1、2又は4	
	日本文化学講義	1、2又は4	
	日本文化学演習	1、2又は4	
	文化交流史講義	1、2又は4	
	文化交流史演習	1、2又は4	
	比較文化学講義	1、2又は4	
	比較文化学演習	1、2又は4	
	国際文化交流論講義	1、2又は4	
	国際文化交流論演習	1、2又は4	
	日本学修士論文作成演習	1、2又は4	
	歴史学方法論講義	1、2又は4	
	歴史学方法論演習	1、2又は4	
	世界史講義	1、2又は4	
	世界史演習	1、2又は4	
	歴史資料論講義	1、2又は4	
	歴史資料論演習	1、2又は4	
	日本史講義	1、2又は4	
	日本史演習 日本古代史講義	1、2又は4 1、2又は4	
	日本古代史演習	1、2又は4 1、2又は4	
	日本中世史講義	1、2又は4 1、2又は4	
	日本中世史演習	1、2又は4 1、2又は4	
	日本近世史講義	1、2又は4 1、2又は4	
	日本近世史演習	1、2又は1 1、2又は4	
	日本近代史講義	1、2又は4 1、2又は4	
	日本近代史演習	1、2又は4	
•			ı

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
日本学専門	日本現代史講義	1、2又は4	5114	
分野	日本現代史演習	1、2又は4		
	日本文化史講義	1、2又は4		
	日本文化史演習	1、2又は4		
	アーカイブズ学講義	1、2又は4		
	アーカイブズ学演習	1、2又は4		
	アーカイブズ・マネジメント論講義	1、2又は4		
	アーカイブズ・マネジメント論演習	1、2又は4		
	日本史修士論文作成演習	1、2又は4		
東洋史学専	歴史学方法論講義	1、2又は4		
門分野	歷史学方法論演習	1、2又は4		
	世界史講義	1、2又は4		
	世界史演習	1、2又は4		
	歴史資料論講義	1、2又は4		
	歴史資料論演習	1、2又は4		
	東洋史講義	1、2又は4		
	東洋史演習	1、2又は4		
	東アジア史講義	1、2又は4		
	東アジア史演習	1、2又は4		
	中央アジア史講義	1、2又は4		
	中央アジア史演習	1、2又は4		
	東南アジア史講義	1、2又は4		
	東南アジア史演習	1、2又は4		
	西・南アジア史講義	1、2又は4		
	西・南アジア史演習	1、2又は4		
西洋史学専	東洋史修士論文作成演習 歴史学方法論講義	1、2又は4 1、2又は4		
門分野	歴史子方伝論 歴史学方法論演習	1、2又は4 1、2又は4		
	世界史講義	1、2又は4 1、2又は4		
	世界史演習	1、2又は1 1、2又は4		
	歴史資料論講義	1、2又は4 1、2又は4		
	歴史資料論演習	1、2又は4		
	西洋史講義	1、2又は4		
	西洋史演習	1、2又は4		
	西洋古代史講義	1、2又は4		
	西洋古代史演習	1、2又は4		
	西洋古代史リサーチ講義	1、2又は4		
	西洋古代史リサーチ演習	1、2又は4		
	西洋古代史ディベート講義	1、2又は4		
	西洋古代史ディベート演習	1、2又は4		
	西洋中世史講義	1、2又は4		
	西洋中世史演習	1、2又は4		
	西洋中世史リサーチ講義	1、2又は4		
	西洋中世史リサーチ演習	1、2又は4		
	西洋中世史ディベート講義	1、2又は4		
	西洋中世史 ディベート演習	1、2又は4		
	西洋近代史講義	1、2又は4		
	西洋近代史演習	1、2又は4		
	西洋近代史リサーチ講義	1、2又は4		
	西洋近代史リサーチ演習	1、2又は4		
	西洋近代史ディベート講義	1、2又は4		
	西洋近代史ディベート演習	1、2又は4		
考古学専門	西洋史修士論文作成演習	1、2又は4		
与百子导门 分野	考古学講義 考古学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	日本考古学講義	1、2又は4 1、2又は4		
	日本考古学演習	1、2又は4 1、2又は4		
	比較考古学講義	1、2又は4		
]	比較考古学演習	1、2又は4		

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
考古学専門	考古資料論講義	1、2又は4		
分野	考古資料論演習	1、2又は4		
	考古学修士論文作成演習	1、2又は4		
人文地理学	人文地理学講義	1、2又は4		
専門分野	人文地理学演習	1、2又は4		
	自然地理学講義	1、2又は4		
	自然地理学演習	1、2又は4		
	歴史地理学講義	1、2又は4		
	歷史地理学演習	1、2又は4		
	地誌学講義	1、2又は4		
	地誌学演習	1、2又は4		
	人文地理学修士論文作成演習	1、2又は4		

文化表現論専攻

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
日本文学専	日本文学講義	1、2又は4		
門分野	日本文学演習	1、2又は4		
	上代文学論講義	1、2又は4		
	上代文学論演習	1、2又は4		
	中古文学論講義	1、2又は4		
	中古文学論演習	1、2又は4		
	中世文学論講義	1、2又は4		
	中世文学論演習	1、2又は4		
	近世文学論講義	1、2又は4		
	近世文学論演習	1、2又は4		
	近現代文学論講義	1、2又は4		
	近現代文学論演習	1、2又は4		
	日本文学作家作品研究講義	1、2又は4		
	日本文学作家作品研究演習	1、2又は4		
	日本文学資料研究講義	1、2又は4		
	日本文学資料研究演習	1、2又は4		
	日本漢文学講義	1、2又は4		
	日本漢文学演習	1、2又は4		
	日本文学修士論文作成演習	1、2又は4		
比較文学専	比較文学講義	1、2又は4		
門分野	比較文学演習	1、2又は4		
	比較文学史講義	1、2又は4		
	比較文学史演習	1、2又は4		
	比較文学方法論講義	1、2又は4		
	比較文学方法論演習	1、2又は4		
中国文学専 門分野	中国文学講義	1、2又は4		
门刀到	中国文学演習	1、2又は4		
	中国語学講義	1、2又は4		
	中国語学演習	1、2又は4		
	中国文献学講義	1、2又は4		
	中国文献学演習	1、2又は4		
本业大学市	中国文学修士論文作成演習	1、2又は4		
英米文学専 門分野	英文学史講義	1、2又は4		
11/1/21	英文学作品研究演習	1、2又は4		
	アメリカ文学史講義	1、2又は4		
	アメリカ文学作品研究演習	1、2又は4		
	英文学作品研究修士論文作成演習	1、2又は4		
	アメリカ文学作品研究修士論文作成 演習	1、2又は4		
ドイツ文学		1、2又は4		
専門分野	ドイツ文学演習	1、2又は4		
Ī	ドイツ文学史講義	1、2又は4		

下イツ文学 下イツ文学作品研究講義	専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
「		ドイツ文学史演習	1、2又は4		
ドイツ 語学演者 1、2 次は4 1、2 次 2 次 2 字 専門分野 2 ランス文学学史 第 1、2 次は4 2 フランス文学学史 第 1、2 次は4 2 フランス文学学史 第 1、2 次は4 2 フランス文学学 2 字 専門分野 2 ランス文学学 4 1、2 次は4 1、2 次は4 1、2 次 2 次 4 1、2 次 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	専門分野	ドイツ文学作品研究講義	1、2又は4		
ドイツ文学修士論文作成演習		ドイツ文学作品研究演習	1、2又は4		
ドイツ文学修士論文作成演習			1、2又は4		
プランス文 フランス文学学表講義 1、2又は4 プランス文学学表講義 1、2又は4 プランス文学学表講習 1、2又は4 プランス文学学作品研究講義 1、2又は4 プランス文学学作品研究講義 1、2又は4 プランス文学学作品研究講者 1、2又は4 プランス文学学品研究修士論文作成 1、2又は4 プランス文学学品研究修士論文作成 1、2又は4 プランス文学学品研究修士論文作成 1、2又は4 国語学専門 1、2又は4 国語学講義 1、2又は4 国語学講義 1、2又は4 国語学講義 1、2又は4 国語子院演習 1、2又は4 国語子院演習 1、2又は4 国語子院演習 1、2又は4 国話子講義 1、2又は4 日本語学講義 1、2又は4 日本語学講義 1、2又は4 社会言語議義 1、2又は4 社会言語議義 1、2又は4 日本語学講義 1、2又は4 日本語学講義 1、2又は4 日本語学院演習 1、2又は4 日本語学講義 1、2又は4 日本語学講義 1、2又は4 日本語学等演書 1、2又は4 日本語学学演書 1、2又は4 日本語学学演書 1、2又は4		ドイツ語学演習	1、2又は4		
学専門分野 フランス文学史講義 フランス文学史講義 フランス文学生品研究議 フランス文学生品研究議 フランス文学生品研究議 フランスで学生品研究後 コランスで学生品研究後 コランスで学生品研究後 コランスで学生品研究後 コランスで学生品研究を コランスで学生品研究を コランスで学生品研究を コランスで学生品研究を コランスで学生品研究を コランスで学生品研究を コランスで学生品研究を コーシースでは 国語学専門 国語学講義 コーシースでは 国語の大学演習 コーシースでは 国語の大学演習 コーシースでは 国語の大学で表 国語の大学で表 コーシースでは コージースでは コージースで		ドイツ文学修士論文作成演習	1、2又は4		
フランス文 学専門分野 フランス文学生品研究講義 1、2又は4 フランス文学生品研究講義 1、2又は4 フランス文学生品研究演習 フランス文学作品研究修士論文作成 フランス部学講義 1、2又は4 フランス文学作品研究修士論文作成		フランス文学講義	1、2又は4		
マラシス文学作品研究講義 フランス文学作品研究演習 フランス文学作品研究演習 フランス文学作品研究修士論文作成 フランス文学作品研究修士論文作成 河習 国語学講義 国語学講義 国語学講義 国語学講義 国語学は演習 国語学修士論文作成 国語語学修士論教育学演習 日本語学演習 日本語語教育学講義 日文には 現代代言語学演習 日本語学演習 日本本語学演習 日本語学演習 日本語学演習 日本語学演習 日本語学演習 日本語学演習 日本語学演習 日本語学演習 日本語語教育学講義 日、2又は4 日本語言語学演習 日、2又は4 日本語言語学演習 日、2又は4 対照言語学を士論文作成演習 日本本語言語学修士論文作成演習 日本本語音音学音楽音学を士論文作成演習 日本本語音音学音楽音楽音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音	字専門分野				
学専門分野 フランス文学作品研究演習 フランス文学作品研究修士論文作成					
フランス文学作品研究演習 1、2又は4 1 1、2又は4 1 1、2又は4 1 1、2又は4 1 1、2又は4 1 1、2又は4 1 1 1、2又は4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
フランス 許学演習 フランス 文学作品研究修士論文作成 演習 国語学講義 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 国語学演習 1、2又は4 国語語学講義 1、2又は4 国語語文献解析研究講義 1、2又は4 国語語学修士論講義 国語語学修士論講義 国語語学修士論文作成演習 日本語学講 日本語学講 日本語学演習 日本語学講義 1、2又は4 国語語学談話講義 国語語學講義 日、2又は4 国語語學講義 日、2又は4 国語語學講義 日、2又は4 国語語學講義 日、2又は4 国語語學講義 日、2又は4 日本語学講 日本語学演習 日本語学演習 日、2又は4 日本語学音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音	子等门刀封				
フランス文学作品研究修士論文作成 1、2又は4 2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2					
フランス 1、2 又は4 2 英語学演習 1、2 又は4 2 英語学演習 1、2 又は4 2 英語学演習 1、2 又は4 2 英語学演習 1、2 又は4 2 英語学言言語等学演習 1、2 又は4 2 英語学言言語等学演習 1、2 又は4 2 英語学言言語等学演習 1、2 又は4 2 英語学言言語文作成演習 1、2 又は4 2 又は4 2 英語学言言語文作成演習 1、2 又は4 2 又は4 2 至 は5 音 で 2 ま 音 で 2 ま 音 で 2 ま 音 で 2 ま 音 で 2 ま 音 で 2 ま 音 で 2 ま 音 で 2 ま 音 で 3 音 で					
国語学専門 日本語学講義			1、2又134		
1、2 又は4 2 英語学言語学修業資習 1、2 又は4 2 英語学音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音音			1、2又は4		
国語史演習 1、2又は4 2、2、2、2、2、2、2、2、2、3 2、3 3 3 3 3 3 3 3 3			1、2又は4		
国語文献解析研究講義 国語文献解析研究演習 国語文献解析研究演習 国語学修士論文作成演習 日本語学專 日本語学專 日本語等講義 日本語語對演習 日本語等講義 日本語語對演習 日本語等講義 日本語語對演習 日本語等講義 日本語語對演習 日本語語對於實理 日本語語對於實理 日本語語對於實理 日本語語對於實理 日本語語對於實理 日本語對於實理 日本語對於主 日本語對於實理 日本語對 日本語對於實理 日本語對 日本語對於實理 日本語對 日本語對於可 日本語對 日本語對於可 日本語對 日本語對 日本語對 日本語對 日本語對 日本語對 日本語對 日本語對	分野	国語学演習	1、2又は4		
国語文献解析研究講義		国語史講義	1、2又は4		
国語学修士論文作成演習 1、2又は4 1 1、2又は4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			1、2又は4		
国語学修士論文作成演習 1、2又は4 1、2又は4 国語機能論講義 1、2又は4 国語機能論演習 1、2又は4 日本語学專門分野 日本語学講義 1、2又は4 現代日本語学演習 1、2又は4 社会言語学講義 1、2又は4 方言学講義 1、2又は4 方言学講義 1、2又は4 方言学講義 1、2又は4 方言学講義 1、2又は4 方言学講義 1、2又は4 方言学演習 1、2又は4 方言学演習 1、2又は4 方言学演習 1、2又は4 方言学演習 1、2又は4 方言学演習 1、2又は4 日本語教育学講義 1、2又は4 日本語教育学演習 1、2又は4 日本語語学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語学修士論文作成演習 1、2又は4 方言学修士論文作成演習 1、2又は4 方言学修士論文作成演習 1、2又は4 方言学修士論文作成演習 1、2又は4 英語音》修士論文作成演習 1、2又は4 大言学教育学修士論文作成演習 1、2又は4 大言学教育学修士論文作成演習 1、2又は4 技語言語学 1、2又は4 技語言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音序学講義 1、2又は4 英語音音序半論文作成演習 1、2又は4 英語音音序半論文作成演習 1、2又は4 英語音音序半論文作成演習 1、2又は4 英語音音修士論文作成演習 1、2又は4 英語音音修士論文作成演習 1、2又は4 英語音音修計論文 1、2又は4 英語学学総論講義 1、2又は4 英音学講義 1、2又は4 英音学 1、2又は4 1 、2 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1					
国語機能論講義 1、2又は4 1、2又4 1 1、2又4 1 1、2又4 1 1、2又4 1 1、2又4 1 1、2又4 1 1 1、2又4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
国語機能論演習					
日本語学専門分野					
門分野					
現代日本語学講義					
現代日本語学演習 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 方言学講義 1、2又は4 方言学講義 1、2又は4 1、2又は4 日本語教育学講義 1、2又は4 日本語教育学講義 1、2又は4 日本語学修丁論文作成演習 1、2又は4 1、2 2、4 1、4 1、2 2、4 1 1、2 2 2 1 4 1 1、2 2 2 1 4 1 1、2 2 2 1 4 1 1、2 2 2 1 4 1 1、2 2 2 1 4 1 1 1 1 2 2 2 1 4 1 1 1 1 1 1	11/12				
社会言語学講義					
社会言語学演習 1、2又は4 方言学講義 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 日本語教育学講義 1、2又は4 日本語教育学講義 1、2又は4 対照言語学講義 1、2又は4 対照言語学講義 1、2又は4 日本語学修士論文作成演習 1、2又は4 1、2又は4 日本語学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語教育学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語教育学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語書学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語書学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語書学書業 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 英語字演習 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音声学講義 1、2又は4 英語音音が影響 1、2又は4 英語音音が表 2、2、2、2、2、2、2、2、3、2、4、2、2、4、4、2、4、4、4、4、					
方言学講義 方言学演習 日本語教育学講義 日本語教育学講義 日本語教育学講義 日本語教育学講義 日本語教育学講義 日本語教育学講義 日本語学演習 日本語学修士論文作成演習 日本語学修士論文作成演習 日本語学修士論文作成演習 日本語学修士論文作成演習 日本語学修士論文作成演習 日本語学修士論文作成演習 日本語書学修士論文作成演習 日本語書学修士論文作成演習 日本語書学修士論文作成演習 日本語書学修士論文作成演習 日本語書学修士論文作成演習 日本語書学書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書書					
方言学演習					
日本語教育学講義 日本語教育学演習 日本語教育学演習 日本語教育学演習 日本語学談響 日本語学修士論文作成演習 日本語学修士論文作成演習 現代日本語学修士論文作成演習 力言学修士論文作成演習 日本語学修士論文作成演習 日本語教育学修士論文作成演習 日本語学講義 日、2又は4 英語学講義 日、2又は4 と要語学講義 日、2又は4 と要は4 と要話学演習 日、2又は4 と要話学演習 日、2又は4 と要話学演習 日、2又は4 と要話学演習 日、2又は4 と要話学書義 日、2又は4 と要話学を主論文作成演習 日、2又は4 と要話学修士論文作成演習 日、2又は4 と要話学修士論文作成演習 日、2又は4 と要話学修士論文作成演習 日、2又は4 と要語学修士論文作成演習 日、2又は4 と要語学修士論文作成演習 日、2又は4 と要語学修士論文作成演習 日、2又は4 と要語学修士論文作成演習 日、2又は4 と要語学演習 日、2又は4 と要語学演習 日、2又は4 日、2又は4 日、2又は4 日、2又は4 日、2又は4 日、2又は4 日本語教育学演習 日、2又は4 日本語教育学演習 日、2又は4 日本語教育学演習 日、2又は4 日本語教育学演習 日本語教育学 日本語文 日本語文 日本語文 日本語文 日本語文 日本語文 日本語文 日本語文					
日本語教育学演習 1、2又は4 対照言語学講義 1、2又は4 対照言語学演習 1、2又は4 対照言語学後工論文作成演習 1、2又は4 現代日本語学修士論文作成演習 1、2又は4 社会言語学修士論文作成演習 1、2又は4 社会言語学修士論文作成演習 1、2又は4 村本語教育学修士論文作成演習 1、2又は4 対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学專門 分野 英語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語申漢講義 1、2又は4 英語申漢講義 1、2又は4 英語申漢諸 1、2又は4 英語申漢音 1、2又は4 英語申漢音 1、2又は4 英語申漢音 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学専門分野 芸術学総論講義 1、2又は4 美学専門分野 芸術学総論講義 1、2又は4					
対照言語学演習 1、2又は4 1、4 1、4 1 1、4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					
日本語学修士論文作成演習 1、2又は4 1、2 1、4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		対照言語学講義	1、2又は4		
現代日本語学修士論文作成演習 1、2又は4 社会言語学修士論文作成演習 1、2又は4 方言学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語教育学修士論文作成演習 1、2又は4 対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史演習 1、2又は4 英語申漢音 1、2又は4 英語申漢音 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学事門分野 2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、		対照言語学演習	1、2又は4		
社会言語学修士論文作成演習 1、2又は4 方言学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語教育学修士論文作成演習 1、2又は4 対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学講者 1、2又は4 英語史演習 1、2又は4 英語申漢習 1、2又は4 英語申漢習 1、2又は4 英語申漢習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4		日本語学修士論文作成演習	1、2又は4		
方言学修士論文作成演習 1、2又は4 日本語教育学修士論文作成演習 1、2又は4 対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学專門分野 英語学講義 英語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語中演習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸学専門分野 芸術学総論講義 美学演習 1、2又は4 美学等講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 美学等講義 1、2又は4 美学等講義 1、2又は4		現代日本語学修士論文作成演習	1、2又は4		
日本語教育学修士論文作成演習 1、2又は4 対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学専門 分野 英語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語申漢習 1、2又は4 英語申漢習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学専門分野 2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、		社会言語学修士論文作成演習			
対照言語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学講義 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 芸術学総論講義 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4					
英語学専門 分野 英語学講義 1、2又は4 英語学演習 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語中講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸学専門分野 1、2又は4 美学講義 美学演習 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4					
分野 英語学演習 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 芸術学総論講義 1、2又は4 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4	14:37:04:00				
理論言語学講義 1、2又は4 理論言語学講義 1、2又は4 機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史演習 1、2又は4 英語中演習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講者 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学専門分野 2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、					
理論言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語史演習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 芸術学総論講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 表術学講義 1、2又は4 表術学講義 1、2又は4	ルガ				
機能言語学講義 1、2又は4 機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語史演習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 学専門分野 芸術学総論講義 1、2又は4 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 美学演習 1、2又は4					
機能言語学演習 1、2又は4 英語史講義 1、2又は4 英語史演習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 学専門分野 芸術学総論講義 1、2又は4 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 表帯学講義 1、2又は4					
英語史講義 1、2又は4 英語史演習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 芸術学総論講義 1、2又は4 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4					
英語史演習 1、2又は4 英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 芸術学総論講義 学専門分野 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4					
英語音声学講義 1、2又は4 英語音声学演習 1、2又は4 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 芸術学総論講義 学専門分野 1、2又は4 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4		2 4 11 12 4 11 1 1 1			
英語音声学演習 英語学修士論文作成演習 1、2又は4 1、2又は4 美学・文芸 学専門分野 美学講義 美学演習 芸術学講義 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4					
英語学修士論文作成演習 1、2又は4 美学・文芸 芸術学総論講義 1、2又は4 学専門分野 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4					
美学・文芸 学専門分野 芸術学総論講義 1、2又は4 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4 1、2又は4 1、2又は4					
学専門分野 美学講義 1、2又は4 美学演習 1、2又は4 芸術学講義 1、2又は4	美学・文芸				
芸術学講義 1、2又は4	学専門分野				
		美学演習	1、2又は4		
芸術学演習 1、2又は4		芸術学講義	1、2又は4		
		芸術学演習	1、2又は4		

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
美学・文芸	美学史講義	1、2又は4		
学専門分野	美学史演習	1、2又は4		
	デザイン論講義	1、2又は4		
	デザイン論演習	1、2又は4		
	美学修士論文作成演習	1、2又は4		
	文芸学講義	1、2又は4		
	文芸学演習	1、2又は4		
	西洋古典学講義	1、2又は4		
	西洋古典学演習	1、2又は4		
	文芸学修士論文作成演習	1、2又は4		
音楽学・演	芸術学総論講義	1、2又は4		
劇学専門分	音楽学講義	1、2又は4		
野	音楽学演習	1、2又は4		
	音楽史講義	1、2又は4		
	音楽史演習	1、2又は4		
	音楽作品研究講義	1、2又は4		
	音楽作品研究演習	1、2又は4		
	音楽行動研究講義	1、2又は4		
	音楽行動研究演習	1、2又は4		
	実践音楽学講義	1、2又は4		
	実践音楽学演習	1、2又は4		
	応用音楽学講義	1、2又は4		
	応用音楽学演習	1、2又は4		
	音楽学修士論文作成演習	1、2又は4		
	演劇学講義	1、2又は4		
	演劇学演習	1、2又は4		
	演劇史講義	1、2又は4		
	演劇史演習	1、2又は4		
	演劇学修士論文作成演習	1、2又は4		
美術史学専	芸術学総論講義	1、2又は4		
門分野	美術史学講義	1、2又は4		
	美術史学演習	1、2又は4		
	日本美術史講義	1、2又は4		
	日本美術史演習	1、2又は4		
	東洋美術史講義	1、2又は4		
	東洋美術史演習	1、2又は4		
	東洋美術史修士論文作成演習	1、2又は4		
	西洋美術史講義	1、2又は4		
	西洋美術史演習	1、2又は4		
	美術作品研究講義	1、2又は4		
	美術作品研究演習	1、2又は4		
	西洋美術史修士論文作成演習	1、2又は4		

各授業科目が、「専門教育科目」、「高度教養教育科目」及び「高度 国際性涵養教育科目」のいずれの区分に該当するかについては、別に 定める。

別表 2 修士課程授業科目表

文化動態論専攻

コース等	拉米利口力	出件粉	備考
共通科目	授業科目名 人文学と社会講義	単位数 1、2又は4	
大 進行日	,		
##★#	人文学と情報講義	1、2又は4	
共生文明論コース	共生文明論講義	1、2又は4	
	共生文明論演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論 I 講義	1、2又は4	
	歴史的地域社会論 I 演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論Ⅱ講義	1、2又は4	
	歴史的地域社会論Ⅱ演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論Ⅲ講義	1、2又は4	
	歴史的地域社会論Ⅲ演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論IV講義	1、2又は4	
	歴史的地域社会論IV演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論V講義	1、2又は4	
	歴史的地域社会論V演習	1、2又は4	
	歴史的地域社会論VI講義	1、2又は4	
	歷史的地域社会論VI演習	1、2又は4	
	地域文化構造論I講義	1、2又は4	
	地域文化構造論I演習	1、2又は4	
	地域文化構造論Ⅱ講義	1、2又は4	
	地域文化構造論Ⅱ演習	1、2又は4	
	地域文化構造論Ⅲ講義	1、2又は4	
	地域文化構造論Ⅲ演習	1、2又は4	
	地域文化構造論IV講義	1、2又は4	
	地域文化構造論IV演習	1、2又は4	
	多言語社会論講義	1、2又は4	
	多言語社会論演習	1、2又は4	
	歴史教育論 I 講義	1、2又は4	
	歴史教育論 I 演習	1、2又は4	
	歴史教育論Ⅱ講義	1、2又は4	
	歴史教育論Ⅱ演習	1、2又は4	
アート・メ	共生文明論修了研究演習	1、2又は4	
ディア論	アート・メディア史講義	1、2又は4	
コース	アート・メディア史演習	1、2又は4	
	メディア文化論講義	1、2又は4	
	メディア文化論演習 映像メディア論講義	1、2又は4 1、2又は4	
	映像メディア論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	空間メディア論講義	1、2又は4 1、2又は4	
	空間メディア論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	アーツ・プラクシス講義	1、2又は4 1、2又は4	
	アーツ・プラクシス演習	1、2又は4 1、2又は4	
	実践芸術論講義		
	実践芸術論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	芸術環境論講義	1、2又は4 1、2又は4	
	云	1、2又は4 1、2又は4	
	本州界児舗便自 メディア論A講義	1、2又は4 1、2又は4	
	メディア論A演習	1、2又は4 1、2又は4	
	メディア論B講義	1、2又は4 1、2又は4	
	メディア論B演習	1、2又は4 1、2又は4	
	文化政策論講義	1、2又は4 1、2又は4	
	文化政策論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	アート・プロデュース論講義	1、2又は4 1、2又は4	
	アート・プロデュース論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	芸術計画論演習	1、2又は4 1、2又は4	
	アート・メディア論修了研究演習	1、2又は4 1、2又は4	
文学環境論	文学環境論I講義	1、2又は4	
コース	文学環境論I演習	1、2又は4	
1	12 2 8 8 M = 12 M	><	

コース等	授業科目名	単位数	備	考
文学環境論	文学環境論Ⅱ講義	1、2又は4		
コース	文学環境論Ⅱ演習	1、2又は4		
	異言語接触文学論 I 講義	1、2又は4		
	異言語接触文学論 I 演習	1、2又は4		
	異言語接触文学論Ⅱ講義	1、2又は4		
	異言語接触文学論Ⅱ演習	1、2又は4		
	ジェンダー表象論 I 講義	1、2又は4		
	ジェンダー表象論I演習	1、2又は4		
	ジェンダー表象論Ⅱ講義	1、2又は4		
	ジェンダー表象論Ⅱ演習	1、2又は4		
	文学テクスト論I講義	1、2又は4		
	文学テクスト論I演習	1、2又は4		
	文学テクスト論Ⅱ講義	1、2又は4		
	文学テクスト論Ⅱ演習	1、2又は4		
	理論文学研究講義	1、2又は4		
	理論文学研究演習	1、2又は4		
	文学環境論修了研究演習	1、2又は4		
言語生態論	言語学講義	1、2又は4		
コース	言語学演習	1、2又は4		
	言語生成論 I 講義	1、2又は4		
	言語生成論 I 演習	1、2又は4		
	言語生成論Ⅱ講義	1、2又は4		
	言語生成論Ⅱ演習	1、2又は4		
	言語分析論 I 講義	1、2又は4		
	言語分析論 I 演習	1、2又は4		
	言語分析論Ⅱ講義	1、2又は4		
	言語分析論Ⅱ演習	1、2又は4		
	言語変化論 I 講義	1、2又は4		
	言語変化論 I 演習	1、2又は4		
	言語変化論Ⅱ講義	1、2又は4		
	言語変化論Ⅱ演習	1、2又は4		
	言語接触論 I 講義	1、2又は4		
	言語接触論 I 演習	1、2又は4		
	言語接触論Ⅱ講義	1、2又は4		
	言語接触論Ⅱ演習	1、2又は4		
	比較言語学講義	1、2又は4		
	比較言語学演習	1、2又は4		
	言語生態論基礎研究IA演習	1、2又は4		
	言語生態論基礎研究IB演習	1、2又は4		
	言語生態論修了研究Ⅱ A演習	1、2又は4		
	言語生態論修了研究ⅡB演習	1、2又は4		

各授業科目が、「専門教育科目」、「高度教養教育科目」及び「高 度国際性涵養教育科目」のいずれの区分に該当するかについては、 別に定める。

別表3 博士後期課程授業科目表

各専攻共通

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
共通科目	インターフェイス人文学特殊講義	1、2又は4		
	インターフェイス人文学特殊演習	1、2又は4		
	メディア人文学特殊講義	1、2又は4		
	メディア人文学特殊演習	1、2又は4		
	コンフリクトの人文学特殊講義	1、2又は4		
	コンフリクトの人文学特殊演習	1、2又 <i>は</i> 4		
	地域社会論特殊講義	1、2又は4		
	地域社会論特殊演習	1、2又は4		
	言語文芸論特殊講義	1、2又は4		
	言語文芸論特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	言語科学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	言語科学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	文献情報学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	文献情報学特殊演習			
		1、2又は4		
	異文化交流論特殊講義	1、2又は4		
	異文化交流論特殊演習	1、2又は4		
	現代日本文化論特殊講義	1、2又は4		
	現代日本文化論特殊演習	1、2又は4		
	現代日本思想論特殊講義	1、2又は4		
	現代日本思想論特殊演習	1、2又は4		
	現代日本社会環境論特殊講義	1、2又は4		
	現代日本社会環境論特殊演習	1、2又は4		
	現代日本芸術論特殊講義	1、2又は4		
	現代日本社会論特殊講義	1、2又は4		
	現代日本社会論特殊演習	1、2又は4		
	現代日本芸術論特殊演習	1、2又は4		
	現代日本文学論特殊講義	1、2又は4		
	現代日本文学論特殊演習	1、2又は4		
	比較文明論特殊講義	1、2又は4		
	比較文明論特殊演習	1、2又は4		
	比較思想論特殊講義	1、2又は4		
	比較思想論特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	比較歷史論特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	比較歴史論特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	比較社会環境論特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	比較社会環境論特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	比較芸術論特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	比較芸術論特殊演習	1、2又は4		
	比較言語論特殊講義	1、2又は4		
	比較言語論特殊演習	1、2又は4		
	言語と社会特論	1、2又は4		
	アジアにおけるマイノリティと政治特	1、2又は4		
	論 アジアにおける人の移動特論	1、2又は4		
	Advanced Academic Skills for	1、2又は4		
	Humanities 1 Advanced Academic Skills for	1、2又は4		
	Humanities 2		Ы⊞	宝五.
	英語	1又は2	外国科目	PΠ
	ドイツ語	1又は2	TT H	
	フランス語	1又は2		
	ロシア語	1又は2		
	中国語	1又は2		
	スペイン語	1又は2		
	イタリア語	1又は2		
	ラテン語	1又は2		
	ギリシア語	1又は2		
	サンスクリット語	1又は2		
	朝鮮語	1又は2		
	ヨーロッパ諸語	1又は2		
	アジア・アフリカ諸語	1又は2		
	アドバンスト・アカデミック・ライ			
	ティング	1又は2		

専門分野等	授業科目名	単位数	備考
共通科目	日本語	1又は2	日本語科目 (留学生対 象)

文化形態論専攻

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
哲学哲学史	哲学哲学史特殊講義	1、2又は4		
専門分野	哲学哲学史特殊演習	1、2又は4		
	西洋哲学史特殊講義	1、2又は4		
	西洋哲学史特殊演習	1、2又は4		
	比較哲学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	比較哲学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	言語哲学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	言語哲学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	存在論特殊講義	1、2又は4		
	存在論特殊演習	1、2又は4		
	認識論特殊講義	1、2又は4		
	認識論特殊演習	1、2又は4		
現代思想文	哲学哲学史博士論文作成演習	1、2又は4		
化学専門分	現代思想文化学特殊講義	1、2又は4		
野	現代思想文化学特殊演習	1、2又は4		
	現代思想文化形成史特殊講義	1、2又は4		
	現代思想文化形成史特殊演習	1、2又は4		
	生命思想論特殊講義	1、2又は4		
	生命思想論特殊演習	1、2又は4		
	環境思想論特殊講義	1、2又は4		
	環境思想論特殊演習	1、2又は4		
	科学思想特殊講義	1、2又は4		
	科学思想特殊演習	1、2又は4		
	現代思想文化学博士論文作成演習	1、2又は4		
臨床哲学専	倫理学特殊講義	1、2又は4		
門分野	倫理学特殊演習	1、2又は4		
	倫理思想史特殊講義	1、2又は4		
	倫理思想史特殊演習	1、2又は4		
	臨床哲学特殊講義	1、2又は4		
	臨床哲学特殊演習	1、2又は4		
	社会哲学特殊講義	1、2又は4		
	社会哲学特殊演習	1、2又は4		
	対話技法論特殊講義	1、2又は4		
	対話技法論特殊演習	1、2又は4		
	ジェンダー・セクシュアリティ研究基 礎特殊講義	1、2又は4		
	ジェンダー・セクシュアリティ研究基 礎演習	1、2又は4		
]	臨床哲学博士論文作成演習	1、2又は4		
中国哲学専	中国哲学特殊講義	1、2又は4		
門分野	中国哲学特殊演習	1、2又は4		
	中国文化学特殊講義	1、2又は4		
	中国文化学特殊演習	1、2又は4		
	漢籍資料学特殊講義	1、2又は4		
1	漢籍資料学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	中国哲学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
インド学・	インド哲学特殊講義	1、2又は4		
仏教学専門	インド哲学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
分野	インド哲学史特殊講義	1、2又は4		
	インド哲学史特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	インド学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	インド学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	仏教文献学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	仏教文献学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	仏教学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	仏教学特殊演習			
	仏教子特殊演賞 インド学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
		1、2又は4		
<u> </u>	仏教学博士論文作成演習	1、2又は4		

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
日本学専門	日本学特殊講義	1、2又は4	V113	
分野	日本学特殊演習	1、2又は4		
	日本学研究方法論特殊講義	1、2又は4		
	日本学研究方法論特殊演習	1、2又は4		
	日本思想史特殊講義	1、2又は4		
	日本思想史特殊演習	1、2又は4		
	民俗学特殊講義	1、2又は4		
	民俗学特殊演習	1、2又は4		
	文化人類学特殊講義	1、2又は4		
	文化人類学特殊演習	1、2又は4		
	日本文化学特殊講義	1、2又は4		
	日本文化学特殊演習 文化交流史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	文化交流史特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	比較文化学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	比較文化学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	国際文化交流論特殊講義	1、2又は4		
	国際文化交流論特殊演習	1、2又は4		
	日本学博士論文作成演習	1、2又は4		
日本史学専	歴史学方法論特殊講義	1、2又は4		
門分野	歷史学方法論特殊演習	1、2又は4		
	世界史特殊講義	1、2又は4		
	世界史特殊演習	1、2又は4		
	歴史資料論特殊講義	1、2又は4		
	歴史資料論特殊演習	1、2又は4		
	日本史特殊講義	1、2又は4		
	日本史特殊演習	1、2又は4		
	日本古代史特殊講義	1、2又は4		
	日本古代史特殊演習日本中世史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	日本中世史特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	日本近世史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	日本近世史特殊演習	1、2又は4		
	日本近代史特殊講義	1、2又は4		
	日本近代史特殊演習	1、2又は4		
	日本現代史特殊講義	1、2又は4		
	日本現代史特殊演習	1、2又は4		
	日本文化史特殊講義	1、2又は4		
	日本文化史特殊演習	1、2又は4		
本米市兴市	日本史博士論文作成演習	1、2又は4		
東洋史学専 門分野	歴史学方法論特殊講義 歴史学方法論特殊演習	1、2又は4		
1 355 = 3	世界史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	世界史特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	歴史資料論特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	歴史資料論特殊演習	1、2又は4		
	歴史学方法論特殊講義	1、2又は4		
	東洋史特殊講義	1、2又は4		
	東洋史特殊演習	1、2又は4		
	東アジア史特殊講義	1、2又は4		
	東アジア史特殊演習	1、2又は4		
	中央アジア史特殊講義	1、2又は4		
	中央アジア史特殊演習	1、2又は4		
	東南アジア史特殊講義	1、2又は4		
	東南アジア史特殊演習 西・南アジア史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	西・南アジア史特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	東洋史博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
西洋史学専	歴史学方法論特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
門分野	歴史学方法論特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	世界史特殊講義	1、2又は4		
	世界史特殊演習	1、2又は4		
	歴史資料論特殊講義	1、2又は4		

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
西洋史学専	歴史資料論特殊演習	1、2又は4		
門分野	西洋史特殊講義	1、2又は4		
	西洋史特殊演習	1、2又は4		
	西洋古代史特殊講義	1、2又は4		
	西洋古代史特殊演習	1、2又は4		
	西洋古代史リサーチ特殊講義	1、2又は4		
	西洋古代史リサーチ特殊演習	1、2又は4		
	西洋古代史ディベート特殊講義	1、2又は4		
	西洋古代史ディベート特殊演習	1、2又は4		
	西洋中世史特殊講義	1、2又は4		
	西洋中世史特殊演習	1、2又は4		
	西洋中世史リサーチ特殊講義	1、2又は4		
	西洋中世史リサーチ特殊演習	1、2又は4		
	西洋中世史ディベート特殊講義	1、2又は4		
	西洋中世史ディベート特殊演習	1、2又は4		
	西洋近代史特殊講義	1、2又は4		
	西洋近代史特殊演習	1、2又は4		
	西洋近代史リサーチ特殊講義	1、2又は4		
	西洋近代史リサーチ特殊演習	1、2又は4		
	西洋近代史ディベート特殊講義	1、2又は4		
	西洋近代史ディベート特殊演習	1、2又は4		
	西洋史博士論文作成演習	1、2又は4		
考古学専門	考古学特殊講義	1、2又は4		
分野	考古学特殊演習	1、2又は4		
	日本考古学特殊講義	1、2又は4		
	日本考古学特殊演習 比較考古学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	比較考古学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	考古資料論特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	考古資料論特殊演習	1、2又は4		
	考古学博士論文作成演習	1、2又は4		
人文地理学	人文地理学特殊講義	1、2又は4		
専門分野	人文地理学特殊演習	1、2又は4		
	自然地理学特殊講義	1、2又は4		
	自然地理学特殊演習	1、2又は4		
	歴史地理学特殊講義	1、2又は4		
	歴史地理学特殊演習	1、2又は4		
	地誌学特殊講義	1、2又は4		
	地誌学特殊演習	1、2又は4		
	人文地理学博士論文作成演習	1、2又は4		

文化表現論専攻

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
日本文学専	日本文学特殊講義	1、2又は4		
門分野	日本文学特殊演習	1、2又は4		
	上代文学論特殊講義	1、2又は4		
	上代文学論特殊演習	1、2又は4		
	中古文学論特殊講義	1、2又は4		
	中古文学論特殊演習	1、2又は4		
	中世文学論特殊講義	1、2又は4		
	中世文学論特殊演習	1、2又は4		
	近世文学論特殊講義	1、2又は4		
	近世文学論特殊演習	1、2又は4		
	近現代文学論特殊講義	1、2又は4		
	近現代文学論特殊演習	1、2又は4		
	日本文学作家作品研究特殊講義	1、2又は4		
	日本文学作家作品研究特殊演習	1、2又は4		
	日本文学資料研究特殊講義	1、2又は4		
	日本文学資料研究特殊演習	1、2又は4		
	日本漢文学特殊講義	1、2又は4		
	日本漢文学特殊演習	1、2又は4		
	日本文学博士論文作成演習	1、2又は4		

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
比較文学専	比較文学特殊講義	1、2又は4		
門分野	比較文学特殊演習	1、2又は4		
	比較文学史特殊講義	1、2又は4		
	比較文学史特殊演習	1、2又は4		
	比較文学方法論特殊講義	1、2又は4		
	比較文学方法論特殊演習	1、2又は4		
中国文学専	比較文学博士論文作成演習	1、2又は4		
門分野	中国文学特殊講義中国文学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	中国語学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	中国語学特殊演習	1、2又は4		
	中国文献学特殊講義	1、2又は4		
	中国文献学特殊演習	1、2又は4		
	中国文学博士論文作成演習	1、2又は4		
英米文学専	英文学史特殊講義	1、2又は4		
門分野	英文学作品研究特殊演習	1、2又は4		
	アメリカ文学史特殊講義	1、2又は4		
	アメリカ文学作品研究特殊演習	1、2又は4		
	英文学作品研究博士論文作成演習	1、2又は4		
	アメリカ文学作品研究博士論文作成演習	1、2又は4		
ドイツ文学	ドイツ文学特殊講義	1、2又は4		
専門分野	ドイツ文学特殊演習	1、2又は4		
	ドイツ文学史特殊講義	1、2又は4		
	ドイツ文学史特殊演習	1、2又は4		
	ドイツ文学作品研究特殊講義	1、2又は4		
	ドイツ文学作品研究特殊演習	1、2又は4		
	ドイツ語学特殊講義	1、2又は4		
	ドイツ語学特殊演習	1、2又は4		
フランス文	ドイツ文学博士論文作成演習 フランス文学特殊講義	1、2又は4		
学専門分野	フランス文学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	フランス文学史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	フランス文学史特殊演習	1、2又は4		
	フランス文学作品研究特殊講義	1、2又は4		
	フランス文学作品研究特殊演習	1、2又は4		
	フランス語学特殊講義	1、2又は4		
	フランス語学特殊演習	1、2又は4		
	フランス文学作品研究博士論文作成演習	1、2又は4		
国語学専門	国語学特殊講義	1、2又は4		
分野	国語学特殊演習	1、2又は4		
]	国語史特殊講義	1、2又は4		
	国語史特殊演習	1、2又は4		
]	国語文献解析研究特殊講義	1、2又は4		
]	国語文献解析研究特殊演習	1、2又は4		
]	国語学博士論文作成演習	1、2又は4		
]	国語機能論特殊講義 国語機能論特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
日本語学専	国語機能論特殊演習 日本語学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
門分野	日本語学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
]	現代日本語学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
]	現代日本語学特殊演習	1、2又は4		
	社会言語学特殊講義	1、2又は4		
]	社会言語学特殊演習	1、2又は4		
]	方言学特殊講義	1、2又は4		
]	方言学特殊演習	1、2又は4		
]	日本語教育学特殊講義	1、2又は4		
	日本語教育学特殊演習	1、2又は4		
	対照言語学特殊講義 対照言語学特殊違羽	1、2又は4		
]	対照言語学特殊演習 日本語学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
]	現代日本語学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
]	社会言語学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
1		-\ U/\(\omega)	Ì	

専門分野等	授業科目名	単位数	備	考
日本語学専	方言学博士論文作成演習	1、2又は4		
門分野	日本語教育学博士論文作成演習	1、2又は4		
	対照言語学博士論文作成演習	1、2又は4		
英語学専門	英語学特殊講義	1、2又は4		
分野	英語学特殊演習	1、2又は4		
	理論言語学特殊講義	1、2又は4		
	理論言語学特殊演習	1、2又は4		
	機能言語学特殊講義	1、2又は4		
	機能言語学特殊演習	1、2又は4		
	英語史特殊講義	1、2又は4		
	英語史特殊演習	1、2又は4		
	英語音声学特殊講義	1、2又は4		
	英語音声学特殊演習	1、2又は4		
	英語学博士論文作成演習	1、2又は4		
美学・文芸	芸術学総論特殊講義	1、2又は4		
学専門分野	美学特殊講義	1、2又は4		
	美学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	芸術学特殊講義	1、2又は4		
1	芸術学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
1	美学史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
1	美学史特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
1	デザイン論特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
1	デザイン論特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	美学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
	文芸学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	文芸学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	西洋古典学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	西洋古典学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	文芸学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
音楽学・演	芸術学総論特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
劇学専門分	音楽学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
野	音楽学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	音楽史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	音楽史特殊演習	1、2又は4		
	音楽作品研究特殊講義	1、2又は4		
	音楽作品研究特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	音楽行動研究特殊講義	1、2又は4		
	音楽行動研究特殊演習	1、2又は4		
	実践音楽学特殊講義	1、2又は4		
	実践音楽学特殊演習	1、2又は4		
	応用音楽学特殊講義	1、2又は4		
	応用音楽学特殊演習	1、2又は4		
	音楽学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
1	演劇学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	演劇学特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
	演劇史特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
	演劇史特殊演習	1、2又は4 1、2又は4		
1	演劇学博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
美術史学専	芸術学総論特殊講義	1、2又は4		
門分野	美術史学特殊講義	1、2又は4 1、2又は4		
1	美術史学特殊演習	1、2又は4		
1	日本美術史特殊講義	1、2又は4		
1	日本美術史特殊演習	1、2又は4		
1	東洋美術史特殊講義	1、2又は4		
1	東洋美術史特殊演習	1、2又は4		
1	東洋美術史博士論文作成演習	1、2又は4		
1	西洋美術史特殊講義	1、2又は4		
1	西洋美術史特殊演習	1、2又は4		
1	美術作品研究特殊講義	1、2又は4		
1	美術作品研究特殊演習	1、2又は4		
	西洋美術史博士論文作成演習	1、2又は4 1、2又は4		
	The Title 1997 THE 1997 T	. 241		

文学研究科履修規程(平成31(2019)年度以降の入学者適用)

(趣旨及び目的)

第1条 この規程は、大阪大学大学院文学研究科規程(以下「文学研究科規程」という。)第7条第1項、 第16条第1項及び第25条第1項の規定に基づき、本研究科大学院学生の履修等に関し、必要な事項 を定めるものとする。

(前期課程の履修方法等)

- **第2条** 前期課程の学生は、専門教育科目について、次の各号に掲げる授業科目のうちから選択履修し、計20単位以上修得しなければならない。
 - (1) 文学研究科規程別表1に定める本研究科の博士前期課程の科目
 - (2) 文学研究科規程別表 2 に定める本研究科の修士課程の科目
- **第3条** 前期課程の学生は、高度国際性涵養教育科目について、次の各号に掲げる授業科目のうちから選択履修し、計2単位以上修得しなければならない。
 - (1) 本研究科が高度国際性涵養教育科目として開設する科目
 - (2) 他研究科が高度国際性涵養教育科目として提供する科目で本研究科が指定する科目
 - (3) リーディングプログラム科目で本研究科が認める科目
 - (4) グローバルイニシアティブ科目で本研究科が認める科目
- **第4条** 前期課程の学生は、高度教養教育科目について、次の各号に掲げる授業科目のうちから選択履修し、計2単位以上修得しなければならない。
 - (1) 本研究科が高度教養教育科目として開設する科目
 - (2) 他研究科が高度教養教育科目として提供する科目で本研究科が指定する科目
 - (3) 大学院横断教育科目で本研究科が認める科目
 - (4) リーディングプログラム科目で本研究科が認める科目

(修士課程の履修方法等)

- 第5条 修士課程の学生は、専門教育科目について、次の各号に掲げる授業科目のうちから選択履修し、 計20単位以上修得しなければならない。
 - (1) 文学研究科規程別表2に定める本研究科の修士課程の科目
 - (2) 文学研究科規程別表1に定める本研究科の博士前期課程の科目
- 第6条 修士課程の学生の高度国際性涵養教育科目の履修については、第3条の規定を準用する。
- 第7条 修士課程の学生の高度教養教育科目の履修については、第4条の規定を準用する。

(後期課程の履修方法等)

第8条 後期課程の学生は、文学研究科規程別表3に定める本研究科の後期課程の授業科目のうちから選択履修し、8単位以上を修得しなければならない。

(単位の認定)

第9条 文学研究科規程第34条及び第35条の規定により認定された単位は、それぞれ15単位を超えない範囲で第2条、第5条及び前条に規定する単位に充当することができる。ただし、充当できる単位は、同規程第34条及び第35条の規定により認定された単位を合わせて20単位を超えないものとし、前条に規定する単位に充当する場合は、合わせて6単位を超えないものする。

附 則

この改正は、令和3年4月1日から施行する。

大阪大学大学院文学研究科における修士論文の評価基準

- 1. 修士論文は、申請者自身の単著であるとともに、自立的ないし主体的に取り組んだ研究の成果でなければならない。その内容については、過去に発表された本人以外の論文ないし研究発表の独自性やアイディアをみだりに侵害する箇所を含んではならない。
- 2. 修士の学位を受ける者は、各専門分野・コースにおける基礎的な研究能力、ないしは高度の専門性が 求められる職業を担うための能力を有する必要がある。修士論文は、これらの能力を修得したことを、 明瞭かつ平明な文章で示すものでなければならない。
- 3. 修士論文は、その内容について各専門分野・コースにおいて認められる一定程度の学術的価値を有し、 学界の発展への貢献が大きいと認められる場合には高い評価が与えられる。
- 4. 修士論文は、各専門分野・コースで指定した言語により書かれるものとする。また、本文には、研究 の背景や目的、先行研究や関連研究の状況、研究内容の位置づけや意義、さらに結論が適切な章立てに より含まれるものとする。なお、題目は本文と同じ言語によるものでなければならない。
- 5. 各専門分野・コースは、以下のような評価項目の中から研究分野に相応しい評価項目を定めて評価を 行う。なお、各専門分野・コースは必要に応じて評価項目を追加することができる。
 - ○テーマの選択やテーマに即した研究方法が適切である。
 - ○対象テクストを正確に読解している。
 - ○選択した研究方法に従ってデータや資史料などを的確に収集・処理している。
 - ○基本的な文献調査や先行研究の検討を着実に踏まえている。
 - ○既存の研究には見られない独創的な分析、解釈、提案等を行っている。
 - ○論旨が明快で、しっかりした論理展開がみられる。
 - ○適切な文章表現による論述が行われており、全体的によくまとまっている。
- 6. 修士論文の評価は、次のような基準により行うものとする。
 - (1)各専門分野・コースにおいて定める評価項目のすべてを満たしていない論文はF評価とする。
 - (2) 各専門分野・コースにおいて定める評価項目のいくつかを充分に満たしていない論文は、B、C いずれかの評価とする。なお、B 評価あるいは C 評価は、各評価項目を満たしている程度に基づいて行われるものとする。
 - (3)各専門分野・コースにおいて定める評価項目を概ね満たし優れていると認められる論文は、A評価とする。
 - (4)各専門分野・コースの定める評価項目のほぼ全てにおいてたいへん優れており、修士論文として高い 水準にあると認められる論文は、S評価とする。なお、S評価の場合、教授会で評価理由の補足説明 を行なうこととする。

大阪大学大学院文学研究科における博士学位申請論文の審査基準

- 1. 博士学位申請論文(以下、学位申請論文という)は申請者自身の単著であることを原則とし、自立的ないし主体的に取り組んだ研究の成果で、かつ高い独創性を有するものでなければならない。 その内容については、過去に公表された本人以外の論文ないし研究発表の独自性やアイディアを侵害する箇所を含んではならない。
- 2. 学位申請論文は、十分な学術的価値を有する必要がある。学術的価値とは、未知の事象・事物の 発見、新しい分析方法や理論の構築・展開、新しい学問的解釈や概念の提出など、人類の「知」の 地平を拡大させるような貢献をなすものを指す。
- 3. 学位申請論文は、日本語または各専門分野で指定した言語により執筆するものとし、題目は本文と同じ言語とする。本文には、研究の背景や目的、先行研究ないし関連研究の状況、論文の中核をなす研究内容の位置づけないし意義、さらに結論と要旨が、適切な章立てにより含まれるものとする。
- 4. 博士の学位を受ける者は、当該分野に関する十分で広範な知識を有し、独立した研究者として研究を遂行できる学力と、研究成果を外部に発表できる能力を有する必要がある。
- 5. 学位申請論文の分量は、課程博士の場合は四百字詰原稿用紙300枚程度を基準とするが、論文博士の場合はそれ以上とし、上限は設けない。
- 6. 学位申請論文の審査に当たっては、以下のような評価項目が想定される。ただし、どの項目を重視するか、さらにどのような項目を追加するかなどは、審査委員会に一任される。
 - (1) テーマの選択、ならびにそのテーマに即した研究方法の選択が、先行研究を着実に踏まえて 行われており、学界において一定の評価が得られるものである。
 - (2) 選択したテーマと研究方法に従ってデータ・資史料などを的確に収集・処理している。
 - (3) 研究資料である文献(原典史料・文学作品など)の読解が正確であり、分析・解釈が的確である。
 - (4) 研究資料である文物 (美術・音楽・考古資料など) ないし言語データの分析・解釈が的確である。
 - (5) 新しい資史料や言語事実の発見・利用など、独創的な内容を有している。
 - (6) 既存の研究に独自の知見を加えたり、着眼点の斬新さや分析の切り口の面白さを有している。
 - (7) 論理的に一貫した構成と内容を有し、表現力も確かで、全体的によくまとまっている。
- 7. 学位申請論文は、前項の評価項目に照らし合わせ、全体として高い水準にあると客観的に認められる成果、具体的にはレフェリー制度のある学術誌掲載論文2本以上に値する成果を含むことを基準とする。

- 8. 学位の国際的な通用性・信頼性と、学位審査に係る透明性・客観性を確保するため、他大学ないし他研究科ないし他専門分野の委員を積極的に登用し、その上で「公開の口頭試問」(本研究科内規)ないし「発表会」(本学学位規定)を行うこととする。
- 9. 学位申請者と指導教員もしくは関係教員との間で学位論文の取り扱いをめぐって問題が生じた場合には、学位申請者は教育支援室にある「学習相談」窓口などを利用することができる。
- 10. 本内規を外部に周知徹底させるために、必要な条項を『学生便覧』に掲載するとともに、文学研究科のホームページなどで公開することとする。

教員等名簿

- 名誉教授等名簿
- 教員名簿(文学部)
- 教員名簿(文学研究科)

名誉教授名簿

				右 含 教 坟	和	待	L		
斯	波	義	信	(東洋史学)	根	岸	_	美	(音楽学)
宮	地		裕	(国語学)	天	野	文	雄	(演劇学)
武	田	恒	夫	(美術史学)	鷲	田	清	_	(臨床哲学)
成	田	義	光	(英語学)	森	安	孝	夫	(東洋史学)
堀	井	敏	夫	(西洋史学)	小	林		茂	(人文地理学)
谷	П	規矩	 拒雄	(東洋史学)	大	庭	幸	男	(英語学)
Щ	П	堯	二	(国語学)	市	Щ		明	(アート・メディア論)
辻		成	史	(美術史学)	武	田	佐知	和子	(共生文明論)
子	安	宣	邦	(日本学)	平		雅	行	(日本史学)
木	曽	明	子	(文芸学)	工	藤	眞日	由美	(日本語学)
原	田	平	作	(美術史学)	上	倉	庸	敬	(美学・文芸学)
高	橋		正	(人文地理学)	森	岡	裕	_	(英米文学)
芝	原	拓	自	(日本史学)	江	Ш		溫	(西洋史学)
加	地	伸	行	(中国哲学)	Ш	村	邦	光	(日本学)
石	田		久	(アメリカ文学)	出	原	隆	俊	(日本文学)
前	田	富	祺	(国語学)	上	野		修	(哲学哲学史)
濱	島	敦	俊	(東洋史学)	内	田	次	信	(美学・文芸学)
神	林	恒	道	(美学•文芸学)	竹	中		亨	(西洋史学)
村	田	修	三	(日本史学)	藤	田	治	彦	(美学・文芸学)
Щ	П		修	(音楽学)	東	野	治	之	(日本史学)
河	上	誓	作	(英語学)	奥	平	俊	六	(美術史学)
淺	野	遼	二	(現代思想文化学)	片	Щ		岡川	(東洋史学)
Ш	北		稔	(西洋史学)	杉	原		達	(日本学)
森	谷	宇	_	(美学・文芸学)	髙	橋	文	治	(中国文学)
里	見	軍	之	(哲学哲学史)	浜	渦	辰	二	(臨床哲学)
伊	井	春	樹	(日本文学)	入	江	幸	男	(哲学哲学史)
都	出	比	呂志	(考古学)	榎	本	文	雄	(インド学・仏教学)
肥	塚		隆	(美術史学)	清	水	康	次	(文化環境論)
若	Щ	映	子	(美術史学)	荒	Ш	正	晴	(東洋史学)
後	藤	昭	雄	(日本文学)	加	藤	正	治	(言語生態論)
猪	餇	隆	明	(日本史学)	村	田	路	人	(日本史学)
柏	木	隆	雄	(フランス文学)	和	田	章	男	(フランス文学)
林		正	則	(ドイツ文学)	平	田	由	美	(文学環境論)
梅	村		喬	(日本史学)	桃	木	至	朗	(東洋史学)
真	田	信	治	(日本語学)	須	藤	訓	任	(現代思想文化学)
玉	井		暲	(英文学)	北	原		恵	(日本学)
蜂	矢	真	郷	(国語学)	服	部	典	之	(英米文学)

教 員 名 簿

文学部長 三谷研爾 文学部副学部長 栗原麻子

文学研究科副研究科長

文学部副学部長 山上浩嗣

文 学 部

専修	教授	准教授	講師/特任教員等	助教
哲学 · 思想文化学	望 月 太 郎 舟 場 保 之	嘉 目 道 人 (兼) 中 村 征 樹	三木那由他	西條玲奈
倫理学	堀 江 剛 (兼) ほんまなほ	小西真理子		
中国哲学	湯 浅 邦 弘		辛 賢	
インド哲学	堂山英次郎		名 和 隆 乾	
日本史学	飯 塚 一 幸 川 合 康 市 大 樹	野村玄伴瀬明美		北泊謙太郎
東洋史学	松 井 太田口宏二朗	河上麻由子		齊藤茂雄
西洋史学	秋 田 茂 藤 川 隆 男 栗 原 麻 子 (兼) KROZEWSKI GEROLD NADIN CLAUDIA HEE	中 谷 惣	見瀬悠	高垣里衣
考古学	福 永 伸 哉 髙 橋 照 彦			上 田 直 弥
日本学	宇野田尚哉	北 村 毅 安 岡 健 一 中 嶋 泉		西井麻里奈
人文地理学	堤 研 二 佐 藤 廉 也	井 本 恭 子		
日本語学	田野村忠温 石井正彦 渋谷勝己 BURDELSKI MATTHEW 三宅知宏	高木千恵		東条佳奈
日本文学・ 国語学	金 水 敏 飯 倉 洋 昭 一 岡 島 昭 幸 司 斎 藤 理 生	岸 本 恵 実勢 田 道 生 渡 邊 英 理		尹 芷 汐
比較文学	橋 本 順 光 (兼) 田 邉 欧			
中国文学	浅見洋二	林 暁 光		陳 竺 慧

文 学 部

専修	教授	准教授	講師/特任教員等	助教
	神山孝夫	田中英理	HARVEY PAUL	好 井 千 代
Harte I No	岡田禎之	森本道孝	(外国人教師)	
英米文学· 英語学	片 渕 悦 久			
火 間子	石 割 隆 喜			
	山田雄三			
	三 谷 研 爾	吉田耕太郎	WASSMER	
ドイツ文学	<u> </u>		JOHANNES	
	.1. 1 344 11-3		(特任講師(常勤))	# V + P
フランス文学	山 上 浩 嗣		AVOCAT ERIC	平光文乃
	高 安 啓 介	田中均	(特任准教授(常勤))	
美学・	高 安 啓 介		西井 奨	
文芸学		渡辺浩司		
_	<u> </u>	東 志 保 中 尾 薫		<u></u>
音楽学・	永 田 靖伊 東 信 宏	古後奈緒子		鈴木 聖子 (兼) 横田
演劇学		白饭采粕丁		
	輪 島 裕 介 圀 府 寺 司	門脇むつみ		
	(兼) 橋 爪 節 也			
美術史学	藤岡穣			
关州文子	岡田裕成			
	桑木野幸司			
	堤 研 二	井 本 恭 子		
	堤 一 昭	古後奈緒子		
	永 田 靖	鈴木暁世		
	圀 府 寺 司	東志保		
	三谷研爾			
	田 禎 之			
文化動態論	田野村忠温			
学科目	神山孝夫			
	渋 谷 勝 己			
	藤川隆男			
	金水敏			
	石割隆喜			
	桑木野幸司			
埋蔵文化財	福永伸哉			上田直弥
調査室	髙橋照彦			~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
留学生			鄭 聖 汝	
専門教育				
			SOARES MOTTA	LAMBRECHT
国際交流			FELIPE AUGUSTO	NICHOLAS MAHOOD
センター			(特任助教(常勤))	MOHAMMAD
				MOINUDDIN 会和3年4日1日租在

令和3年4月1日現在

大学院文学研究科

専攻	講座	専門分野・コース	教授	准教授	講師/特任教員等	助教
	哲学	哲学哲学史	舟 場 保 之	嘉 目 道 人	三木 那由他	西條玲奈
文化形態論		現代思想文化学	望月太郎	(兼) 中村征樹		
		臨床哲学	堀 江 剛 (兼) ほんまなほ	小西真理子		
		中国哲学	湯浅邦弘		辛 賢	
		インド学・ 仏教学	堂山英次郎		名 和 隆 乾	
	日本学	日本学	宇野田尚哉	北 村 毅 安 岡 健 一 中 嶋 泉		西井麻里奈
	日本史	日本史学	飯 塚 一 幸 川 合 康 市 大 樹	野村玄伴瀬明美		北泊謙太郎
нш	世界史	東洋史学	松井太田口宏二朗	河上麻由子		齊藤茂雄
		西洋史学	秋田茂藤川隆男栗原麻子 (兼) GEROLD NADIN CLAUDIA HEE	中 谷 惣	見瀬悠	高 垣 里 衣
	考古学	考古学	福永伸哉 髙橋照彦			上田直弥
	人文地理学	人文地理学	堤 研 二 佐 藤 廉 也	井 本 恭 子		
	国文学・ 東洋文学 -	日本文学	飯 倉 洋 一 滝 川 幸 司 斎 藤 理 生	勢 田 道 生渡 邊 英 理		尹 芷 汐
		比較文学	橋本順光(兼) 田邉欧			
		中国文学	浅見洋二	林・暁・光		陳 竺 慧
		国語学	金 水 敏 岡 島 昭 浩	岸本恵実		
文化表現論	西洋文学・語学	英米文学	片 渕 悦 久 石 割 隆 喜 山 田 雄 三	森本道孝	HARVEY PAUL (外国人教師)	好 井 千 代
		ドイツ文学	三谷研爾	吉田耕太郎	WASSMER JOHANNES (特任講師(常勤))	
		フランス文学	山上浩嗣		AVOCAT ERIC (特任准教授(常勤))	平光文乃
		英語学	神山孝夫岡田禎之	田中英理		
	日本語学	日本語学	田野村忠温 石井正彦 渋谷勝己 BURDELSKI MATTHEW 三宅知宏	高木千恵		東条佳奈

大学院文学研究科

専攻	講座	専門分野・コース	教授	准教授	講師/特任教員等	助教
文化表現論	芸術学	美学・ 文芸学	高安啓介	田 中 均 渡 辺 浩 司 東 志 保	西 井 奨	
		音楽学・ 演劇学	永 田 靖 伊 東 信 宏 輪 島 裕 介	中 尾 薫 古後奈緒子		鈴 木 聖 子 (兼) 横 田 洋
	芸術史	美術史学	圀府寺司 (兼)橋爪岡穣 岡田裕成 桑木野幸司	門脇むつみ		
	共生文明論	共生文明論	堤 研 二 堤 一 昭 藤 川 隆 男	井 本 恭 子		
文化動態論	アート・ メディア論	アート・ メディア論	永 田 靖 圀 府 寺 司 桑 木 野 幸 司	古後奈緒子東 志 保	山 﨑 達 哉 (特任助教 (常勤))	
	文学環境論	文学環境論	平 田 由 美 三 谷 研 金 水 敏 石 割 隆 喜	鈴木暁世		
	言語生態論	言語生態論	田野村 忠 温 神 山 孝 夫 渋 谷 勝 己 岡 田 禎 之			
埋蔵文化財調査室			福永伸哉 髙橋照彦			上田直弥
留学生専門教育					鄭聖汝	
国際交流センター					SOARES MOTTA FELIPE AUGUSTO (特任助教(常勤))	LAMBRECHT NICHOLAS MAHOOD MOHAMMAD MOINUDDIN

令和3年4月1日現在

キャンパスマップ・講義室配置図等

- ・キャンパスマップ
 - 豊中地区
 - 吹田地区
 - 箕面地区
- 講義棟配置図
- 教室等配置図
 - 文法経本館
 - 文学部日本学棟
 - 文学部芸術研究棟
 - · 全学教育推進機構:総合棟Ⅱ
 - 文法経講義棟
 - 法経講義棟
 - · 法経研究棟(旧· 法経大学院総合研究棟)
 - · 豊中総合学館(旧·文系総合研究棟)

豊中キャンパスマップ Toyonaka campus map

文系学部等 Humanities and Social Sciences

- ② 文学部/文学研究科 School of Letters / Graduate School of Letters ① 言語文化研究科 Graduate School of Language and Culture

同 阪急石橋阪大前駅 Ishibashi handai-mae Sta. of Hankyu Line

- ③ 法学部/法学研究科 School of Law / Graduate School of Law and Politics
- 経済学部/経済学研究科 School of Economics / Graduate School of Economics ④ 高等司法研究科 Osaka University Law School
- 5 法経研究棟 (MED) Stand (MED) Graduate School of Exonomics Buildings Graduate School of Economics Buildings ■ 国際公共政策研究科 Osaka School of International Pub
 - 图 豊中総合学館 Common Hall for Humanities & Social Sciences

理学部/理学研究科 School of Science / Graduate School of Science

m 理学権 School of Science and Graduate School of Science Buildings

基礎工学部/基礎工学研究科 School of Engineering Science Graduate School of Engineering Science

- 基礎工学棟 School of Engineering Science and Graduate School of Engineering School Buildings 中
 - 到 基礎工学国際棟 Engineering Science In

全学教育推進機構 Center for Education in Liberal Arts and Sciences

- 30 全学教育推進機構 Center for Education in Liberal Arts and Scier
 - の C O デザインセンター Center for the Study of Co* Design

大阪大学会館 総合学術博物館 Osaka University Hall The Museum of Osaka University (Office)

③ 大阪大学会館(旧イ号館)⑥ Osaka University Hall

簡整記念センター 知的財産センター(IPrism ルーム) 総合学信権物館(衛躍部門)

Kaitokudo for the 21st Century Tekijuku Commemoration Center Intellectual Property Center (IPrism Room) The Museum of Osaka University (Office)

附属図書館 - サイバーメディアセンター University Library Cybermedia Center

₽

- 総合図書館(で Main Ubrary
 サイバーメディアセンター(で 豊中教育研究様 Opermedia Genter, Main Hall of Toyonaka
 - サイバーメディアセンター データ・ステーション Cybermedia Center, Data Station
 - 野中コモン Tovonaka Comm

研究センター等 Research Institutes Cer

>@

呼 大阪モノレール柴原阪大前駅 Shibabara handa-mae Sta of Osaka Monorali 大阪単和电車戦略級大節站

インフォメーション Information 阿根本

P 駐車場 Parking

ara 関系・食堂 Restaurant

Si Elimano

東口 ← East Entrance

AL研修治 Pond

F=X3-h Tennis Courts

(3)

型 Pond

100m

50m

z (

グラウンド Ground

(C)

大学会館北口 ೧caka University Hall North Entrance

開 阪急石橋阪大前 Ishibashi handai-mae Sta. of Hankyu Line 原急電機石精版大簡強

学内連絡バス停 Inter-Campus Shuttle Bus Stop 校年始

AED設置建物
AED (Automated External Defibrillator AED配备建筑 <u>「</u> 上な急勾配の坂道 Main Steep Slope ^{離城} UP**《**

府道大阪中央環状 Osaka Chuo-kanjo-sen

● 低温センター実験室● Low Temperature Center

刀根山口 Ioneyama Entrance

- 配 日総合センター分館 ▼ Radioisotope Research Center ▲ B

50 総合図書館(館下食堂·売店) [[] 💗 Main Library (Basement Cafeteria)

福利·課外活動施設等 Welfare & Extracurricular Acti

- (3) グローバルフボルージョンセンター(GLOCOL) で Global Collaboration Center (GLOCOL) (ED) を (ED) を関係対学研究様 (Enter for Joanston Science and Puchology under Entere Conditions (ED)
 - ⑥ 超強磁場実験準備工作施設 High Magnetic Field Preparation Facility
 - (1) 超強磁場第二実験施設 High Magnetic Field Facility II 復合極限実験施設 Extreme Research Complex
- の ナノサイエンスデザイン教育研究センター(基礎工学G棟) Institute for NanoScience Beign (INSD) (Engineering Science Bldg. G)
 - 金融・保険教育研究センター(基礎工学]棟 Genter for the Study of Finance and Instrance (SH) (Engineering Sterice Bloc) 知的財産センター(基礎工学]棟) Intellectual Property Center (Prism) (Engineering Science 文理融合型研究棟 Waterdisciplinary Research Bldg. Am 6

(保健センター (HACC豊中) (を) Health and Counseling Center (HACC Toyonaka) (AED) 学生会館 💗 Student Union 🕮 (73) 体育館 ♥♥ Gymnasium № 第二体育館 Gymnasium (2) 72 学生相談室 Counseling Room 74 (12)

国際教育交流センター(豊中分室) Center for International Education and Exchange (Toyonaka Branch Office) 明道館 Club House (Meidokan)

92

- ⑦ 豊中福利会館(食堂・売店) 【 ¥ 🕵 Cafeteria and Campus Store
 - MODINDON 87

科学機器リノベーション・工作支援センター Center for Scientific Instrument Renovation and Manufacturing Support

- カフェテリアらふおれ 🎹 Cafeteria (La Foret)
- 83 学生交流棟、食堂・売店 (かさね) 🎹 💌 sudent Service & Union, Osaka University(Kaster) Student Service & Union, Osaka University(Kaster) Student Service & Center 83 刀根山寮 Toneyama Dormitory 81 卓球場 Table Tennis Cube
- 86 健康体育研究棟 Health and Sport Science Research Building AED 87 まちかね保育園 💗 Machikane Nursery School 🖭 85) 音楽練習室 Music Practice Room

大阪モノレール柴原阪大前駅 Shibahara handai-mae Sta. of Osaka Monorail

8 国際交流会館 International House

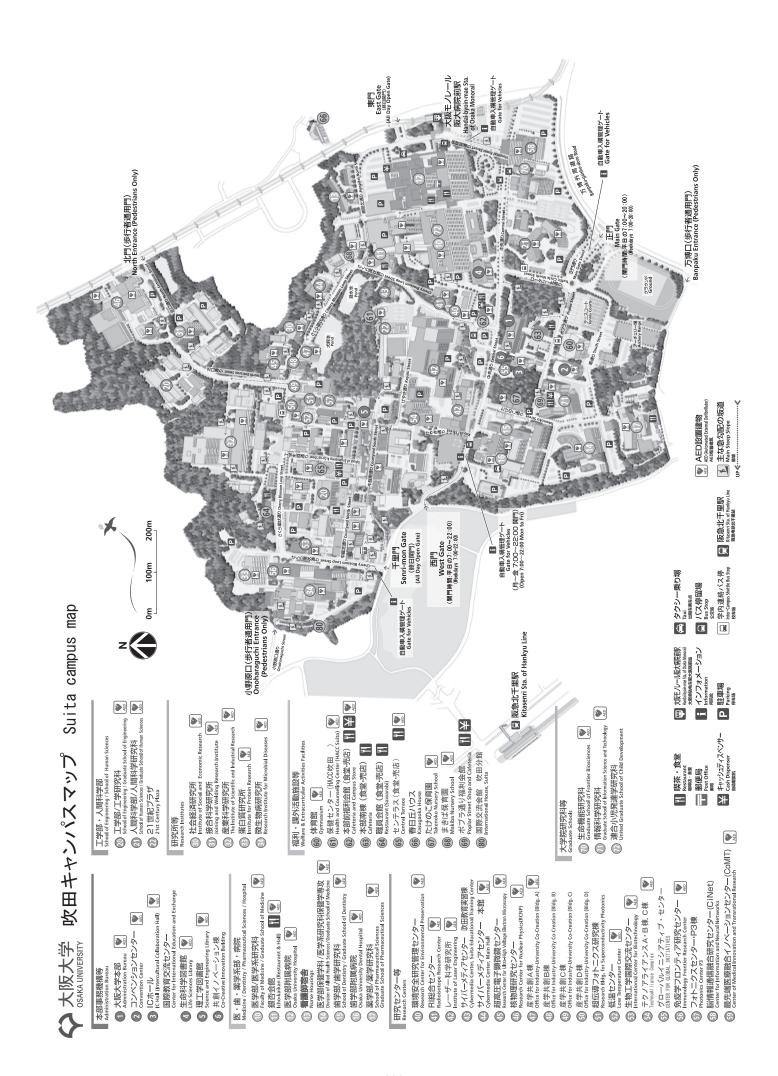
待兼山会館(宿泊室・会議室・食堂「UBRE(リブレ)」) **『打** Machikanevama Hall

8

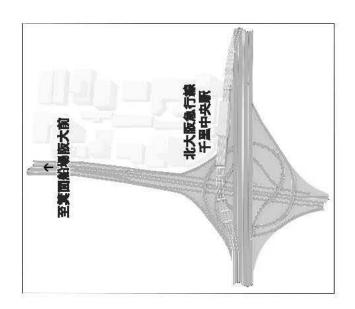
柴原口 Shibahara Entrance

(All Day Open Gate) 中國問題的 業原口 (All Day Open Gate) 中國問題的 Chapter (All Day Open Gate) (

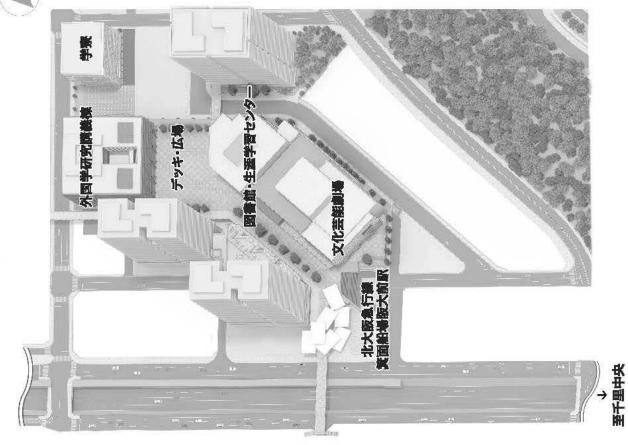
建物 配置 図



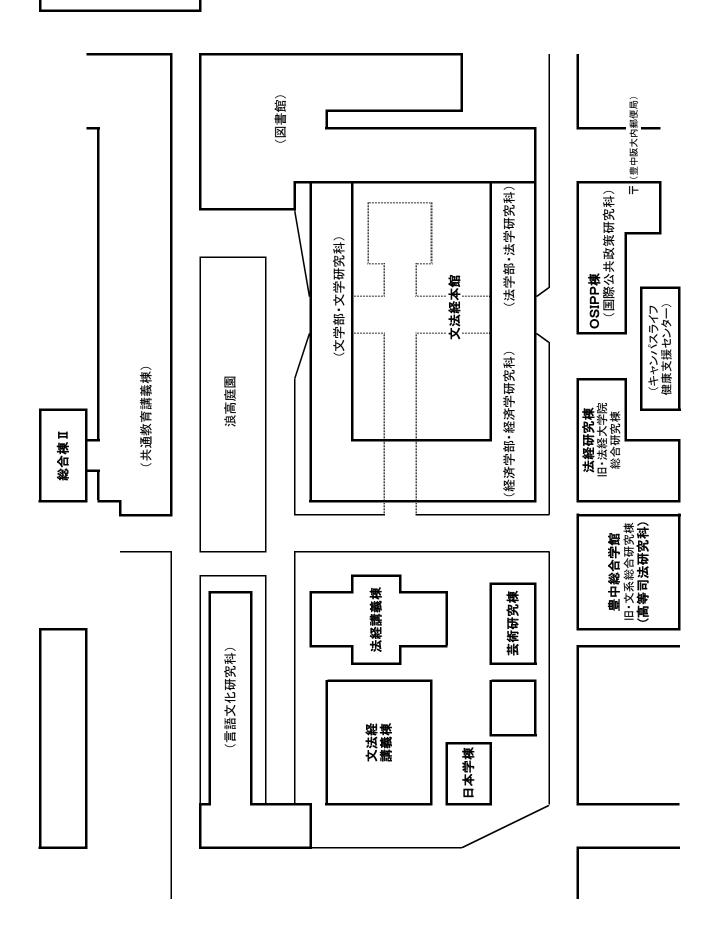
箕面キャンパスマップ

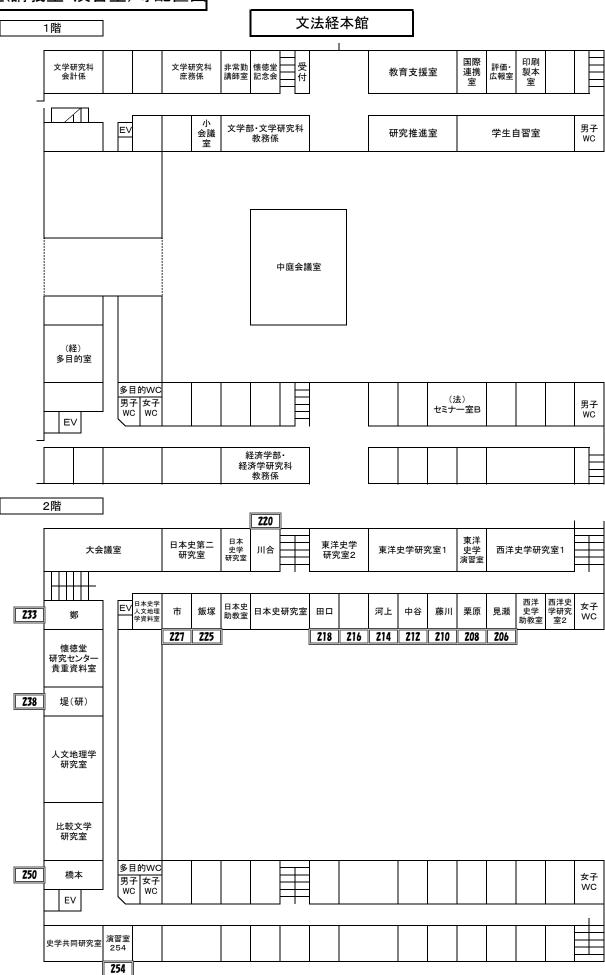


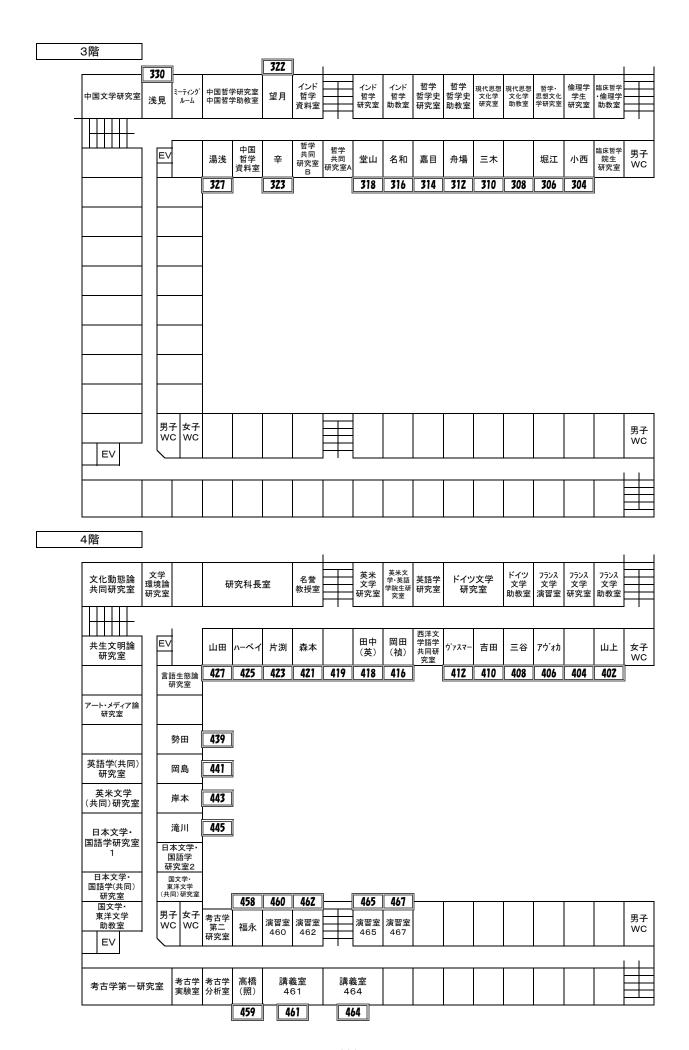




講義棟配置図



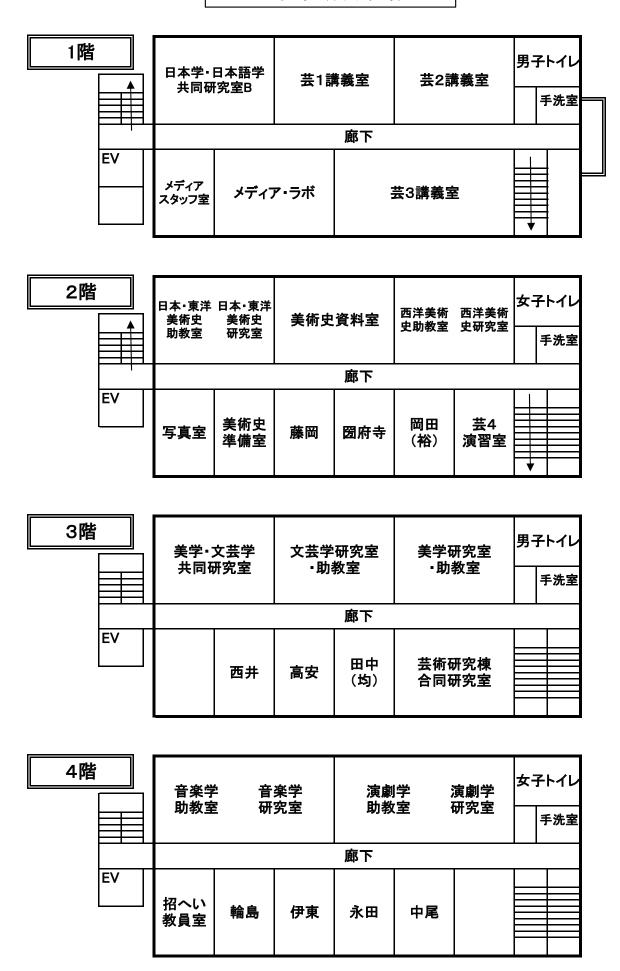


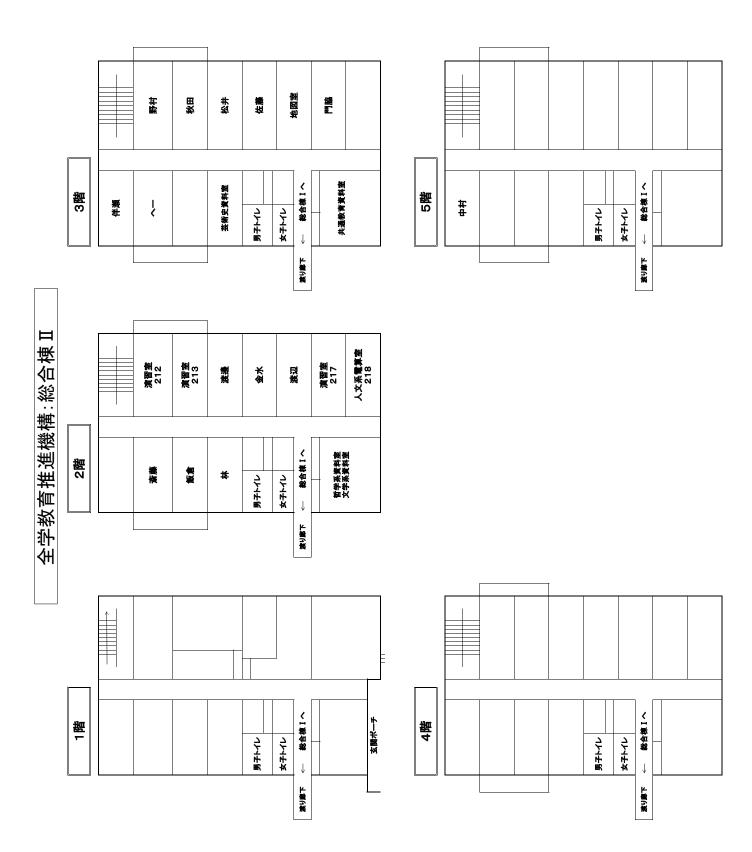


文学部日本学棟

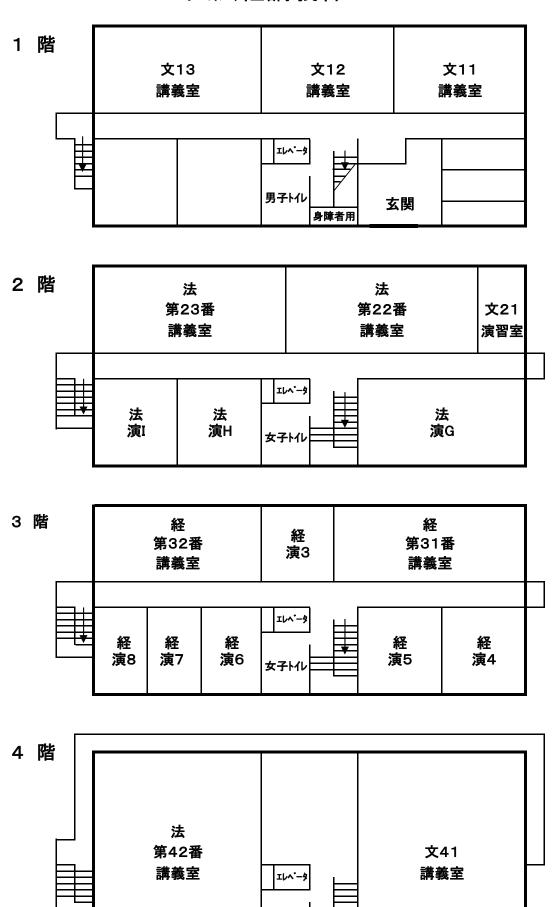
1階 3階 日本学·日本語学 共同研究室A 日本学 宇野田 グローバル日本学 教育研究拠点 (日本A) 共同研究室A 女子WC 日本学助教室 バーデルスキー 安岡 男子WC 廊下 廊下 \leftarrow 日本学 共同研究室B 2階 4階 日本語学 三宅(知) 実習室 中嶋 405 共同研究室A 石井 北村 日本語学助教室 高木 日本語学 廊下 廊下 共同研究室B 物置 渋谷

文学部芸術研究棟



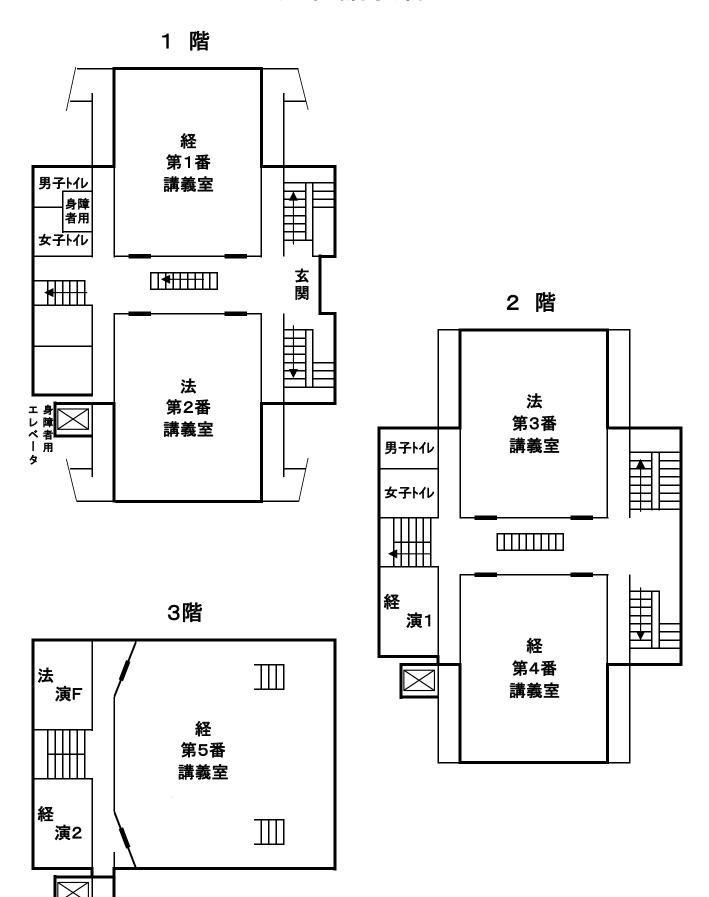


文法経講義棟

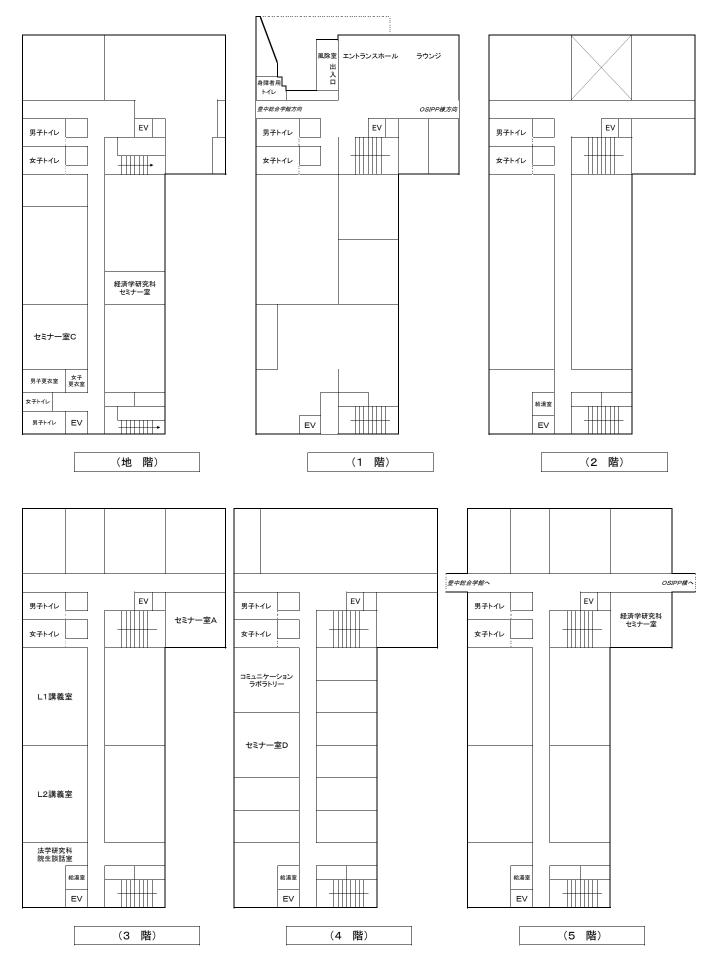


男子トイレ

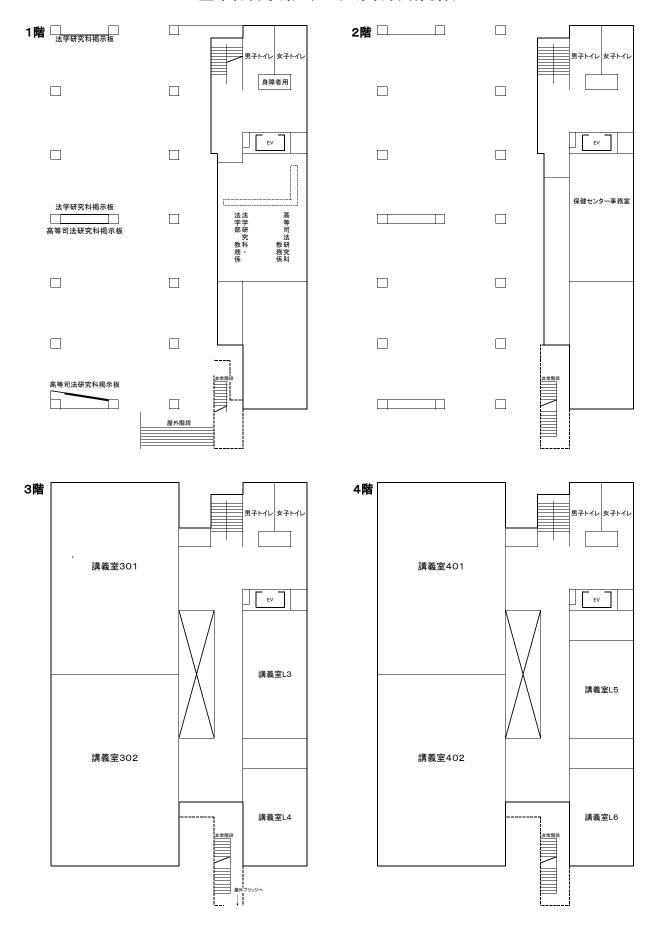
法経講義棟

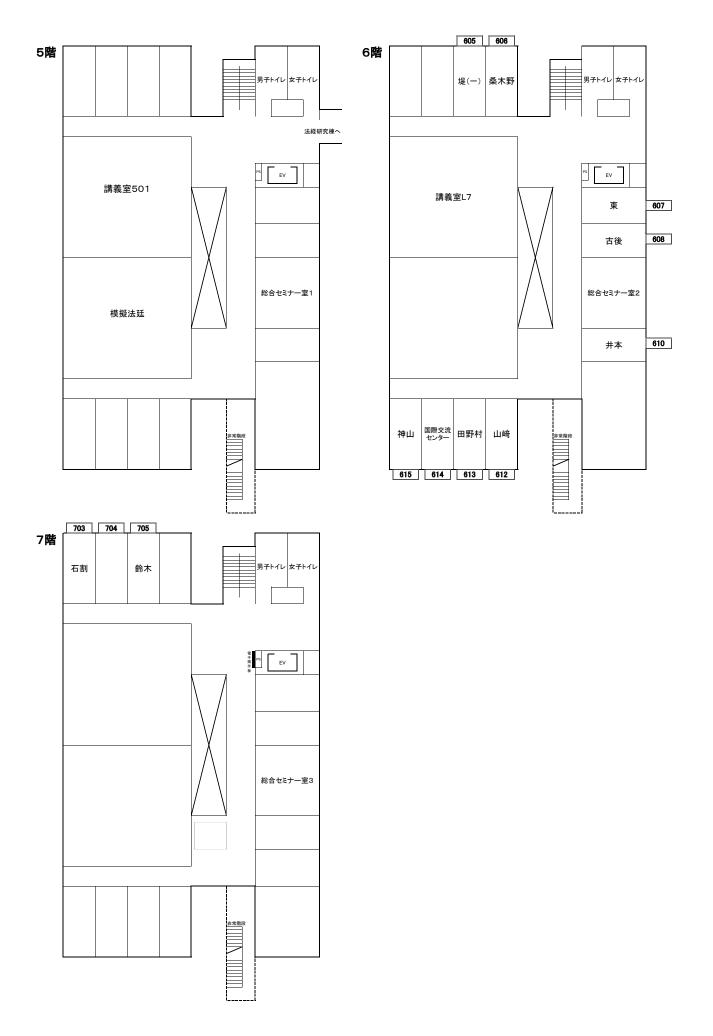


法経研究棟(旧・法経大学院総合研究棟)



豊中総合学館 (旧・文系総合研究棟)





大阪大学大学院文学研究科大阪大学、学文学部

〒560-8532 豊中市待兼山町1-5 電話 06-6850-6111